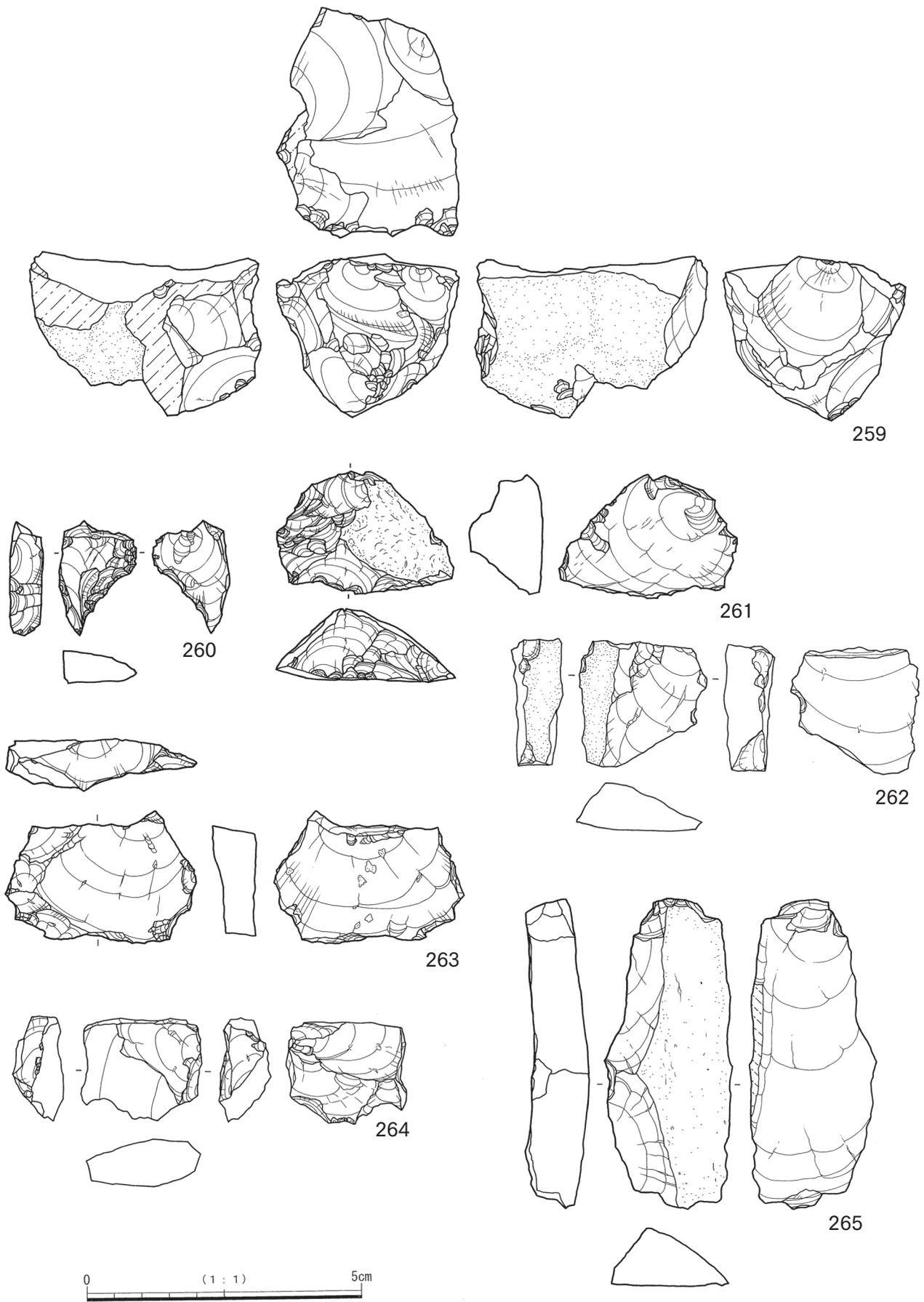
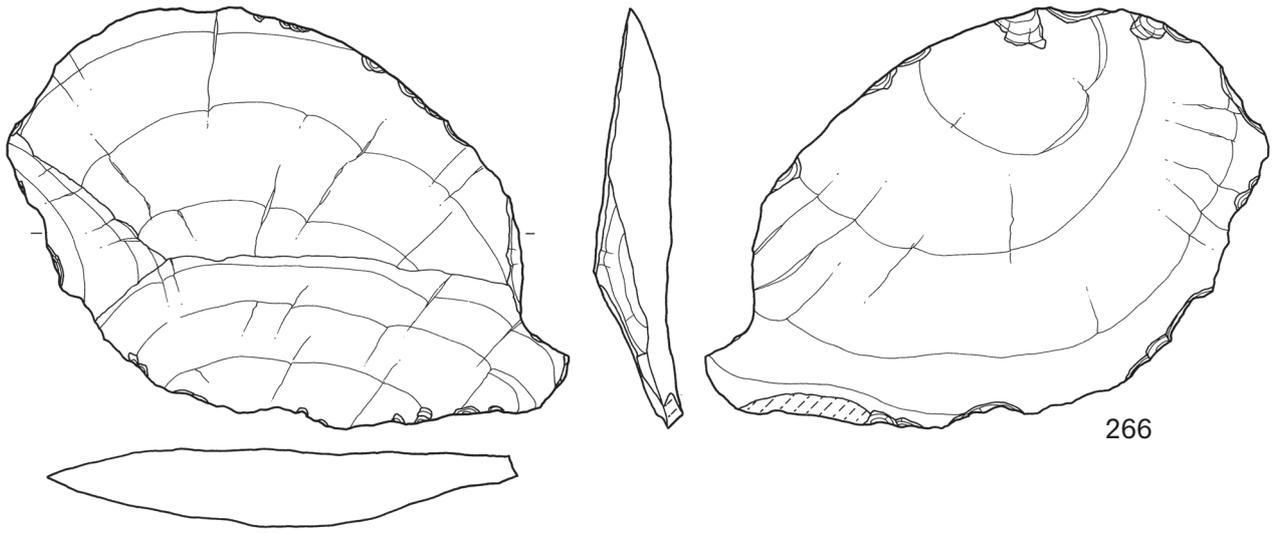


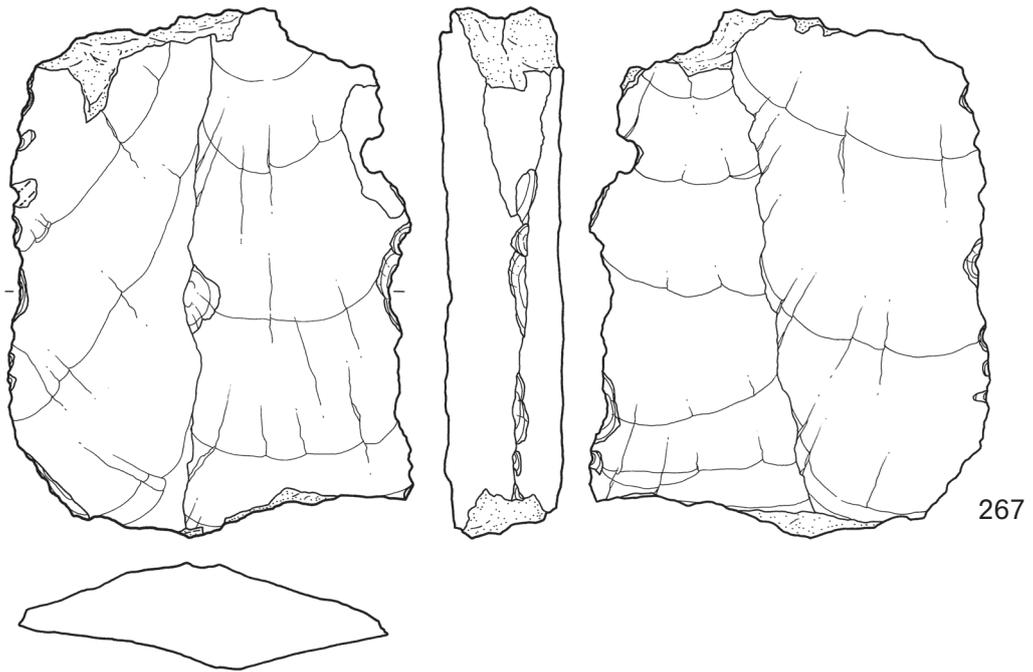
第113図 IX層ブロック12出土遺物3



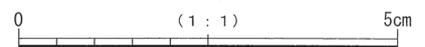
第114図 IX層ブロック12出土遺物4



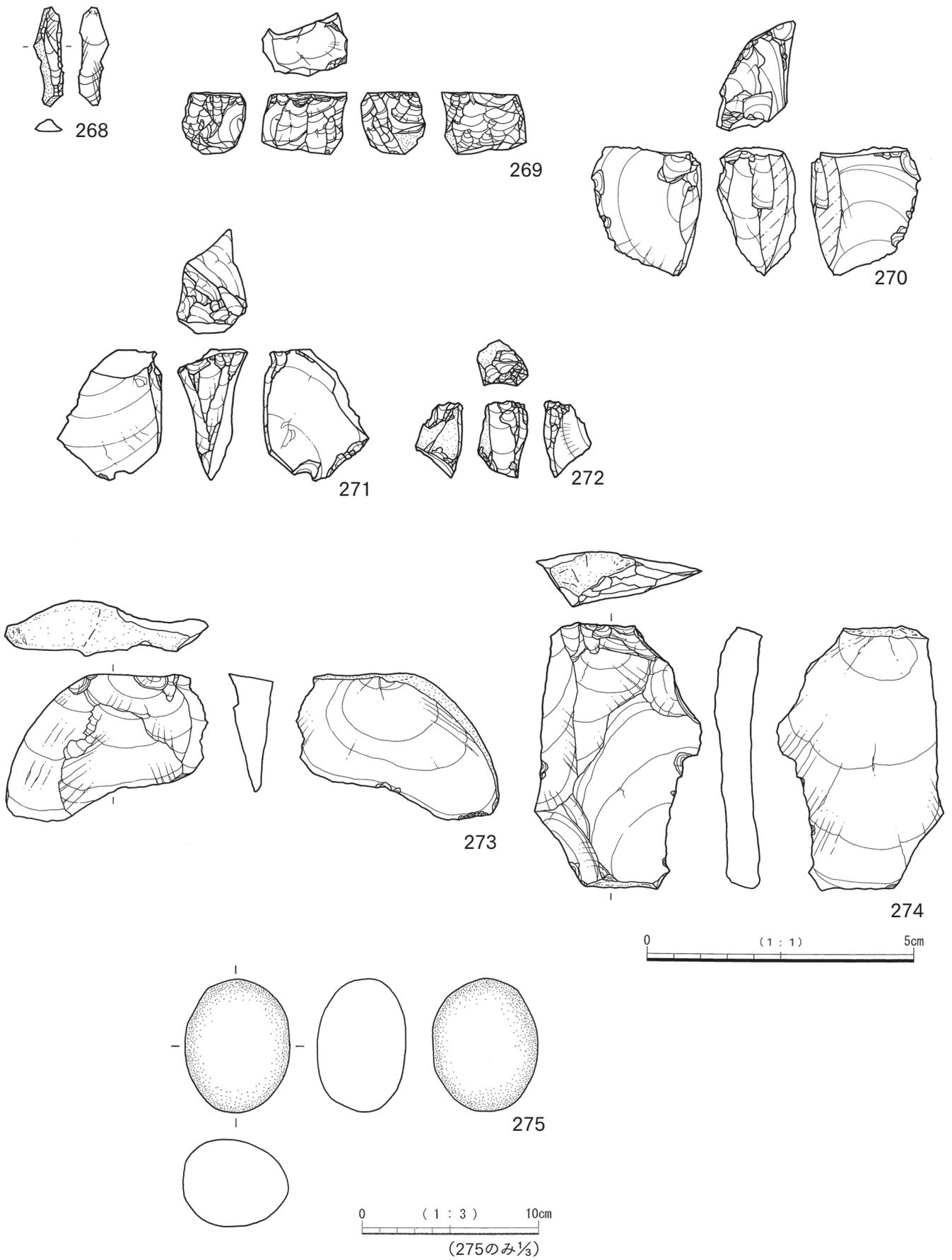
266



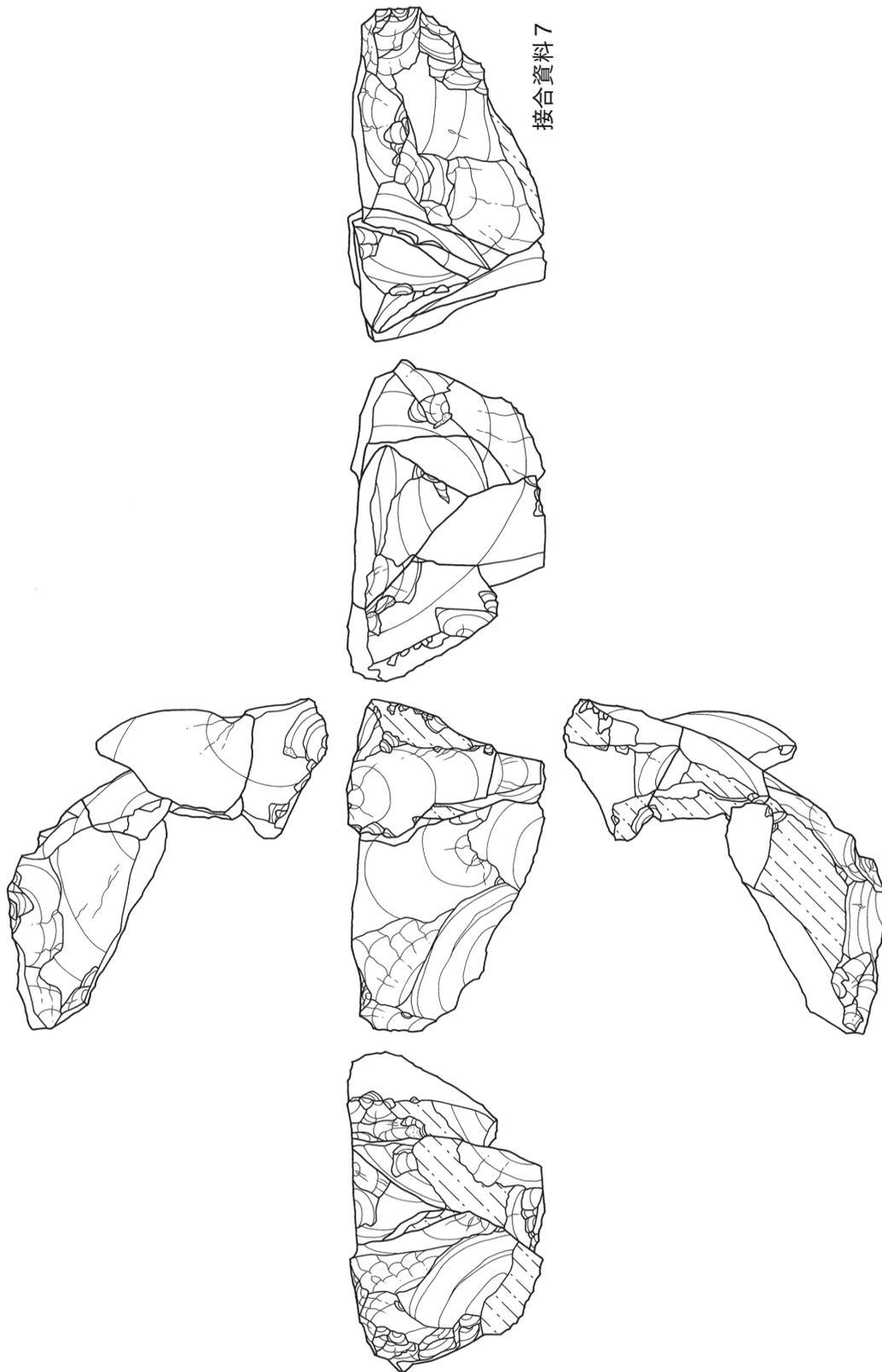
267



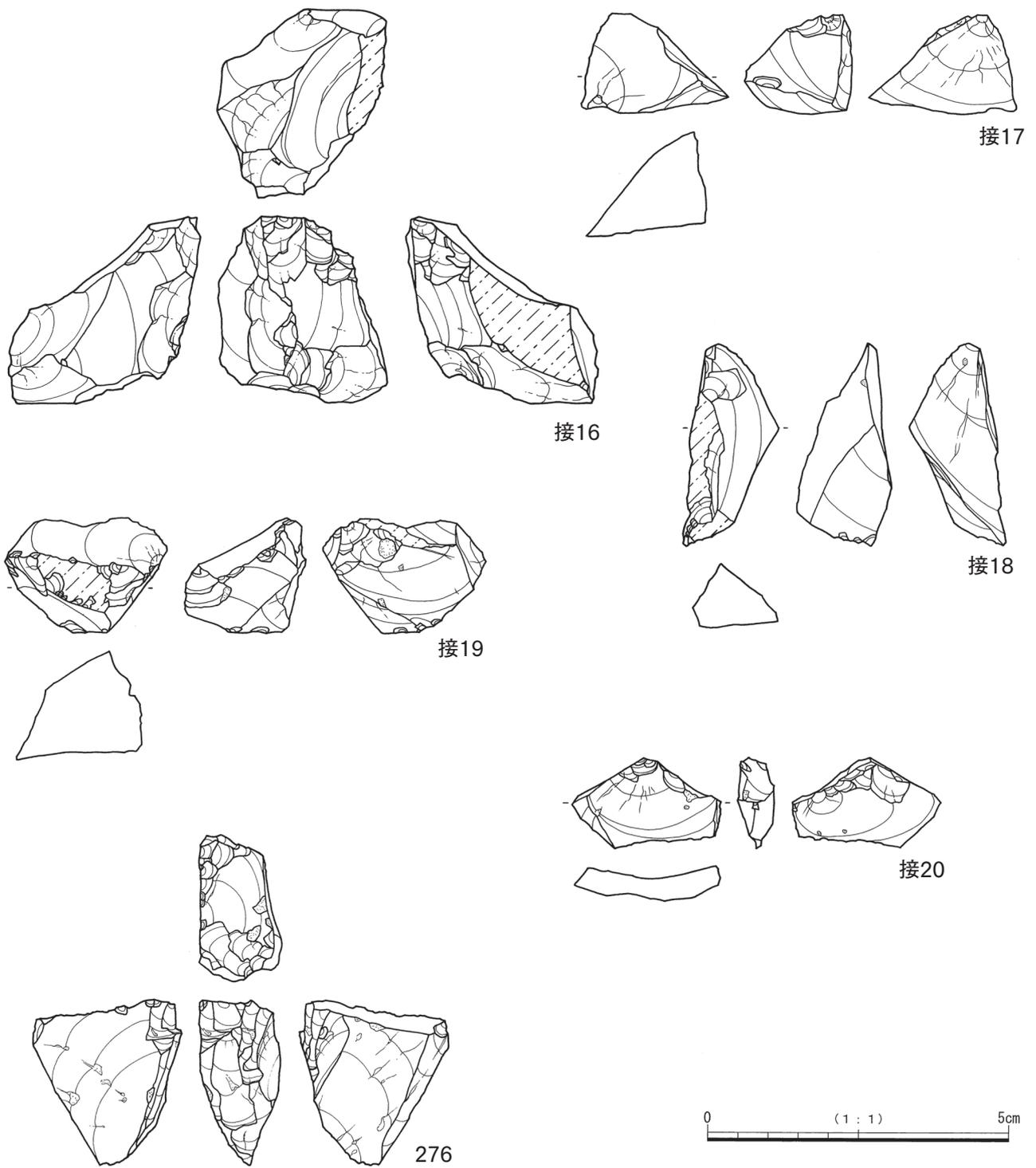
第115図 IX層ブロック12出土遺物5



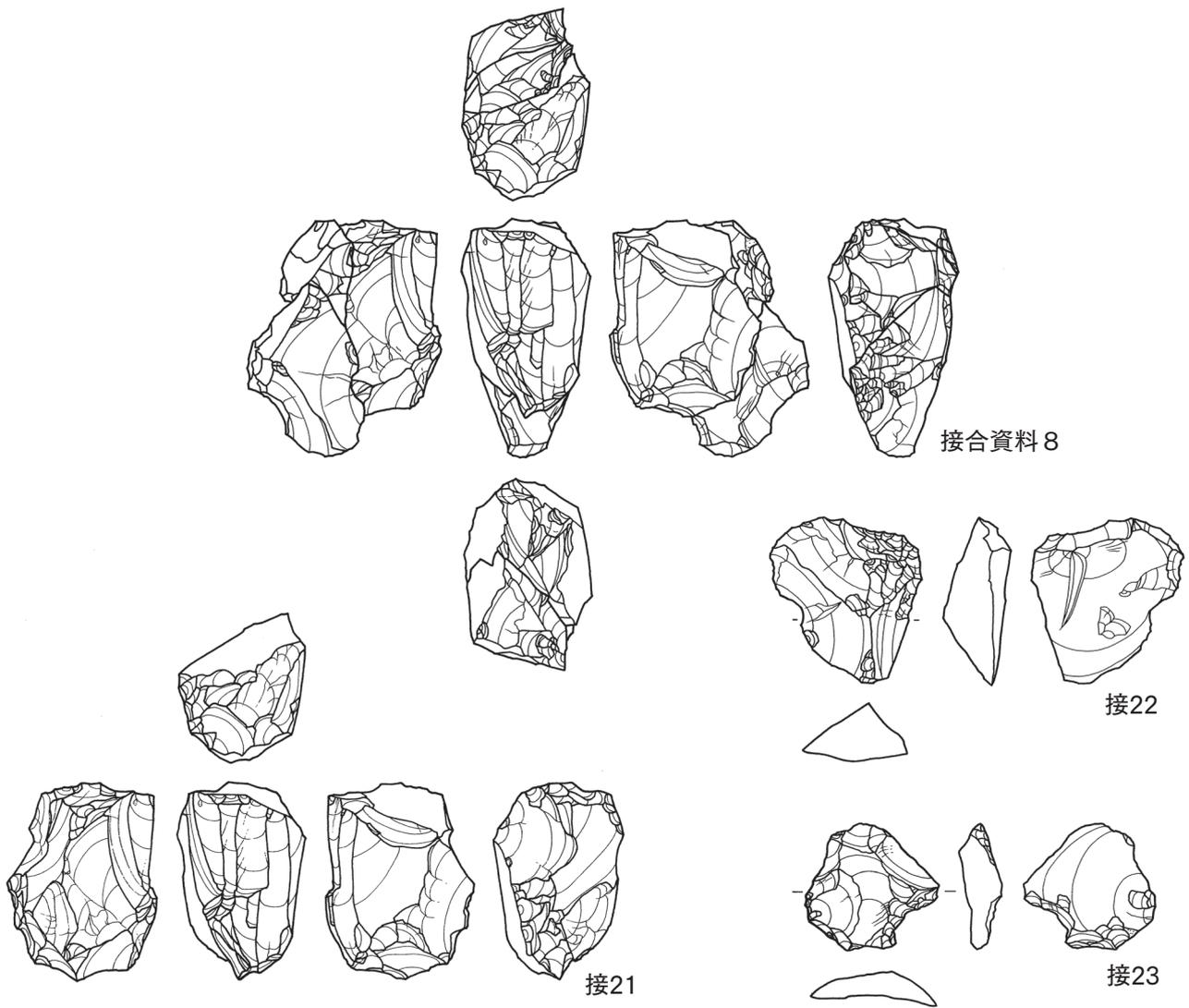
第116図 IX層ブロック13出土遺物



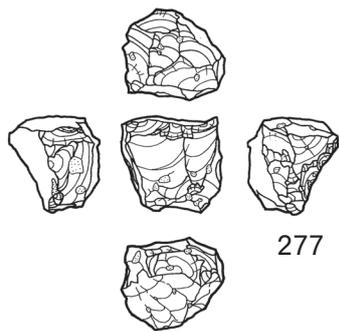
第117図 IX層ブロック14出土遺物1



第118図 IX層ブロック14出土遺物2

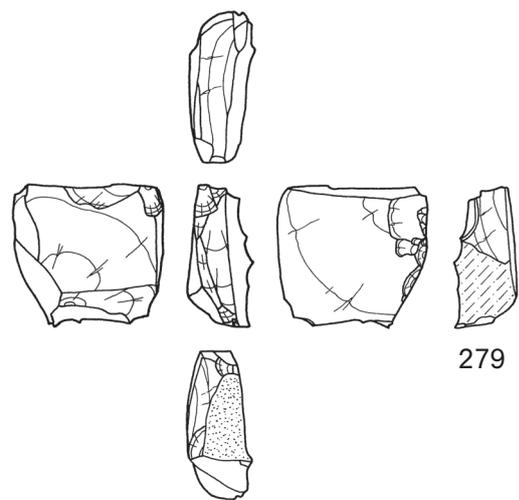
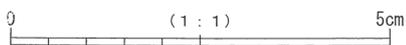


第119図 IX層ブロック15出土遺物

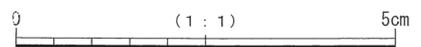


277

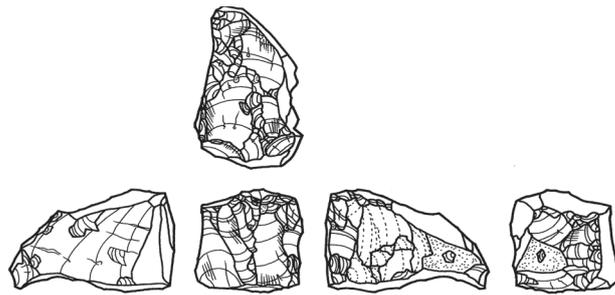
278



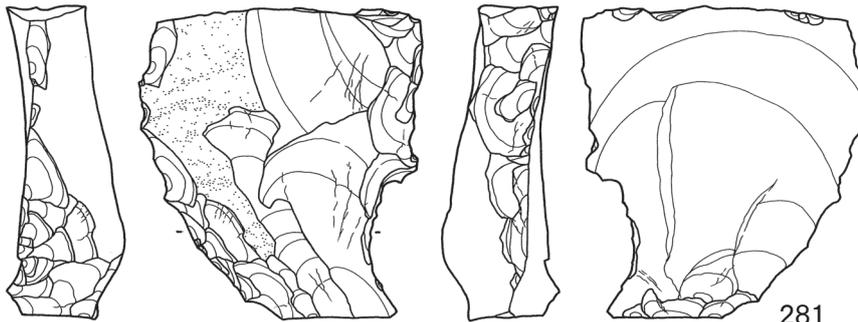
279



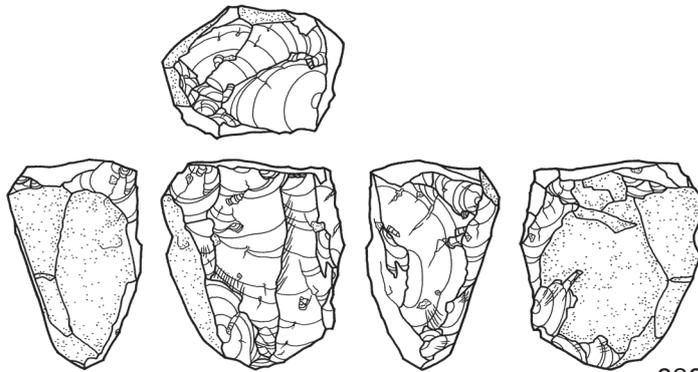
第120図 IX層ブロック16出土遺物



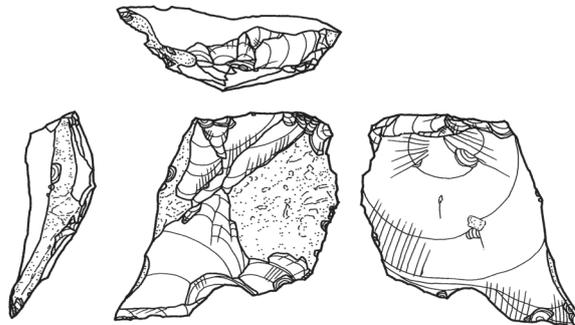
280



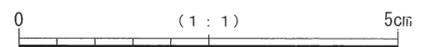
281



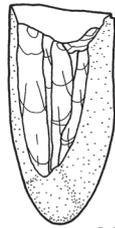
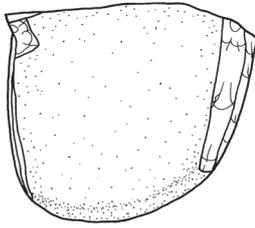
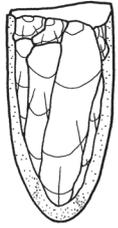
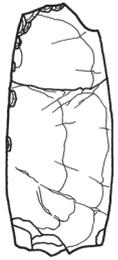
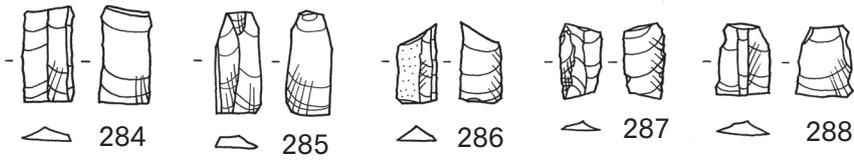
282



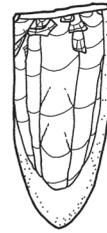
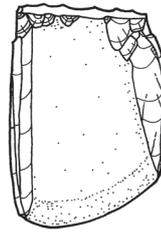
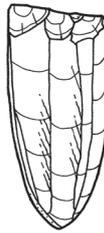
283



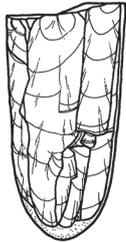
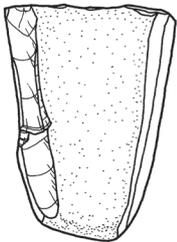
第121図 IX層ブロック18出土遺物



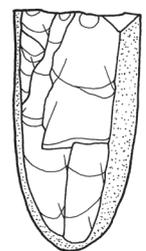
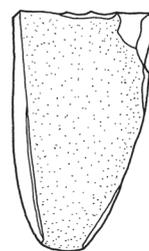
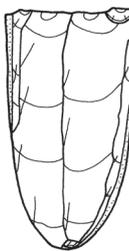
289



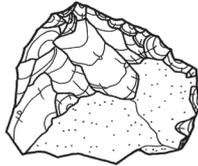
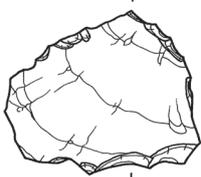
290



291



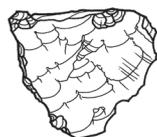
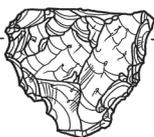
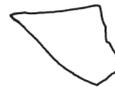
292



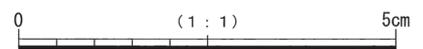
293



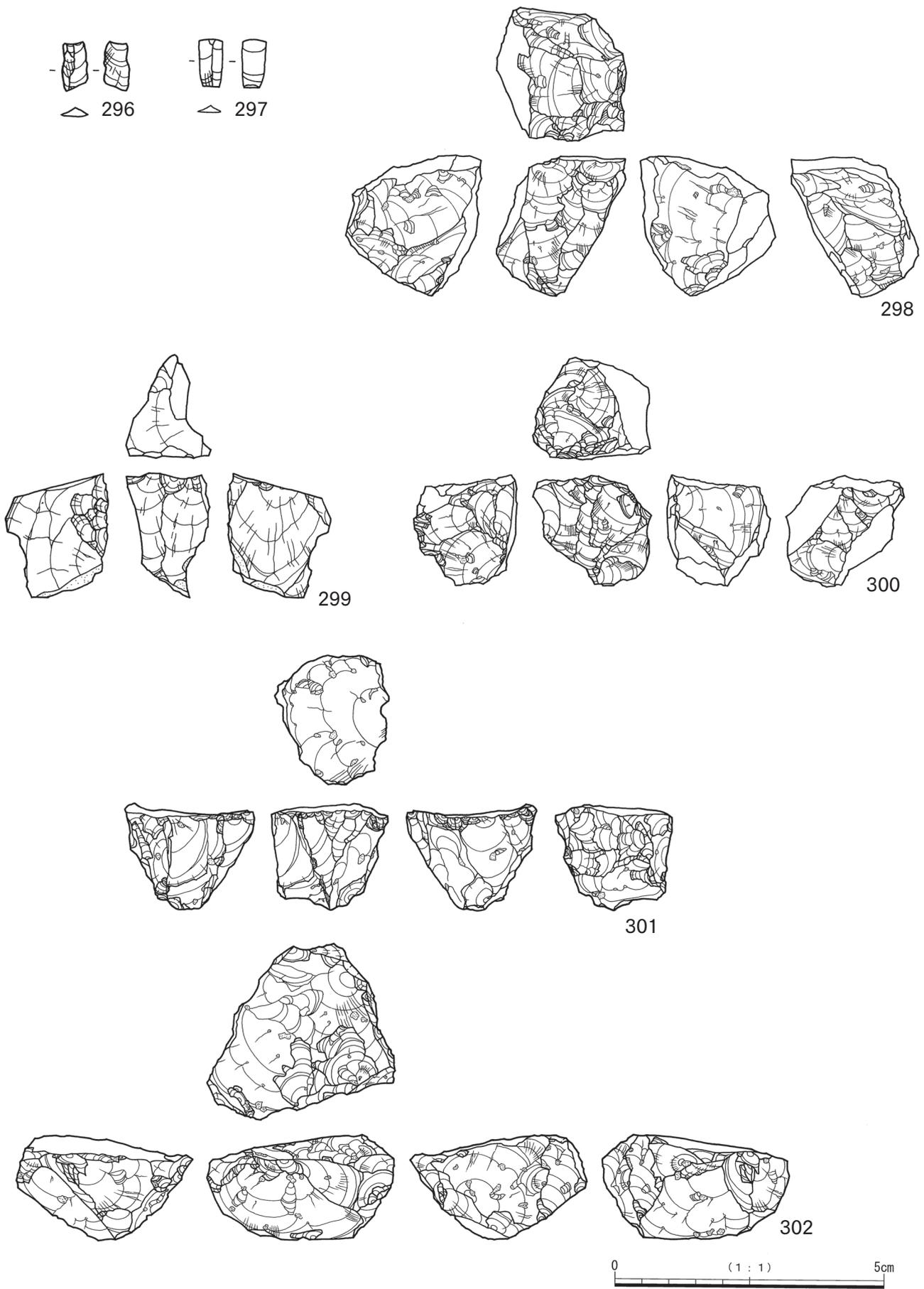
294



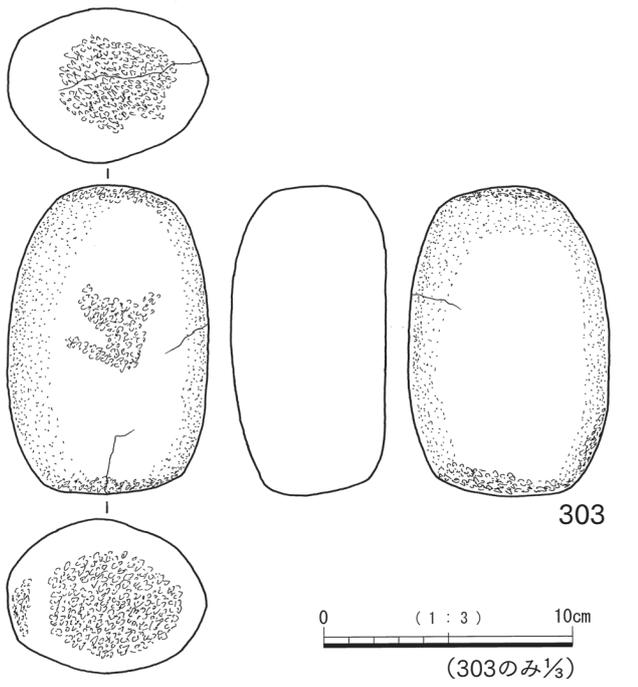
295



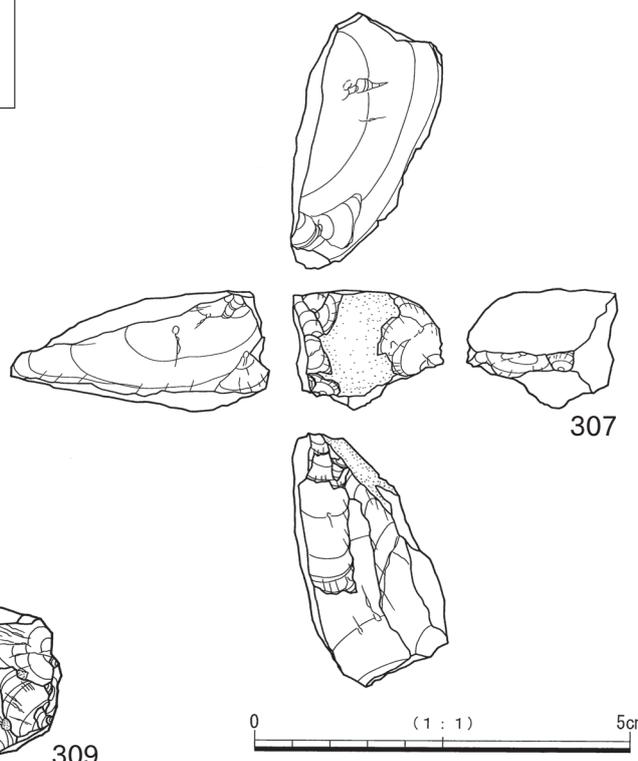
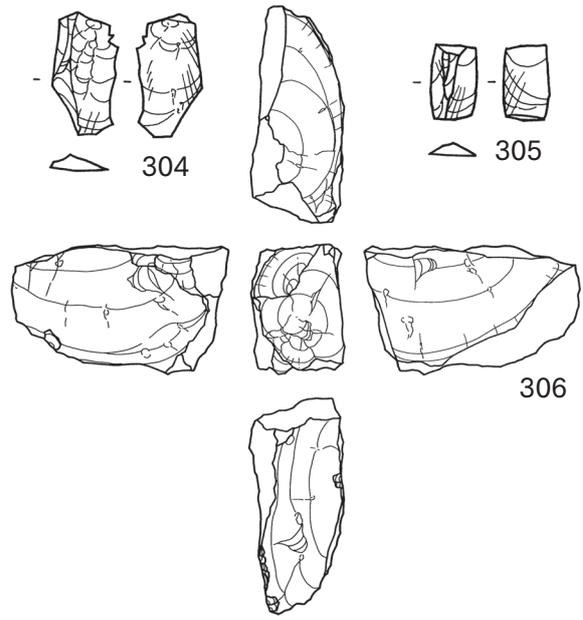
第122図 IX層ブロック19出土遺物



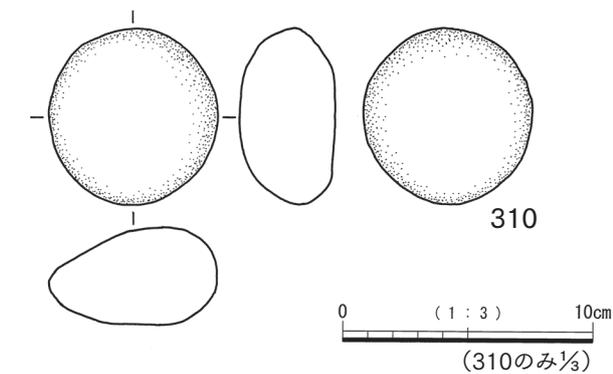
第123図 IX層ブロック20出土遺物1



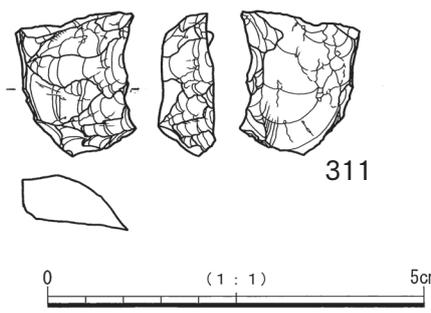
第124図 IX層ブロック20出土遺物2

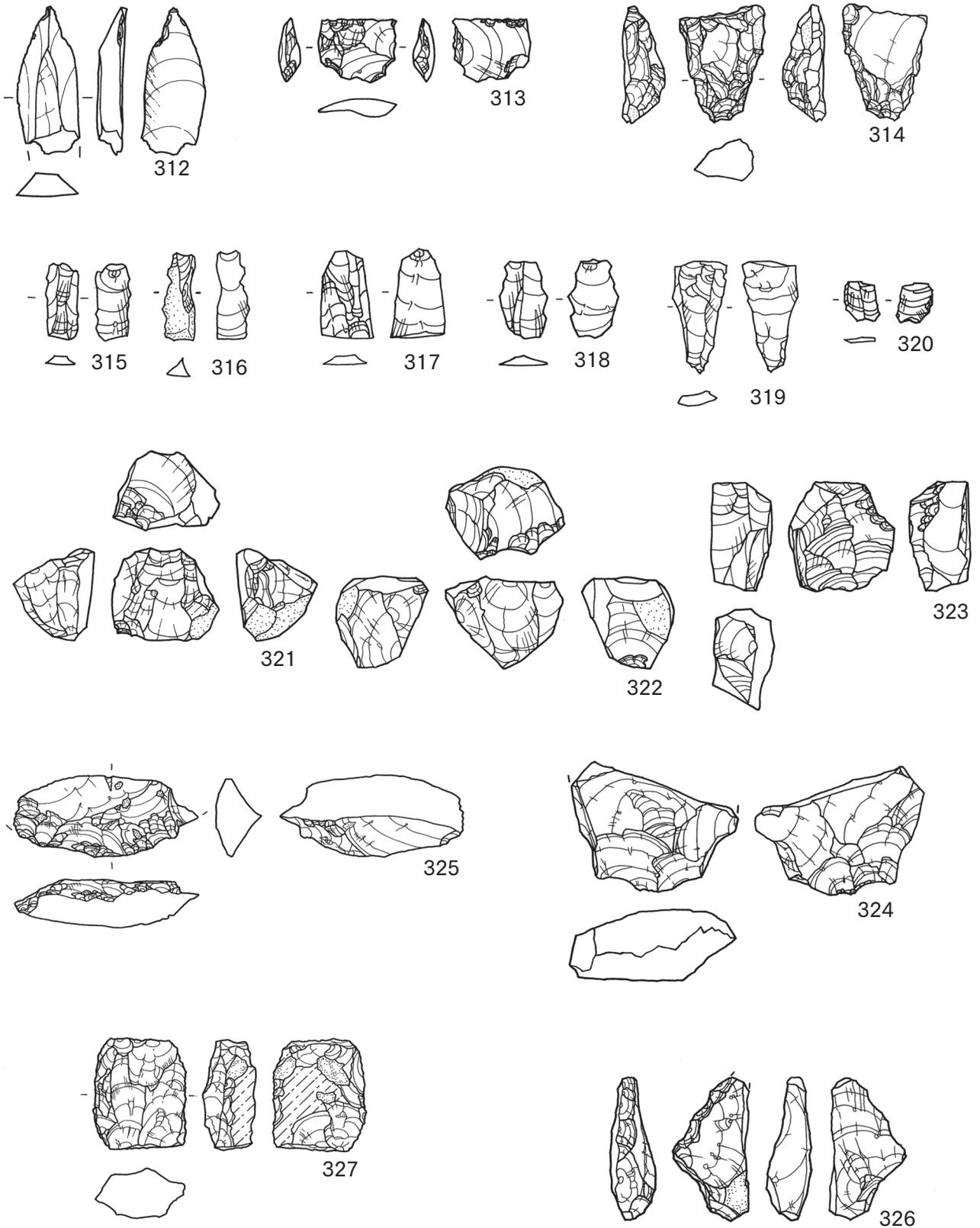


第125図 IX層ブロック21出土遺物

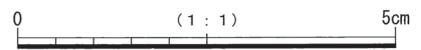
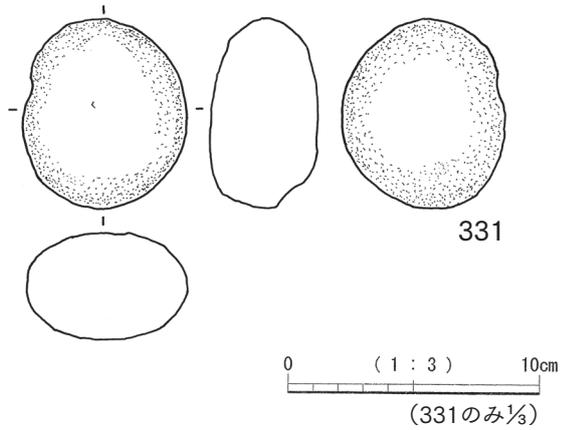
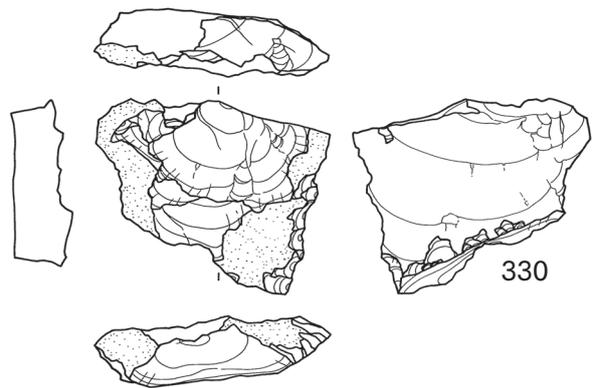
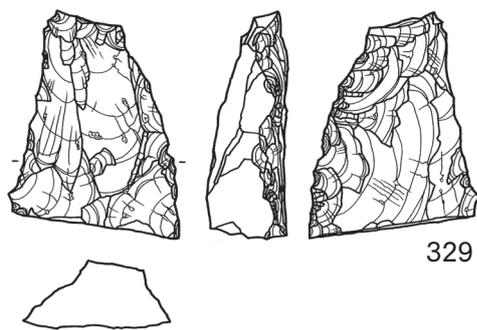
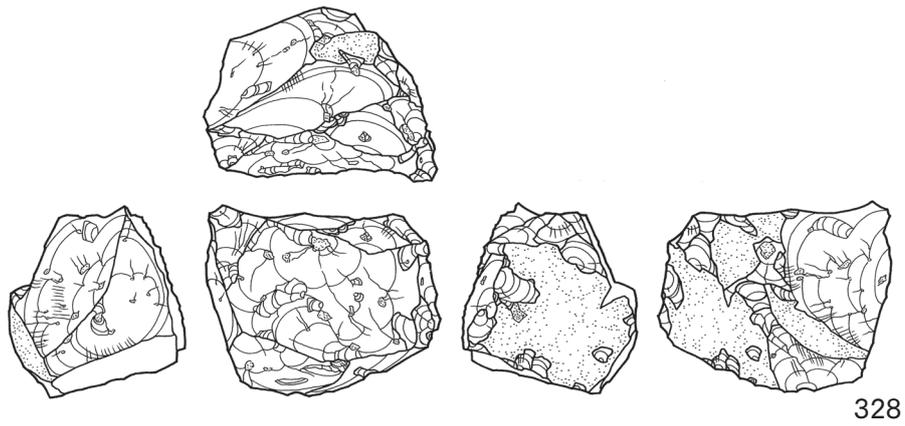


第126図 IX層ブロック22出土遺物

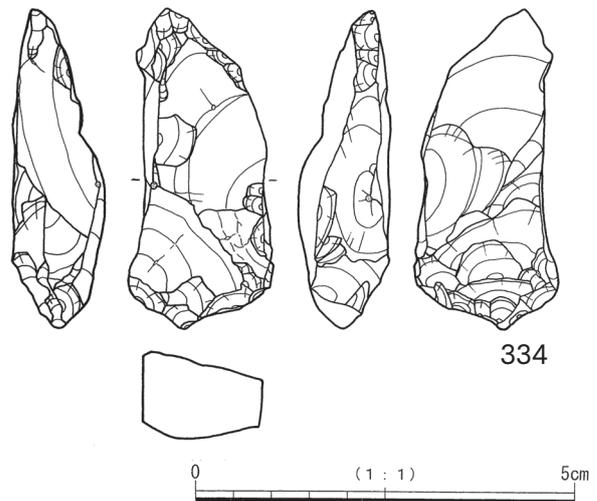
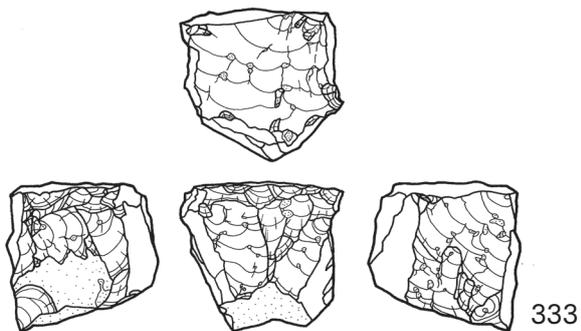
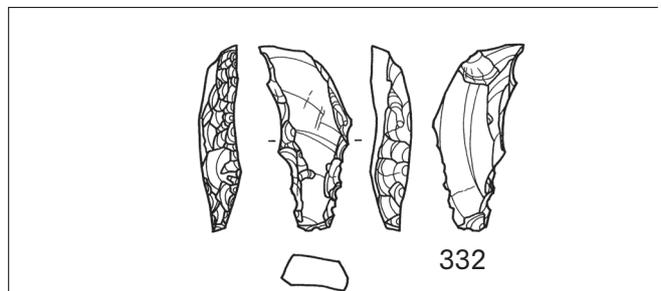




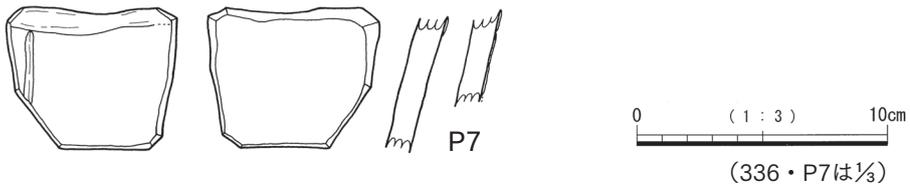
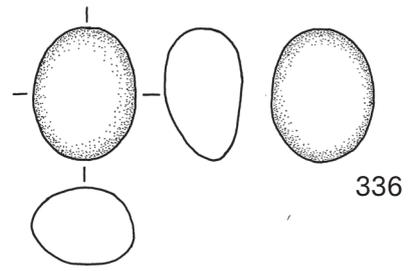
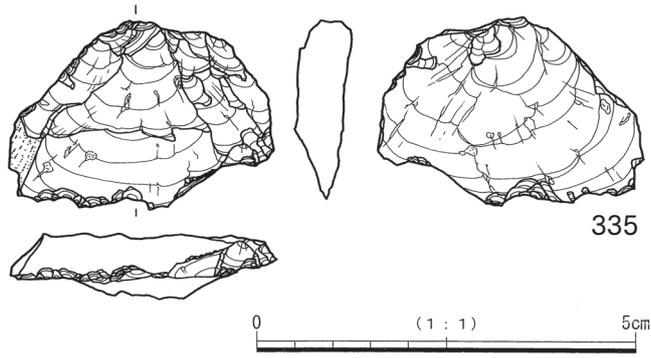
第127図 IX層ブロック23出土遺物1



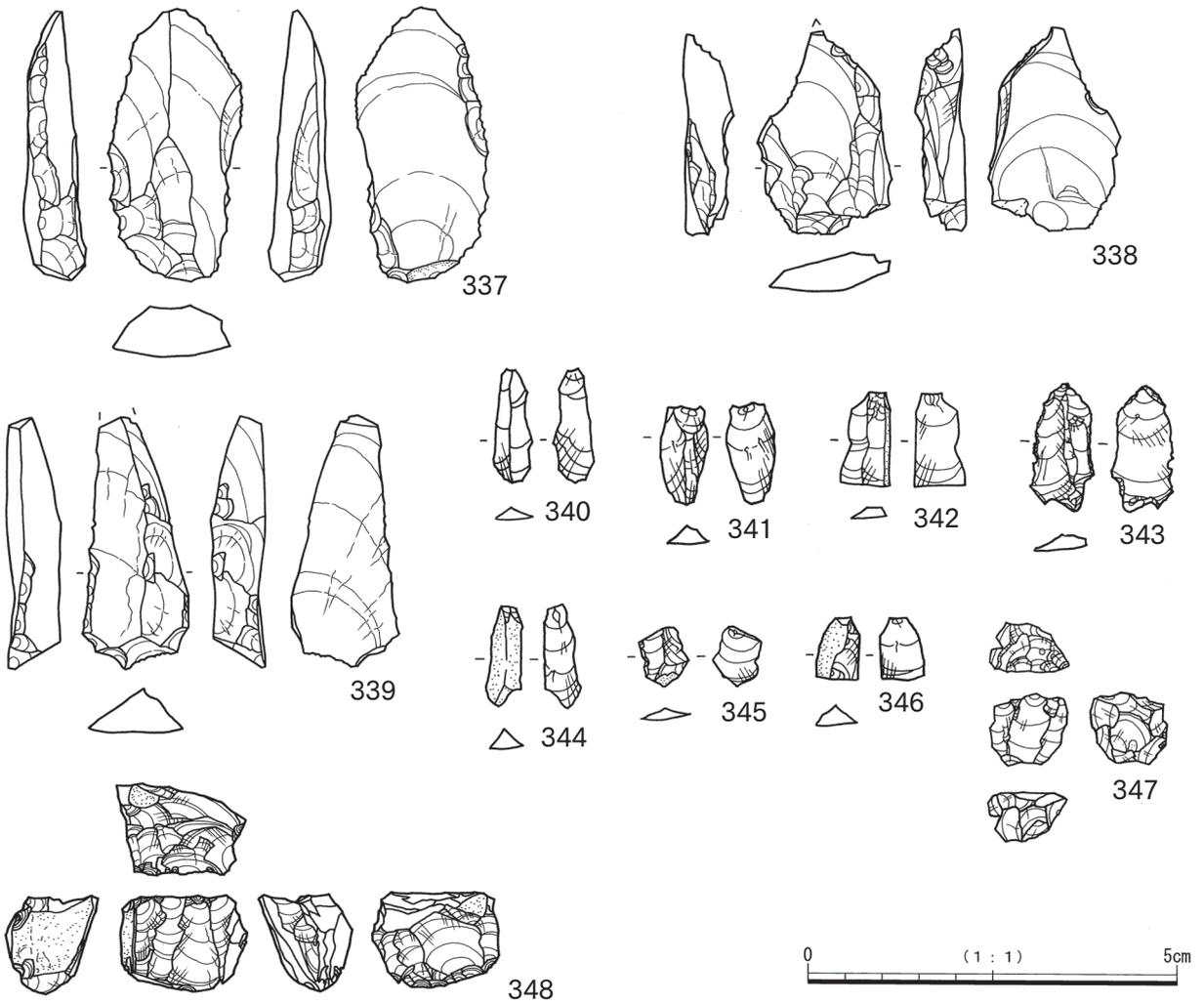
第128図 IX層ブロック23出土遺物2



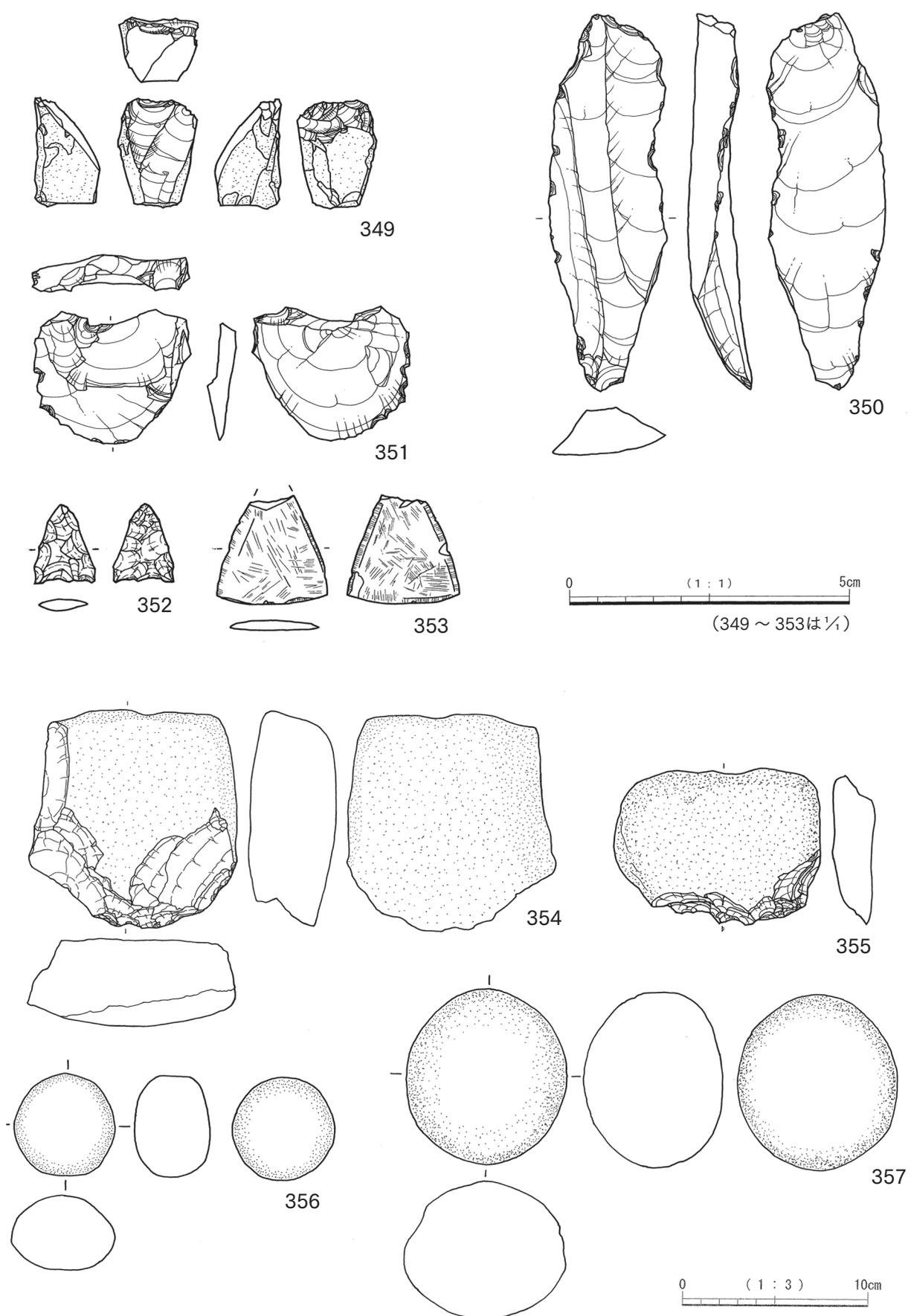
第129図 IX層ブロック24出土遺物1



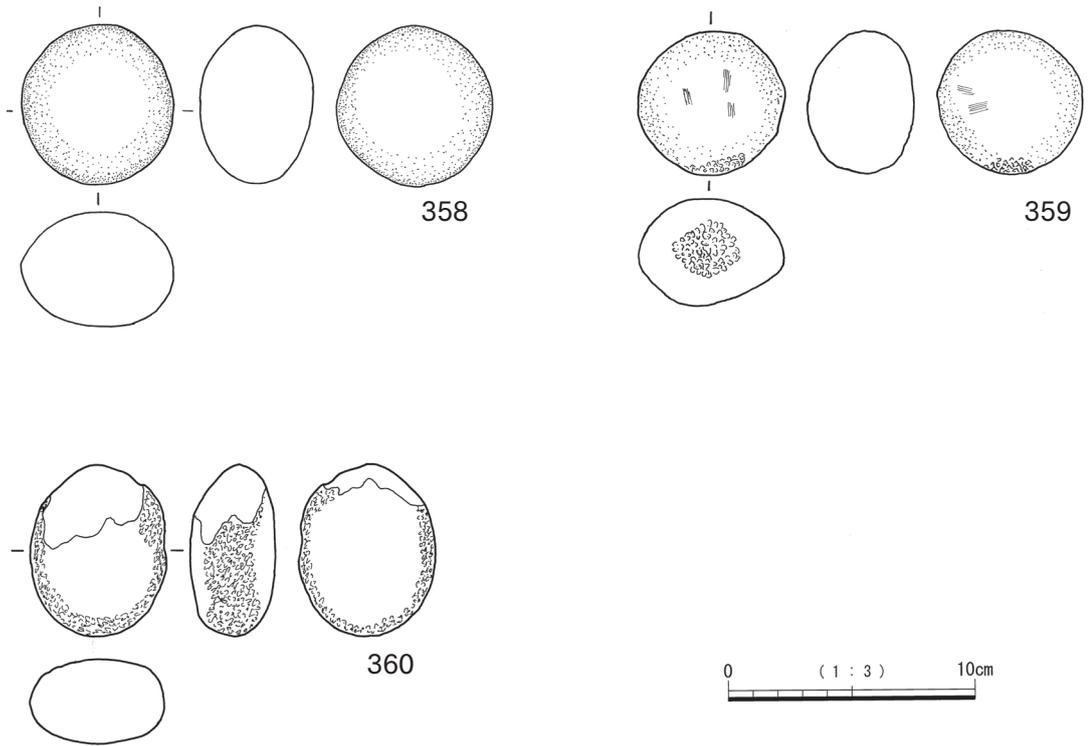
第130図 IX層ブロック24出土遺物2



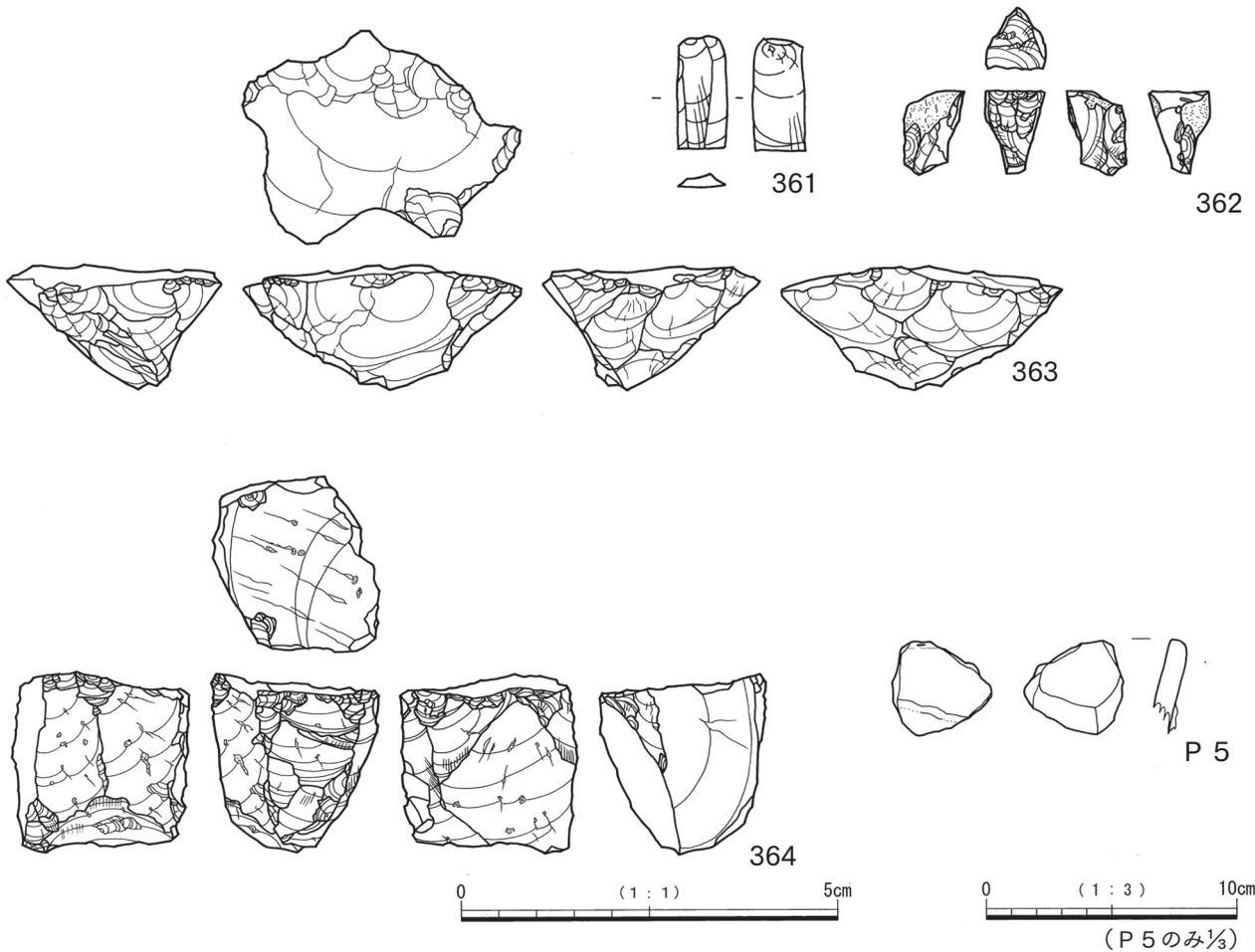
第131図 IX層ブロック25出土遺物1



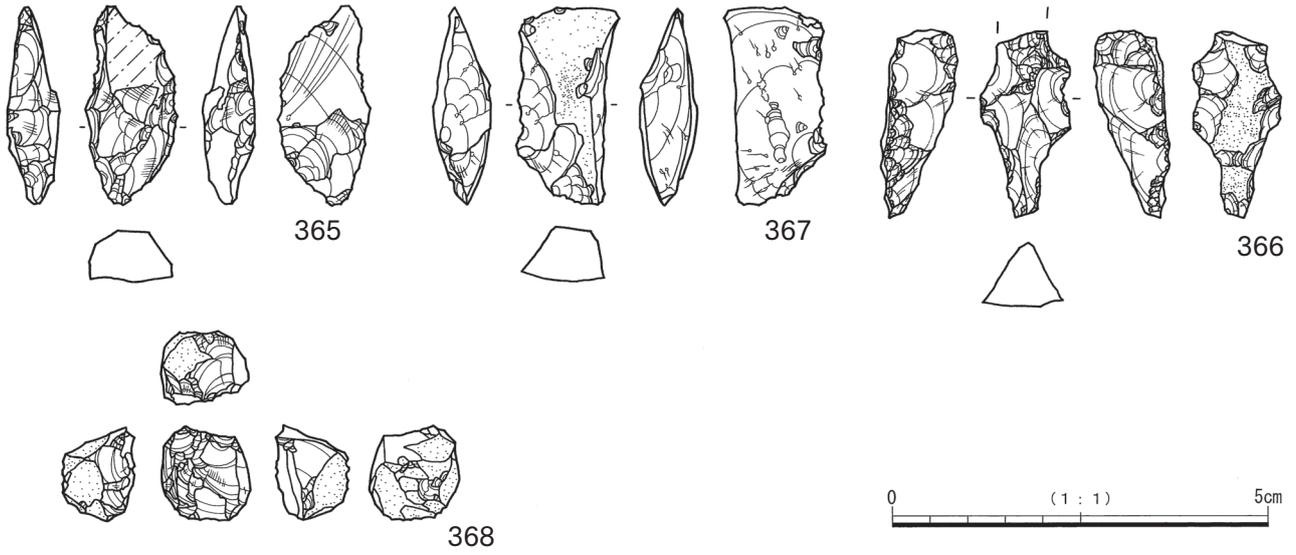
第132図 IX層ブロック25出土遺物2



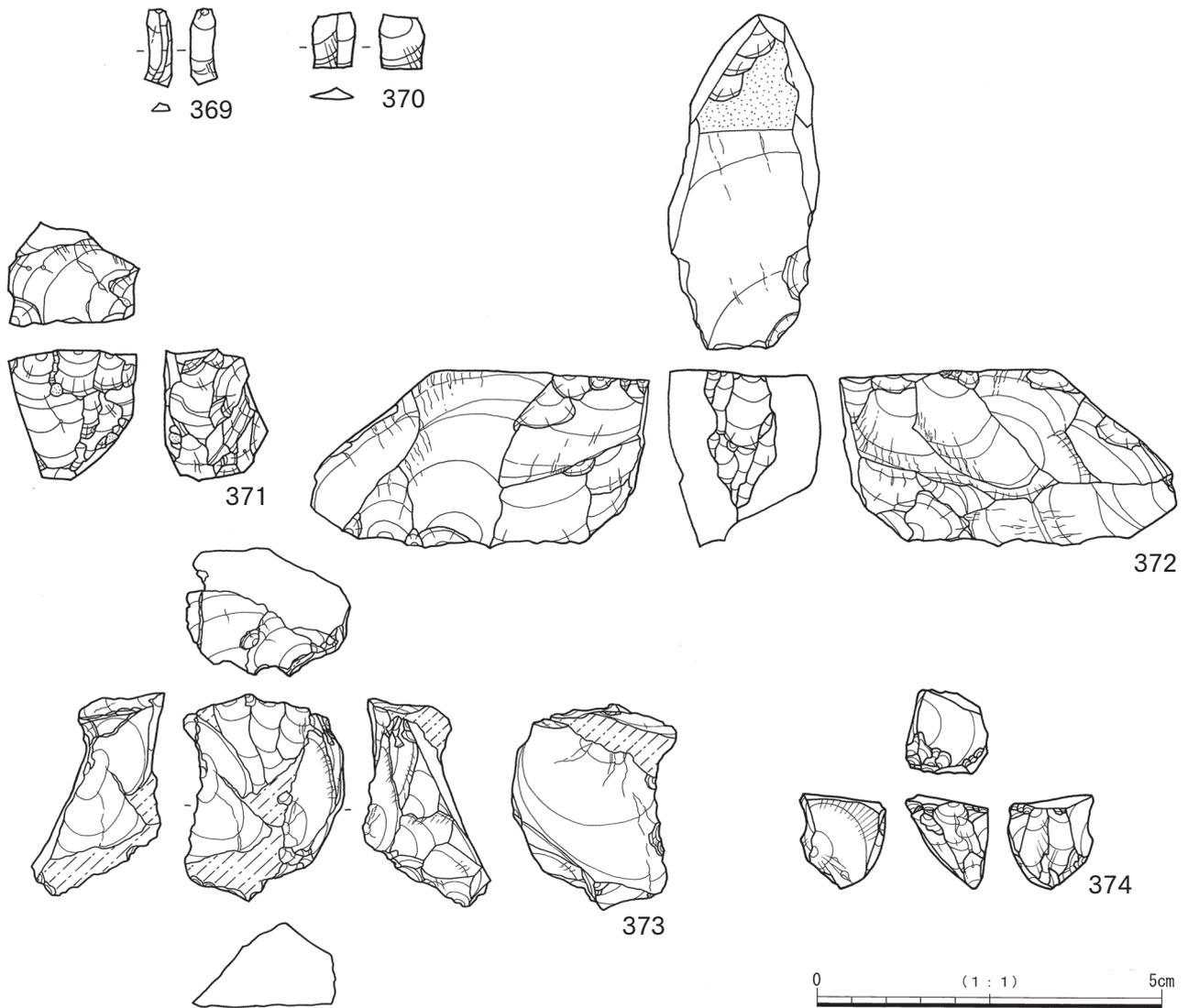
第133図 IX層ブロック25出土遺物3



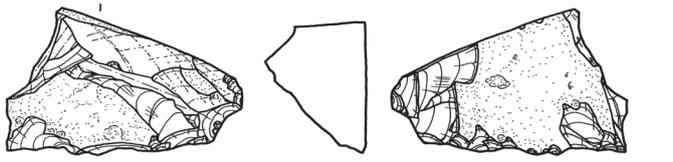
第134図 IX層ブロック26出土遺物



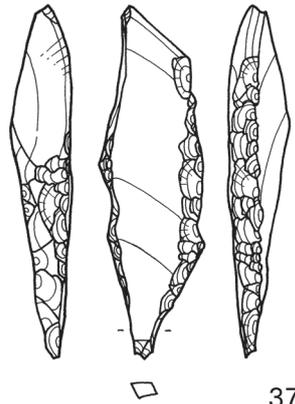
第135図 IX層ブロック27出土遺物



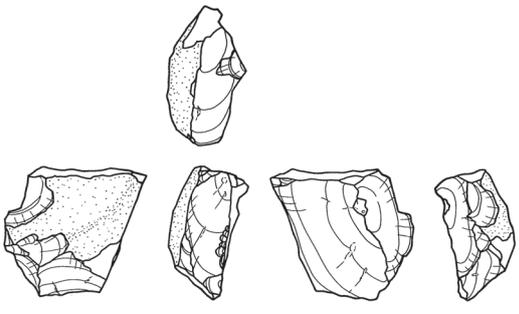
第136図 IX層ブロック28出土遺物 1



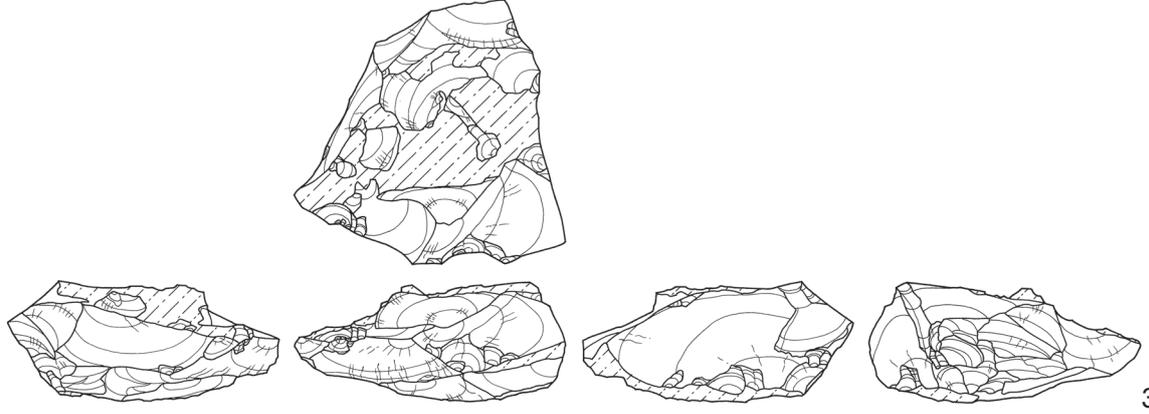
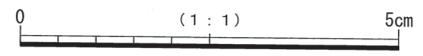
375



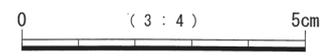
376



378

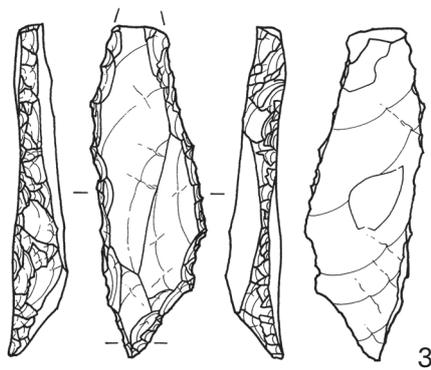


377

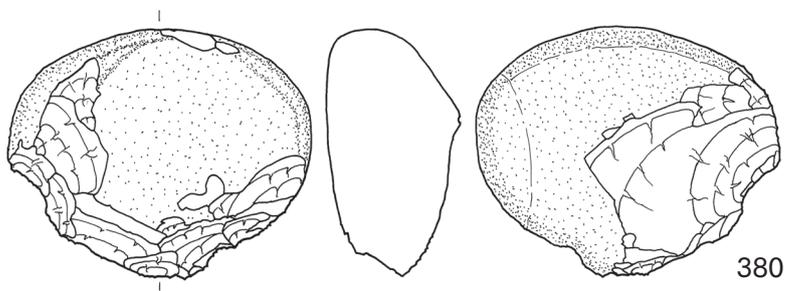


(377のみ³/₄)

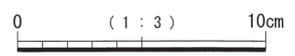
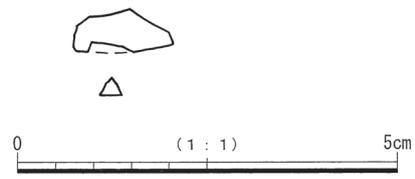
第137図 IX層ブロック28出土遺物 2



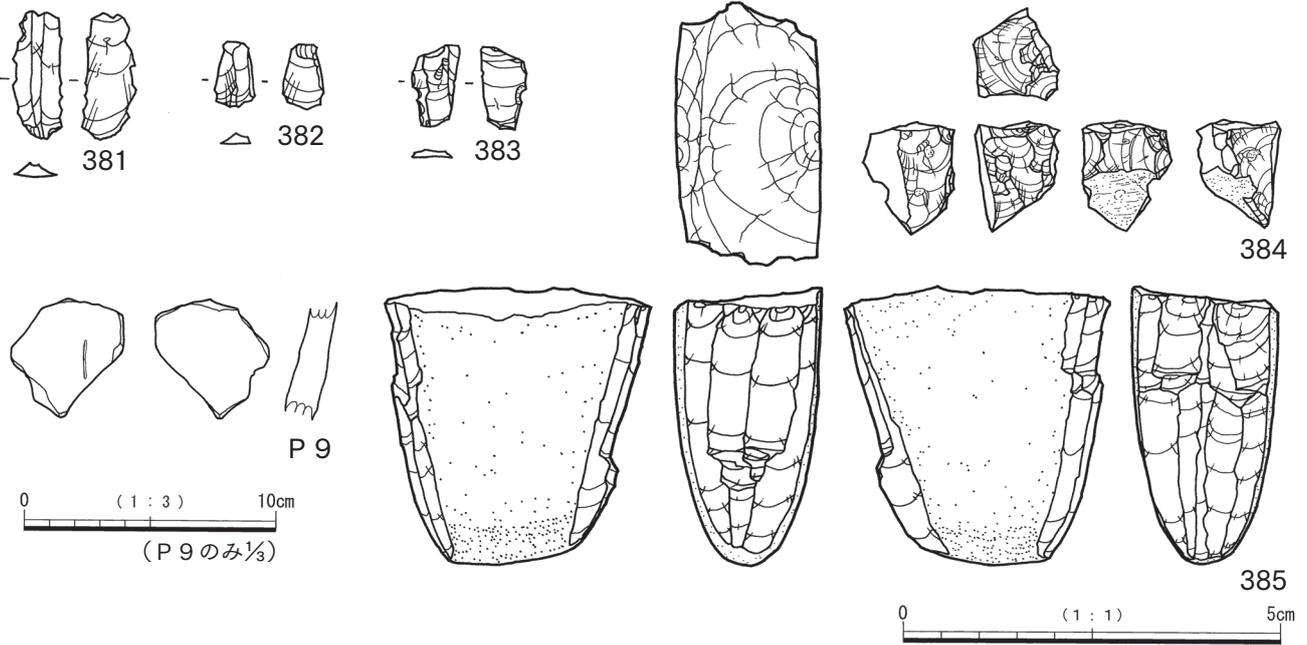
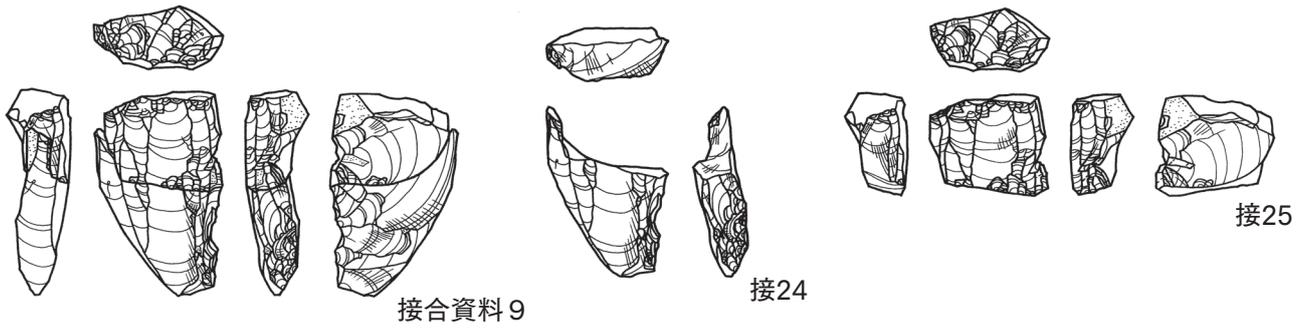
379



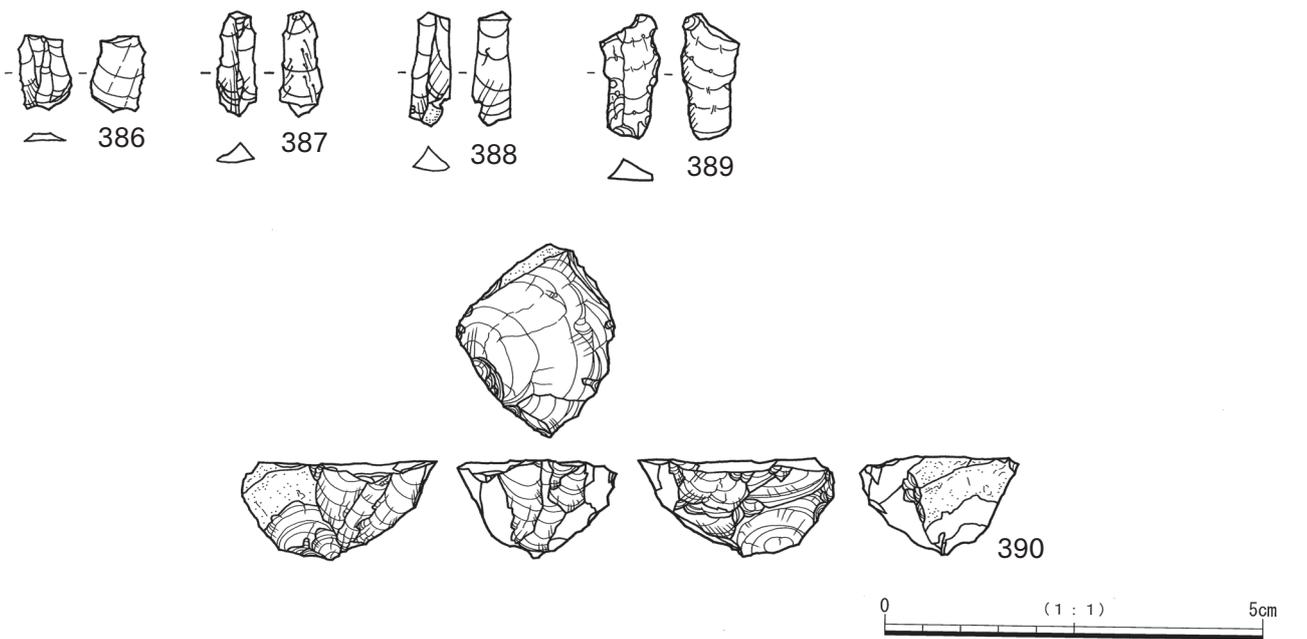
380



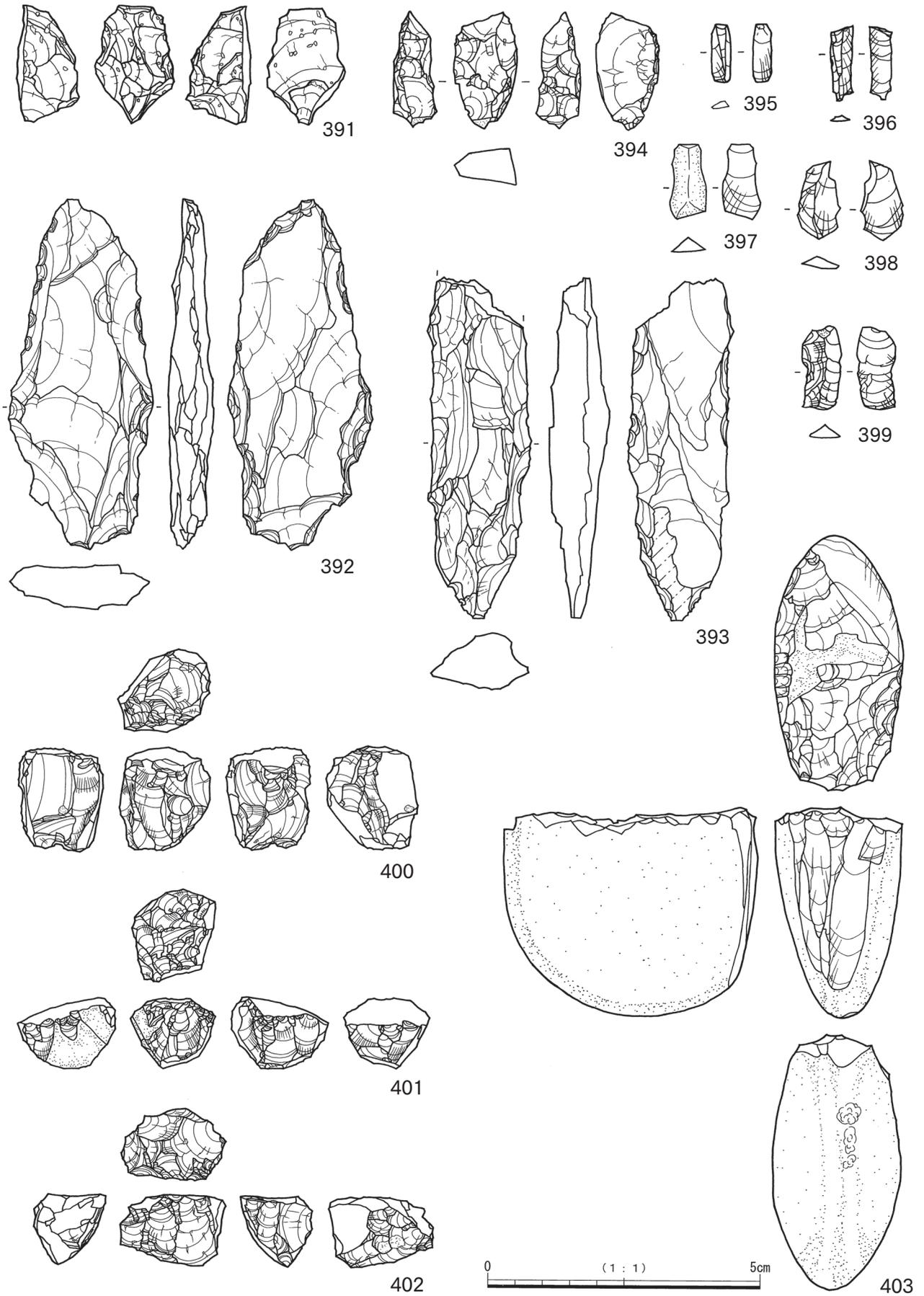
第138図 IX層ブロック29出土遺物



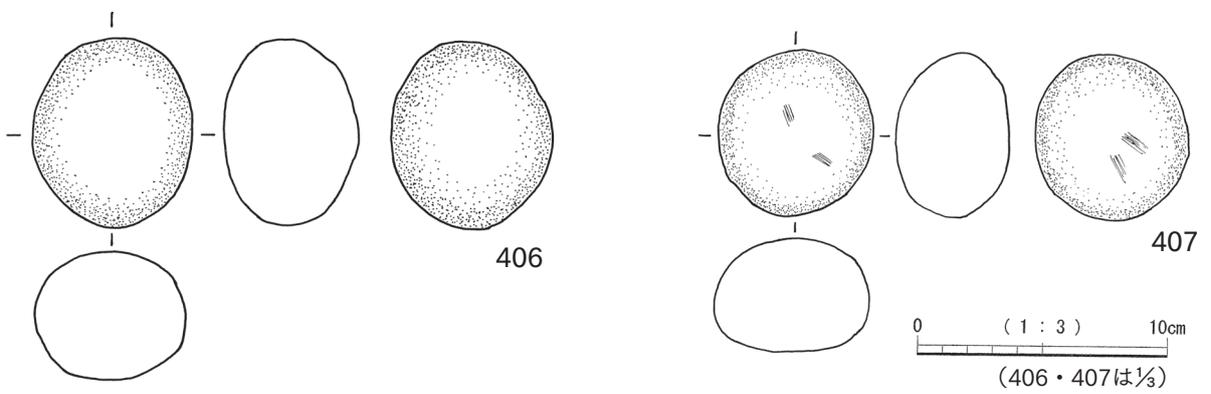
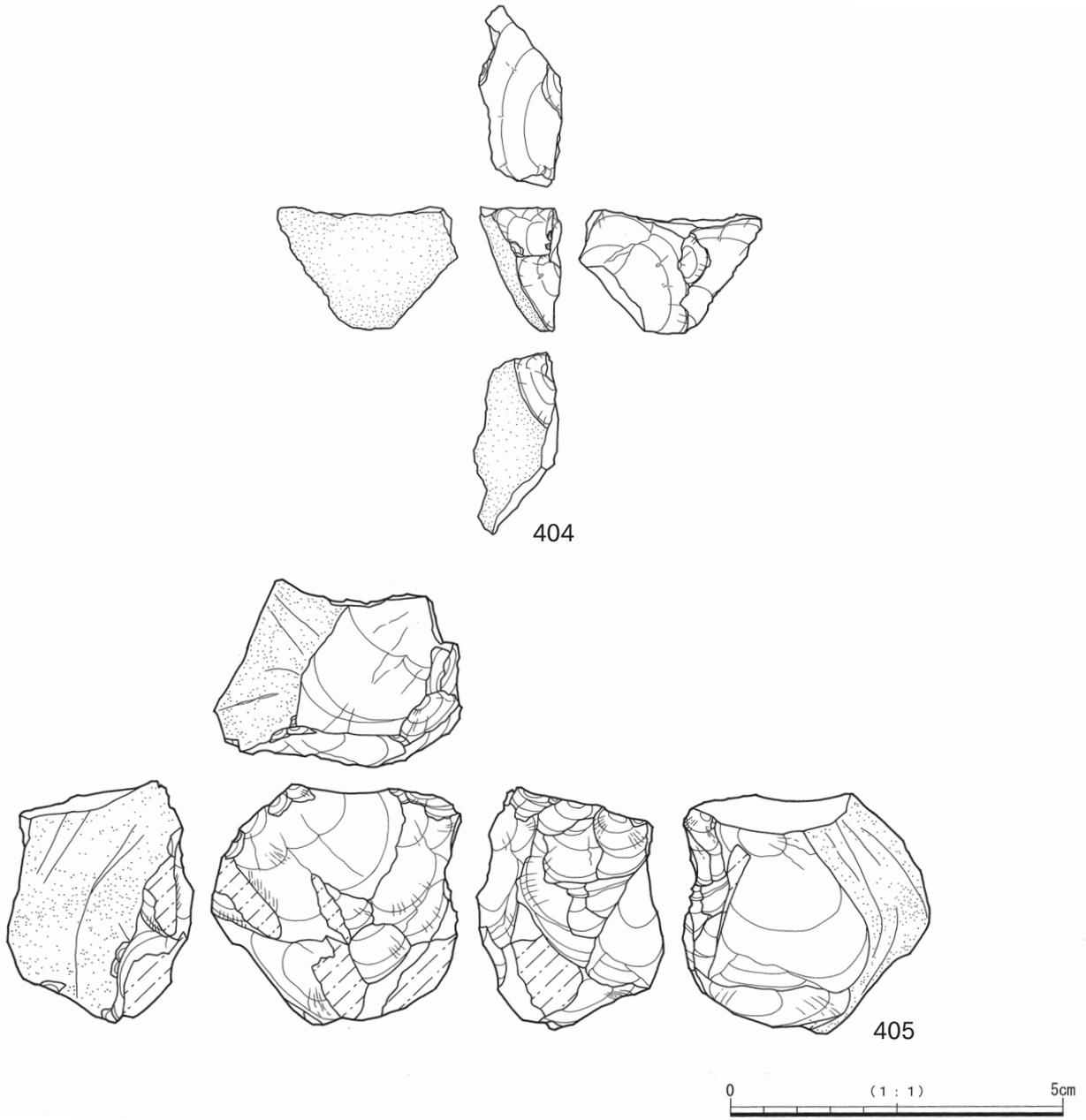
第139図 IX層ブロック30出土遺物



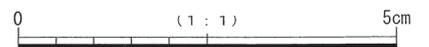
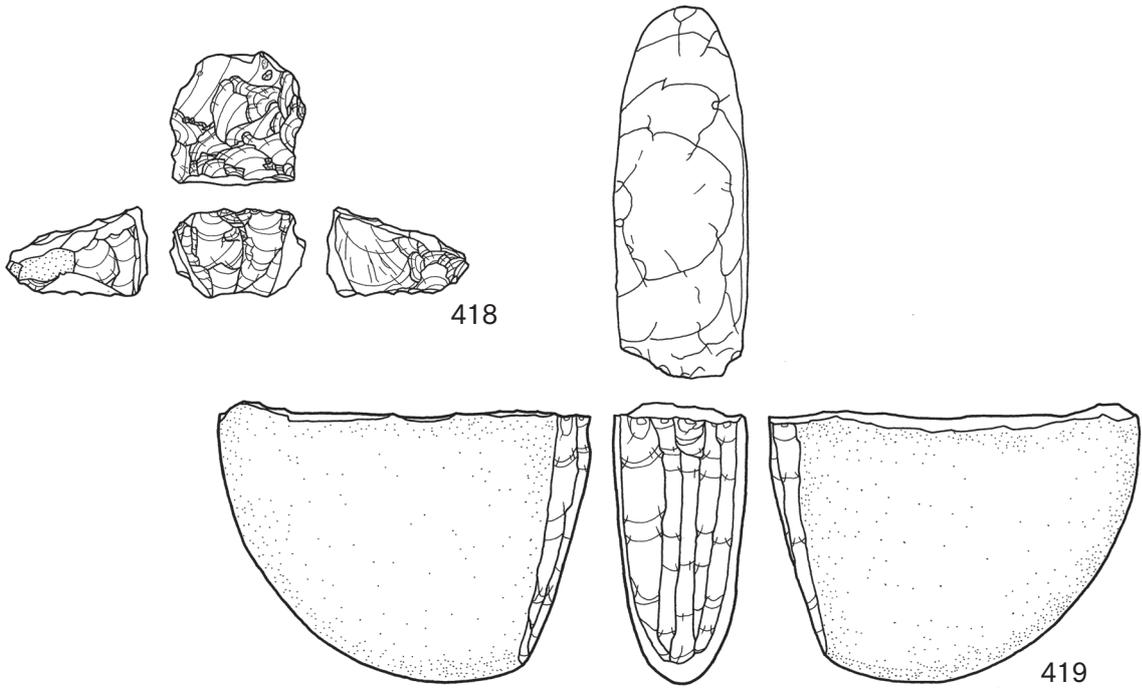
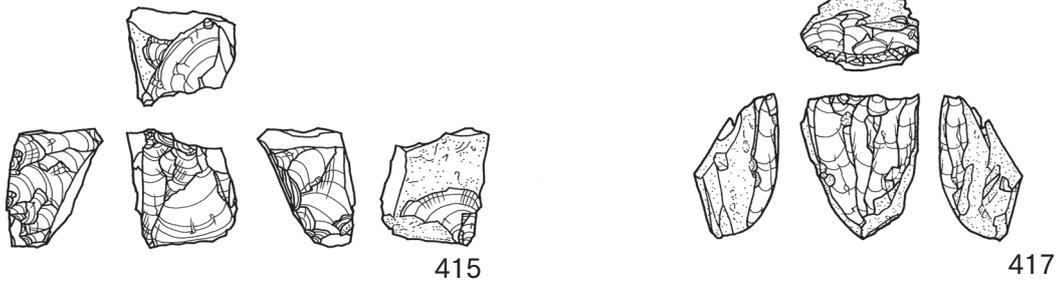
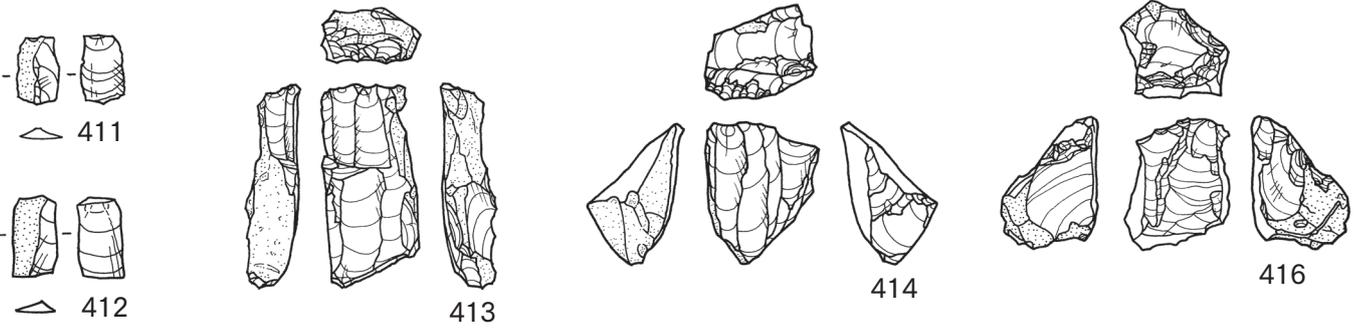
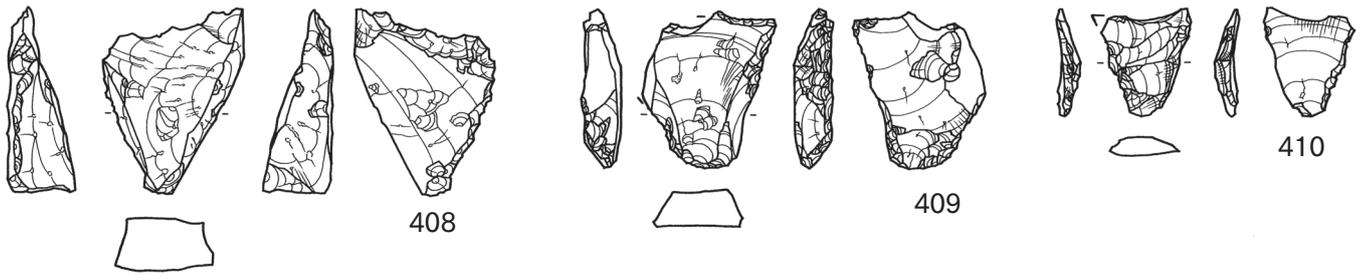
第140図 IX層ブロック31出土遺物



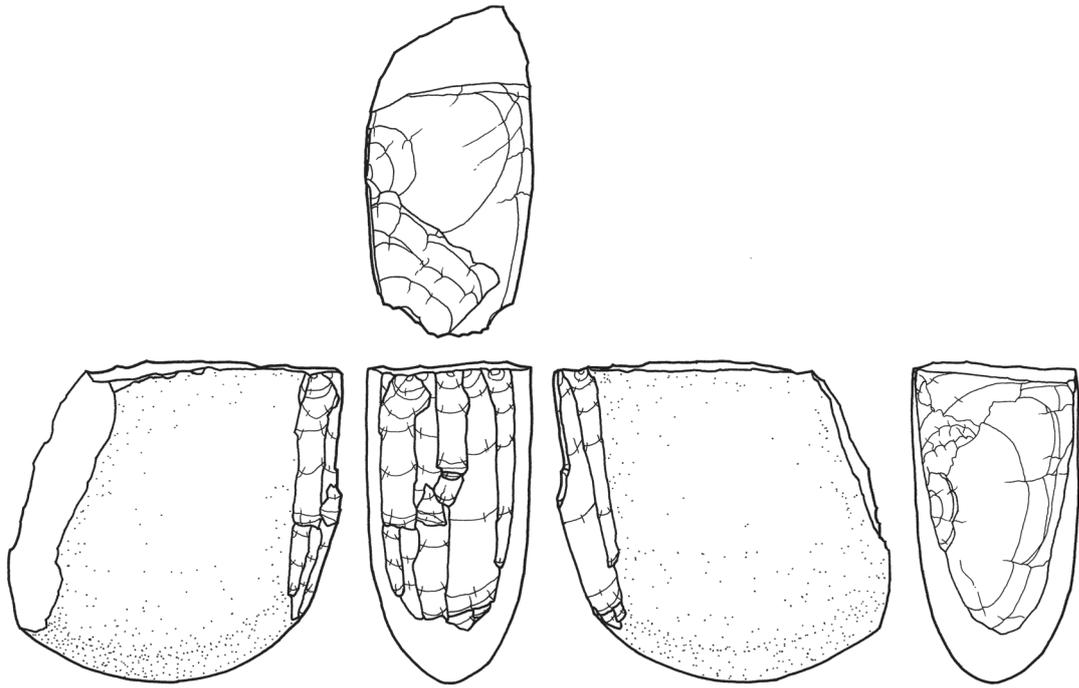
第141図 IX層ブロック32出土遺物1



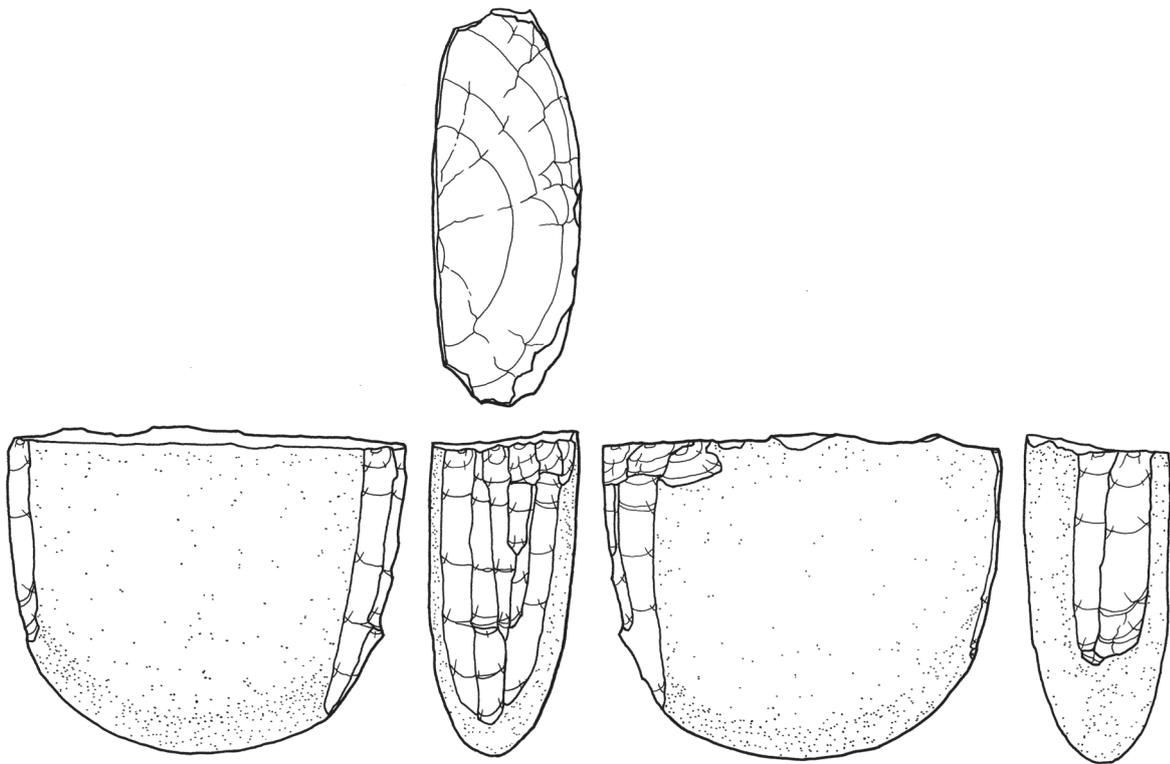
第142図 IX層ブロック32出土遺物2



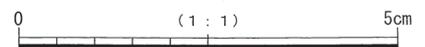
第143図 IX層ブロック33出土遺物1



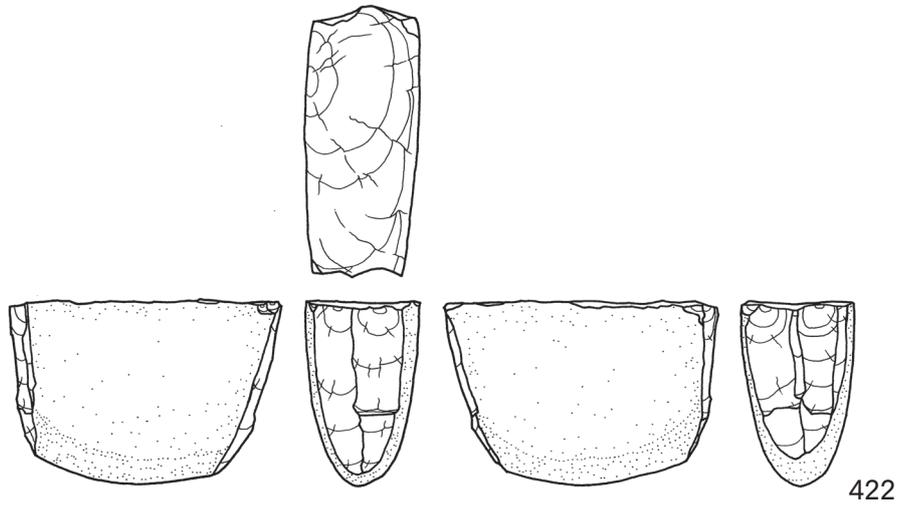
420



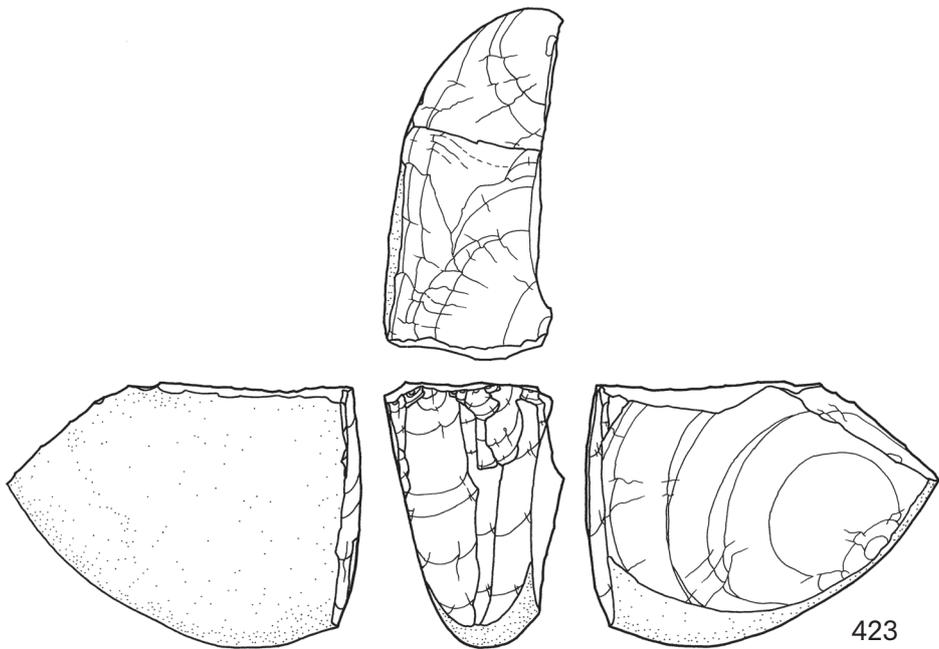
421



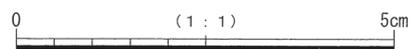
第144図 IX層ブロック33出土遺物2



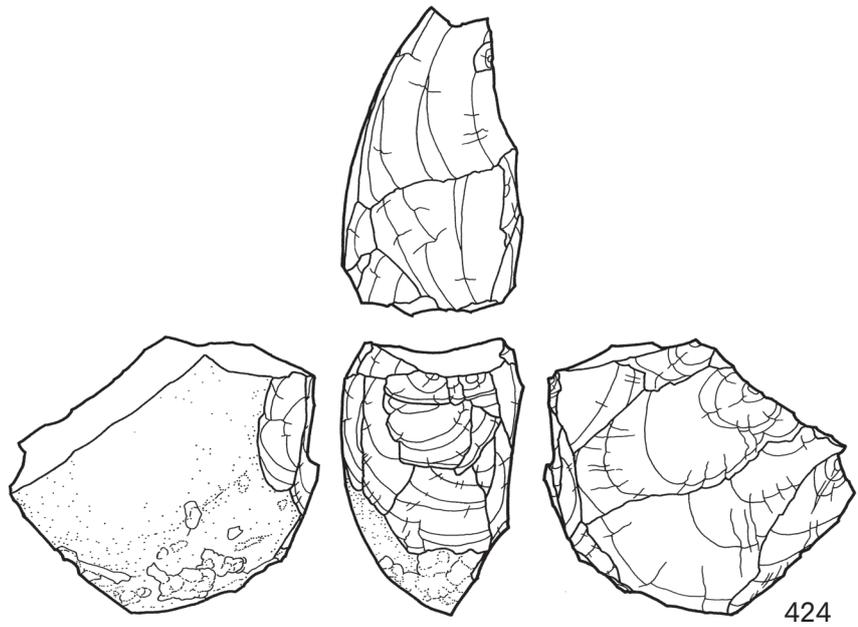
422



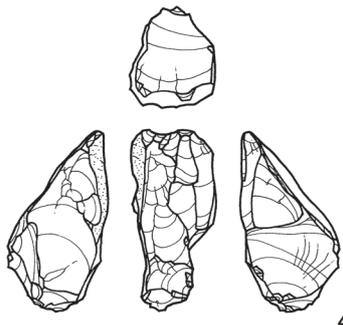
423



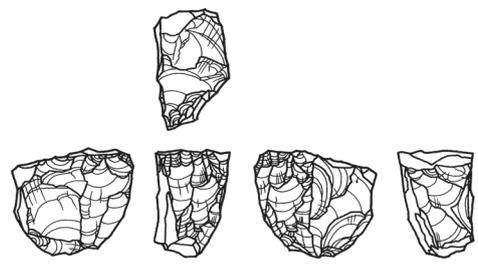
第145図 IX層ブロック33出土遺物3



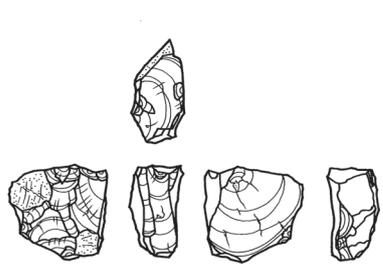
424



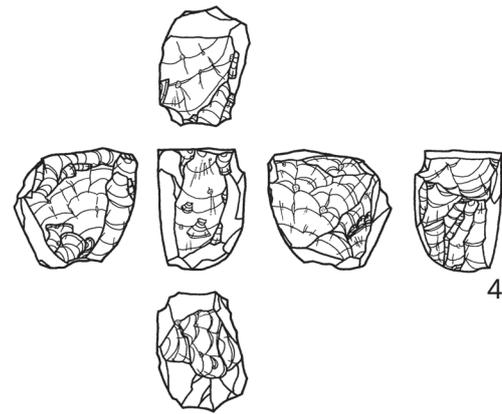
425



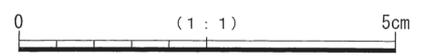
426



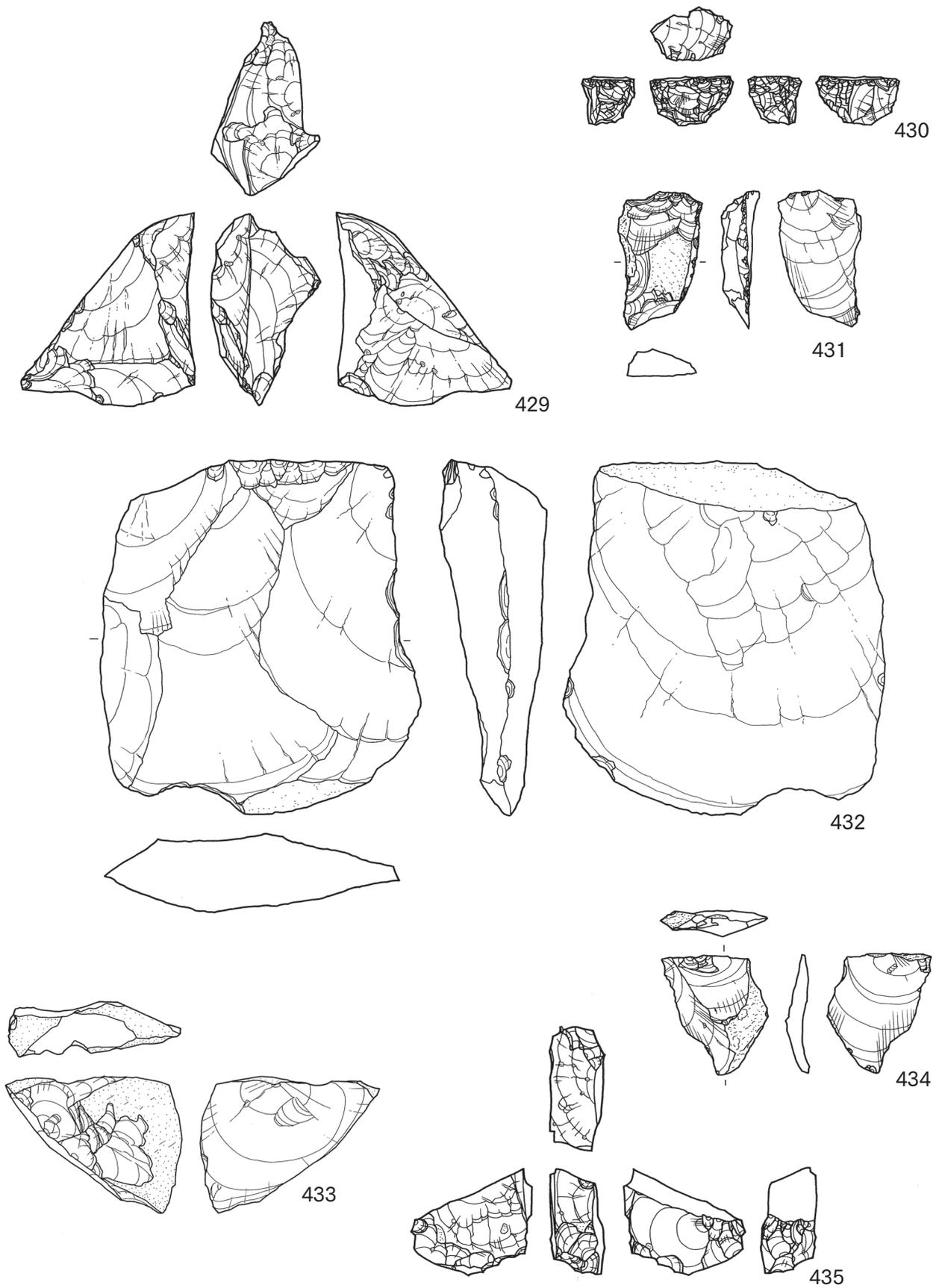
427



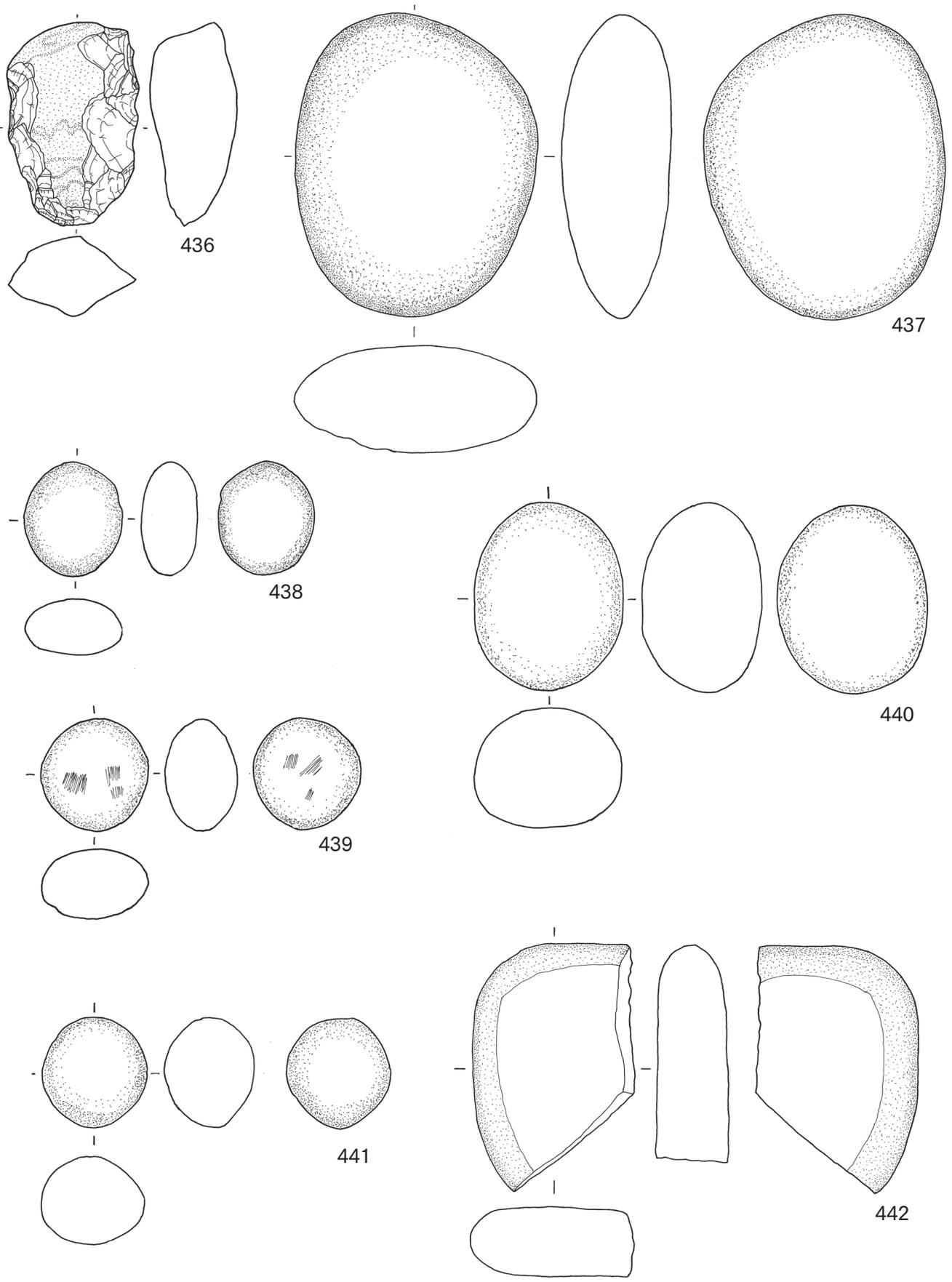
428



第146図 IX層ブロック33出土遺物4

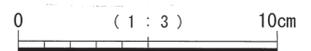
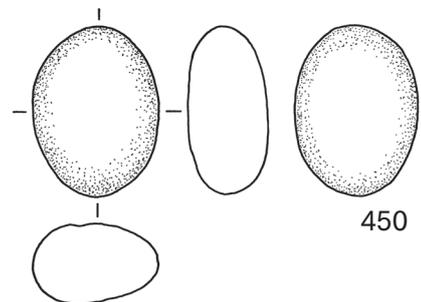
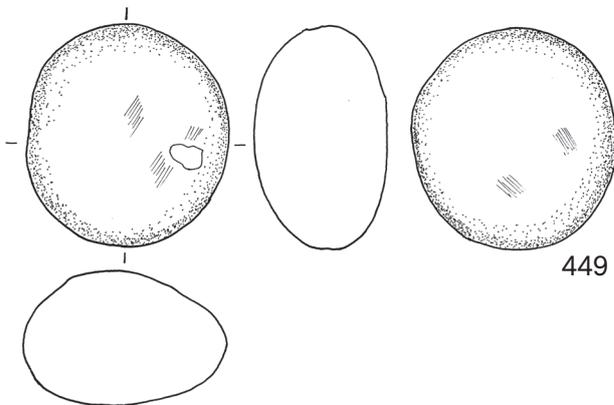
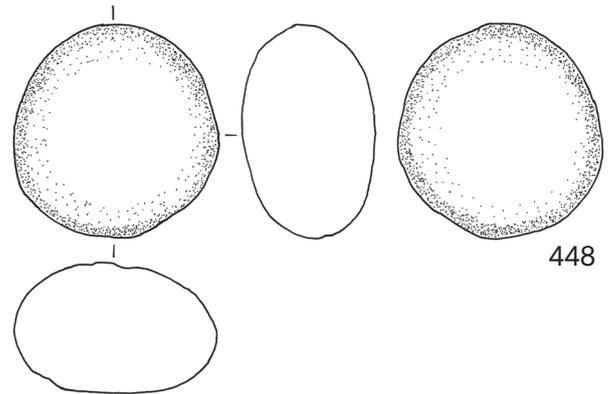
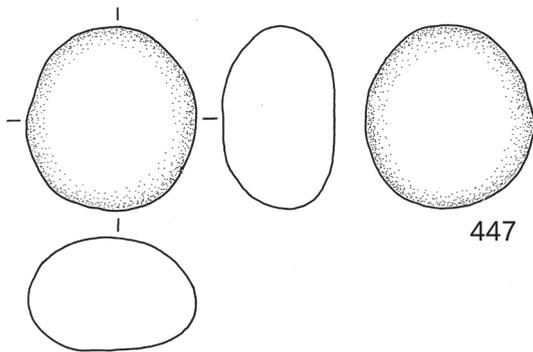
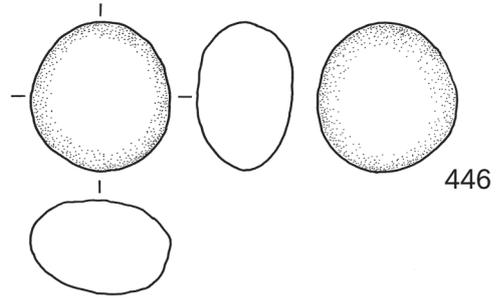
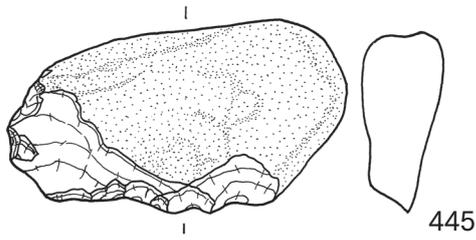
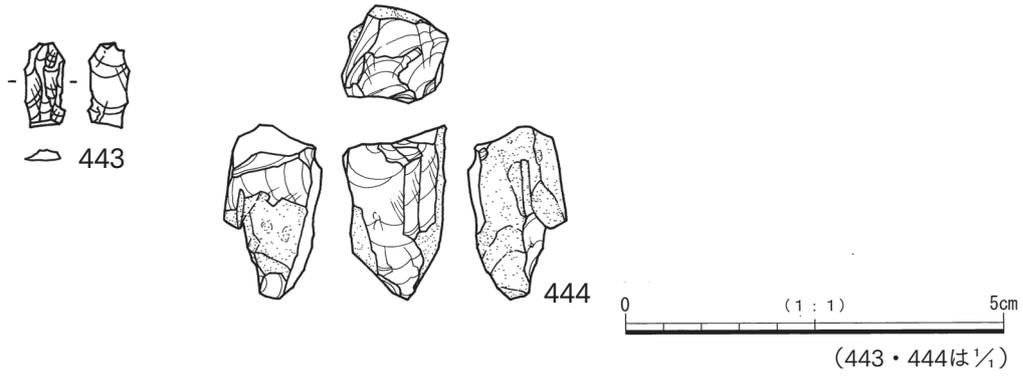


第147図 IX層ブロック33出土遺物5

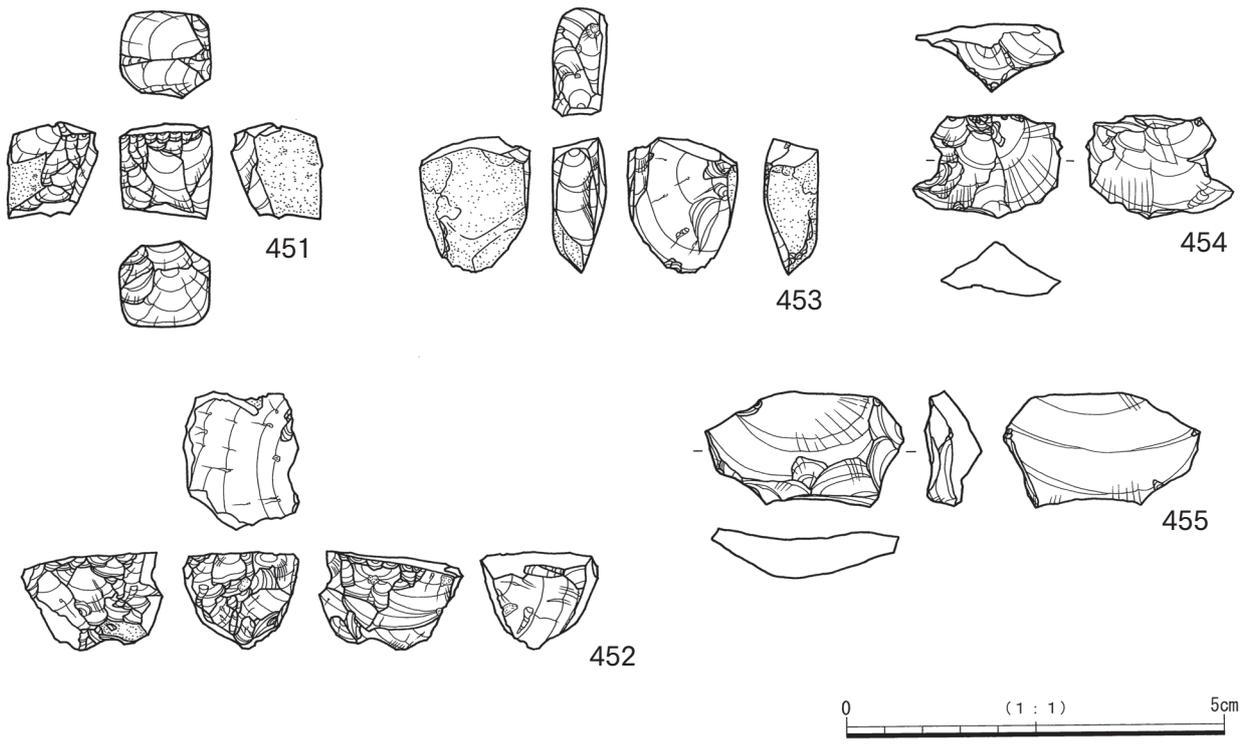


第148図 IX層ブロック33出土遺物6

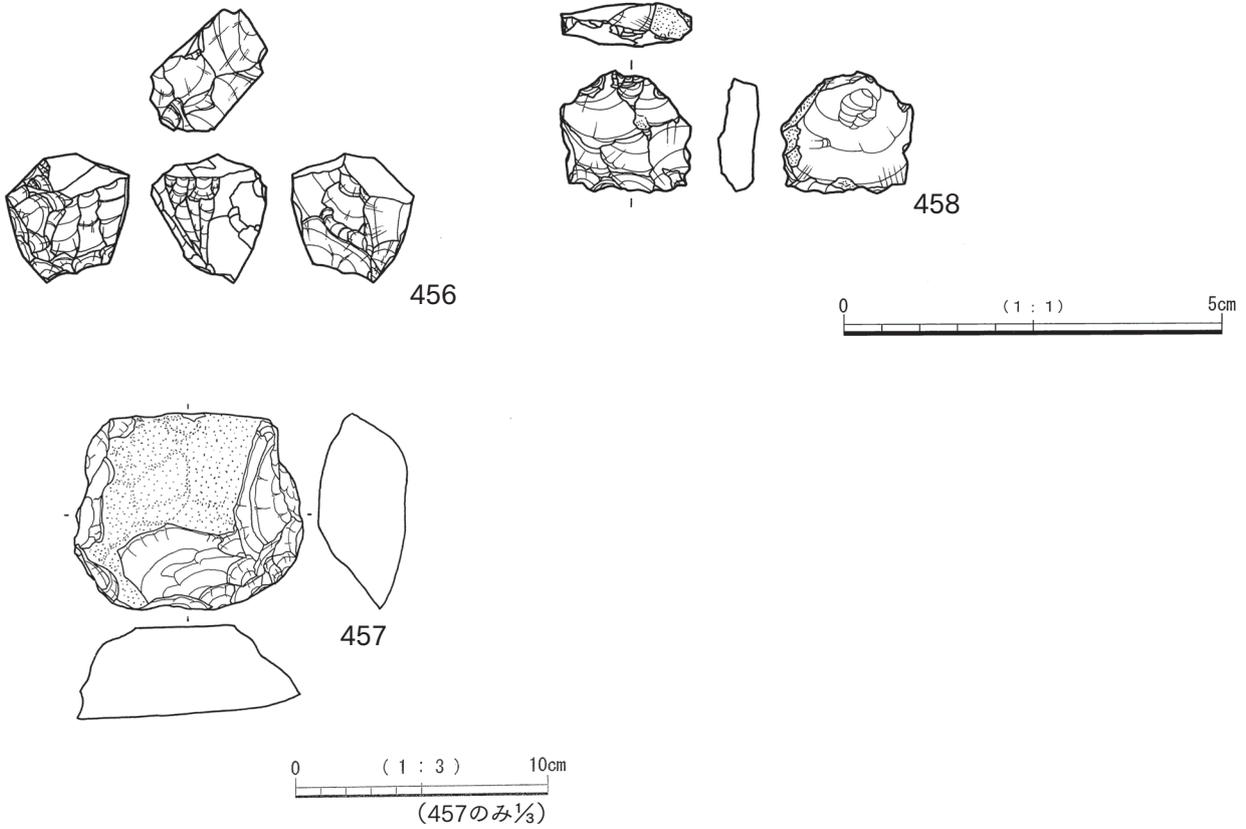
0 (1:3) 10cm



第149図 IX層ブロック34出土遺物



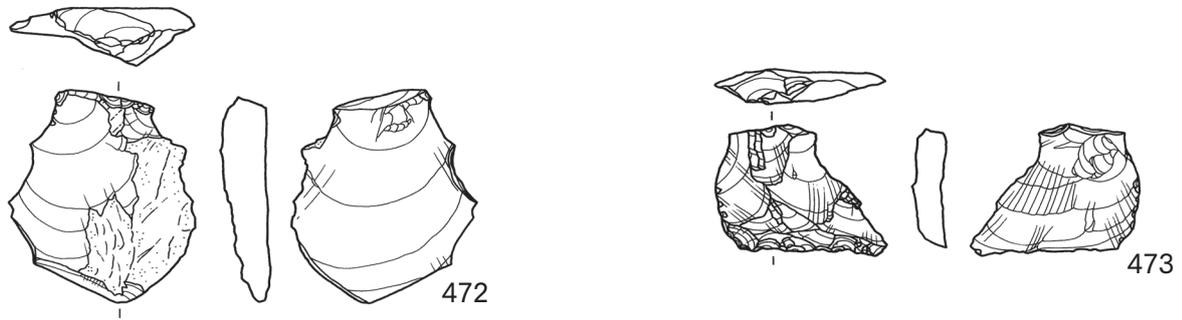
第150図 IX層ブロック35出土遺物



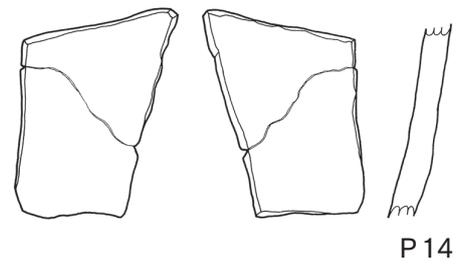
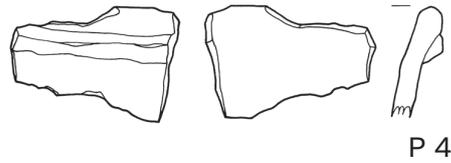
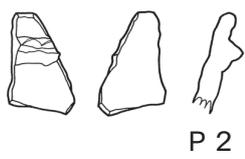
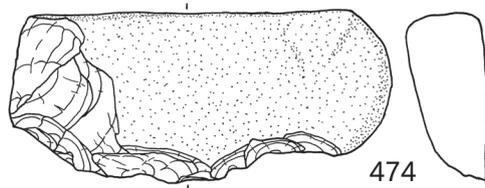
第151図 IX層ブロック36出土遺物



第152図 IX層ブロック37出土遺物1



0 (1 : 1) 5cm
 (472・473は $\frac{1}{4}$)



0 (1 : 3) 10cm

第153図 IX層ブロック37出土遺物2

包含層出土遺物(第154～177図)

接合資料(第154図)

接合資料10は細石刃核1点と剥片1点の計2点の接合資料である。接26は細石刃核であり、接27は剥片である。石材は頁岩Eであり、素材は分割礫である。接合資料10は作業面側から打面作出が行われた後に、打面調整は施されずに細石刃剥離が行われている。接27は接26の打面に接合する剥片であり、接26の左側面側から剥出されている。細石刃核は1c類に分類される。

接合資料11は細石刃核1点と剥片1点の計2点の接合資料であり、接28は剥片である。接29は細石刃核であるが、細石刃剥離面は1枚しか確認できず、継続した細石刃剥離が行われていない点から、石核等の可能性がある。石材は頁岩Aであり、楕円礫を素材としている。接合資料11は素材を短軸方向に沿って分割した面を打面としており、打面調整は施されない。背面は分割面であり、背面を打面として接28の剥片が剥出されている。左側面には上面や背面を打面とした剥離面が観察されるが、先述したように細石刃剥離が継続して行われていない点を考慮すると、これらの剥離面は側面調整ではなく素材剥片の剥出による剥離痕とも考えられ、この場合は石核に分類される。

ナイフ形石器(第155・156図)

475～482はナイフ形石器である。475の石材は頁岩Gである。二側縁加工のナイフ形石器で、素材となる縦長の剥片の末端側を基部に据え、両側縁に丁寧なブランディングが施されている。右側縁上半に位置する刃部には剥離角度の緩やかな二次加工が施されており、抉りの浅い鋸歯状を呈している。刃部先端及び基部の一部を欠損している。476の石材は頁岩Aである。横長の剥片の打面部と末端部に、腹面側から丁寧なブランディングが施されて整形されている。477の石材は頁岩Dであり、自然面を有する横長の剥片を素材としている。素材を横位に用いており、素材のバルブの厚みを平坦剥離により除去した後に、素材の打面部が折断されている。ブランディングは部分的に施されるのみである。基部を欠損している。478の石材は黒曜石Dであり、剥片を素材とする。素材の打面を先端部に据えており、主に片側の側縁に急角度のブランディングが施されている。左側縁上半に位置する刃部には微細な剥離痕が見られる。479の石材は頁岩Dである。扁平で横長の剥片を素材としており、素材の打面部及び末端部にブランディングが施されている。刃部を欠損している。480の石材は泥岩である。縦長の剥片を素材とし、素材の打面部を基部に据えているが、風化が著しくブランディングの状態は不明瞭である。正面左半には自然面が一部残る。下面は素材の打面である。481の石材は頁岩Dであり、節理面を有する剥片を素材とする。ブランディングはほとんど施されず、素材

の打面部及び末端部に部分的に二次加工が施されて整形されている。刃部には刃こぼれ状の微細な剥離痕が確認できる。482の石材は砂岩Aである。薄手で縦長の剥片を素材とし、素材の打面を基部に据えている。先端部～左側縁の中程にかけて欠損している。ブランディングは基部左側に施されている。

角錐状石器(第156・157図)

483～487は角錐状石器である。483の石材は頁岩Aである。自然面を有する横長の剥片を素材とし、腹面側から丁寧な二次加工が施されて整形されており、つまみ状に加工された基部が特徴的である。稜上調整も確認できる。484の石材は頁岩Aである。裏面には平坦剥離が施されており、基部の両側は浅い抉りをもつように整形されている。485の石材は黒曜石Bである。左側縁から基部にかけては裏面側から二次加工が施されているが、右側縁は基部側からの単剥離により整形されている。尖頭部を欠損しており、裏面上半に見られる上面側からの剥離面は尖頭部欠失時に伴った剥離面と考えられる。486の石材は黒曜石Cである。横長の剥片を用い、素材の打面部と末端部に急角度の二次加工が施されて整形されている。裏面の上半には平坦剥離が施されている。表面にはパティナの異なる剥離面が見られる。487の石材は黒曜石Bである。素材の腹面側から二次加工が施されて整形されており、部分的に稜上調整も確認できる。先端部の一部を欠損している。

尖頭器(第157図)

488・489は尖頭器である。488の石材は頁岩Dである。平坦剥離による調整は見られないが、両側縁に急傾斜の剥離が施されている。典型的ではないが、関連資料として掲載した。489の石材は頁岩Dである。横長の剥片を素材とし、比較的大きめの剥離による両面加工で整形されている。尖頭部を欠損している。

台形石器(第157図)

490～496は台形石器である。490の石材は黒曜石Bである。横長の剥片を素材とし、素材の末端側を刃部に据えている。形状は逆台形状を呈する。右側縁は折断加工であり、左側縁にはブランディングが施されている。491の石材は黒曜石Bであり、素材の打面部及び末端部には丁寧なブランディングが施されている。492の石材は黒曜石Bである。両側縁ともに折断加工が施されている。基部は左右非対称であり、部分的に欠損している可能性がある。493の石材は黒曜石Bである。左側縁は折断加工であり、右側縁は裏面側からブランディングが施されている。494の石材は黒曜石Cであり、図化した台形石器の中で最も小型である。両側縁には表面側からのブランディングが施されている。495の石材は黒曜石Cであり、丁寧に基部が作り出されている。台形石器に分類しているが、ナイフ形石器の可能性もある。496の石

材は黒曜石Bであり、横長の剥片を素材とする。素材の打面部と末端部に腹面側からブランディングが施されている。

細石刃(第158図)

497～505は細石刃である。497の石材は黒曜石Bで、明確な頭部調整の痕跡は見られなかった。498の石材は黒曜石Bである。背面の一部に自然面を残す。499の石材は黒曜石Cであり、上面及び上下面で折断されている。500の石材は黒曜石Cである。上面及び上下面で折断されている。501の石材は玉髓Aである。また、明確な頭部調整の痕跡は見られなかった。下面は折断されており、背面の一部に自然面を残している。502の石材は黒曜石Cである。明確な頭部調整の痕跡は見られなかった。下面は、折断されている。503の石材は黒曜石Cで、形状はやや方形を呈する。下面が折断されている。背面と腹面で剥離方向が逆になっている。504の石材は黒曜石Cで、明確な頭部調整の痕跡は見られなかった。505の石材は頁岩Eで、下面が折断されている。

細石刃核(第158～163図)

506～534は細石刃核であり、506～509は1 a 類、510は1 b 類、511～521は1 c 類、522は3 a 類、523～526は3 a - 2 類、527は3 b 類、528～531は4 類、532は5 a 類、533・534は5 b 類である。506の石材は黒曜石Cであり、小型の角礫を素材としている。打面は作業面側から作出されており、最後に剥出された細石刃長は1.2cm 前後を測る。下面及び左側面に自然面を残す。507の石材は水晶Aである。打面は背面側から作出されており、背面側に傾斜している。背面に見られる打面側からの剥離面はほぼ平行していることから、先行する作業面の可能性がある。508の石材は黒曜石Aである。打面は背面側に傾斜した打面となっており、打面作出後に両側面側から背面調整が施されている。509の石材は頁岩Eであり、分割礫あるいは剥片を素材とする。両側面には素材の剥離面を据えており、打面は多方向からの剥離によって作出されている。作業面下部には自然面が残る。510の石材は黒曜石Cであり、角礫を素材とする。右側面及び背面に自然面を大きく残しており、作業面側から打面作出後に細石刃剥離が行われている。左側面に見られる下側からの剥離面は細石刃剥離に後出しており、細石刃剥離作業後のイレギュラーな剥離と考えられる。511の石材は黒曜石Dである。背縁を有しており上面観が五角形状を呈する。打面は作業面側から作出されており、打面と作業面の成す角度は直角に近い。右側面には素材の剥離面が残る。512の石材は黒曜石Bである。角礫を素材としており、打面は多方向からの剥離により作出されている。下面に見られる剥離面は背面側からの平行する剥離面となっていることから、先行する細石刃剥離面の可能性もある。両側面に自然面を残して

おり、左側面下半には「パンチ痕」状の打撃痕が見られる。513の石材は頁岩Eであり、分割礫あるいはやや厚みのある剥片を素材とする。左側面に素材の剥離面を据えており、打面は多方向からの剥離によって作出されている。右側面及び背面には打面上及び下縁側からの石核調整が施されており、背面には部分的に自然面を残している。細石刃剥離面には階段状剥離痕が見られる。514の石材は黒曜石Cである。両側面に素材の剥離面を据えており、側面側から打面が作出された後に作業面側から打面調整が施されて細石刃剥離が行われている。右側面には自然面である下面側からややバルブの発達した大きめの剥離が施されている。515の石材は黒曜石Bであり、節理面を有する礫を素材とする。打面の作出及び打面調整は作業面側から行われており、正面に3枚の細石刃剥離面が確認できる。516の石材は黒曜石Dであり、小型の角礫を素材とする。打面は作業面側から作出されており、背面側に傾斜している。背面の左半から下面にかけては自然面が残る。517の石材は黒曜石Bであり、礫を素材とする。打面は多方向からの剥離により平坦に作出されており、打面調整が施されて細石刃剥離が行われている。また、細石刃剥離に先立ち、両側面に石核調整が施されている。518の石材は黒曜石Bであり、礫を素材とする。打面は多方向からの剥離で作出されており、傾斜した打面となっている。下面は左側面側からの単剥離面である。519の石材は黒曜石Aであり、剥片を素材とする。打面は作業面側からの単剥離面であり、打面調整は施されない。最終作業面長は1.0cm 前後である。520の石材は黒曜石Dであり、小角礫を素材とする。打面は右側面側から作出されており、両側面に石核調整が施されている。左側面に見られる背面側からの剥離面はネガティブな面である。521の石材は黒曜石Bであり、打面は作業面側から作出されている。石核調整は、右側面は打面上から、左側面は下面側から施されている。522の石材は砂岩Aであり、扁平な楕円礫を素材とする。打面は右側面側から作出されており、素材の小口から細石刃剥離が行われている。523の石材は砂岩Aである。表・裏の両面に作業面が設定されている。作業面末端は近接しており、正面には階段状剥離痕が残る。IV a 層出土の資料である。524の石材は頁岩Aである。扁平な楕円礫が素材である。作業面が表・裏の両面に作業面が設定されている。525の石材は頁岩Aである。打面は多方向剥離により作出されているが、平滑ではなく起伏が見られる。表・裏の両面に作業面が設定されているが、正面の細石刃剥離面には打点が見られないことから、打面再生が行われている。526の石材は頁岩Aであり、扁平な分割礫を素材とする。打面は横方向からの分割面であり打面調整は施されない。作業面は正面及び背面の2面に設定されているが、背面の剥離面は正面やや不整であり石

核調整の可能性もある。右側面下端に見られる剥離面は、被熱による割れと思われる。527の石材は頁岩Aであり、扁平な楕円礫を素材とする。分割面を打面としており、打面調整は施されずに細石刃剥離が行われている。背面には打面上からの槌状剥離が3面程確認でき、尾縁の調整剥離と切り合いが見られる。背面の細石刃剥離が二次加工に先行していることから、背面での細石刃剥離後に左側面の分割が行われ、その後、左側面に背面側から調整剥離が施されたと考えられる。素材の利用方法や打面作出の特徴は3a類的であるが、左側面に分割面を持つ点や石核調整と考えられる尾縁の剥離が施される点は3a類とは異なるため、3b類に分類した。528の石材は黒曜石Bであり、厚みのある剥片を素材とする。素材の縁辺を下縁に据え、右側面側からの連続した剥離により打面が作出されている。右側面に見られる上面側からの剥離面は、他の剥離面とパティナが異なり、擦りガラス状を呈している。529の石材は黒曜石Bであり、素材の縁辺を下縁に据えている。打面は右側面側から作出されており打面調整は施されない。細石刃剥離面は1面のみ確認できる。530の石材は黒曜石Aであり、やや扁平な礫を素材とする。打面は右側面側から作出されて左側面側に傾斜している。両側面には自然面を残しており、背面に側面側から石核調整が施されている。531の石材は黒曜石Dであり、分割礫あるいは厚みのある剥片を素材とする。打面は作業面側及び左側面側から作出されており、両側面とも打面上から石核調整が施されている。右側面右半には素材の剥離面を、下面には自然面を残している。532の石材は黒曜石Cである。両側面に素材の剥離面を据えているが、他の剥離面とはパティナが異なっている。打面は左側面及び作業面側から作出されており、素材の小口面から細石刃剥離が行われている。533の石材は黒曜石Bであり、分割礫あるいは剥片を素材とする。打面は両側面側から作出されており、打面調整は施されない。細石刃幅がそのまま作業面幅となっている。下面には自然面を残す。534の石材は黒曜石Aであり、分割礫あるいは剥片を素材とする。打面は作業面側から作出されており、石核調整はほとんど施されずに細石刃剥離が行われている。右側面は自然面である。

細石刃核ブランク(第163図)

535～537は細石刃核ブランクである。535の石材は黒曜石Bである。礫あるいは自然面を有する厚みのある剥片を素材とし、多方向剥離により平坦面が作出されており、この平坦面を打面として表・裏面の両面に二次加工が施されている。1c類の細石刃核ブランクと考えられる。536の石材は黒曜石Bである。小型の亜角礫を単剥離により分割し、その分割面上から表・裏の両面に二次加工が施されており、側面観がゆるやかな「U」字状を呈している。2類の細石刃核ブランクと考えられる。537

の石材は黒曜石Bである。剥片を素材とする。左側面は素材の主要剥離面であり、下面は横方向から折断されている。上面は右側面側から連続した二次加工が施されており、右側面右半は背面側から二次加工が施されている。**打面再生剥片(第163図)**

538は打面再生剥片である。石材は頁岩Aであり、礫を素材とする。上面は細石刃核の打面であり、正面に2枚の細石刃剥離面が確認できる。下面は素材の主要剥離面である。

打製石鏃(第164図)

539～545は打製石鏃である。539の石材は安山岩であり、両側縁の中央がわずかに湾曲する二等辺三角形形状を呈する。左脚部を欠損する。540の石材は頁岩Aである。二等辺三角形形状を呈しており、先端部を欠損する。541の石材は玉髓Aであり、先端～右半部を欠損する。542の石材はチャートであり、上半部を欠損する。二次加工は比較的粗めであり、基部は凸基である。543の石材は頁岩Eであり、左脚端部を欠損する。544の石材は頁岩Eである。左半を欠損する。脚部の作り出しが不明瞭なため未製品の可能性がある。545の石材は安山岩であり、上半部を欠損する。裏面には素材の主要剥離面を残す。

削器(第164・165図)

546～549は削器である。546の石材は頁岩Bである。自然面を有する剥片の片側の側縁に、主に背面側から二次加工が施されて弧状を呈する刃部が作出されている。547の石材は頁岩Dである。節理面を有する横長の剥片を素材としており、片側の側縁に角度の浅い二次加工が施されて刃部が作出されている。ブロック2からの出土であるが、本項にて報告する。548の石材は黒曜石Eである。縦長の剥片の片側の側縁にやや角度の急な二次加工が連続して施されており、部分的にノッチ状を呈する刃部が作出されている。上面には素材の打面が残る。549の石材は安山岩であり、節理面を有する剥片を素材とする。左側面は自然面である。右側縁に表・裏の両面側から二次加工が施されて刃部が作出されている。正面中央に見られる空白箇所は新しい欠損であり、下半部は欠損と考えられる。

搔器(第165図)

550は搔器である。550の石材は黒曜石Aである。剥片の打面部と末端部を折断により除去し、片側の側縁に急角度の二次加工が施されて直線状の刃部が作出されている。

石錐(第165図)

551・552は石錐である。551の石材は頁岩Eである。不定形剥片を素材とし、素材の側縁部に表・裏の両面側から二次加工が施されて短い錐部が作出されている。552の石材は黒曜石Bである。縦長に近い剥片の打面部を折断し、折断面の端部に錐部が作出されている。

二次加工剥片(第165・166図)

553～557は二次加工剥片である。553の石材は、黒曜石Aである。横長の剥片を素材としている。左側面には二次加工が見られ、下面は折断されている。554の石材は、黒曜石Cである。素材の上部は折断され、折断面を打面とする二次加工が背面に見られる。555の石材は、水晶Aである。裏面の左下端に打面調整を施し、ここを打面として正面に平坦な調整剥離が施されている。また、正面右側縁上半と下縁に急斜度の二次加工が見られる。これらの調整により台形状に整形されている。裏面の右側縁には、摂理面を除去するためのやや幅広の加工が施されている。556の石材は、頁岩Dである。横長剥片を素材としている。左側縁の表裏に二次的な剥離が見られる。557の石材は頁岩Aである。上面が打面で、右側面の下部と下面に調整が見られる。

使用痕剥片(第166・167図)

558～563は使用痕剥片である。558の石材は頁岩Bで、上面と右側面に使用痕が見られる。559の石材は頁岩Bで、背面には自然面が残る。右側縁のほぼ全面と左側縁の中程に微細な使用痕が見られる。560の石材は安山岩で、横長剥片を素材としている。背面は、斉一性のない平坦剥離が施され、右側縁には微細な使用痕が見られる。下部は、欠損する。561の石材は黒曜石Cで、縦長剥片を素材としている。背面には、自然面が残る。右側縁に微細な使用痕が見られる。562の石材は黒曜石Bで、縦長剥片を素材としている。背面には、自然面が残る。左側縁に微細な使用痕が見られる。563の石材は頁岩Cで、縦長剥片を素材としている。両側縁に微細な使用痕が見られる。

剥片(第167～169図)

564～580は剥片である。564の石材は黒曜石Bである。背面に先行する剥片が残る。565の石材は黒曜石Bである。横長剥片で、下面は折断されている。566の石材は黒曜石Bである。縦長剥片である。背面に自然面が残る。剥離方向に斉一性のない剥離が見られる。567の石材は黒曜石Bである。不定形剥片である。568の石材は黒曜石Bである。やや厚手の不定形剥片である。569の石材は黒曜石Bである。不定形剥片である。背面の一部に自然面が残る。上面に剥片の剥離痕が見られる。570の石材は黒曜石Bである。背面は剥離面となっており、下半は右側面を打面とする剥離、上半は上面を打面とする剥離が見られる。571の石材は黒曜石Bである。不定形剥片である。背面全面に自然面が残っている。572の石材は黒曜石Bである。やや厚手の不定形剥片である。背面に自然面が残る。上面で折断されている。573の石材は黒曜石Bである。不定形剥片である。打面は折断され、末端部が残存している。背面は剥離面となっている。574の石材は黒曜石Bである。左側面に自然面を残す。575

の石材は頁岩Aである。横長剥片で、右下側面に先行する剥離の痕跡が認められる。576は頁岩Gの不定形剥片である。上面から右側面に自然面が残る。577は頁岩Eの不定形剥片である。節理面が多く残る石核から、上面からの加撃によって剥出されている。578は玉髓Aの縦長剥片である。背面には自然面が残る。上面には打面調整の痕跡が見られる。579はチャートの不定形剥片である。背面の剥離方向に斉一性がない。580は玉髓Bのやや厚みのある剥片で、上面は自然面打面となっている。

石核(第169～171図)

581～587は石核である。581の石材は玉髓Bで、形状は稜柱状を呈する。打面は、上面のみで一部に打面調整が見られる。剥離面は、正面と右側面で縦長の剥片を剥離しており、左側面には摂理面が見られる。582の石材は黒曜石Bで、最終の作業面は正面であるが、打面転位を繰り返しており、剥離方向に斉一性がない。剥離面と打面のなす角度がやや急である。583の石材は頁岩Cで、打面転位を繰り返し、複数の剥離面を形成している。一部には、打面調整が見られる。上面は、主要剥離面を打面としている。584の石材は砂岩Bの円礫で、打面は上面のみで、打面調整が施される。作業面は正面のみである。585の石材は頁岩Dで、打面転位を繰り返し、複数の剥離面を形成している。各剥離面でやや幅広の剥片を剥離している。また、打面の一部には、打面調整も認められる。上面は、主要剥離面を打面としている。586の石材は頁岩Aで、打面転位を繰り返し、複数の剥離面を形成している。各剥離面でやや幅広の剥片を剥離している。また、打面の一部には、打面調整も認められる。587の石材は頁岩Aで、自然面が残る部分も見られる。上下面に打面を作り出し、正面と裏面に横長剥片を剥離した剥離面が見られる。

磨製石斧(第172図)

588は磨製石斧である。588は頁岩Dの棒状の礫を素材としている。刃部は、欠損する。正面と右側面は、敲打整形が顕著に見られ、右側面と裏面には、剥離による整形が見られる。整形後には、全面に磨きが施される。裏面には、摂理面も見られる。

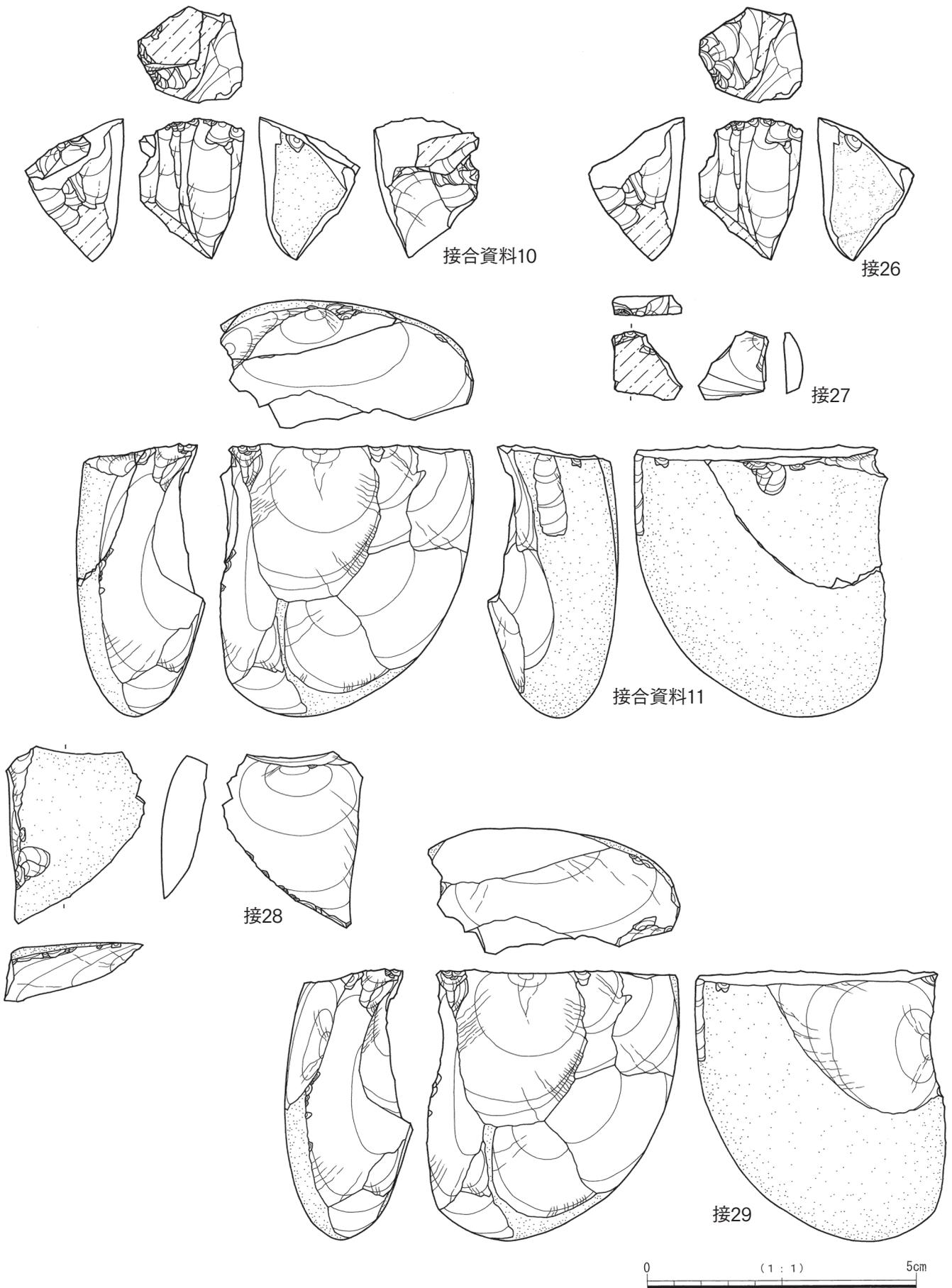
礫器(第172・173図)

589～595は礫器である。589の石材はホルンフェルスである。両側縁の一部に剥離整形、下縁に片面からの刃部調整が施される。側面は、両刃のような形状となっている。590の石材はホルンフェルスである。円礫を利用したもので、右側縁に1枚の剥離が見られ、下縁に片面からの粗い刃部調整が施される。591の石材はホルンフェルスである。上面を平坦に整形し、下縁の片面に細かい刃部調整が施される。592の石材はホルンフェルスである。やや小さめの礫を利用したもので、正面に大きな剥離で剥離整形を施した後に下縁には、片面からの丁

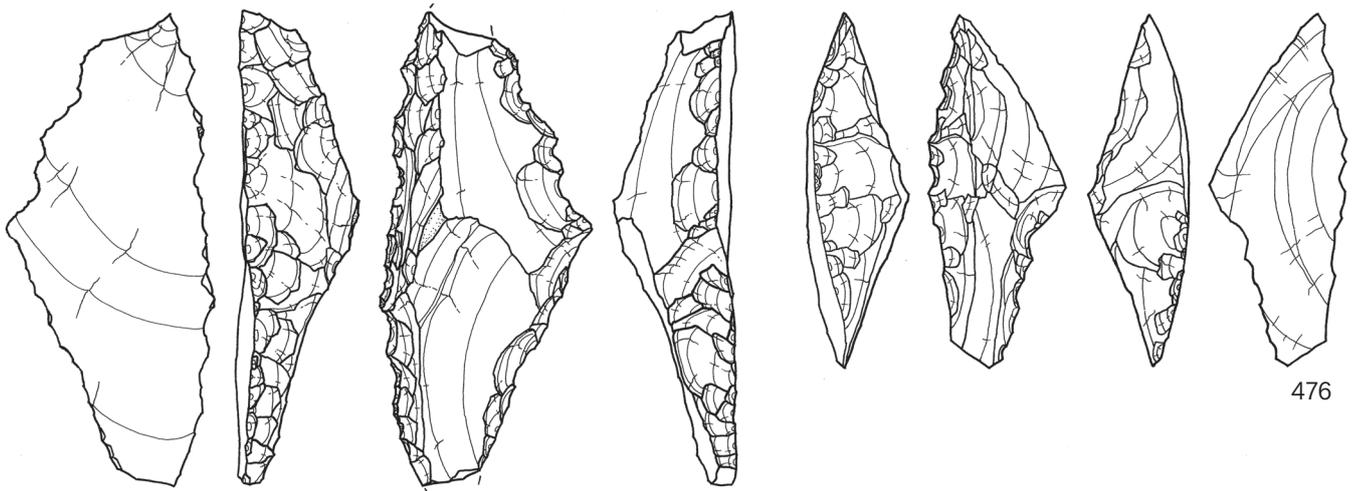
寧な刃部調整が施されている。593の石材はホルンフェルスである。片面に一部自然面を残す。上縁と両側縁には大きな剥離で調整を施した後、下縁には片面からの刃部調整が施される。594の石材はホルンフェルスである。やや小さめの礫を利用したもので、裏面に自然面を残す。正面は全面に斉一性のない剥離が見られ、下面の刃部は凸状に整形されている。595の石材はホルンフェルスである。周囲に丁寧な剥離整形が施され、下縁には一部両面からの刃部調整が見られる。刃部は、鋭利ではない。**磨石敲石(第174～177図)**

596～620は磨・敲石である。596の石材は安山岩である。径約4cmの円形を呈するもので、側縁全周に細かい敲打痕が認められる。磨石aに分類される。597の石材は内部が白色で外部が黒色を呈する頁岩Aで、上面には径2～3mmの敲打痕・上面側縁に細かい敲打痕が認められる。径約5cmの円形を呈する。598の石材は安山岩である。両面が良く磨られており、下面には細かな敲打痕が認められる。磨石aに分類される。599の石材は安山岩である。下面部に敲打痕が認められる。磨石aに分類される。600の石材は安山岩である。両面共によく磨られ、上面・表面に敲打痕が認められる。長さが10cmを超すやや大きいものである。磨石aに分類される。601の石材は安山岩である。両面共によく磨られているが敲打痕も認められる。長さが10cmを超すやや大きいものである。磨石aに分類される。602の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径が約6cmであり、両面共によく磨られている。603の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径が約6cmであり、両面共によく磨られている。604の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径が約7cmであり、両面共によく磨られている。605の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径が約7cmであり、両面共によく磨られている。606の石材はホルンフェルスである。円形を呈するもので磨石bに分類される。径約8cmであり、両面共によく磨られている。607の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径約9cmであり、両面共によく磨られている。608の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径約9cmであり、両面共によく磨られている。609の石材は安山岩である。円形を呈するもので磨石bに分類される。径10cmであり、両面共によく磨られている。610の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ5～6cmを測り、両面共によく磨られている。611の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ7cmを測り、両面共によく磨られている。612の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ5～6cmを測り、両面共

によく磨られている。613の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ7cmを測り、両面共によく磨られている。614の石材はホルンフェルスである。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ8cmを測り、両面共によく磨られている。615の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ10cmを測り、両面共によく磨られている。616の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ10cmを測り、両面共によく磨られている。617の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ10cmを測り、両面共によく磨られている。618の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ11.5cmを測り、両面共によく磨られている。器面の一部が剥落している。619の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ13cmを測り、両面共によく磨られている。下部の方が細くなる。620の石材は安山岩である。楕円形を呈するもので磨石cに分類される。長さ13cmを測り、両面共によく磨られている。

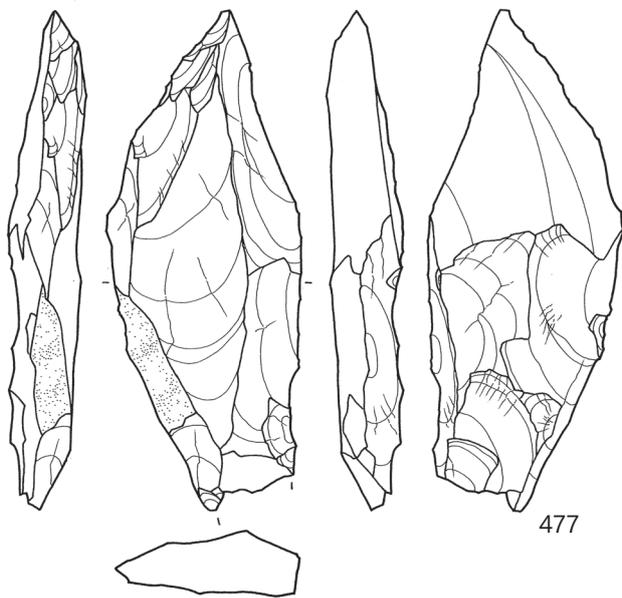


第154圖 IX層包含層出土遺物 1

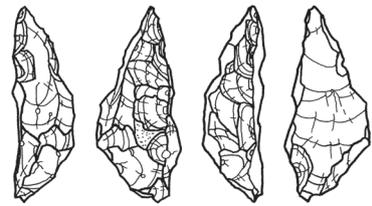


475

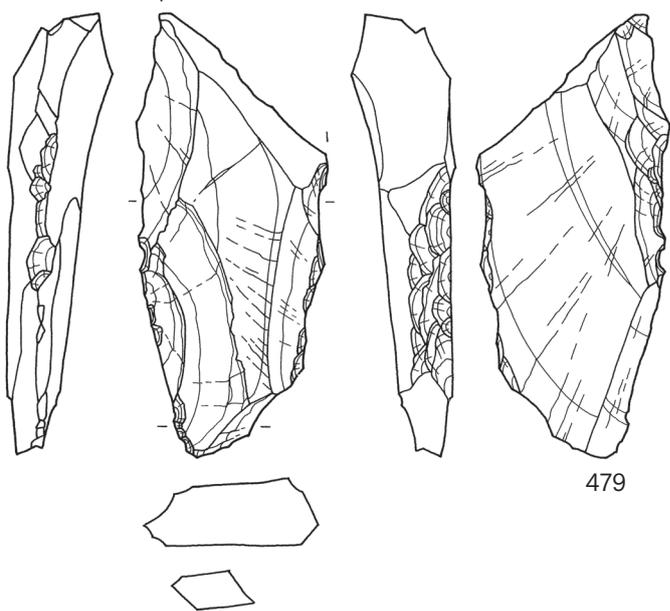
476



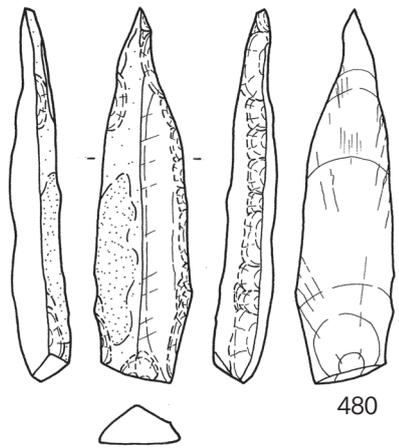
477



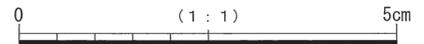
478



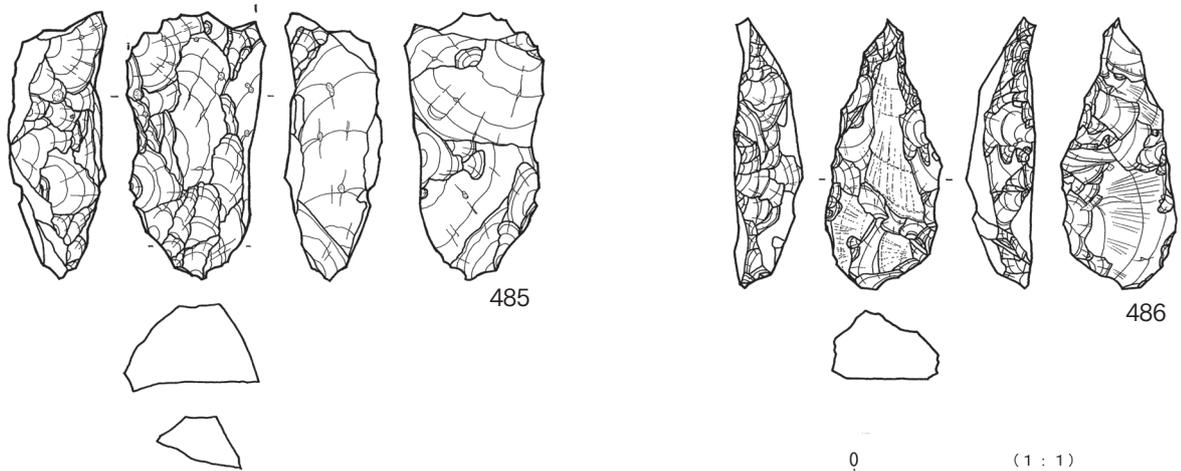
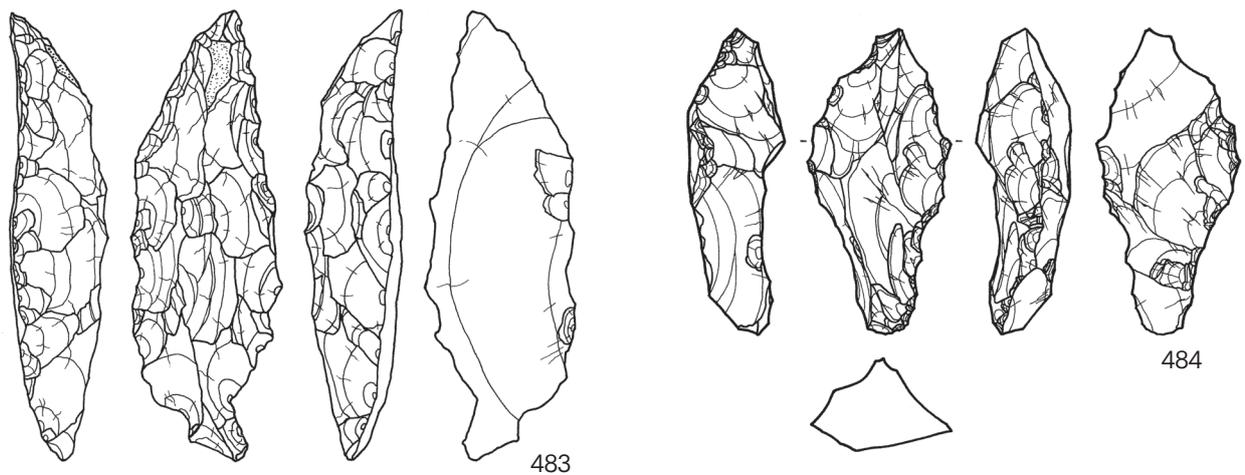
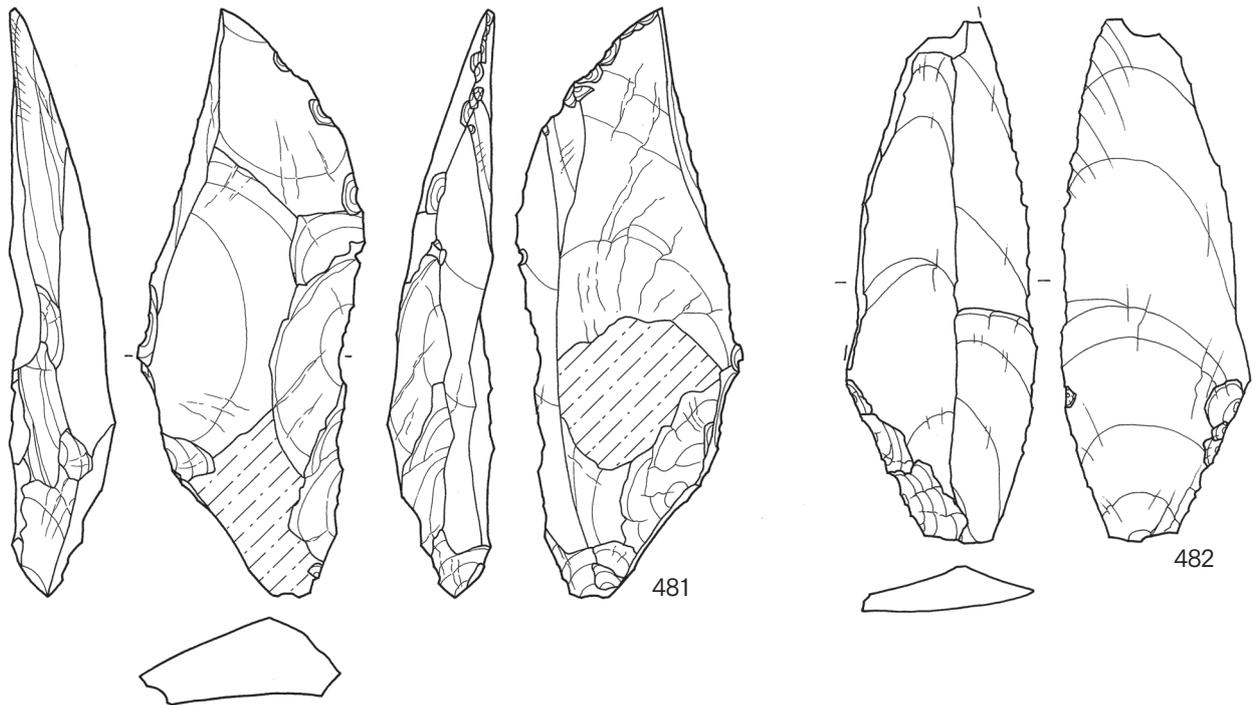
479



480

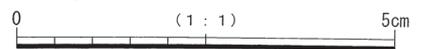
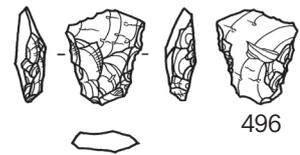
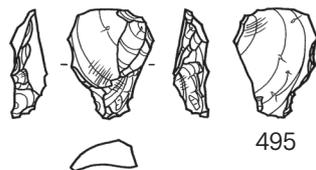
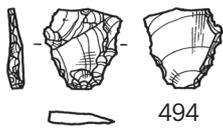
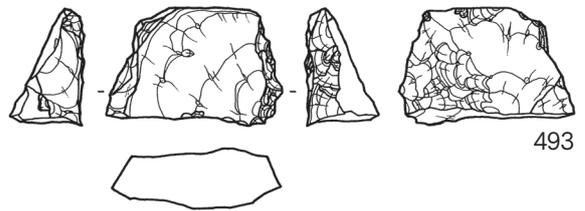
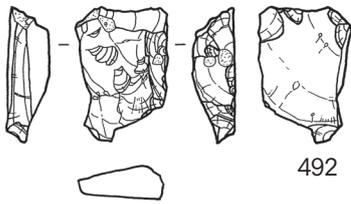
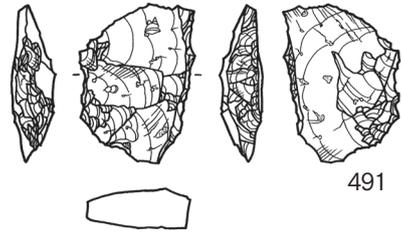
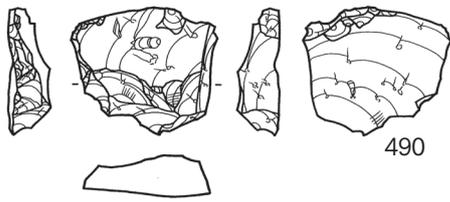
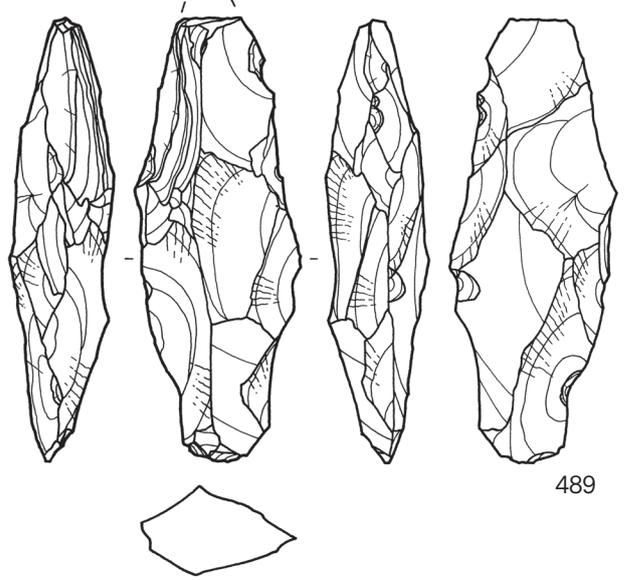
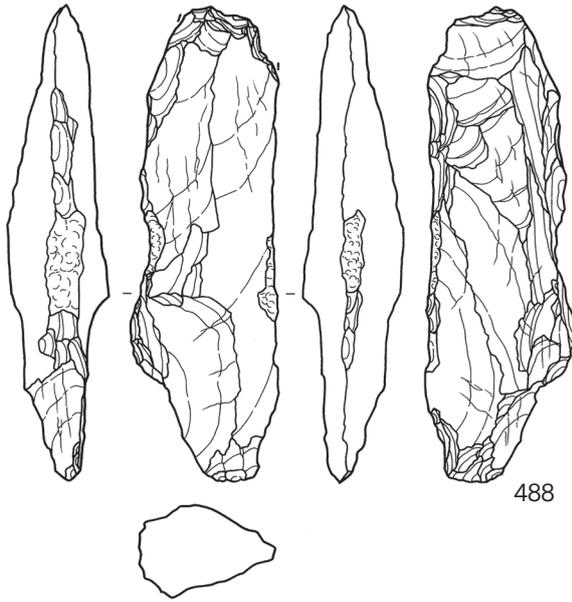
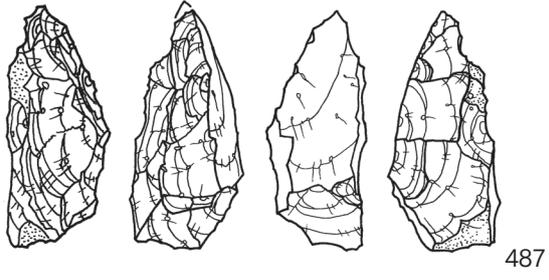


第155図 IX層包含層出土遺物2

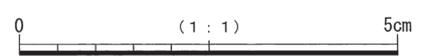
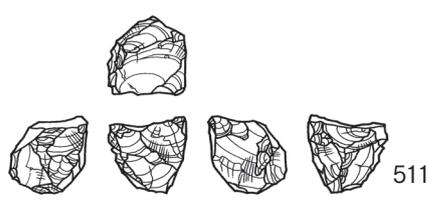
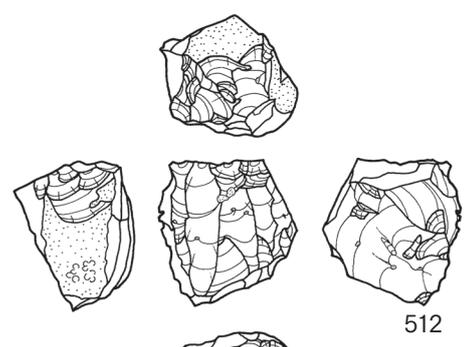
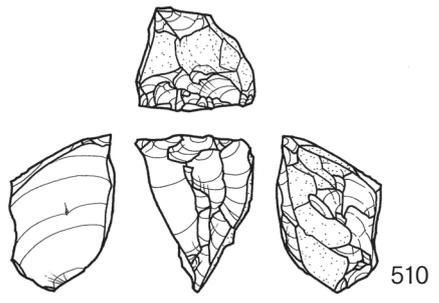
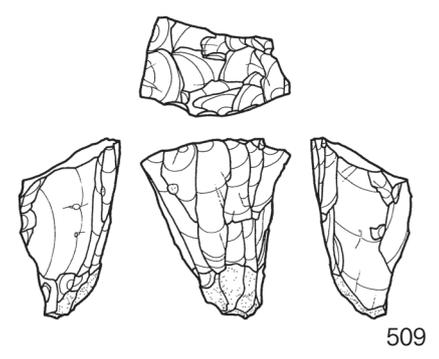
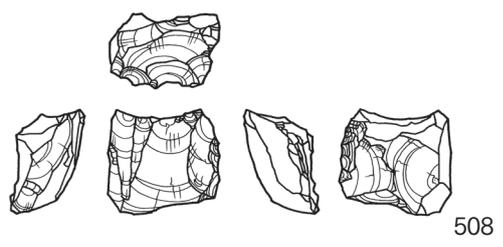
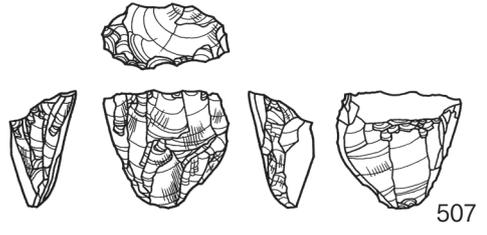
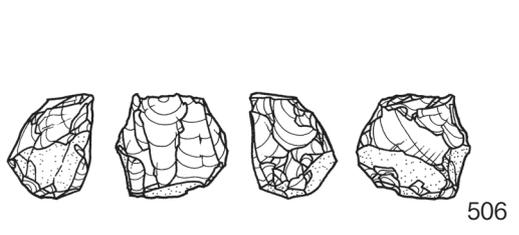
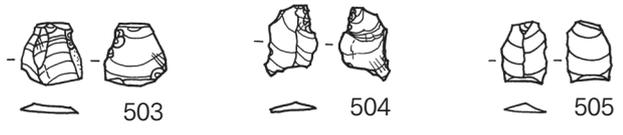
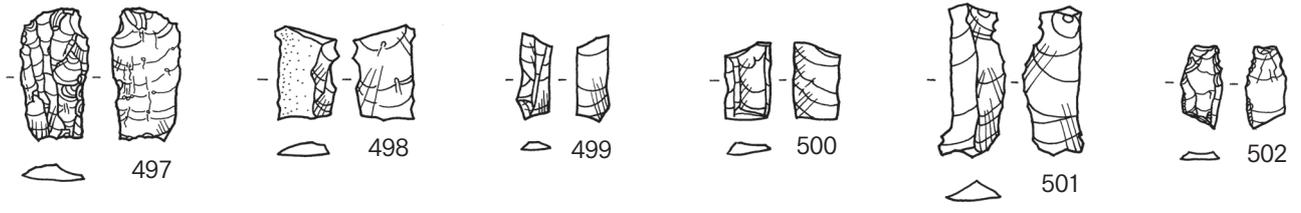


0 (1:1) 5cm

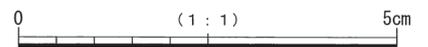
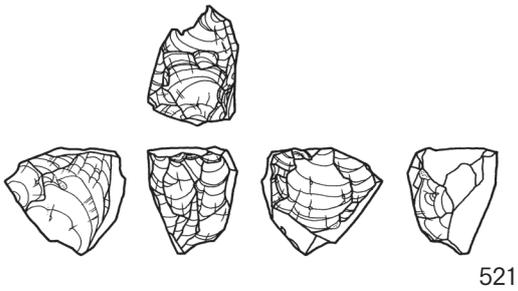
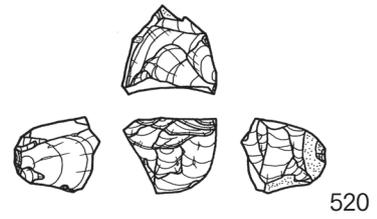
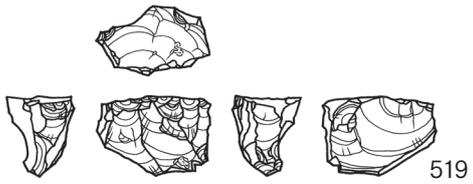
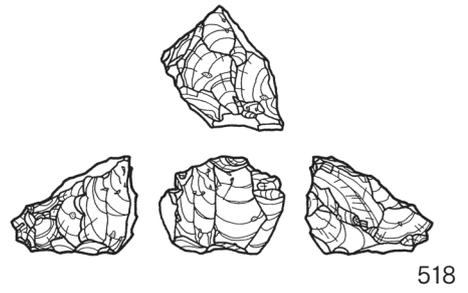
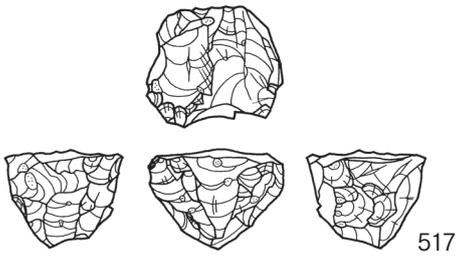
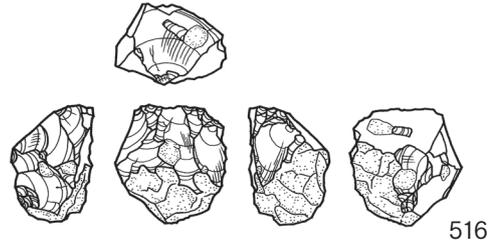
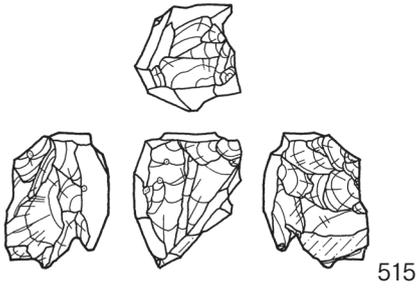
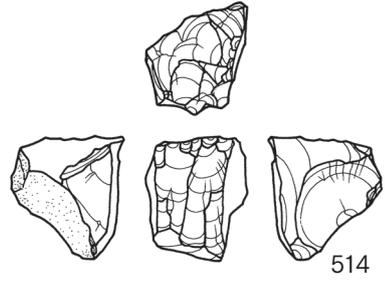
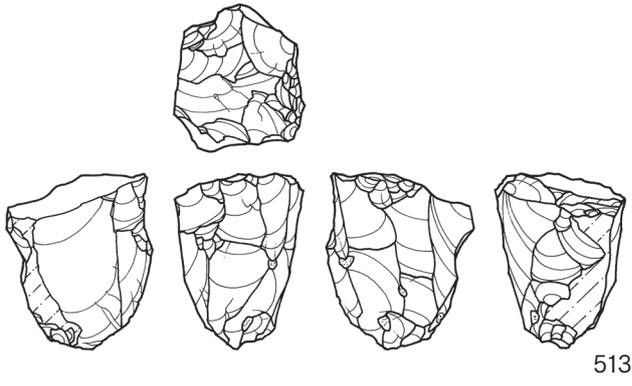
第156圖 IX層包含層出土遺物3



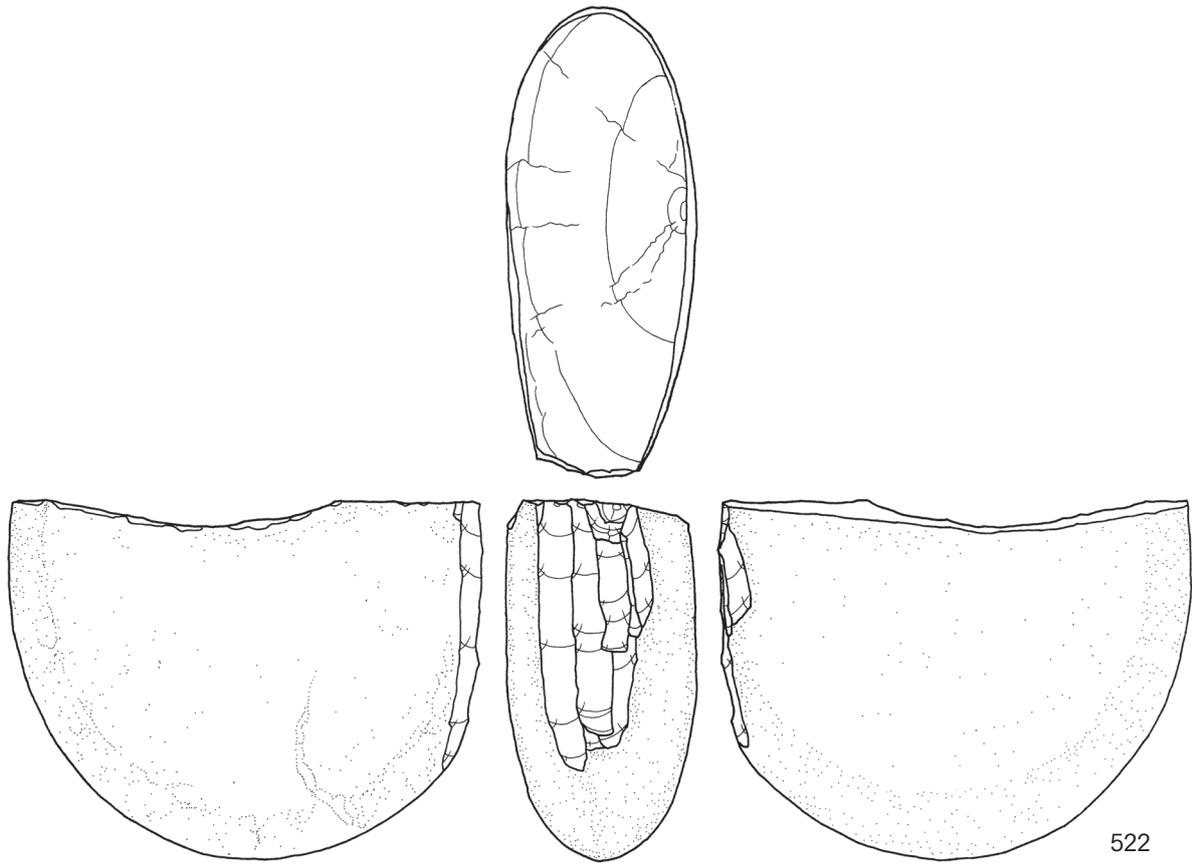
第157图 IX層包含層出土遺物4



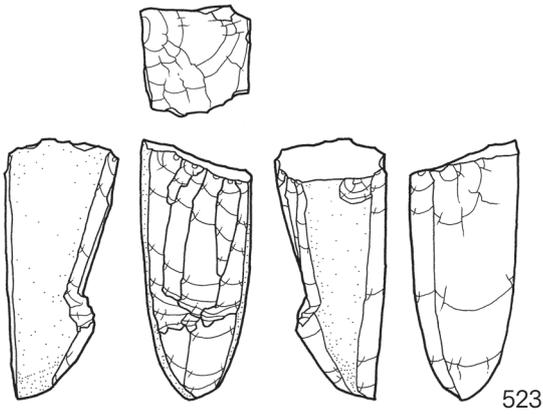
第158图 IX層包含層出土遺物 5



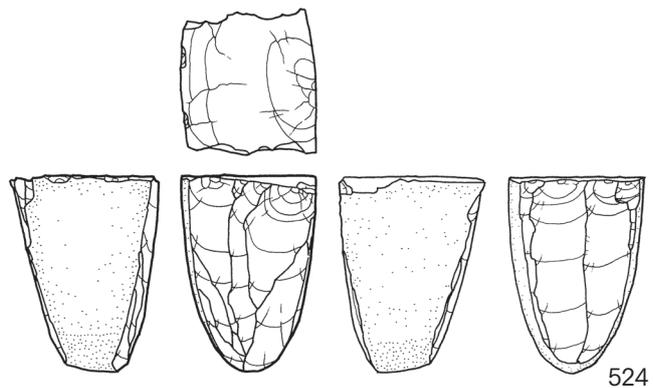
第159図 IX層包含層出土遺物6



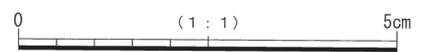
522



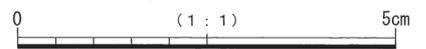
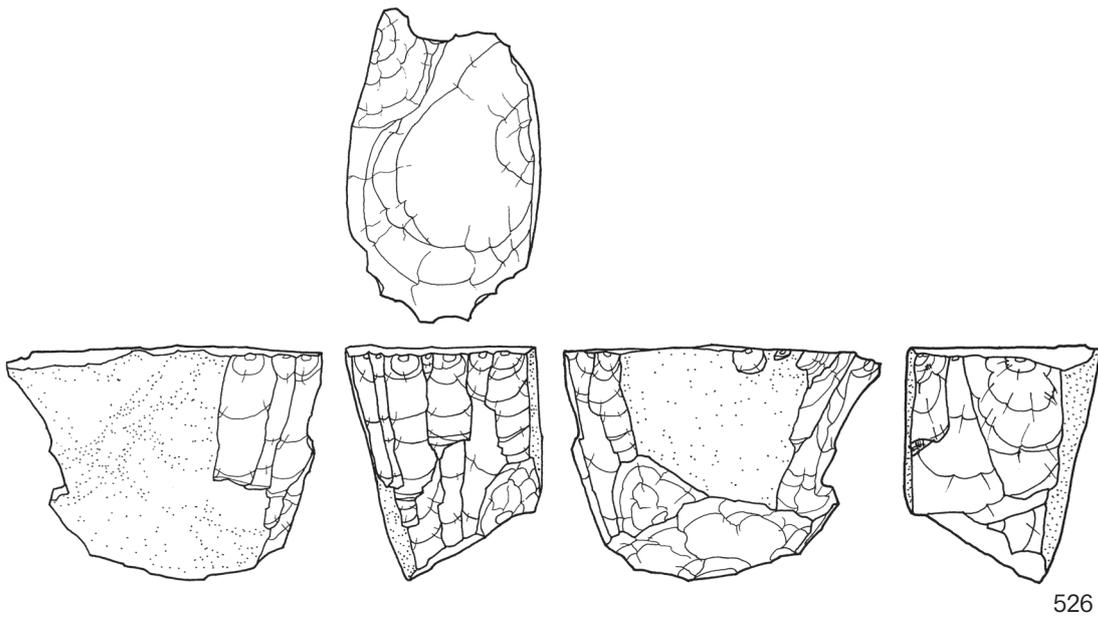
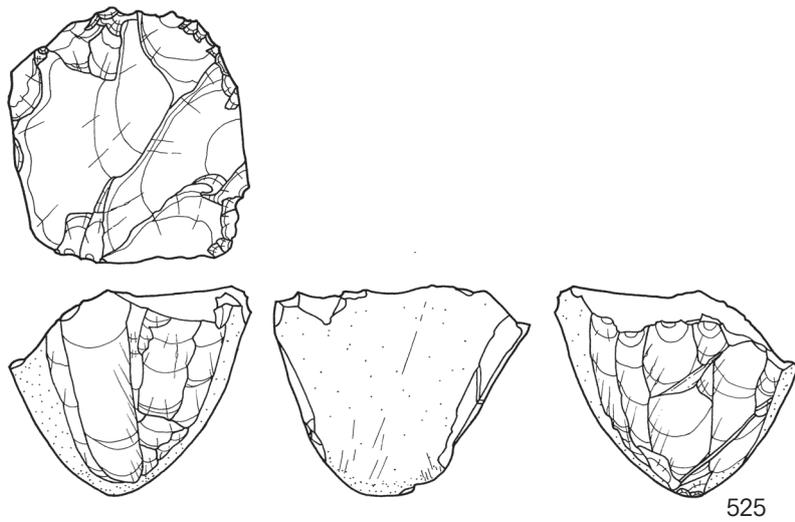
523



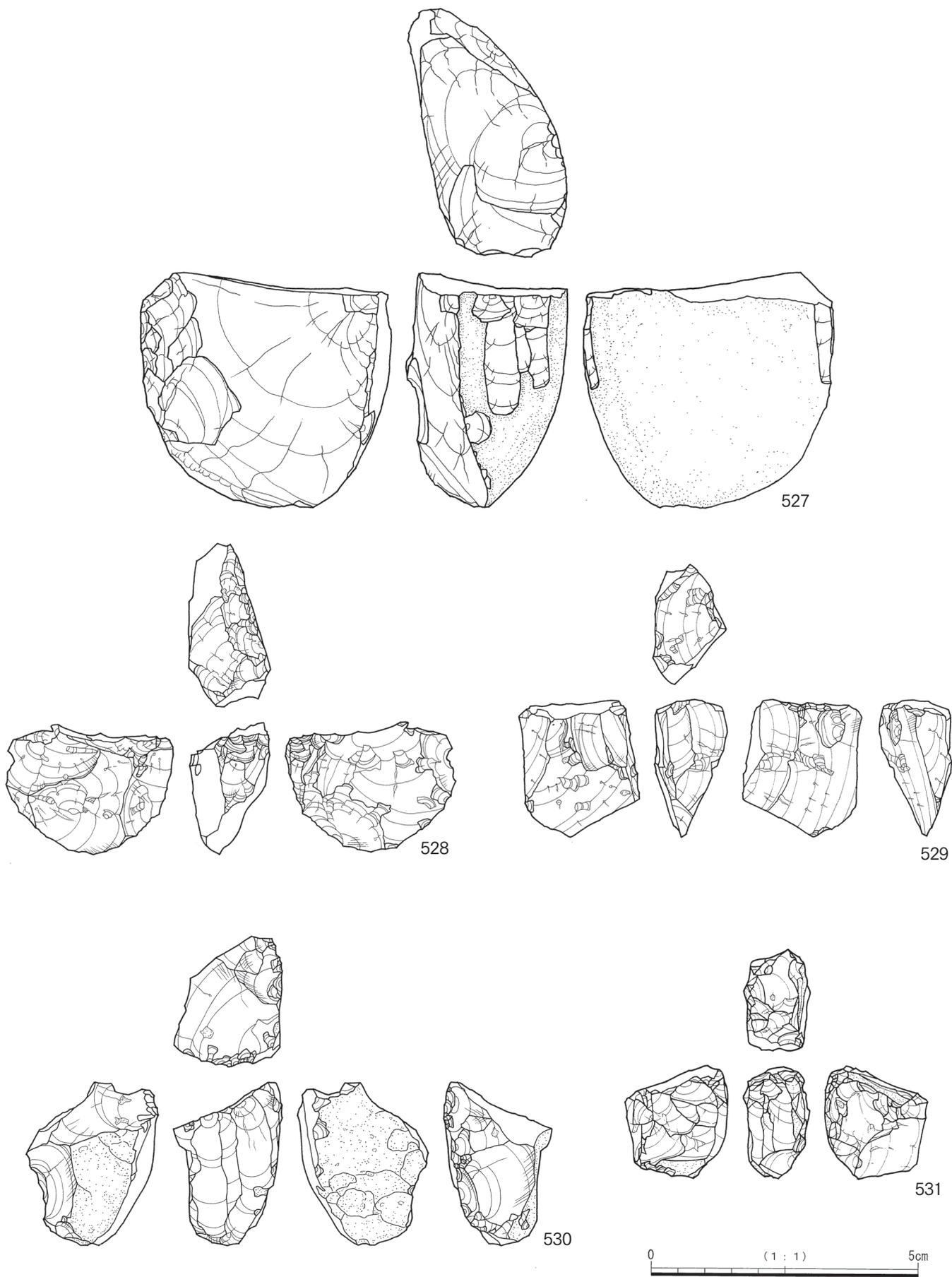
524



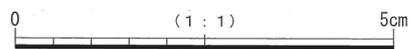
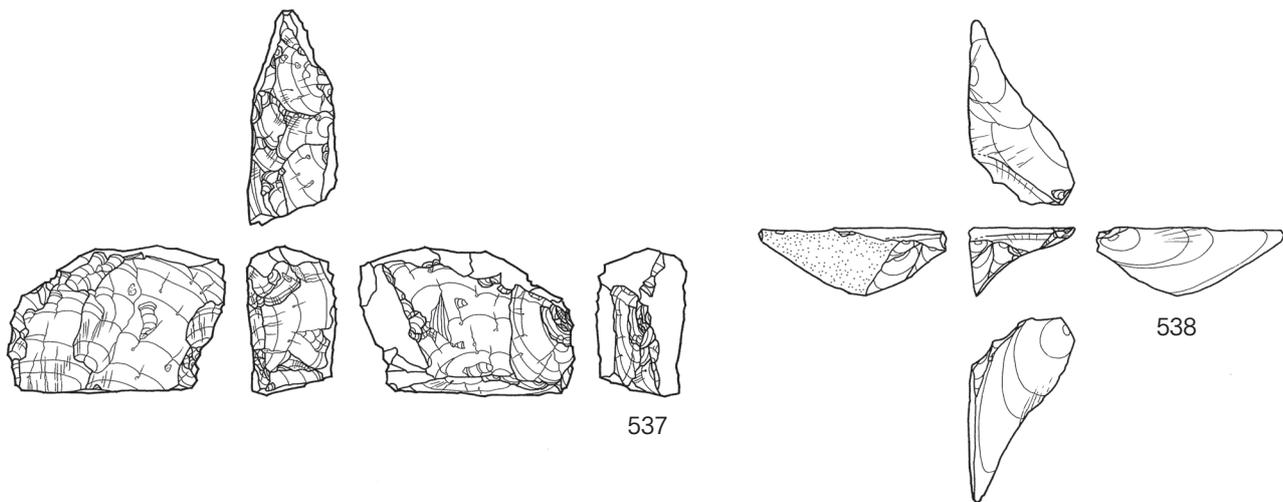
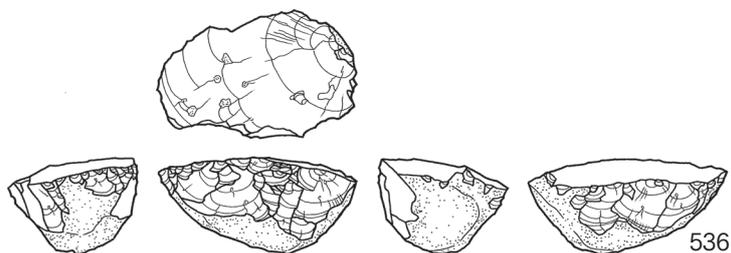
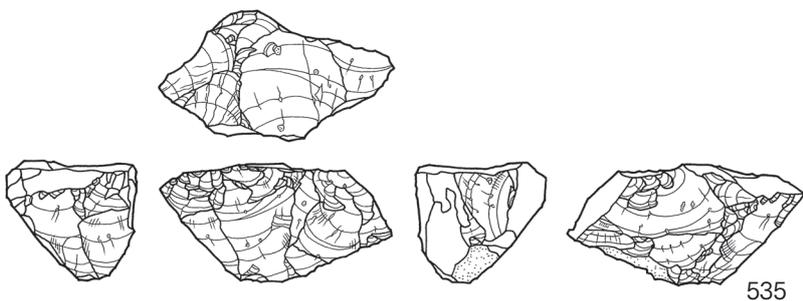
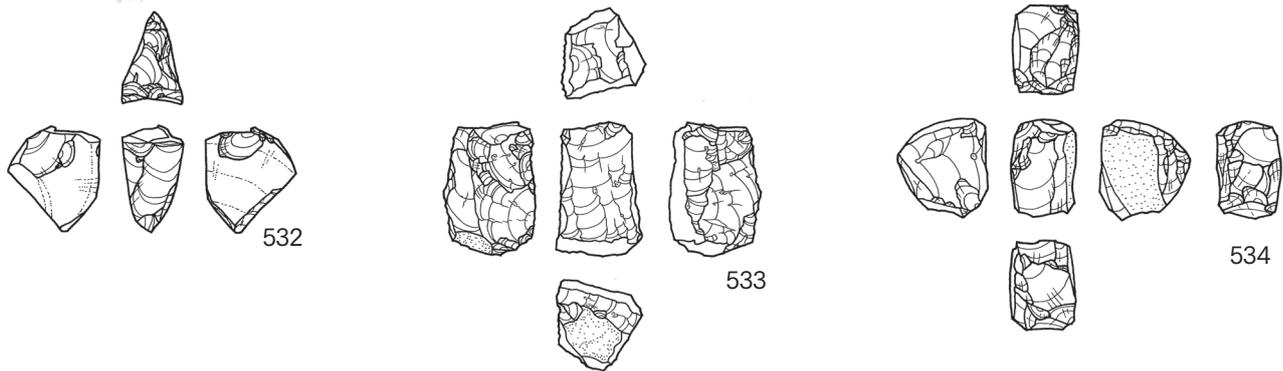
第160图 IX層包含層出土遺物7



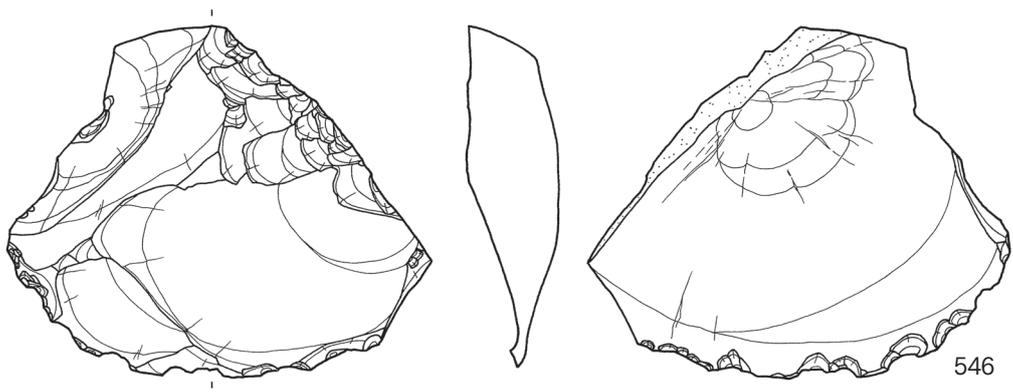
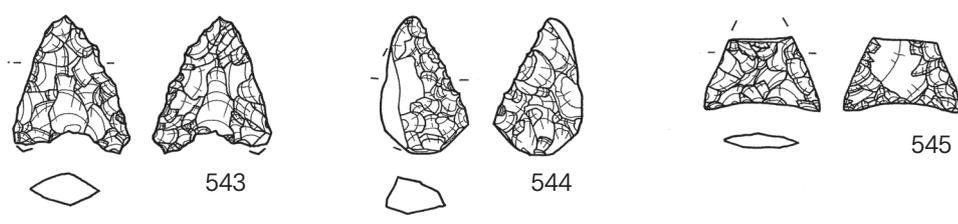
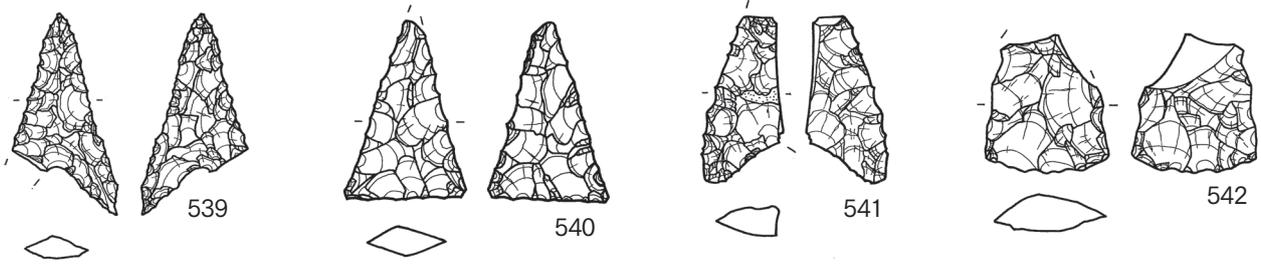
第161図 IX層包含層出土遺物8



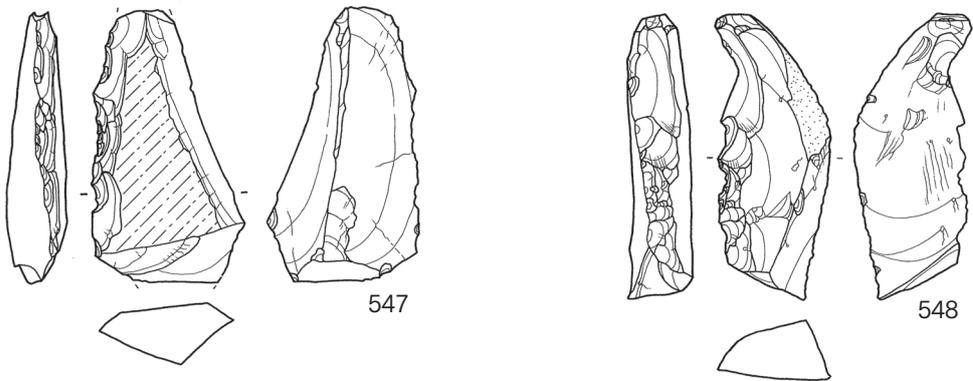
第162図 IX層包含層出土遺物9



第163图 IX層包含層出土遺物10

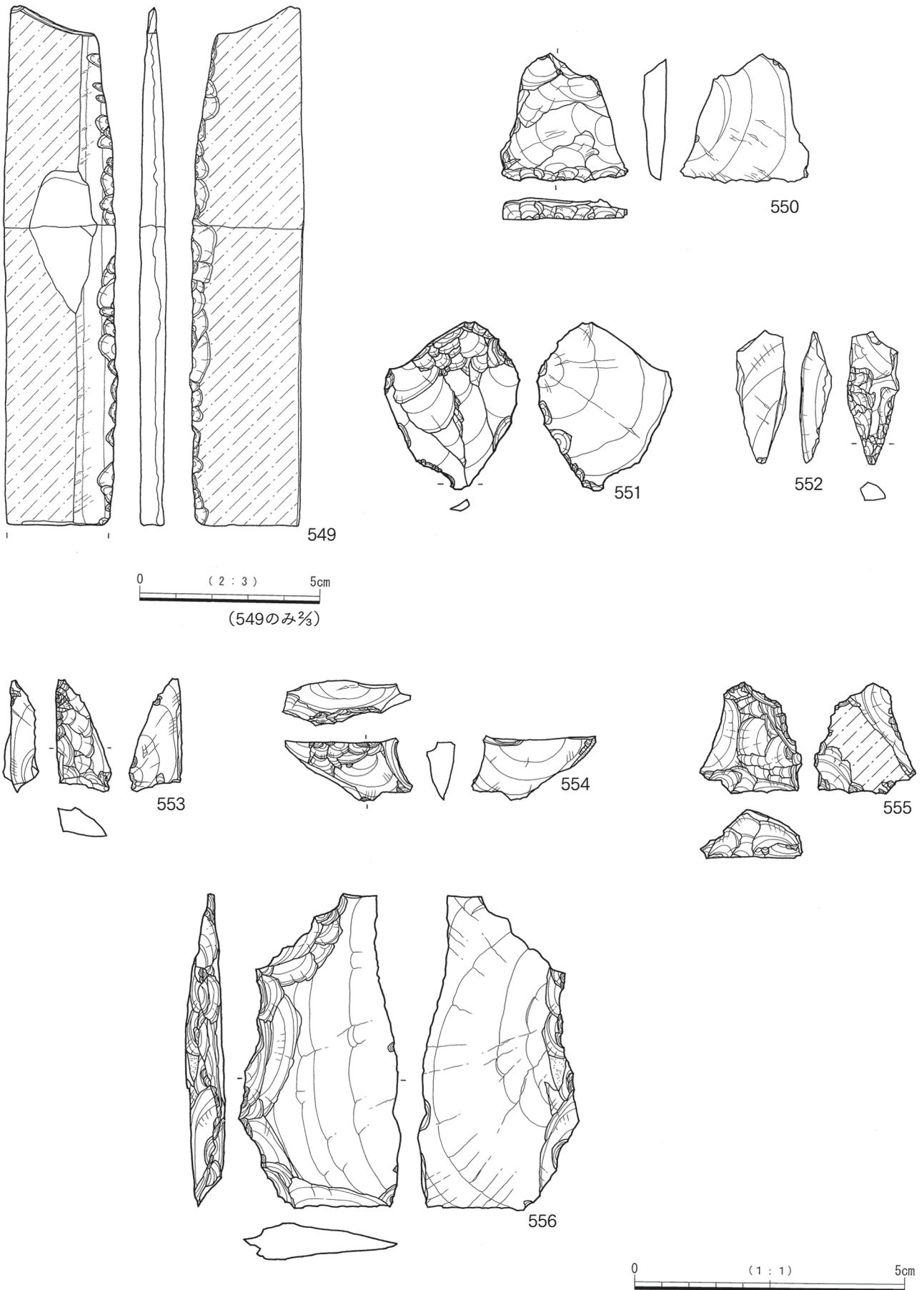


0 (2:3) 5cm
(546のみ $\frac{2}{3}$)

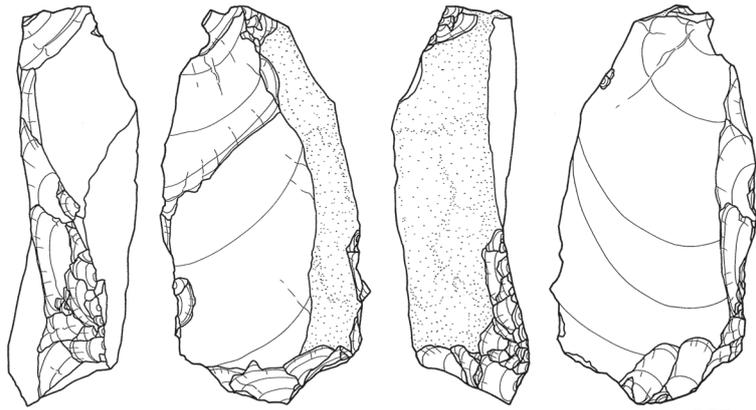


0 (1:1) 5cm

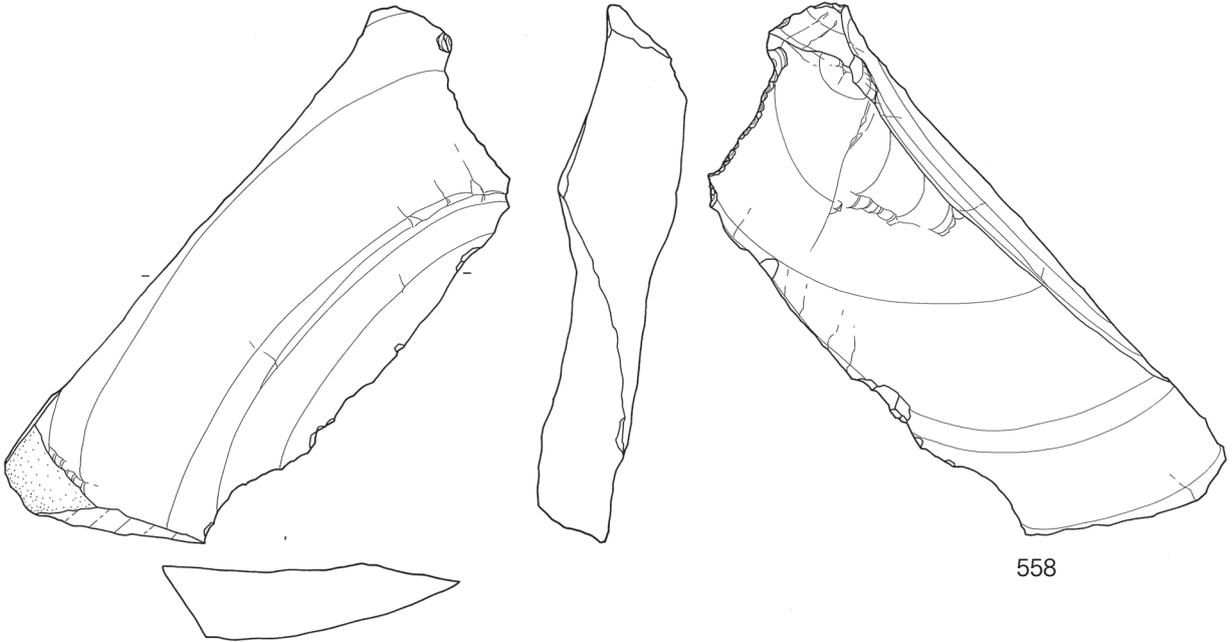
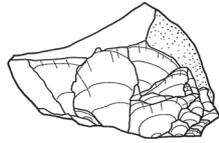
第164図 IX層包含層出土遺物11



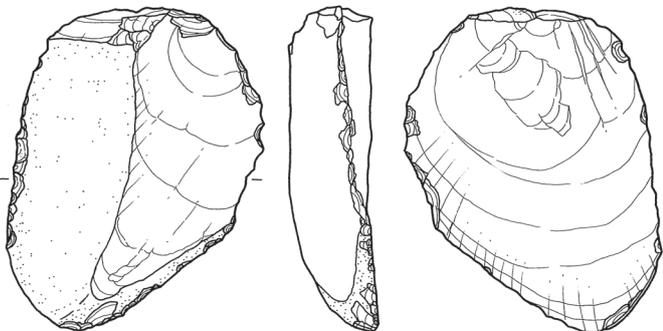
第165図 IX層包含層出土遺物12



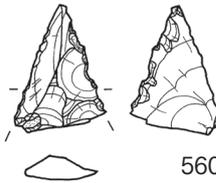
557



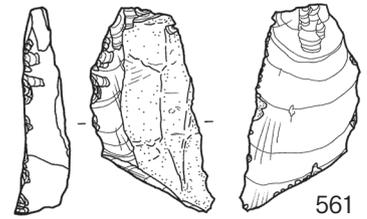
558



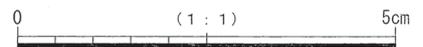
559



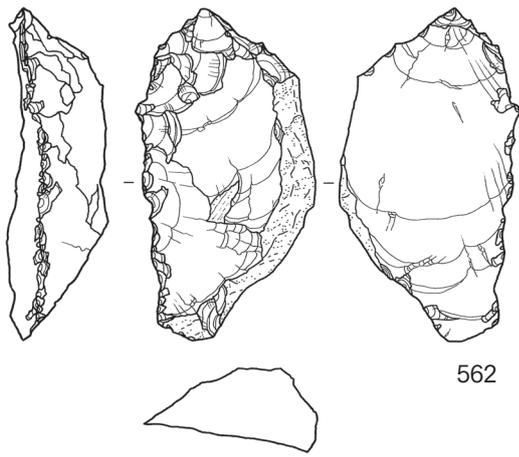
560



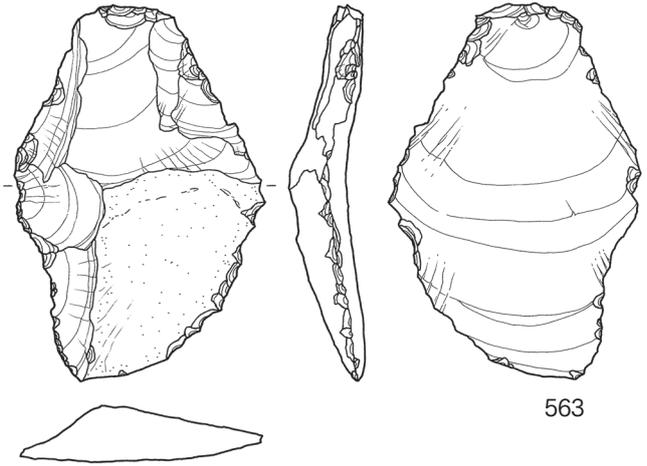
561



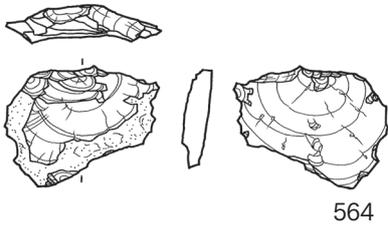
第166图 IX層包含層出土遺物13



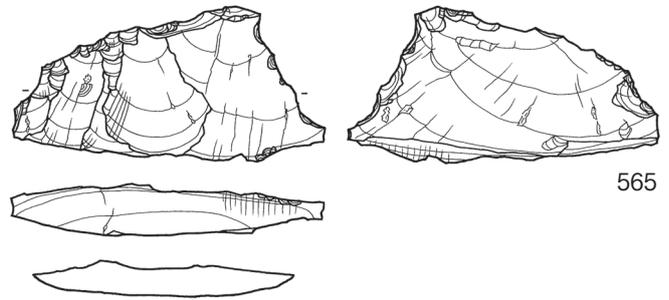
562



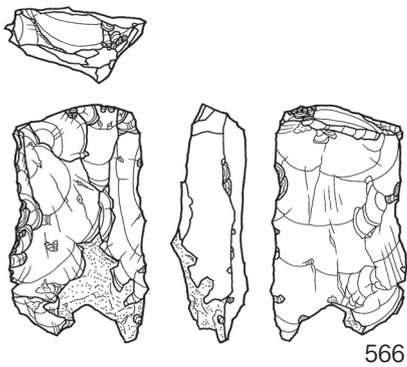
563



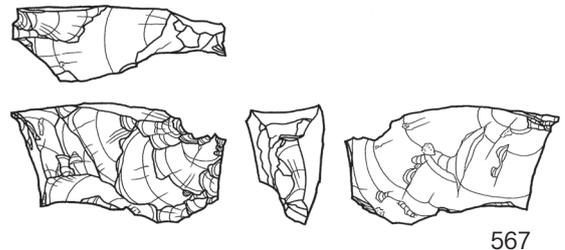
564



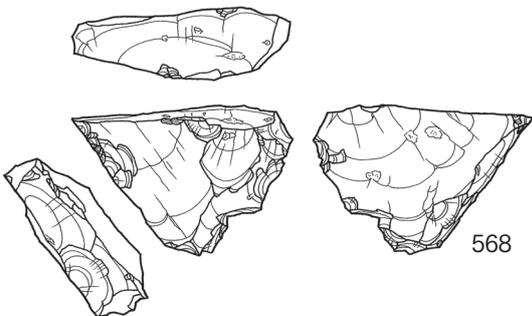
565



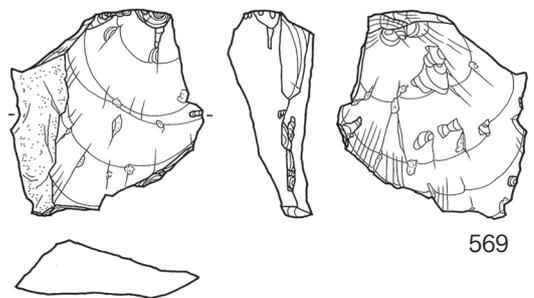
566



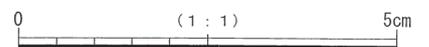
567



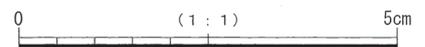
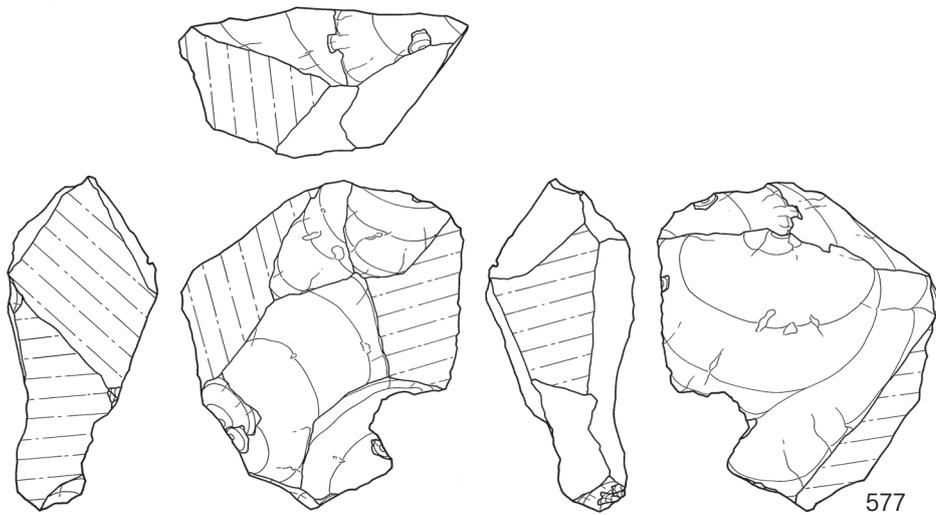
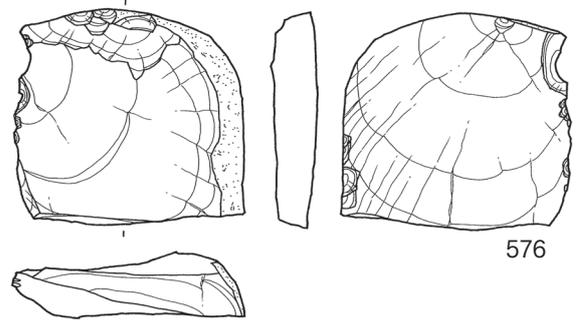
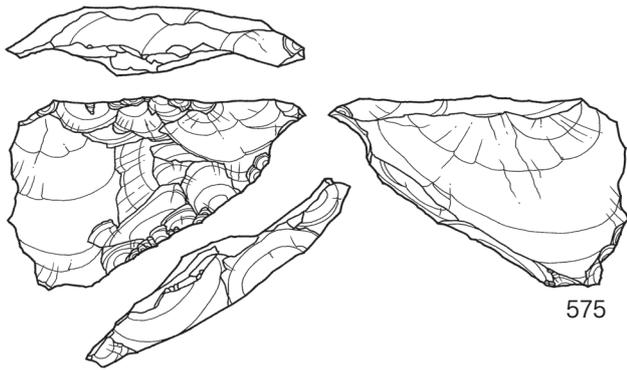
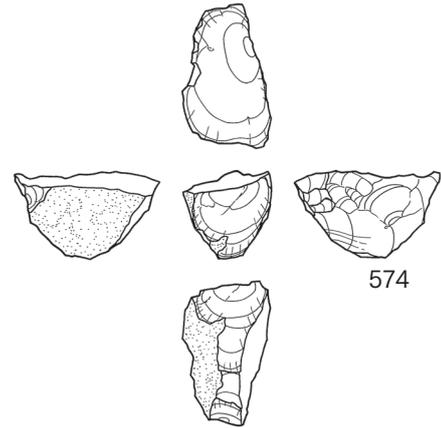
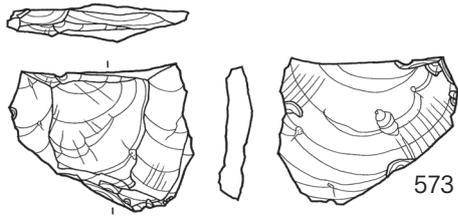
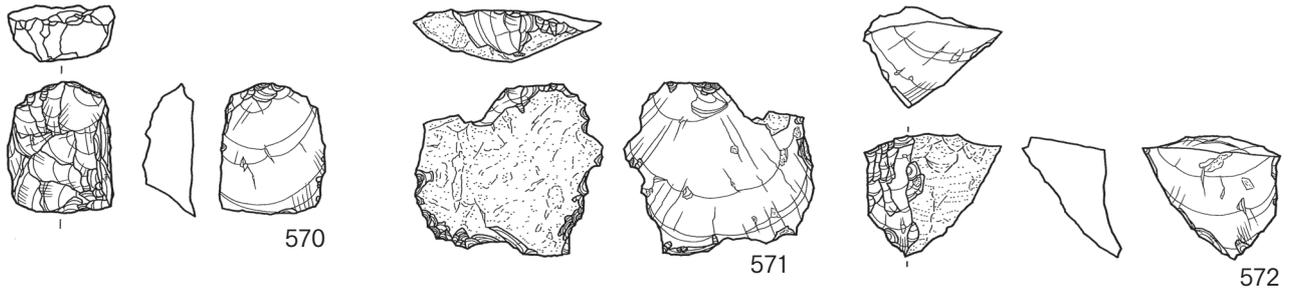
568



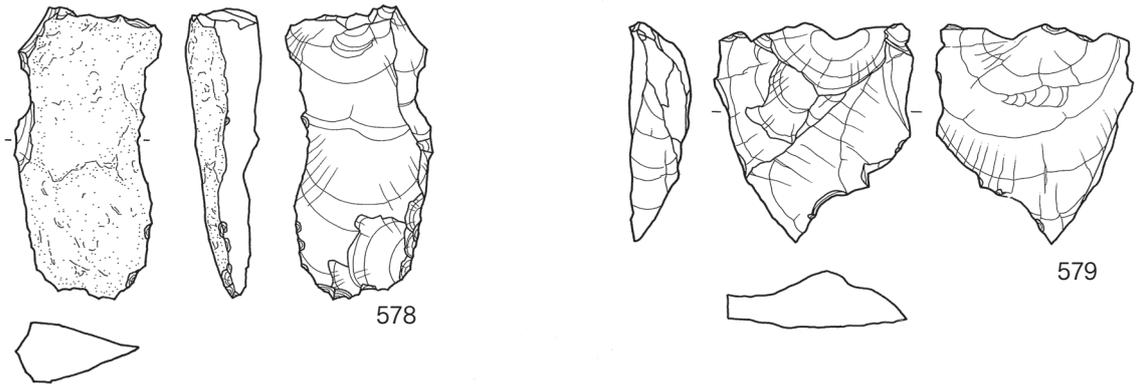
569



第167图 IX層包含層出土遺物14

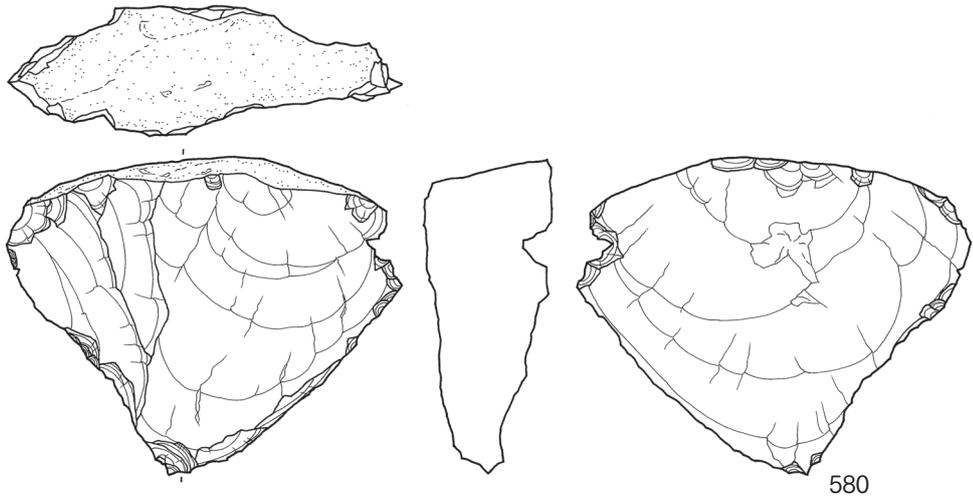


第168图 IX層包含層出土遺物15

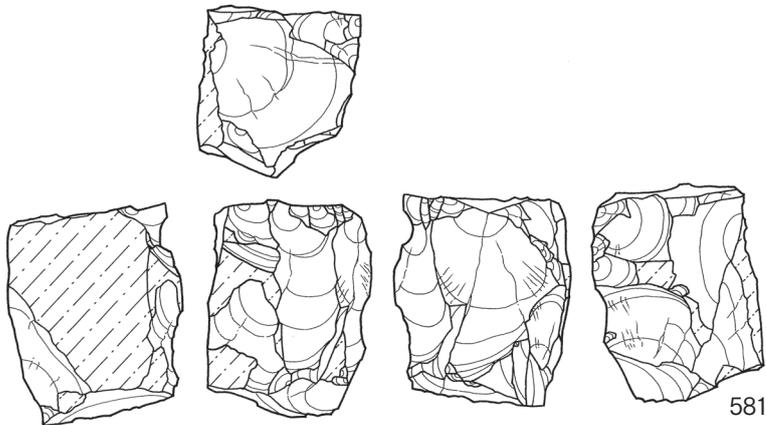


578

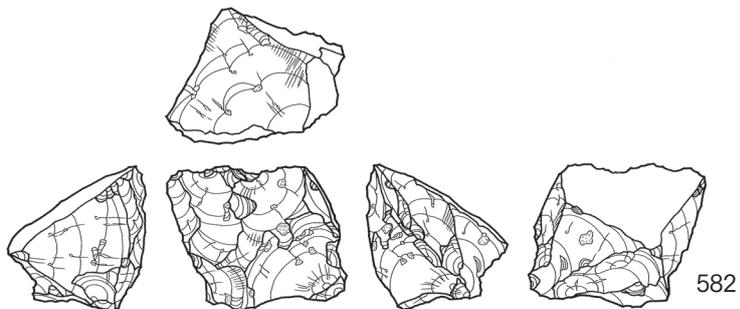
579



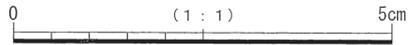
580



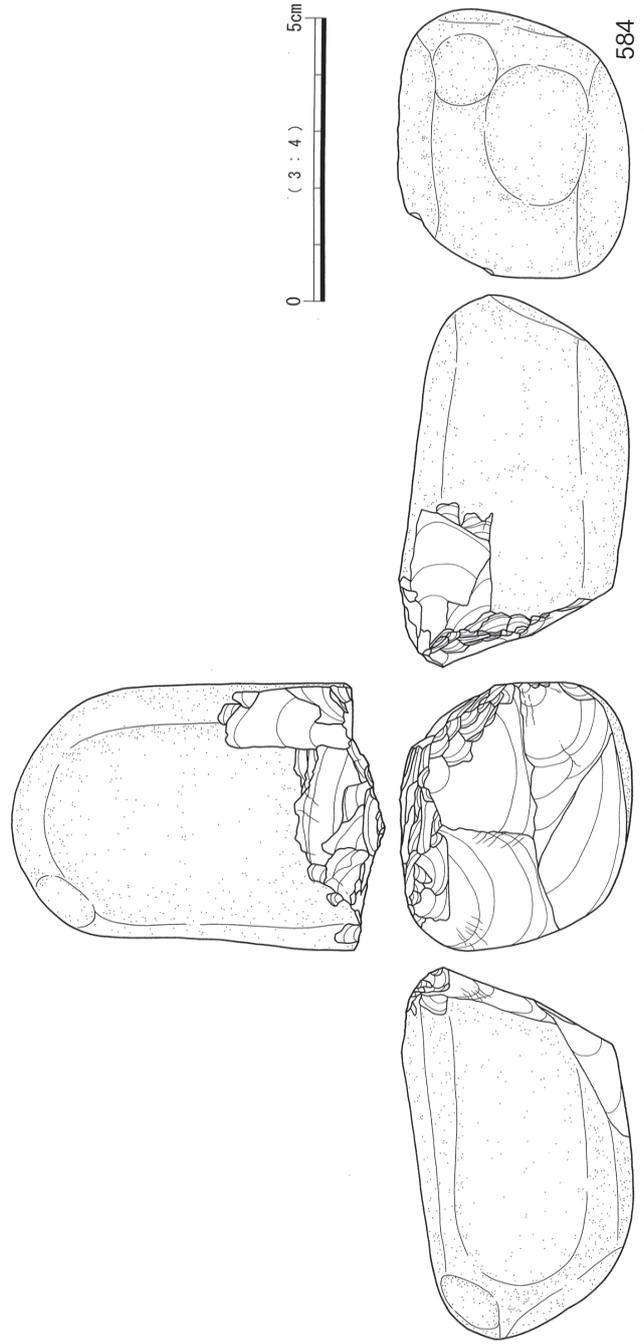
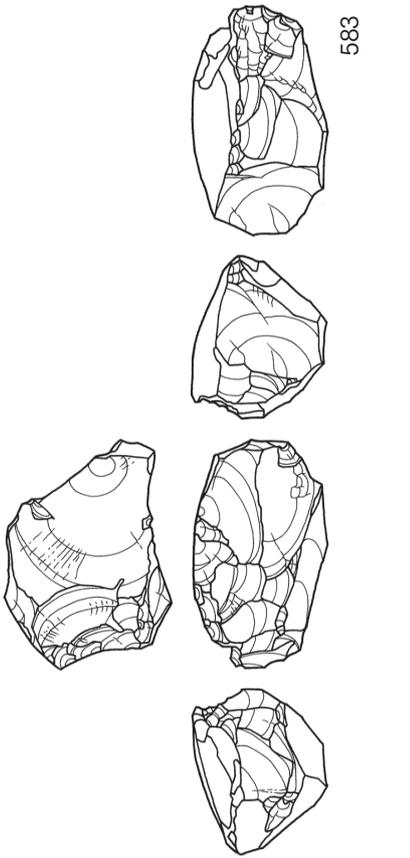
581



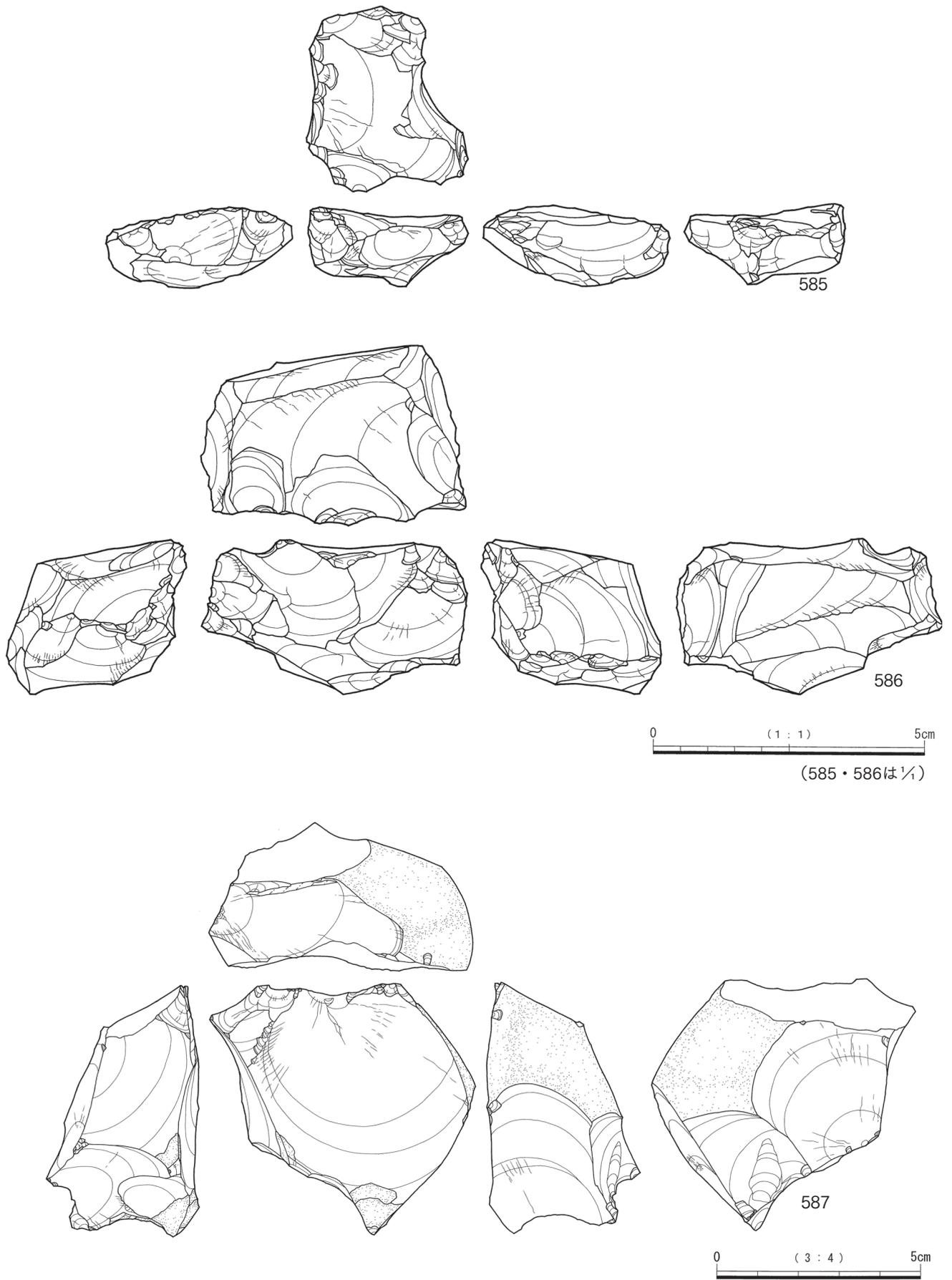
582



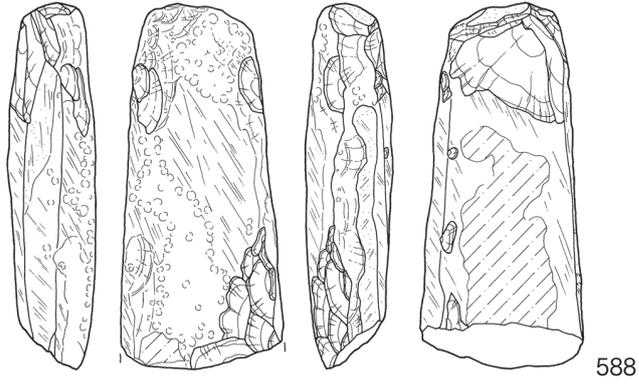
第169圖 IX層包含層出土遺物16



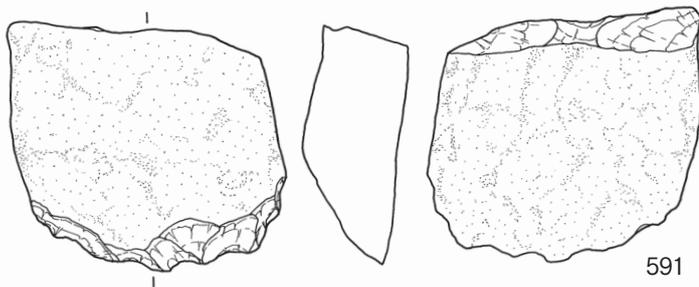
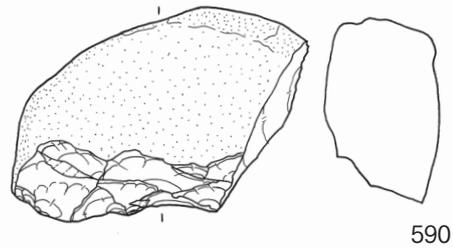
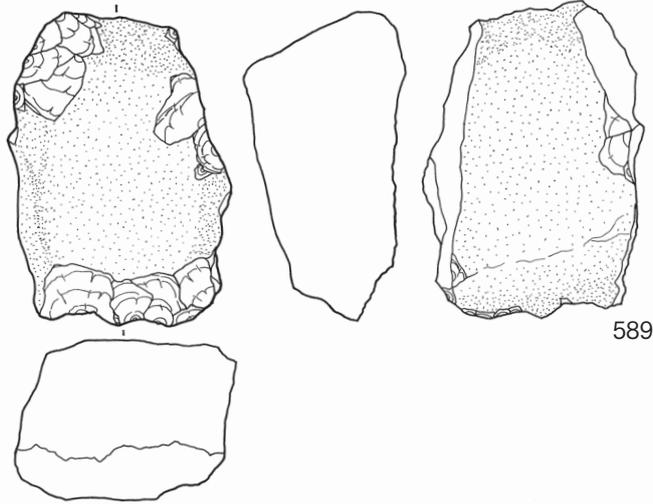
第170図 IX層包含層出土遺物17



第171図 IX層包含層出土遺物18

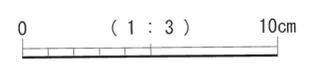
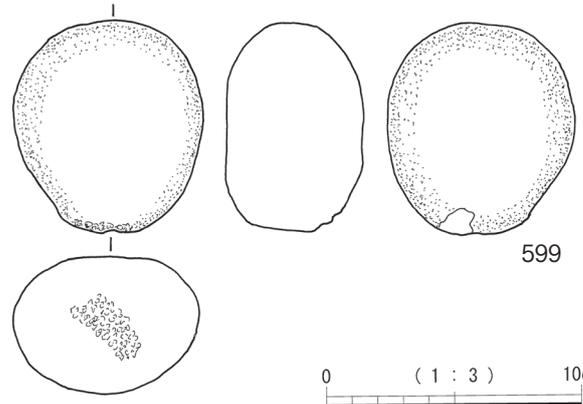
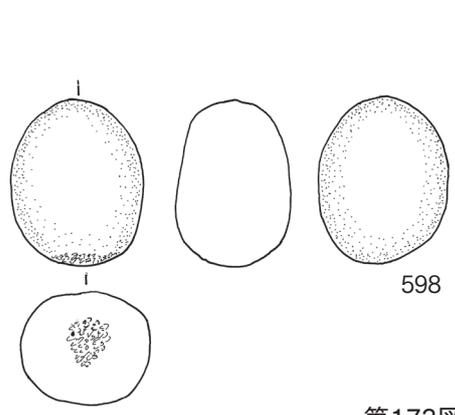
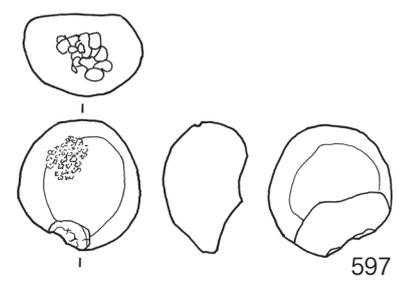
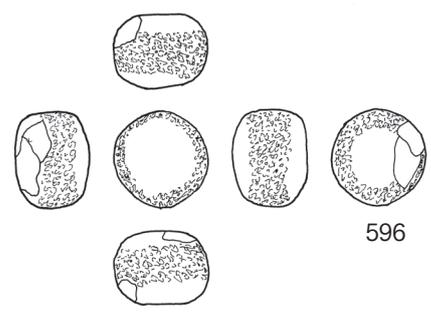
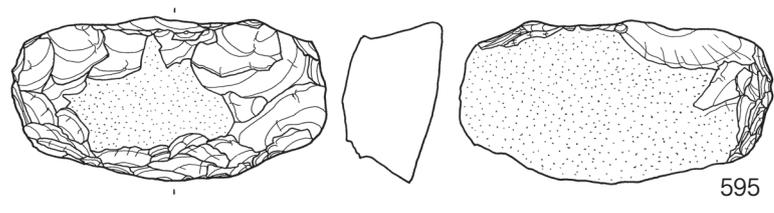
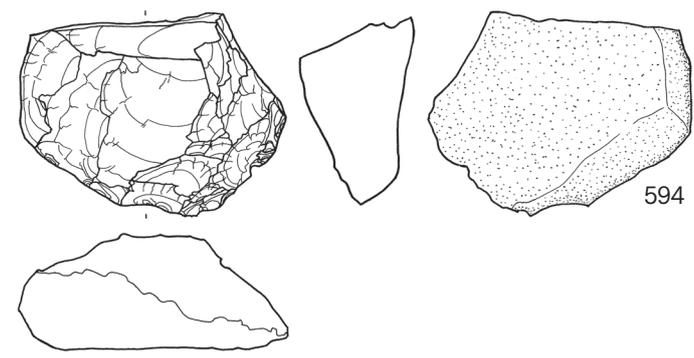
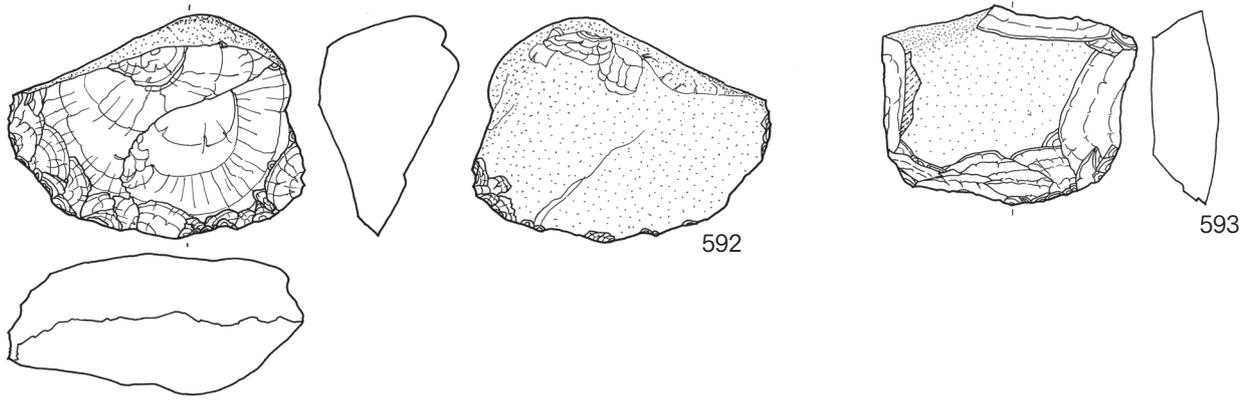


0 (1:2) 5cm
(588のみ $\frac{1}{2}$)

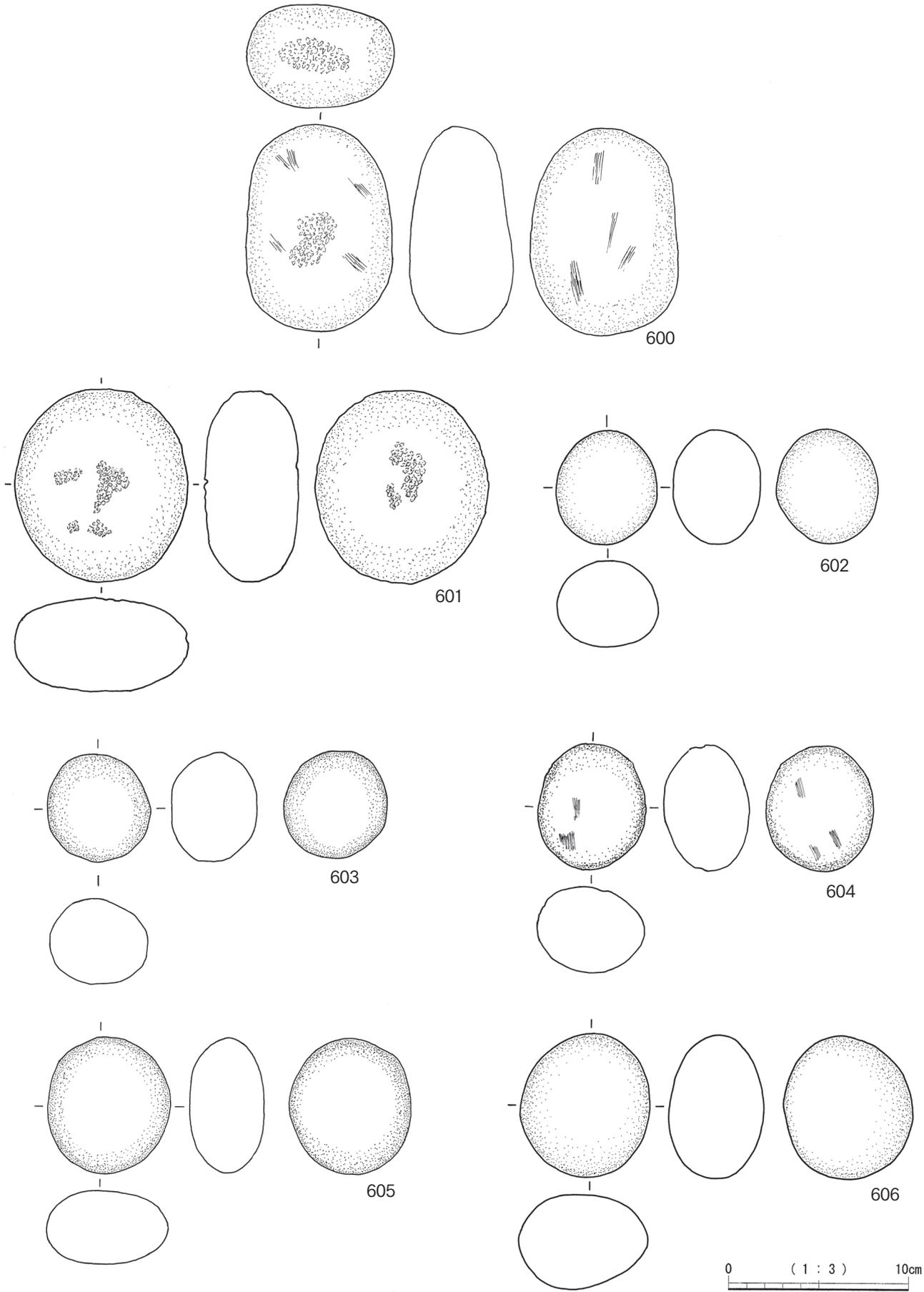


0 (1:3) 10cm

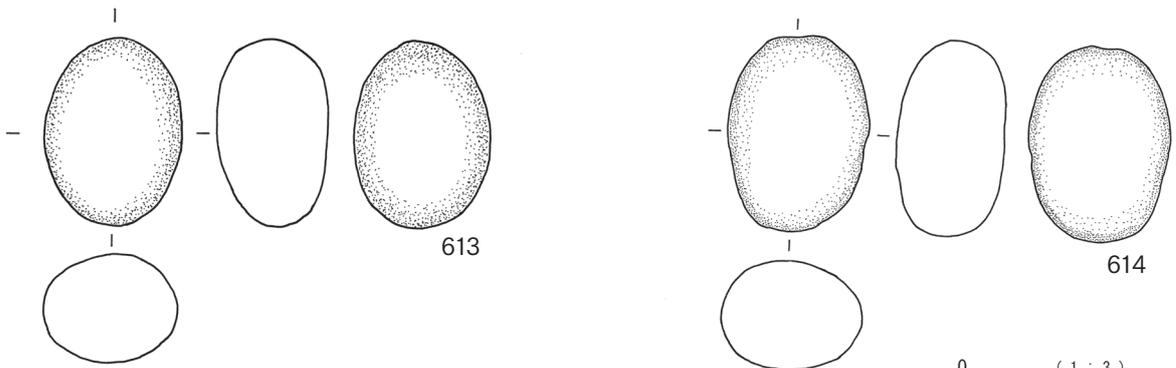
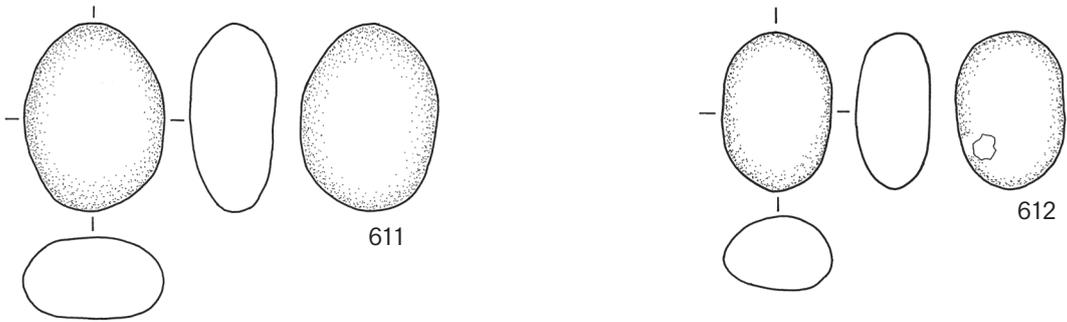
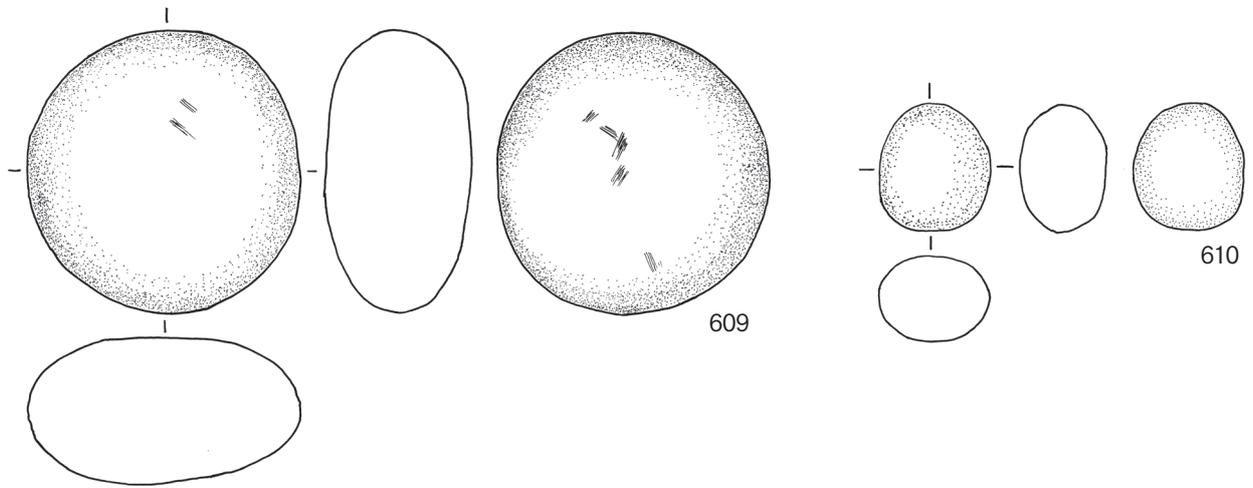
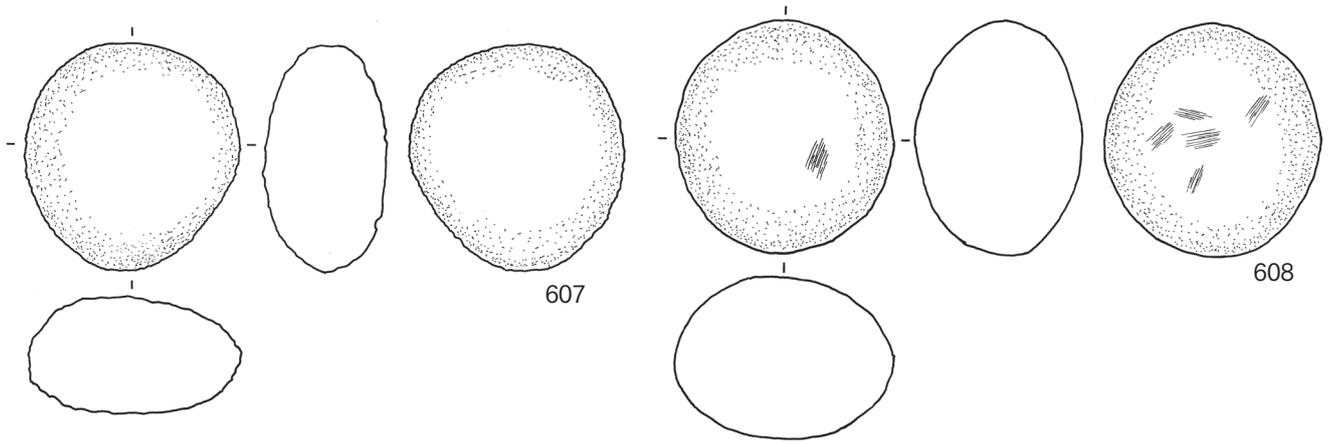
第172図 IX層包含層出土遺物19



第173図 IX層包含層出土遺物20

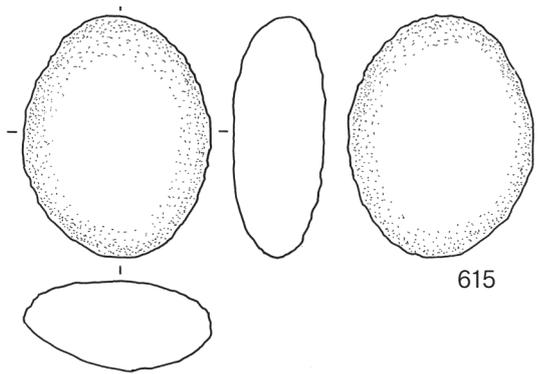


第174図 IX層包含層出土遺物21

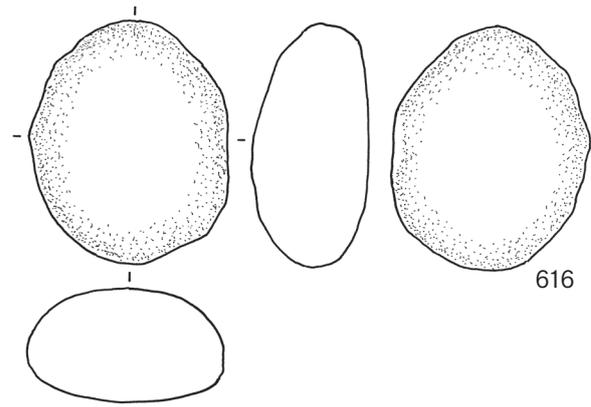


0 (1 : 3) 10cm

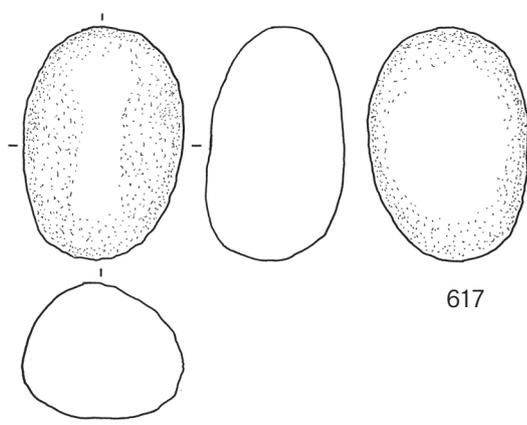
第175圖 IX層包含層出土遺物22



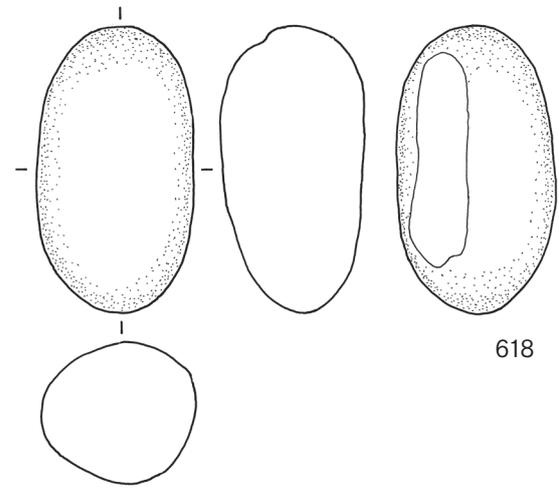
615



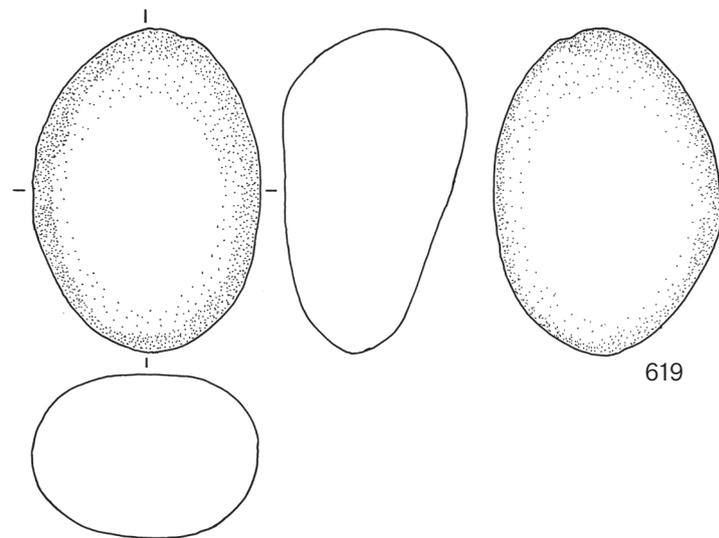
616



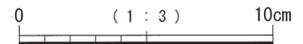
617



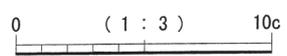
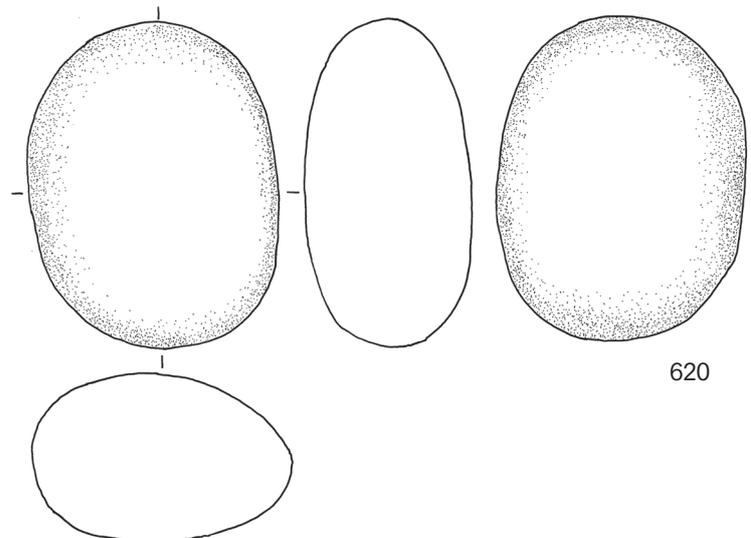
618



619



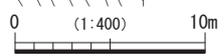
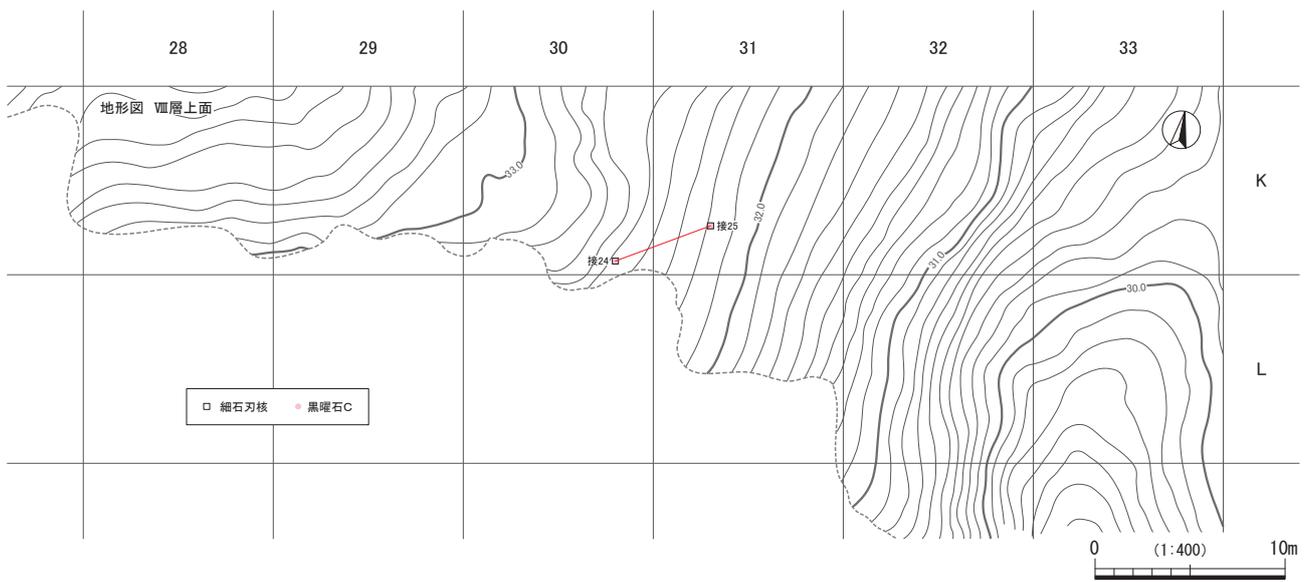
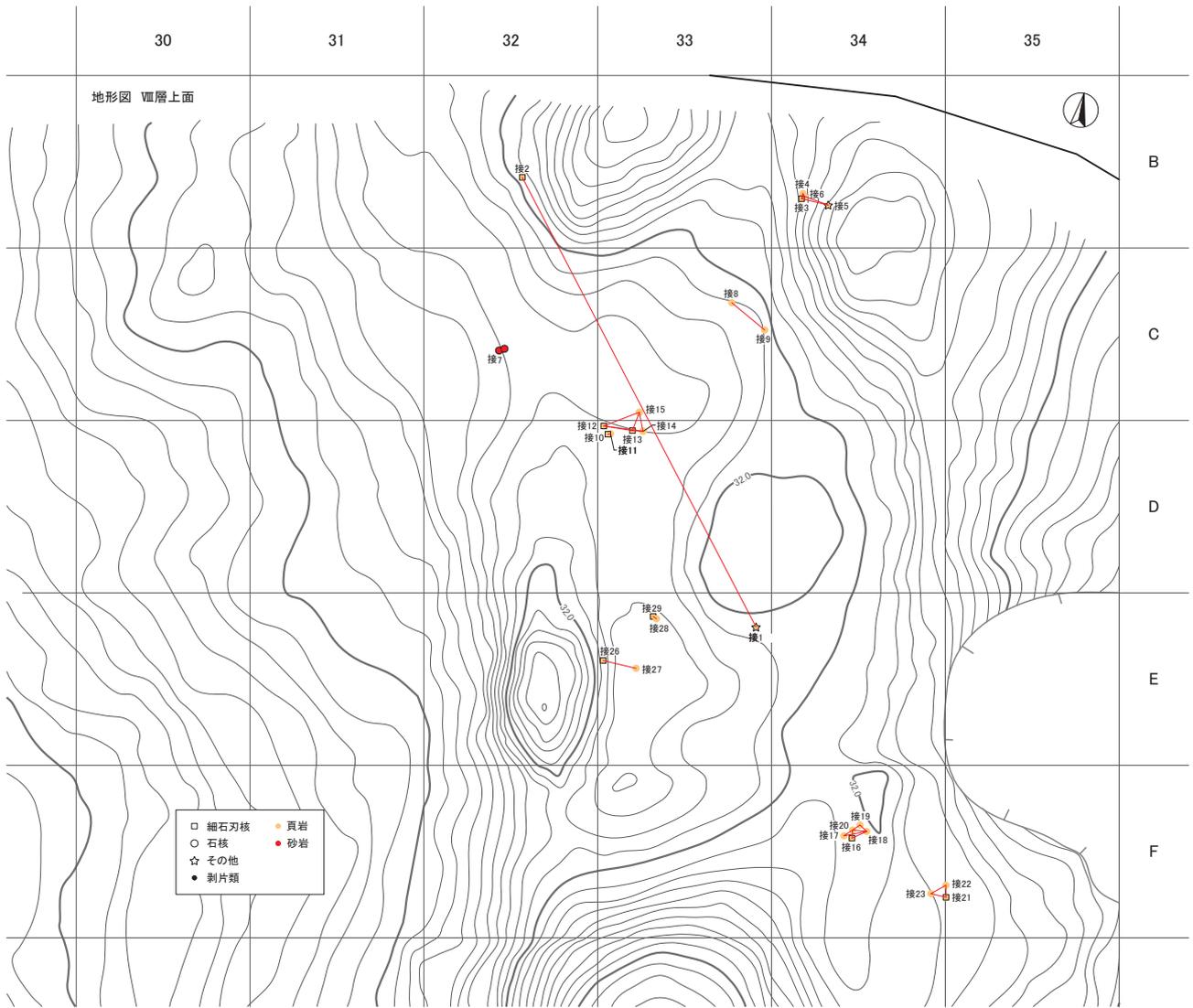
第176図 IX層包含層出土遺物23



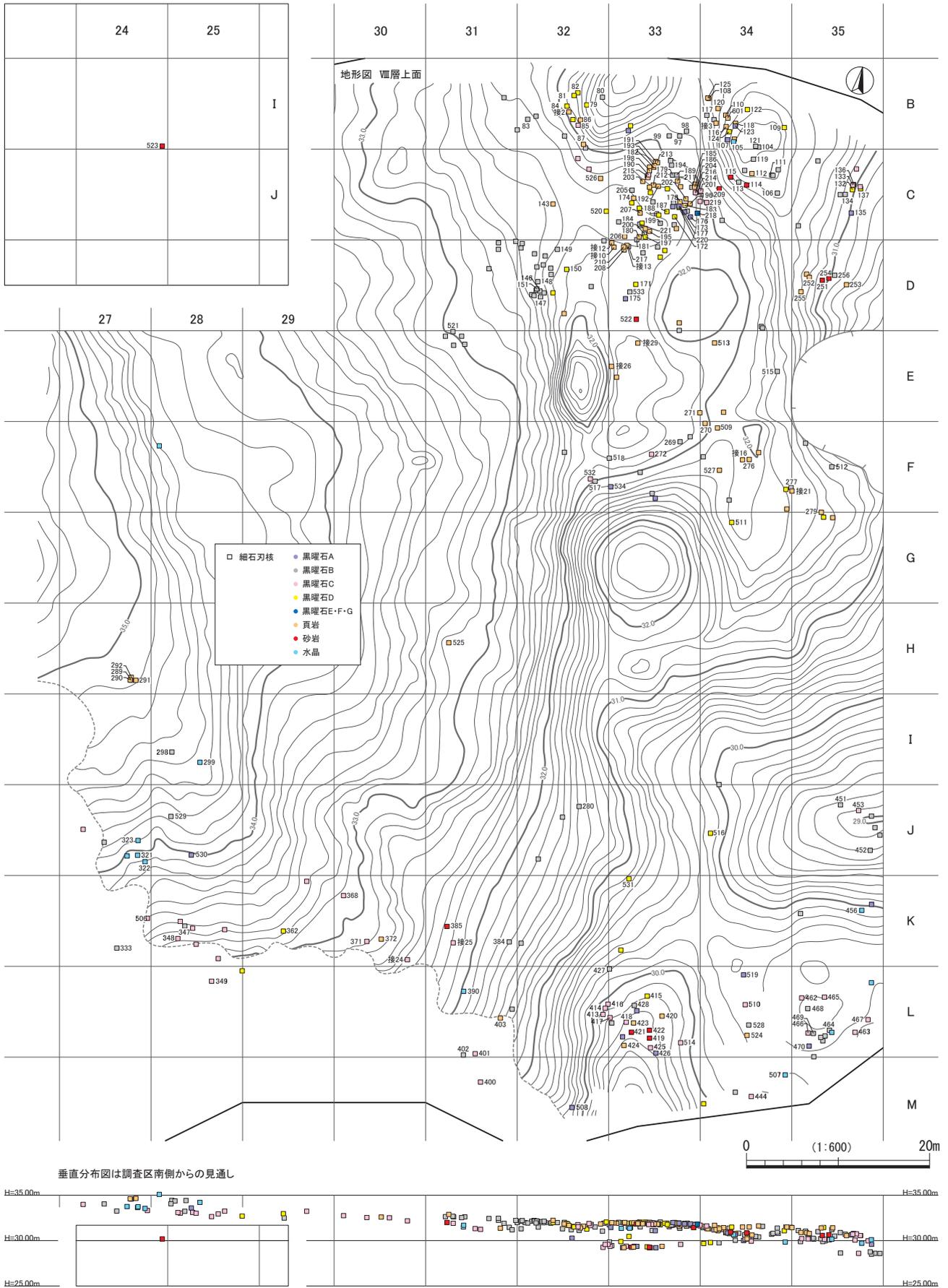
第177図 IX層包含層出土遺物24

第15表 IX層接合資料観察表

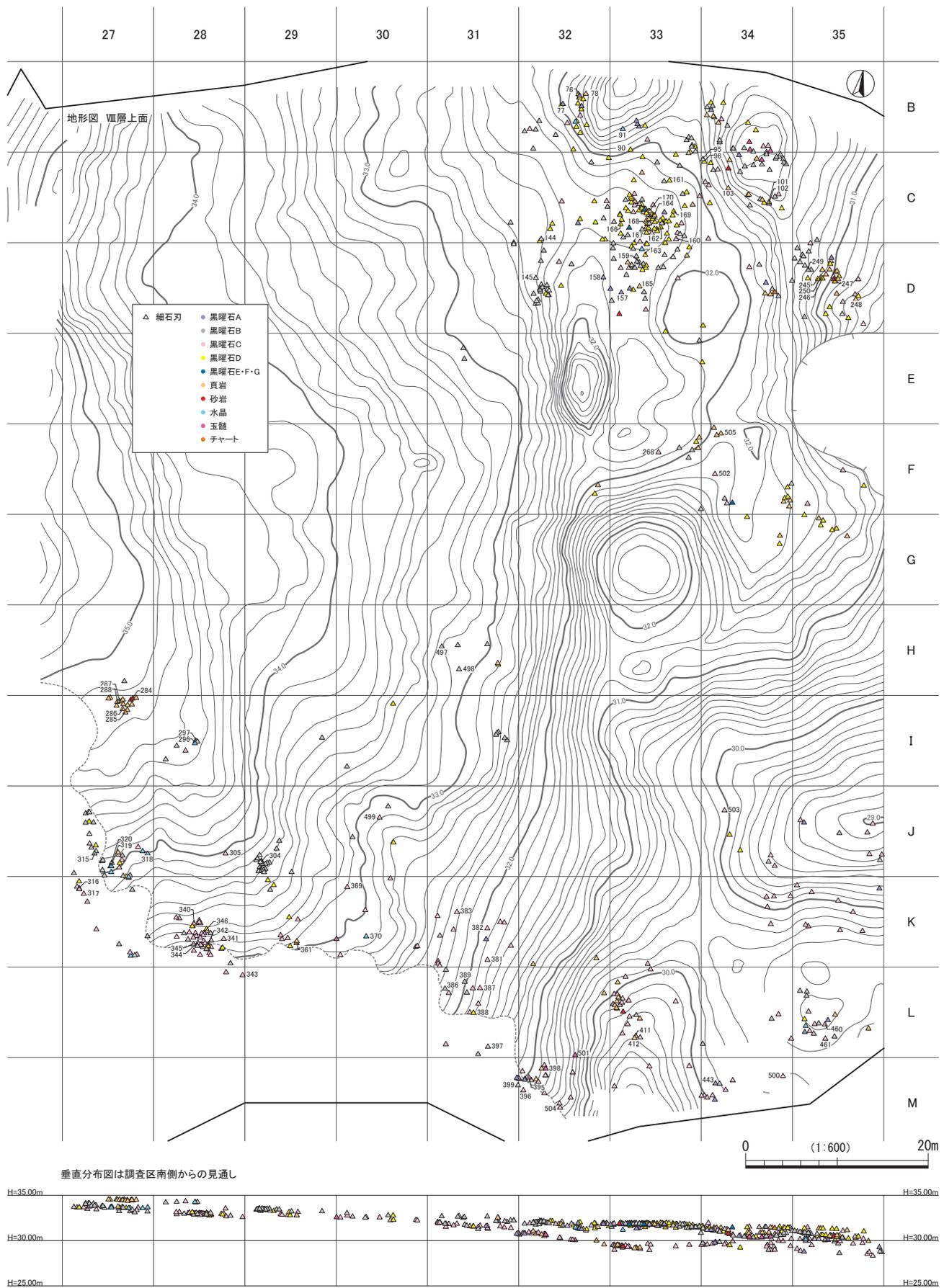
挿図番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号	備考
86	接合資料1	細石刃核	真岩E	—	IX	ブロック3	2.70	2.05	1.90	6.40	—	
86	接1	打面再生剥片	真岩E	E33	IXa	ブロック3	2.05	1.00	0.60	1.10	36167	
86	接2	細石刃核	真岩E	C32	IX	ブロック3	24.10	20.10	17.50	5.26	31064	
90	接合資料2	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	4.15	2.55	2.80	17.10	—	
90	接3	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	28.00	20.50	16.40	7.76	36026	
90	接4	剥片	真岩E	B34	IXa	ブロック6	1.80	2.50	1.00	3.49	36416	
90	接5	打面再生剥片	真岩E	B34	IXa	ブロック6	2.40	2.90	0.60	3.10	36449	
90	接6	剥片	真岩E	B34	IXa	ブロック6	2.25	2.45	0.80	2.79	35607	
97	接合資料3	石核	砂岩A	C32	IXa	ブロック8	3.00	9.65	4.85	198.50	—	
97	接7	石核	砂岩A	C32	IXa	ブロック8	3.05	5.90	4.85	118.50	33575	
99	接合資料4	二次加工剥片	真岩E	C33	IX	ブロック10	4.25	3.35	0.90	12.30	—	
99	接8	二次加工剥片	真岩E	C33	IX	ブロック10	4.25	2.95	1.35	10.70	30942	
99	接9	剥片	真岩E	C33	IXb	ブロック10	2.20	1.35	0.60	1.80	35954	
99	接合資料5	細石刃核	真岩H	D33	IXa	ブロック10	3.15	1.90	2.85	12.50	—	
99	接10	細石刃核	真岩H	D33	IXa	ブロック10	31.60	16.80	28.10	10.81	34581	
99	接11	剥片	真岩H	D33	IXa	ブロック10	1.55	1.90	0.55	1.70	34402	
100	接合資料6	細石刃核	真岩H	—	IXa	ブロック10	3.80	1.85	3.35	25.00	—	
100	接12	細石刃核	真岩H	D33	IXa	ブロック10	3.15	1.35	3.25	8.30	34579	
100	接13	細石刃核	真岩H	D33	IXa	ブロック10	3.65	1.00	2.75	8.00	34826	
100	接14	剥片	真岩H	D33	IXa	ブロック10	2.15	1.85	0.90	2.20	34835	
100	接15	剥片	真岩H	C33	IXa	ブロック10	4.05	3.55	0.65	6.50	32657	
117	接合資料7	細石刃核	真岩E	F34	IXa	ブロック14	3.10	5.20	4.95	34.20	—	
118	接16	細石刃核ブランク	真岩E	F34	IXa	ブロック14	31.40	27.90	31.60	18.23	38474	
118	接17	剥片	真岩E	F34	IXa	ブロック14	1.65	2.40	1.75	3.79	38476	
118	接18	剥片	真岩E	F34	IXa	ブロック14	3.35	1.60	1.05	4.40	38472	
118	接19	剥片	真岩E	F34	IXa	ブロック14	1.90	2.70	1.80	6.50	38471	
118	接20	剥片	真岩E	F34	IXa	ブロック14	1.50	2.45	0.60	1.30	38789	
119	接合資料8	細石刃核	真岩E	—	IXa	ブロック15	3.40	1.85	2.75	14.80	接合12	
119	接21	細石刃核	真岩E	F35	IXa	ブロック15	28.50	17.10	20.80	10.58	37893	
119	接22	剥片	真岩E	F35	IXa	ブロック15	2.35	2.15	0.85	3.00	37648	
119	接23	剥片	真岩E	F34	IXa	ブロック15	1.80	1.90	0.50	1.10	39822	
139	接合資料9	細石刃核	黒曜石C	—	IXb	ブロック30	2.70	1.70	0.85	3.30	接合13	
139	接24	細石刃核	黒曜石C	K30	IXb	ブロック30	2.25	1.60	0.70	1.59	88417	
139	接25	細石刃核	黒曜石C	K31	IXb	ブロック30	1.35	1.55	0.80	1.70	89456	
154	接合資料10	細石刃核	真岩E	E33	IX	—	2.65	1.95	1.80	7.30	—	
154	接26	細石刃核	真岩E	E33	IX	—	26.50	19.00	17.50	6.82	31345	
154	接27	剥片	真岩E	E33	IX	—	1.30	1.30	0.35	0.50	31347	
154	接合資料11	細石刃核	真岩A	E33	IXa	—	5.10	4.70	2.40	54.50	—	
154	接28	剥片	真岩A	E33	IXa	—	2.60	3.30	1.10	6.00	33534	
154	接29	細石刃核	真岩A	E33	IXa	—	5.10	4.70	2.40	49.50	33533	



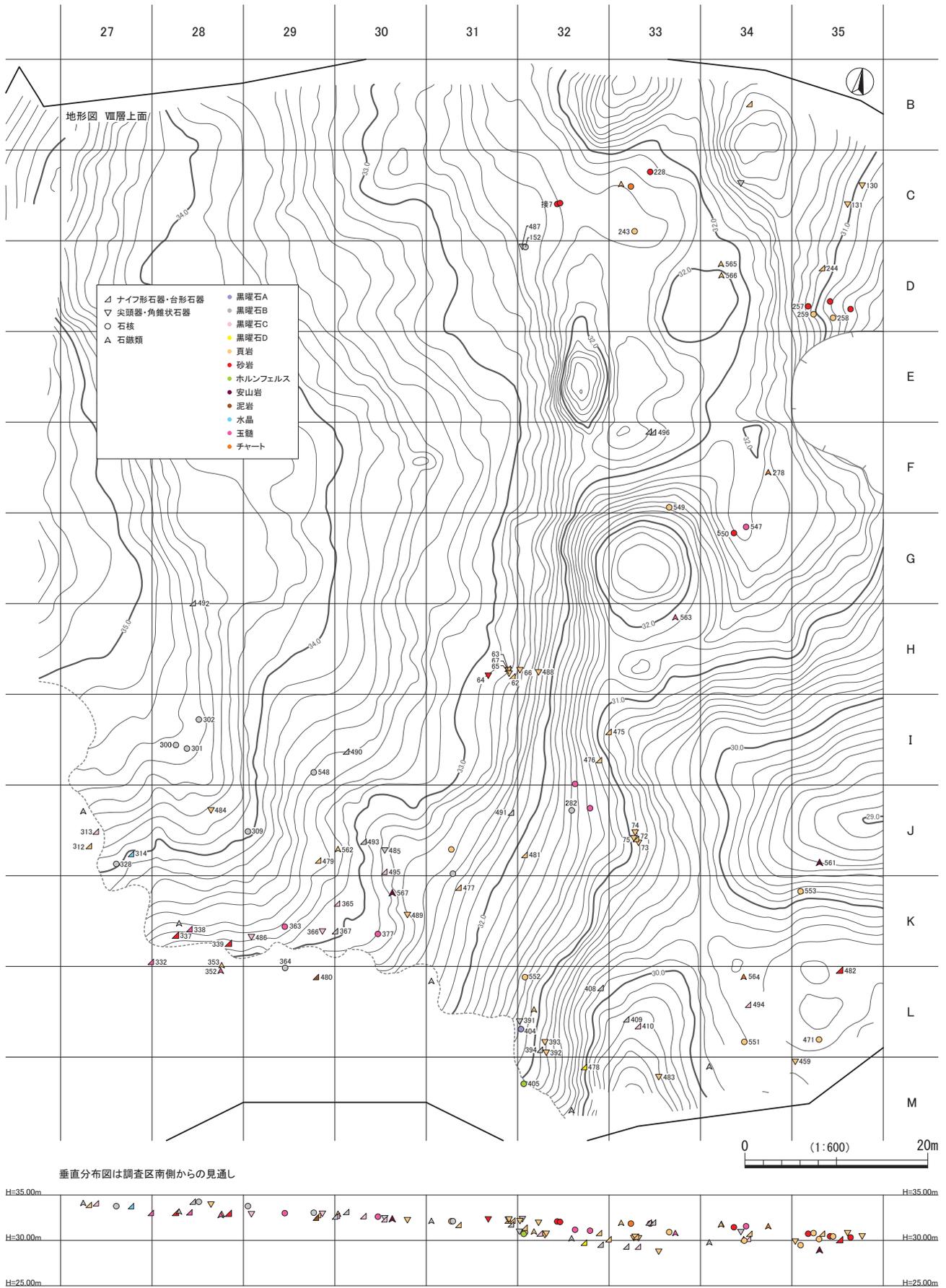
第178図 IX層接合資料 石材別遺物分布図



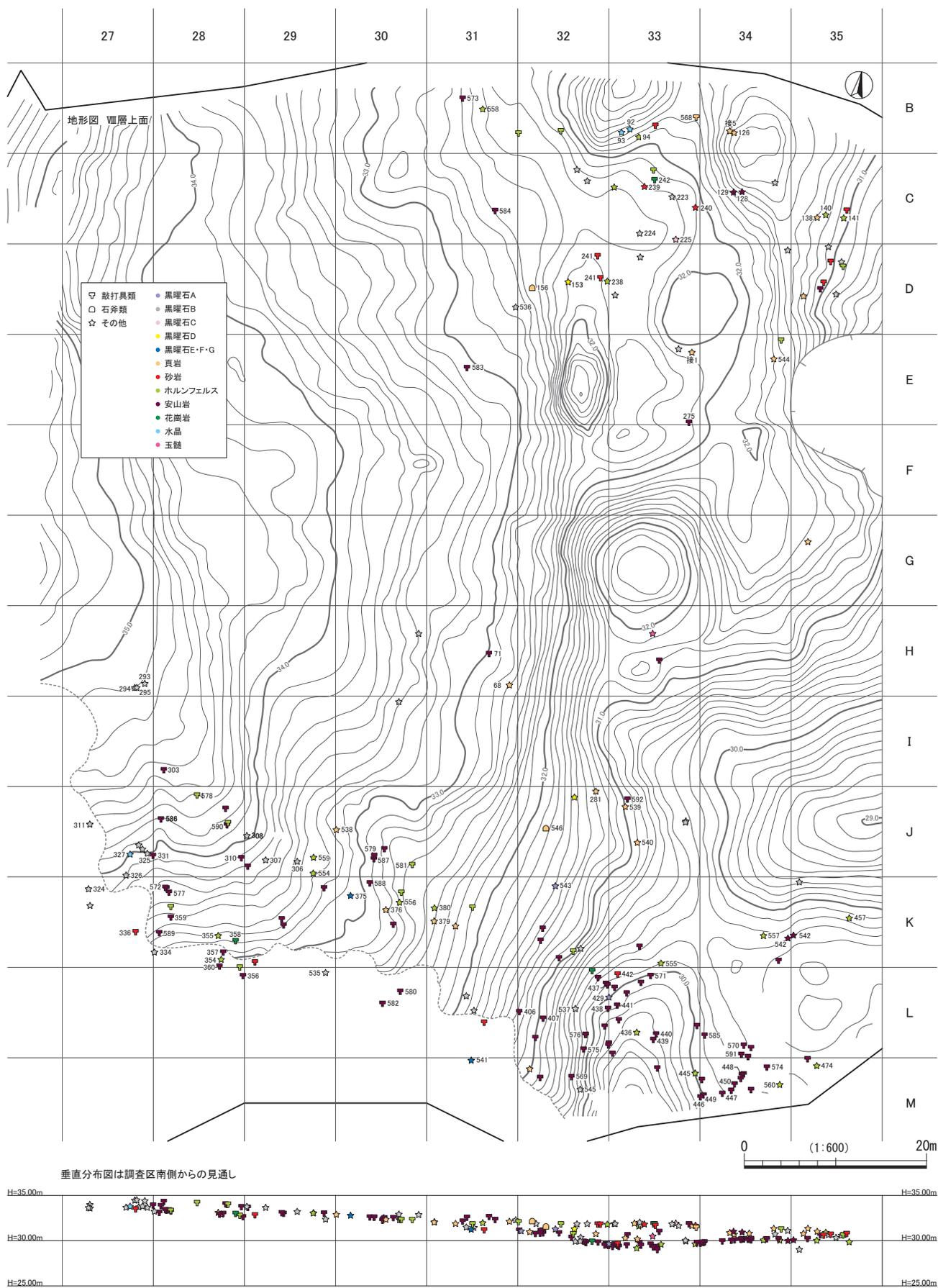
第179図 IX層細石刃核石器材別遺物分布図



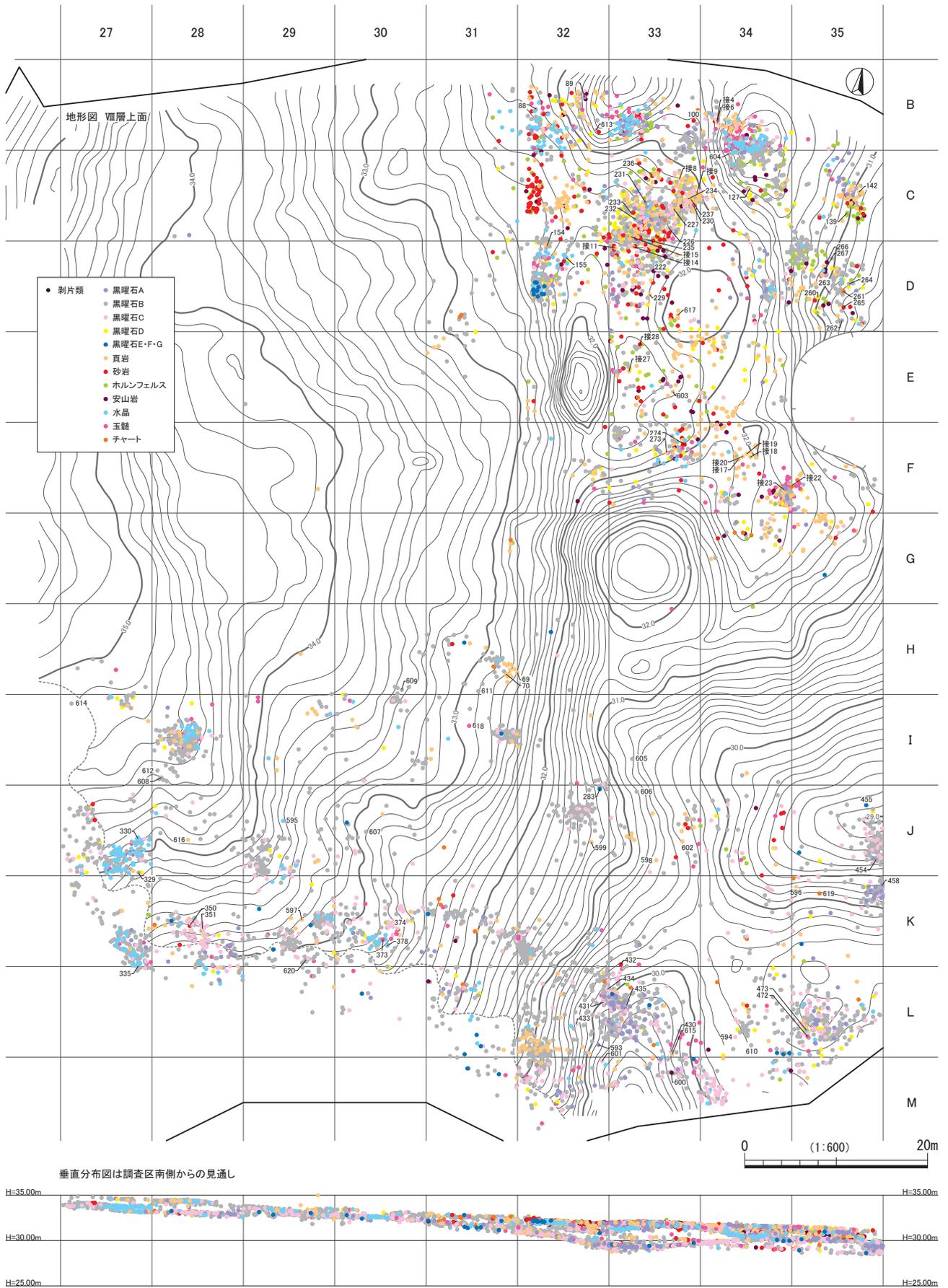
第180図 IX層細石刃石材別遺物分布図



第181図 IX層ナイフ形石器・台形石器・尖頭器類・石鏃類石材別遺物分布図



第182図 Ⅸ層敲打具類・石斧類・その他石器類石材別遺物分布図



第183図 IX層剥片類石材別遺物分布図

土器(第184・185図)

川久保遺跡A地点からは、縄文時代草創期の土器と考えられる土器が出土している。全てⅨ層中からの出土であり、総出土点数は80点である。土器は全て細片もしくは小片であり、そのうち文様が確認できるものや、大きめの破片を計14点図化した。草創期土器の総重量から見ると、418.6g中119.0g(約30%)の土器を図化している。土器が出土した範囲は遺跡の南側に偏る。

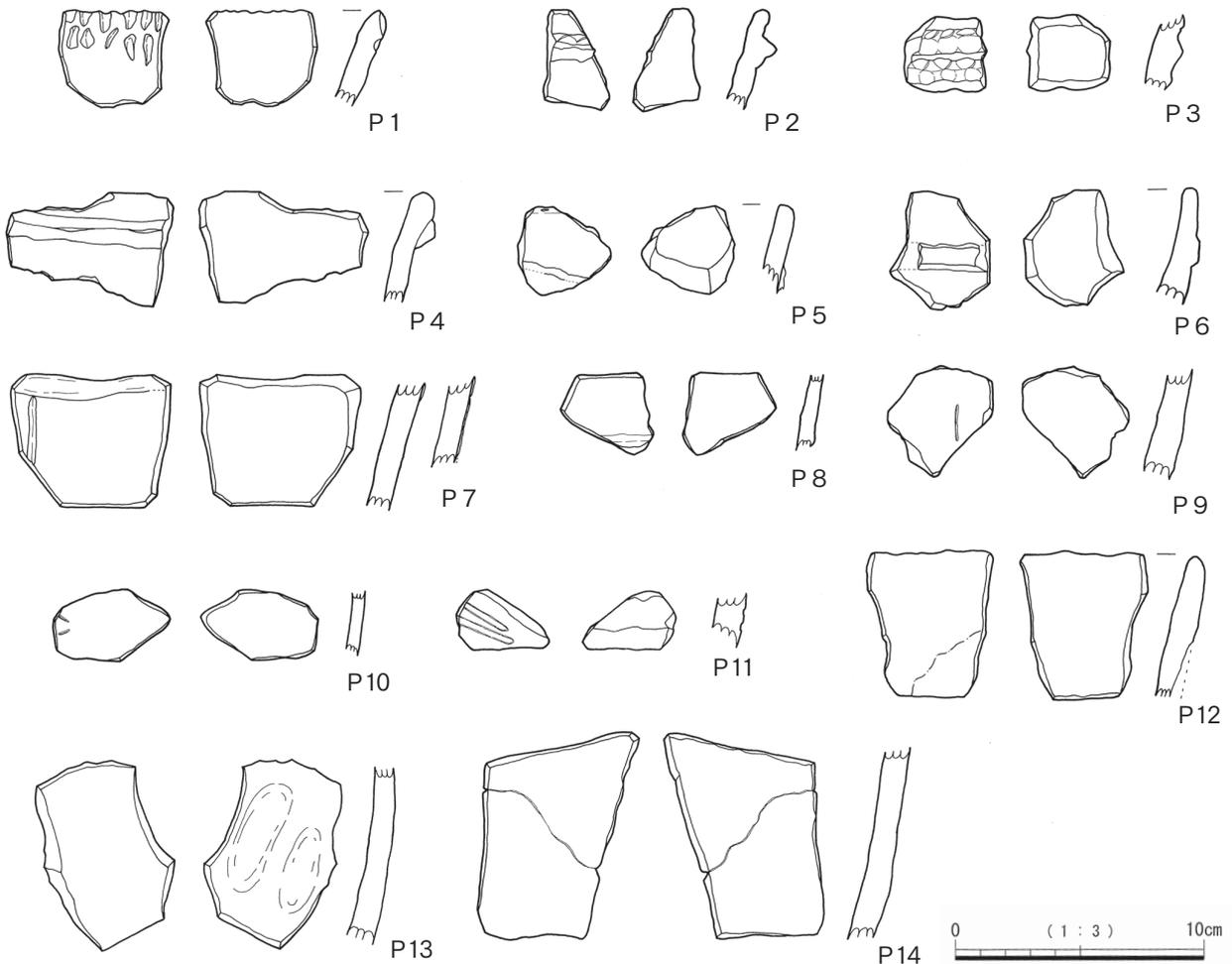
P1は2列の刺突文を施す口縁部片である。口縁部上端の刺突文列が口唇部にまでかかるため、口唇部は小さな波状を呈している。刺突文は器面が摩滅しているため、はっきりとはしないが、小型の棒状工具で施されていると考えられる。器面調整は内外面ともに工具ナデ(ヘラナデ)が行われている。器壁は薄く約5mmである。

P2は幅約7mm、高さ約5mmの三角形の隆線文を施す口縁部片である。隆線文の上部には、隆線文を接合するときに指で摘んだ痕跡と考えられる爪痕が残る。口唇部はやや平坦に整形される。器面調整は内外面ともに工具ナデが行われ、特に内面には約9mmの幅で工具痕が残る。

P3は3条の隆線文が施される土器である。文様の存在から口縁部、もしくは口縁部に近い部位であると考えられる。隆線文は摩滅が激しく、現状では幅約6mm、高さ約3mmの断面かまぼこ形を呈している。隆線文は貼り付けではなく、摘まみ上げて形成されたと考えられ、隆線文の上下には指痕や爪痕が残る。器面調整は外面は全面に文様があるため確認できないが、内面は工具ナデが行われている。

P4は口縁部直下に隆線文を貼り付ける土器である。ここでは口縁部としたが、口唇部の摩滅が激しいため、擬口縁である可能性もあり、この場合は土器の上下も不確かである。隆線文は幅約8mm、高さ約4mmの貼り付け隆線文である。摩滅が激しいが、断面はかまぼこ状を呈す。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われており、特に内面の口縁部上端部は工具ナデが確認できる。器壁は口縁部上端が6mm、隆線文下位が4mmと器壁の厚さに明らかな差異が見られる。

P5は斜位方向の隆線文を施す口縁部片である。口唇部はわずかに残存し、やや外傾気味に平坦に整形された口唇部に刺突文が施されている。この口唇部を平坦口縁



第184図 土器実測図

と考えると、隆線文は斜位方向に施されていることになる。隆線文は破損しており幅・形状ともに不明であるが、やや大ぶりの隆線文であるため、貼り付けられたと考えられる。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われ、内面には工具痕が残る。接合しなかったため、今回は図化していないが、取り上げ時には同一個体と考えられる細片も出土している。

P 6は隆線文を施す口縁部片である。隆線文は幅約8mmであり、貼り付けられている。摩滅が激しく形状は不明である。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われている。

P 7は横位の隆線文と、縦位の細隆線文を施す土器の胴部片である。横位の隆線文は摩滅が激しく形状等は不明であるが、幅は最大で約6mmと考えられる。縦位の細隆線文も摩滅が激しく形状は不明であるが、幅は約3mmである。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われている。

P 8は隆線文を施す土器の胴部片である。隆線文はわずかに確認できる程度であり、摘まみ上げて成形された可能性が高いが、その痕跡は確認できない。隆線文の幅は約5mm、高さは約2mmである。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われている。

P 9は縦位の微隆線文が施された土器の胴部片である。長さは約1cmであり、微隆線文自体は光の当て方や、観察する角度を上手くしないと確認できないような微細なものである。器面調整は外面はナデ調整、内面もやや粗いがナデ調整が行われている。胎土には金雲母が混ざる。

P 10は爪形文の確認できる土器の胴部片である。器壁が非常に薄い土器であり、厚さが約3mmしかない。破片の左端に爪形の文様が確認できる。胎土は精製されており、混和材の小礫等があまり確認できない。P 7の胎土が一番近い胎土である。器面調整は内外面ともにナデ調整と考えられるが摩滅が激しくはっきりとはしない。

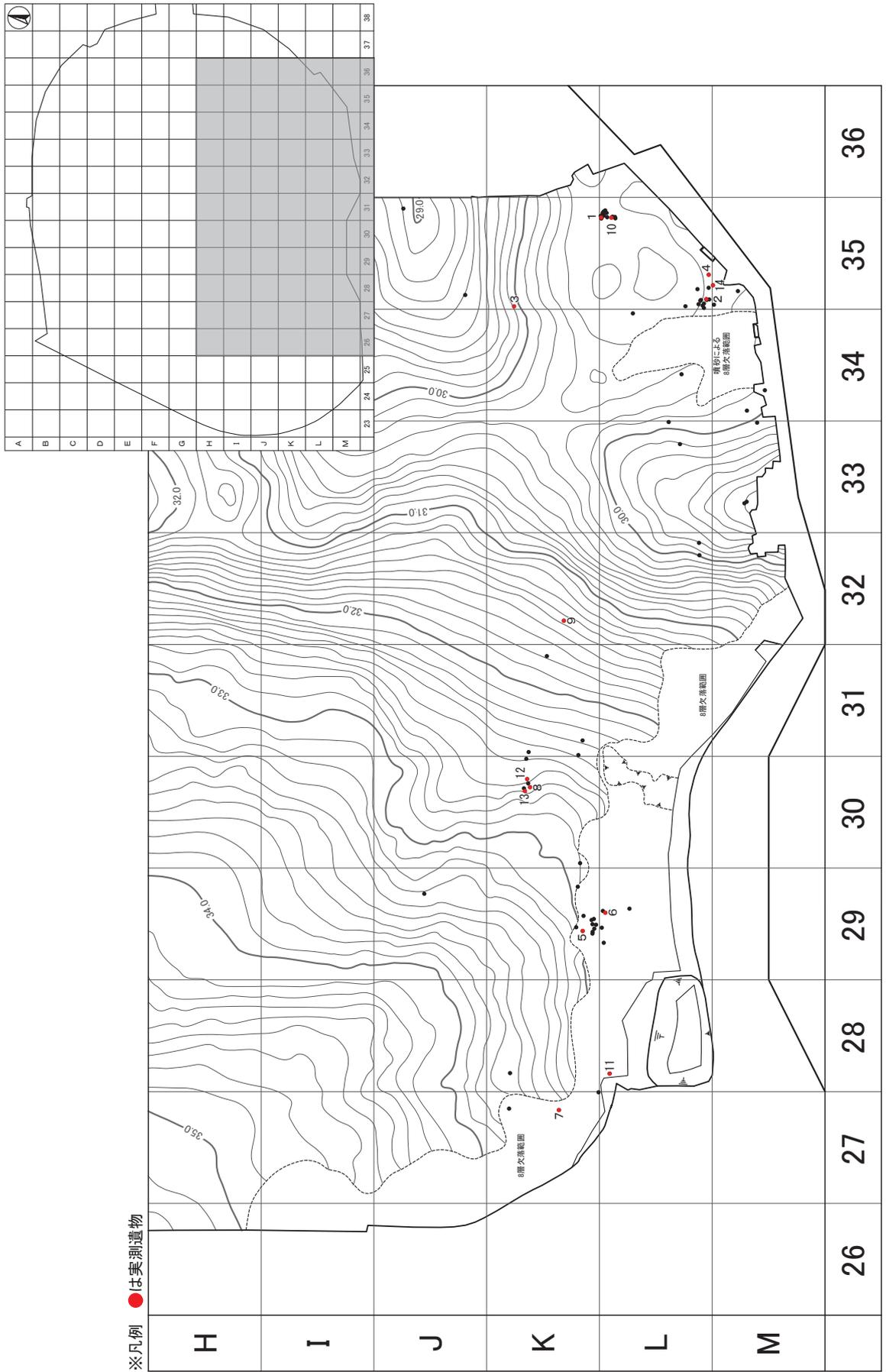
P 11は2条の沈線文が確認できる土器の胴部片である。当初はその特徴から貝殻等で施された条痕文とも考えられたが、1本単位で施されていることから、棒状工具等で施された沈線文とした。沈線文の内部には横方向の細かい筋が残り、棒状工具等の先端部の痕跡と考えられる。器面調整は内外面ともにナデ調整が行われている。

P 12～P 14は無文の胴部片である。今回出土した縄文時代草創期の破片資料の中では最大級の大きさの3点を図化した。3点ともに器面調整は、内外面ともにナデ調整が行われている。

P 13に関しては、内面に指の圧痕が2か所確認できる。

第16表 IX層出土土器観察表

挿図 番号	遺物 番号	出土 区	出土 層位	分類	文様	爪 形 痕	器面調整		胎土						色 調		焼 成	備 考
							外面	内面	石英	長石	角閃石	雲母	小礫	その他	外面	内面		
150	P 1	L 35	IX a	草創期土器	刺突文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	にぶい黄褐	にぶい黄褐	良	
	P 2	L 35	IX a		隆線文	○	ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	橙色	橙色	良	
	P 3	K 35	IX a		隆線文	○	ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	明赤褐	明赤褐	良	
	P 4	L 35	IX a		隆線文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	橙色	橙色	良	
	P 5	K 29	IX a		隆線文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	(にぶい黄褐)	(にぶい黄褐)	良	口唇部：刺突文
	P 6	L 29	IX a		隆線文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	にぶい黄褐	にぶい黄褐	良	
	P 7	K 27	IX a		隆線文 細隆線文(縦)		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	にぶい黄褐	にぶい黄褐	良	
	P 8	K 30	IX a		隆線文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	褐色	褐色	良	
	P 9	K 32	IX a		微隆線文(縦)		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	褐色	褐色	良	
	P 10	L 35	IX a		爪形紋	○	ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	にぶい黄褐	にぶい黄褐	良	
	P 11	L 28	IX a		条痕文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	褐色	褐色	良	
	P 12	L 30	IX a		無文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	明赤褐	明赤褐	良	
	P 13	K 30	IX a		無文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	明赤褐	明赤褐	良	
	P 14	M 35	IX a		無文		ナデ	ナデ	○	○	○		○	○	明赤褐	明赤褐	良	



第185図 土器分布図

第17表 IX層ブロック出土遺物観察表1

挿図番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	取上番号	備考
83	62	ナイフ形石器	真岩A	H31	IXc	ブロック1	5.85	2.10	1.40	10.54	112196	
83	63	ナイフ形石器	真岩G	H31	IXc	ブロック1	4.50	1.90	1.00	6.90	112315	
83	64	角錐状石器	砂岩A	H31	IXc	ブロック1	3.85	2.40	1.60	11.12	112342	
83	65	角錐状石器	真岩A	H31	IXc	ブロック1	3.62	1.80	1.51	7.60	112198	
83	66	尖頭器	真岩D	H32	IXc	ブロック1	7.20	2.20	1.50	26.00	112240	
84	67	尖頭器	真岩D	H31	IXc	ブロック1	5.40	3.10	1.50	20.80	112197	
83	68	削器	真岩A	H31	IXc	ブロック1	3.60	2.60	1.30	9.50	112331	
84	69	二次加工剥片	真岩D	H31	IXc	ブロック1	4.30	1.80	0.50	4.10	112300	
84	70	剥片	真岩A	H31	IXc	ブロック1	5.40	3.35	1.40	18.30	112312	
84	71	磨石	安山岩	H31	IXa	ブロック1	5.85	5.00	3.55	143.00	112031	
85	72	ナイフ形石器	真岩D	J33	IXb	ブロック2	7.40	3.40	1.10	26.90	73899	
85	73	尖頭器	真岩D	J33	IXc	ブロック2	5.70	2.70	1.30	17.40	74118	
85	74	尖頭器	真岩D	J33	IXc	ブロック2	2.90	2.90	1.10	6.40	73133	
85	75	尖頭器	真岩D	J33	IXc	ブロック2	5.20	2.30	1.30	12.20	74121	
86	76	細石刃	黒曜石A	B32	IXa	ブロック3	1.40	0.60	0.10	0.11	34448	
86	77	細石刃	黒曜石D	B32	IXa	ブロック3	0.80	0.30	0.15	0.04	33007	
86	78	細石刃	真岩E	B32	IXa	ブロック3	1.50	0.70	0.25	0.23	34563	
86	79	細石刃核	黒曜石D	B32	IXa	ブロック3	1.65	1.57	1.55	5.10	33015	
86	80	細石刃核	黒曜石B	B32	IXa	ブロック3	1.85	1.40	1.25	3.30	33013	
86	81	細石刃核	黒曜石D	B32	IXa	ブロック3	1.81	1.61	1.45	3.55	33772	
86	82	細石刃核	黒曜石D	B32	IXa	ブロック3	1.40	1.60	1.70	3.60	34391	
86	83	細石刃核	黒曜石B	B32	IX	ブロック3	1.30	1.40	0.90	1.40	30312	
86	84	細石刃核	黒曜石D	B32	IXa	ブロック3	1.90	1.20	1.45	3.39	32415	
86	85	細石刃核	黒曜石C	B32	IXa	ブロック3	1.80	1.50	1.10	2.70	33011	
87	86	細石刃核	真岩E	B32	IXa	ブロック3	2.66	2.23	2.50	11.73	33783	
86	87	細石刃核	真岩E	B32	IXa	ブロック3	2.25	1.05	2.23	5.27	34394	
87	88	二次加工剥片	黒曜石B	B32	IX	ブロック3	1.60	1.20	0.50	1.00	31063	
87	89	剥片	黒曜石A	B32	IXa	ブロック3	1.70	1.40	1.15	2.80	33594	
88	90	細石刃	黒曜石D	B33	IXa	ブロック4	1.15	0.60	0.20	0.13	33020	
88	91	細石刃	水晶A	B33	IXa	ブロック4	1.40	0.75	0.25	0.32	34158	
88	92	楔形石器	水晶A	B33	IXa	ブロック4	1.25	0.85	0.80	0.80	34156	
88	93	楔形石器	水晶A	B33	IXa	ブロック4	1.20	0.85	0.60	0.60	33603	
88	94	礫器	ホルンフェルス	B33	IXa	ブロック4	6.70	10.05	3.30	230.00	33155	
89	95	細石刃	黒曜石B	C34	IXb	ブロック5	1.35	0.50	0.20	0.09	36155	
89	96	細石刃	黒曜石D	C34	IXa	ブロック5	0.80	0.50	0.10	0.06	36246	
89	97	細石刃核	黒曜石B	B33	IXa	ブロック5	1.00	1.50	0.80	1.10	33065	
89	98	細石刃核	黒曜石B	B33	IXa	ブロック5	1.60	1.30	1.00	1.70	35272	
89	99	細石刃核	黒曜石B	B33	IXa	ブロック5	1.20	1.20	1.00	1.20	33064	
89	100	作業面再生剥片	砂岩A	B33	IXa	ブロック5	4.10	1.85	2.90	16.25	35836	畦原
91	101	細石刃	真岩A	C34	IXa	ブロック6	1.15	0.65	0.20	0.16	37402	
91	102	細石刃	黒曜石B	C34	IXa	ブロック6	0.90	0.90	0.20	0.17	37404	
91	103	細石刃	真岩A	C34	IXa	ブロック6	1.10	0.85	0.15	0.17	36251	
91	104	細石刃核	黒曜石B	B34	IXa	ブロック6	1.50	1.80	1.40	3.40	37312	
91	105	細石刃核	水晶B	B34	IXa	ブロック6	1.50	1.20	1.25	2.10	36495	
91	106	細石刃核	黒曜石B	C34	IXa	ブロック6	1.40	1.40	1.10	2.20	36329	
91	107	細石刃核	黒曜石A	B34	IXa	ブロック6	1.00	1.10	1.05	1.20	36507	
91	108	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	2.04	1.77	2.02	7.08	36034	
91	109	細石刃核	黒曜石D	B34	IX	ブロック6	1.40	1.70	1.10	2.90	28450	
91	110	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	1.60	1.60	1.75	4.57	36944	
91	111	細石刃核	黒曜石B	C34	IXa	ブロック6	1.75	1.30	1.15	2.80	36905	
91	112	細石刃核	真岩H	C34	IXa	ブロック6	2.10	1.75	2.20	10.25	36678	
92	113	細石刃核	黒曜石B	C34	IXa	ブロック6	1.10	1.75	1.25	2.10	37408	
92	114	細石刃核	砂岩A	C34	IXa	ブロック6	4.00	1.80	4.30	49.15	37436	畦原
92	115	細石刃核	砂岩B	C34	IXa	ブロック6	3.95	2.20	3.15	42.15	36899	畦原
93	116	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	3.00	1.65	3.10	11.14	36422	
93	117	細石刃核	黒曜石B	B34	IXa	ブロック6	2.00	1.50	2.80	8.40	35611	
93	118	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	1.70	1.20	1.40	1.91	36443	
93	119	細石刃核	黒曜石B	C34	IXa	ブロック6	1.60	1.10	1.20	1.90	37085	
93	120	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	1.55	1.35	3.35	7.95	36411	
93	121	細石刃核	黒曜石B	B34	IXa	ブロック6	1.70	1.10	1.60	2.00	36577	
93	122	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	2.10	1.45	1.75	4.06	36426	
93	123	細石刃核	黒曜石A	B34	IXa	ブロック6	1.30	1.10	1.10	1.70	36940	
94	124	細石刃核	黒曜石D	B34	IXa	ブロック6	1.50	0.80	0.75	0.90	36453	
94	125	細石刃核	真岩E	B34	IXa	ブロック6	2.56	2.10	1.08	5.77	36033	
94	126	細石刃核ブランク	真岩E	B34	IXa	ブロック6	1.70	1.10	1.30	1.90	36465	
94	127	作業面再生剥片	真岩B	C34	IXa	ブロック6	3.80	2.30	2.80	12.60	37578	
94	128	礫器	安山岩	C34	IXa	ブロック6	9.85	5.35	4.15	232.00	36718	
94	129	礫器	安山岩	C34	IXa	ブロック6	7.90	8.10	4.30	365.00	36724	
95	130	尖頭器	真岩D	C35	IXa	ブロック7	3.85	2.30	0.90	6.00	40018	
95	131	尖頭器	真岩D	C35	IXa	ブロック7	4.00	2.60	0.90	8.80	37591	
95	132	細石刃核	黒曜石D	C35	IXa	ブロック7	1.14	1.15	0.70	1.09	38768	
95	133	細石刃核	黒曜石C	C35	IXa	ブロック7	1.35	1.10	0.90	1.45	38771	
95	134	細石刃核	黒曜石B	C35	IXa	ブロック7	1.10	1.20	1.10	1.30	39232	
95	135	細石刃核	黒曜石A	C35	IXa	ブロック7	1.35	1.45	1.45	3.40	37272	
95	136	細石刃核	黒曜石A	C35	IXa	ブロック7	1.65	1.00	1.40	2.00	38444	
95	137	細石刃核	黒曜石D	C35	IXa	ブロック7	1.60	1.00	1.60	1.90	39231	
95	138	細石刃核ブランク	真岩A	C35	IXa	ブロック7	2.10	2.00	4.50	20.00	38438	
95	139	剥片	ホルンフェルス	C35	IXa	ブロック7	3.15	5.15	1.20	17.20	37445	
96	140	礫器	ホルンフェルス	C35	IXa	ブロック7	13.00	12.65	5.50	1172.00	38437	
96	141	礫器	ホルンフェルス	C35	IXa	ブロック7	8.60	10.00	4.50	418.00	37446	
96	142	剥片	真岩D	C35	IXa	ブロック7	1.20	3.85	0.45	1.60	40058	
97	143	細石刃核	真岩E	C32	IX	ブロック8	2.40	1.48	1.53	2.28	31393	
98	144	細石刃	黒曜石B	C32	IX	ブロック9	2.35	1.10	0.45	1.30	32041	
98	145	細石刃	黒曜石B	D32	IXa	ブロック9	1.35	0.70	0.30	0.17	32341	
98	146	細石刃核	黒曜石B	D32	IXa	ブロック9	1.40	1.50	0.80	1.70	32370	

第18表 IX層ブロック出土遺物観察表2

挿図 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号	備考
98	147	細石刃核	黒曜石B	D32	IXa	ブロック9	1.20	1.30	0.90	1.20	33500	
98	148	細石刃核	黒曜石B	D32	IXa	ブロック9	1.25	1.10	1.40	1.90	32352	
98	149	細石刃核	黒曜石B	D32	IXa	ブロック9	2.15	1.45	1.90	3.90	32991	
98	150	細石刃核	黒曜石D	D32	IXa	ブロック9	1.40	1.10	1.35	2.10	32327	
98	151	細石刃核	黒曜石B	D32	IX	ブロック9	1.30	1.20	1.20	1.80	31407	
98	152	石核	黒曜石B	D32	IXc	ブロック9	1.50	2.00	1.30	2.90	111999	
98	153	楔形石器	黒曜石D	D32	IXa	ブロック9	1.28	1.10	0.58	1.22	32325	
98	154	剥片	黒曜石B	D32	IX	ブロック9	1.85	1.85	0.55	1.70	30923	
98	155	剥片	黒曜石B	D32	IX	ブロック9	1.45	2.25	0.70	2.30	30694	
98	156	打製石斧	頁岩A	D32	IXa	ブロック9	9.50	5.50	2.30	139.20	32348	
101	157	細石刃	黒曜石A	D33	IXa	ブロック10	1.40	0.80	0.40	0.40	33571	
101	158	細石刃	黒曜石A	D32	IX	ブロック10	1.45	0.60	0.20	0.17	31377	
101	159	細石刃	黒曜石B	D33	IXa	ブロック10	1.05	0.60	0.20	0.11	35242	
101	160	細石刃	黒曜石C	C33	IXa	ブロック10	1.30	0.60	0.10	0.12	32664	
101	161	細石刃	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.20	0.60	0.15	0.08	32758	
101	162	細石刃	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.35	0.55	0.10	0.12	34280	
101	163	細石刃	黒曜石D	D33	IXa	ブロック10	0.70	0.30	0.15	0.03	34863	
101	164	細石刃	頁岩A	C33	IXa	ブロック10	2.70	0.45	0.20	0.34	35197	
101	165	細石刃	頁岩E	D33	IXa	ブロック10	2.90	0.60	0.20	0.23	34379	
101	166	細石刃	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.15	0.60	0.20	0.13	32683	
101	167	細石刃	黒曜石D	C33	IXb	ブロック10	1.20	0.55	0.15	0.09	36052	
101	168	細石刃	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	0.55	0.50	0.10	0.02	34480	
101	169	細石刃	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	0.85	0.65	0.20	0.12	34889	
101	170	細石刃	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	0.75	0.65	0.10	0.05	34723	
101	171	細石刃核	黒曜石D	D33	IXa	ブロック10	1.30	1.60	0.75	1.53	35251	
101	172	細石刃核	黒曜石D	C33	IX上	ブロック10	1.88	1.50	1.02	2.61	32015	
101	173	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.40	1.60	0.80	1.90	32706	
101	174	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.30	1.15	0.80	0.80	32727	
101	175	細石刃核	黒曜石A	D33	IXa	ブロック10	1.50	1.25	0.75	1.40	34216	
101	176	細石刃核	黒曜石A	C33	IXa	ブロック10	1.40	1.20	1.30	2.10	36169	
101	177	細石刃核	黒曜石A	C33	IXa	ブロック10	1.70	1.20	1.10	2.70	34886	
101	178	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.40	1.62	1.88	6.20	33634	
101	179	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.30	1.50	1.60	3.10	33627	
101	180	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.60	1.17	1.46	1.76	34273	
101	181	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.20	1.50	1.40	2.30	32658	
102	182	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.30	2.10	1.90	8.61	32781	
102	183	細石刃核	頁岩E	C33	IX	ブロック10	1.95	1.95	2.15	5.62	31369	
102	184	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.68	1.16	1.70	3.53	32689	
102	185	細石刃核	黒曜石B	C33	IXb	ブロック10	1.90	1.20	1.30	3.00	35957	
102	186	細石刃核	頁岩E	C33	IX	ブロック10	1.25	1.85	1.10	2.64	31365	
102	187	細石刃核	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.32	1.15	1.11	1.58	34897	
102	188	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.90	1.65	1.20	3.10	34705	
102	189	細石刃核	黒曜石B	C33	IX	ブロック10	1.00	1.45	1.30	1.40	30943	
102	190	細石刃核	黒曜石C	C33	IXa	ブロック10	1.50	1.50	1.30	2.50	33641	
102	191	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.60	2.04	2.10	5.65	32780	
102	192	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.84	1.67	1.96	6.00	32760	
103	193	細石刃核	頁岩E	C33	IX	ブロック10	2.00	1.70	1.95	7.82	30937	
103	194	細石刃核	黒曜石B	C33	IX	ブロック10	1.40	1.20	1.20	2.10	30941	
103	195	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.62	1.29	1.11	1.47	34292	
103	196	細石刃核	頁岩E	C33	IXb	ブロック10	2.30	1.60	2.00	7.01	35941	
103	197	細石刃核	黒曜石D	C33	IX	ブロック10	1.60	1.30	1.20	2.70	30966	
103	198	細石刃核	頁岩E	C33	IX	ブロック10	1.35	1.50	1.57	2.71	30934	
103	199	細石刃核	黒曜石B	C33	IX上	ブロック10	1.50	1.60	1.20	2.30	32021	
103	200	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.20	1.40	1.20	1.90	34376	
103	201	細石刃核	黒曜石C	C34	IXb	ブロック10	1.15	0.90	1.10	1.50	35950	
103	202	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.22	2.14	2.06	9.59	35597	
103	203	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.00	2.00	2.05	6.54	33832	
104	204	細石刃核	黒曜石C	C33	IXa	ブロック10	1.40	1.30	1.20	1.60	35483	
104	205	細石刃核	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.10	1.05	0.80	0.90	32769	
104	206	細石刃核	頁岩H	C33	IXa	ブロック10	2.50	2.00	2.80	16.97	32655	
104	207	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.38	2.10	2.80	9.96	35185	
104	208	細石刃核	頁岩H	D33	IXa	ブロック10	2.24	1.70	2.30	10.65	34310	
105	209	細石刃核	砂岩A	C34	IXa	ブロック10	3.45	2.20	4.00	40.24	36727	
105	210	細石刃核	頁岩H	D33	IXa	ブロック10	3.20	2.00	4.20	30.00	34309	畦原
105	211	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.80	1.70	1.65	4.78	32754	畦原・加治屋園
105	212	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.80	1.91	1.82	6.86	33904	
106	213	細石刃核	頁岩E	C33	IX	ブロック10	2.45	1.67	2.18	8.22	30938	
106	214	細石刃核	頁岩E	C33	IXb	ブロック10	1.50	1.60	1.60	3.00	35953	
106	215	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.90	1.25	2.40	8.70	32765	
106	216	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	2.47	2.15	3.83	16.95	35601	
106	217	細石刃核	黒曜石B	D33	IXa	ブロック10	1.60	1.40	1.80	3.30	35365	
106	218	細石刃核	黒曜石E	C33	IXa	ブロック10	2.30	1.35	1.65	5.31	36258	
106	219	細石刃核	黒曜石C	C34	IXb	ブロック10	1.90	1.30	1.50	2.70	36067	
107	220	細石刃核	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.40	1.00	0.90	1.30	32705	
107	221	細石刃核	頁岩E	C33	IXa	ブロック10	1.55	1.50	0.90	1.29	34418	
107	222	打面再生剥片	黒曜石B	D33	IXa	ブロック10	1.50	1.10	1.60	2.20	33651	
107	223	搔器	黒曜石B	C33	IXa	ブロック10	1.25	2.00	0.92	2.20	32750	
107	224	搔器	黒曜石B	C33	IX	ブロック10	2.98	1.92	0.92	4.90	31375	
107	225	彫器	黒曜石C	C33	IX	ブロック10	1.75	1.85	0.80	2.00	30962	
107	226	二次加工剥片	黒曜石B	C33	IX	ブロック10	1.50	1.35	1.15	1.90	30989	
107	227	二次加工剥片	黒曜石D	C33	IXa	ブロック10	1.05	0.50	0.20	0.10	34888	
107	228	石核	砂岩B	C33	IXa	ブロック10	2.30	8.45	4.30	87.00	33110	
108	229	使用痕剥片	頁岩B	D33	IX	ブロック10	8.25	3.15	1.80	38.80	30969	
108	230	使用痕剥片	頁岩B	C33	IXa	ブロック10	6.15	4.15	1.05	20.20	36897	
108	231	剥片	黒曜石A	C33	IXa	ブロック10	2.75	1.75	0.90	3.10	32733	

第19表 IX層ブロック出土遺物観察表3

挿図番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	取上番号	備考
108	232	剥片	黒曜石B	C33	IX a	ブロック10	1.75	2.00	0.75	2.20	34431	
108	233	剥片	黒曜石B	C33	IX b	ブロック10	1.70	2.45	0.55	1.80	36006	
108	234	剥片	黒曜石C	C33	IX a	ブロック10	1.30	2.25	0.65	1.60	35598	
108	235	剥片	真岩E	C33	IX a	ブロック10	3.35	3.70	2.20	17.40	35368	
109	236	剥片	ホルンフェルス	C33	IX a	ブロック10	4.80	6.10	1.45	45.70	33109	
109	237	剥片	真岩E	C33	IX a	ブロック10	3.20	4.50	1.10	10.00	35600	
109	238	礫器	ホルンフェルス	D32	IX	ブロック10	7.90	8.40	3.80	315.00	30930	
109	239	礫器	砂岩B	C33	IX a	ブロック10	6.45	9.30	4.10	315.00	33831	
109	240	礫器	砂岩B	C33	IX a	ブロック10	8.70	10.50	2.75	265.00	35820	
109	241	叩石	砂岩A	D32	IX a	ブロック10	16.70	5.40	2.30	313.40	接合資料No.3	
110	242	磨石	花崗岩	C33	IX a	ブロック10	7.70	6.10	4.00	185.00	33106	
110	243	石核	真岩B	C33	IX a	ブロック10	3.50	6.80	5.50	156.70	34435	
111	244	ナイフ形石器	真岩A	D35	IX a	ブロック12	3.30	1.65	0.65	3.10	36978	
111	245	細石刃	黒曜石D	D35	IX a	ブロック12	1.40	1.05	0.30	0.29	38782	
111	246	細石刃	黒曜石D	D35	IX a	ブロック12	1.10	0.40	0.20	0.07	36975	
111	247	細石刃	砂岩A	D35	IX a	ブロック12	1.15	0.70	0.20	0.20	38551	
111	248	細石刃	真岩E	D35	IX a	ブロック12	1.30	0.70	0.15	0.13	37147	
111	249	細石刃	黒曜石B	D35	IX a	ブロック12	0.70	0.75	0.15	0.07	36797	
111	250	細石刃	真岩E	D35	IX a	ブロック12	0.85	0.60	0.25	0.10	36976	
111	251	細石刃核	砂岩A	D35	IX a	ブロック12	4.75	2.70	5.40	107.30	35135	畦原
111	252	細石刃核	真岩E	D35	IX a	ブロック12	3.90	2.10	3.05	21.37	34925	畦原
112	253	細石刃核	真岩A	D35	IX a	ブロック12	3.40	2.40	2.90	24.76	36954	畦原
112	254	細石刃核	砂岩B	D35	IX a	ブロック12	4.05	2.10	4.90	44.72	36821	
112	255	細石刃核	真岩E	D35	IX a	ブロック12	1.35	1.15	1.87	2.26	34914	
112	256	細石刃核	黒曜石B	D35	IX a	ブロック12	2.40	0.85	0.90	1.80	38552	
113	257	石核	砂岩A	D35	IX a	ブロック12	2.30	6.20	5.65	90.70	35108	
113	258	石核	真岩A	D35	IX a	ブロック12	3.45	5.90	3.80	98.50	39874	
114	259	石核	真岩E	D35	IX a	ブロック12	3.00	3.30	4.20	31.70	39239	
114	260	二次加工剥片	黒曜石D	D35	IX a	ブロック12	2.10	1.40	0.60	1.40	34920	
114	261	二次加工剥片	チャート	D35	IX a	ブロック12	2.25	3.20	1.35	8.80	37149	
114	262	剥片	黒曜石B	D35	IX a	ブロック12	2.35	2.35	0.90	4.60	40020	
114	263	剥片	黒曜石B	D35	IX a	ブロック12	2.45	3.45	0.95	6.90	37633	
114	264	剥片	黒曜石B	D35	IX a	ブロック12	1.90	2.20	0.90	3.60	36820	
114	265	剥片	砂岩C	D35	IX b	ブロック12	5.70	2.30	1.15	14.40	37332	
115	266	剥片	安山岩	D35	IX a	ブロック12	5.60	7.45	1.15	55.50	37141	
115	267	剥片	安山岩	D35	IX a	ブロック12	7.10	5.35	1.35	32.70	37268	
116	268	細石刃	黒曜石C	F33	IX a	ブロック13	1.90	0.55	0.20	0.17	40068	
116	269	細石刃核	黒曜石B	F33	IX a	ブロック13	1.20	1.60	1.20	2.20	39192	
116	270	細石刃核	真岩E	F34	IX a	ブロック13	2.44	1.43	2.02	6.04	38498	
116	271	細石刃核	真岩E	E33	IX a	ブロック13	2.47	1.24	1.96	3.83	34356	
116	272	細石刃核	黒曜石C	F33	IX a	ブロック13	1.44	0.90	0.87	0.97	38519	
116	273	剥片	真岩A	F33	IX a	ブロック13	2.80	3.80	1.05	7.10	37943	
116	274	剥片	砂岩B	F33	IX a	ブロック13	5.05	3.15	1.05	12.80	37939	
116	275	磨石	安山岩	E33	IX	ブロック13	7.70	6.00	5.00	315.00	30974	
118	276	細石刃核	真岩E	F34	IX a	ブロック14	2.75	1.24	2.40	7.24	38473	
119	277	細石刃核	黒曜石B	F34	IX a	ブロック15	1.30	1.30	1.20	1.80	38861	
119	278	打製石鏃	チャート	F34	IX a	ブロック15	2.40	1.60	0.50	1.30	38465	
120	279	細石刃核	真岩E	F35	IX a	ブロック16	1.90	0.90	0.70	3.30	37901	
121	280	細石刃核	黒曜石B	J32	IX b	ブロック18	1.35	1.40	2.15	3.90	72971	
121	281	削器	真岩B	J32	IX b	ブロック18	4.10	3.70	1.60	20.40	72524	
121	282	石核	黒曜石B	J32	IX a	ブロック18	2.75	2.40	1.70	12.00	72514	
121	283	剥片	黒曜石E	J32	IX a	ブロック18	2.75	2.95	1.10	5.20	72525	
122	284	細石刃	砂岩A	I27	IX b	ブロック19	1.30	0.70	0.15	0.27	98592	
122	285	細石刃	真岩A	I27	IX a	ブロック19	1.35	0.60	0.15	0.20	98608	
122	286	細石刃	真岩A	I27	IX a	ブロック19	1.05	0.55	0.20	0.11	98612	
122	287	細石刃	真岩A	I27	IX a	ブロック19	1.00	0.55	0.10	0.09	98622	
122	288	細石刃	真岩A	I27	IX a	ブロック19	0.95	0.70	0.15	0.12	98624	
122	289	細石刃核	真岩A	H27	IX a	ブロック19	2.90	1.40	3.30	21.17	100528	畦原
122	290	細石刃核	真岩B	H27	IX a	ブロック19	3.00	2.10	2.10	14.00	100529	畦原
122	291	細石刃核	真岩A	H27	IX a	ブロック19	3.10	1.60	2.20	16.65	100525	畦原
122	292	細石刃核	真岩A	H27	IX a	ブロック19	3.20	1.70	1.90	15.79	100530	畦原
122	293	削器	黒曜石B	H27	IX b	ブロック19	2.15	2.55	0.70	3.89	100523	
122	294	削器	黒曜石B	H27	IX b	ブロック19	2.80	1.60	1.10	3.30	87677	
122	295	二次加工剥片	黒曜石B	H27	IX a	ブロック19	1.70	1.95	0.70	2.00	87676	
123	296	細石刃	水晶A	I28	IX a	ブロック20	0.90	0.50	0.15	0.07	102342	
123	297	細石刃	真岩E	I28	IX b	ブロック20	0.90	0.45	0.15	0.08	102797	
123	298	細石刃核	黒曜石B	I28	IX a	ブロック20	2.60	2.40	2.50	11.56	102382	
123	299	細石刃核	水晶A	I28	IX b	ブロック20	2.30	1.60	1.90	4.58	103029	
123	300	石核	黒曜石B	I28	IX a	ブロック20	2.05	2.20	1.90	7.04	102327	
123	301	石核	黒曜石B	I28	IX a	ブロック20	2.00	2.15	2.40	8.10	102792	
123	302	石核	黒曜石B	I28	IX a	ブロック20	1.95	3.50	3.25	16.20	102244	
124	303	磨石・敲石	安山岩	I28	IX b	ブロック20	12.45	8.00	6.25	961.00	102223	
125	304	細石刃	黒曜石B	J29	IX a	ブロック21	1.65	0.80	0.20	0.32	100053	
125	305	細石刃	黒曜石C	J28	IX b	ブロック21	1.00	0.60	0.20	0.11	98687	
125	306	細石刃核ブランク	黒曜石B	J29	IX a	ブロック21	1.25	2.90	2.90	6.70	102744	
125	307	細石刃核ブランク	黒曜石B	J29	IX a	ブロック21	1.60	2.02	3.40	8.40	99073	
125	308	搔器	黒曜石B	J29	IX a	ブロック21	1.90	2.00	1.00	3.60	99018	
125	309	石核	黒曜石B	J29	IX a	ブロック21	2.20	2.20	1.70	7.87	99017	
125	310	磨石	安山岩	J28	IX a	ブロック21	7.00	6.70	3.80	241.00	102781	
126	311	削器	黒曜石B	J27	IX c	ブロック22	1.90	1.60	0.70	2.10	95377	
127	312	ナイフ形石器	真岩A	J27	IX a	ブロック23	2.58	1.07	0.45	1.20	89269	
127	313	台形石器	黒曜石C	J27	IX a	ブロック23	1.10	1.35	0.40	0.40	89295	
127	314	台形石器	水晶A	J27	IX a	ブロック23	2.05	1.45	0.70	1.90	89167	
127	315	細石刃	黒曜石B	J27	IX a	ブロック23	1.30	0.55	0.20	0.17	89259	
127	316	細石刃	黒曜石C	K27	IX a	ブロック23	1.55	0.55	0.30	0.20	89083	

第20表 IX層ブロック出土遺物観察表4

挿図 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号	備考
127	317	細石刃	黒曜石C	K27	IXa	ブロック23	1.50	0.90	0.20	0.33	89095	
127	318	細石刃	水晶A	J27	IXa	ブロック23	1.40	0.85	0.15	0.22	95344	
127	319	細石刃	水晶A	J27	IXa	ブロック23	1.90	0.90	0.25	0.50	89213	
127	320	細石刃	黒曜石B	J27	IXa	ブロック23	0.70	0.60	0.10	0.03	89211	
127	321	細石刃核	水晶A	J27	IXb	ブロック23	1.60	1.90	1.40	4.20	95750	
127	322	細石刃核	水晶A	J27	IXa	ブロック23	1.60	2.05	1.60	5.30	89125	
127	323	細石刃核	水晶A	J27	IXb	ブロック23	1.90	1.80	1.10	4.30	95746	
127	324	搔器	黒曜石B	K27	IXa	ブロック23	2.25	2.90	1.25	7.40	89097	
127	325	搔器	黒曜石B	J27	IXb	ブロック23	1.40	3.20	0.80	2.80	95754	
127	326	搔器	黒曜石B	J27	IXa	ブロック23	2.50	1.30	0.80	1.98	89134	
127	327	楔形石器	水晶A	J27	IXa	ブロック23	1.95	1.60	0.85	3.70	89164	
128	328	石核	黒曜石B	J27	IXa	ブロック23	2.55	3.10	2.30	14.20	89148	
128	329	二次加工剥片	黒曜石B	J27	IXa	ブロック23	3.00	2.25	1.05	5.60	89115	
128	330	剥片	黒曜石B	J27	IXb	ブロック23	2.60	3.10	0.95	5.80	101930	
128	331	磨石	安山岩	J28	IXa上	ブロック23	7.65	6.55	4.35	282.00	103418	
129	332	ナイフ形石器	玉髄A	K27	IXa	ブロック24	2.45	1.20	0.50	1.20	103387	
129	333	石核	黒曜石B	K27	IXb	ブロック24	2.00	2.20	2.00	9.70	89002	
129	334	削器	黒曜石B	K28	IXb	ブロック24	4.20	1.90	1.20	9.40	96560	
130	335	使用痕剥片	黒曜石B	K27	IXa	ブロック24	2.50	3.50	0.90	6.40	88929	
130	336	磨石	砂岩B	K27	IXa	ブロック24	5.10	3.90	3.00	75.00	95286	
131	337	ナイフ形石器	砂岩A	K28	IXb	ブロック25	3.70	1.80	0.85	5.24	101460	
131	338	ナイフ形石器	玉髄A	K28	IXb	ブロック25	2.75	1.80	0.70	2.57	101450	
131	339	ナイフ形石器	砂岩A	K28	IXa	ブロック25	3.40	1.45	0.70	3.00	97590	
131	340	細石刃	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	1.60	0.50	0.15	0.08	102426	
131	341	細石刃	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	1.35	0.65	0.25	0.14	101356	
131	342	細石刃	黒曜石D	K28	IXb	ブロック25	1.30	0.70	0.20	0.18	101377	
131	343	細石刃	黒曜石C	L28	IXa	ブロック25	1.75	0.85	0.25	0.47	97728	
131	344	細石刃	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	1.40	0.50	0.30	0.17	101415	
131	345	細石刃	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	0.80	0.70	0.15	0.07	101414	
131	346	細石刃	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	0.85	0.60	0.30	0.12	101902	
131	347	細石刃核	黒曜石B	K28	IXa	ブロック25	0.95	1.10	0.70	0.70	97681	
131	348	細石刃核	黒曜石C	K28	IXb	ブロック25	1.30	1.70	1.25	2.70	101457	
132	349	細石刃核	黒曜石C	L28	IXa	ブロック25	1.95	1.40	1.15	3.13	97699	
132	350	使用痕剥片	砂岩A	K28	IXb	ブロック25	6.75	2.10	1.15	11.60	101449	
132	351	剥片	頁岩B	K28	IXb	ブロック25	2.35	2.80	0.65	3.20	101960	
132	352	打製石鏃	玉髄B	L28	IXa	ブロック25	1.40	1.10	0.20	0.36	97708	
132	353	磨製石鏃	頁岩B	K28	IXa	ブロック25	1.90	2.00	0.20	0.94	97616	
132	354	礫器	ホルンフェルス	K28	IXa	ブロック25	11.90	11.30	4.80	904.00	97628	
132	355	礫器	ホルンフェルス	K28	IXa	ブロック25	8.60	11.15	2.30	333.00	97637	
132	356	磨石	安山岩	L28	IXa	ブロック25	5.40	5.50	4.10	182.00	97726	
132	357	磨石	安山岩	K28	IXa	ブロック25	9.60	8.65	7.50	889.00	97630	
133	358	磨石	花崗岩	K28	IXa	ブロック25	6.50	6.20	4.60	242.00	97589	
133	359	磨石・敲石	安山岩	K28	IXa	ブロック25	5.90	5.90	4.45	186.00	98749	
133	360	磨石・敲石	安山岩	K28	IXa	ブロック25	7.00	5.55	3.45	161.00	97617	
134	361	細石刃	頁岩B	K29	IXb	ブロック26	1.50	0.65	0.20	0.25	101276	
134	362	細石刃核	黒曜石D	K29	IXb	ブロック26	1.10	0.80	0.80	0.60	101322	
134	363	石核	玉髄A	K29	IXb	ブロック26	1.65	3.70	2.80	12.43	98779	
134	364	石核	黒曜石B	L29	IXc	ブロック26	2.40	2.20	2.30	11.40	87823	
135	365	ナイフ形石器	黒曜石C	K30	IXb	ブロック27	2.65	1.20	0.70	1.73	98870	
135	366	角錐状石器	黒曜石C	K29	IXa	ブロック27	2.50	1.20	0.90	1.88	101253	
135	367	台形石器	黒曜石B	K30	IXb	ブロック27	2.60	1.35	0.75	2.23	101961	
135	368	細石刃核	黒曜石C	K30	IXb	ブロック27	1.25	1.20	0.95	1.37	98874	
136	369	細石刃	黒曜石C	K30	IXa	ブロック28	1.15	0.40	0.10	0.06	103378	
136	370	細石刃	水晶B	K30	IXb	ブロック28	0.80	0.65	0.15	0.09	101173	
136	371	細石刃核	黒曜石C	K30	IXb	ブロック28	1.95	1.85	1.55	5.49	101167	
136	372	細石刃核	頁岩A	K30	IXb	ブロック28	2.60	2.20	4.90	29.40	101141	
136	373	作業面再生剥片	玉髄A	K30	IXb	ブロック28	3.00	2.40	1.85	7.61	101140	
136	374	打面再生剥片	黒曜石C	K30	IXa	ブロック28	1.40	1.15	1.18	2.03	104269	
137	375	削器	黒曜石E	K30	IXa	ブロック28	2.00	3.10	1.40	6.73	98880	
137	376	石錐	頁岩A	K30	IXb	ブロック28	4.70	1.40	0.85	4.50	107247	
137	377	石核	玉髄B	K30	IXb	ブロック28	2.10	4.80	4.70	39.70	104275	
137	378	剥片	黒曜石B	K30	IXb	ブロック28	1.75	1.90	1.10	2.70	101128	
138	379	石錐	頁岩A	K31	IXb	ブロック29	4.41	1.49	0.74	4.41	88477	
138	380	礫器	ホルンフェルス	K31	IXa	ブロック29	10.10	12.20	5.50	796.00	88580	
139	381	細石刃	黒曜石C	K31	IXc	ブロック30	1.70	0.70	0.20	0.19	88807	
139	382	細石刃	黒曜石C	K31	IXa	ブロック30	0.95	0.60	0.15	0.08	88524	
139	383	細石刃	黒曜石C	K31	IXa	ブロック30	1.10	0.60	0.10	0.10	88560	
139	384	細石刃核	黒曜石B	K31	IXa	ブロック30	1.45	1.10	1.20	1.80	88810	
139	385	細石刃核	砂岩A	K31	IXb	ブロック30	3.70	1.90	3.50	35.92	88486	畦原
140	386	細石刃	黒曜石B	L31	IXb	ブロック31	1.00	0.70	0.10	0.07	88318	
140	387	細石刃	黒曜石C	L31	IXa	ブロック31	1.40	0.55	0.25	0.12	88288	
140	388	細石刃	黒曜石D	L31	IXa	ブロック31	1.50	0.50	0.30	0.16	88798	
140	389	細石刃	黒曜石B	L31	IXa	ブロック31	1.65	0.75	0.25	0.28	88300	
140	390	細石刃核	水晶A	L31	IXb	ブロック31	1.30	2.10	2.55	5.60	88268	
141	391	角錐状石器	黒曜石B	L32	IXb	ブロック32	2.14	1.41	1.12	2.70	71756	
141	392	尖頭器	頁岩D	L32	IXb	ブロック32	6.45	2.65	0.80	13.30	70058	
141	393	尖頭器	頁岩D	L32	IXc	ブロック32	6.25	1.90	1.10	10.80	71710	
141	394	台形石器	黒曜石B	L32	IXb	ブロック32	2.20	1.15	0.80	1.60	70042	
141	395	細石刃	黒曜石C	M32	IXa	ブロック32	1.10	0.35	0.15	0.04	68524	
141	396	細石刃	黒曜石C	M32	IXb	ブロック32	1.35	0.40	0.10	0.48	69446	
141	397	細石刃	黒曜石C	L31	IXb	ブロック32	1.40	0.70	0.30	0.31	104187	
141	398	細石刃	玉髄B	M32	IXb	ブロック32	1.50	0.80	0.20	0.13	69406	
141	399	細石刃	黒曜石B	M32	IXb	ブロック32	1.55	0.70	0.25	0.26	69469	
141	400	細石刃核	黒曜石C	M31	IXb	ブロック32	1.90	1.65	1.50	4.40	104161	
141	401	細石刃核	黒曜石C	L31	IXb	ブロック32	1.30	1.55	1.70	2.80	104181	

第21表 IX層ブロック出土遺物観察表5

挿図番号	掲載番号	器種	石材	出土区	層位	ブロック	最大長(cm)	最大幅(cm)	最大厚(cm)	重量(g)	取上番号	備考
141	402	細石刃核	黒曜石B	L31	IX b	ブロック32	1.30	1.90	1.30	3.30	104175	
141	403	細石刃核	真岩A	L31	IX b	ブロック32	3.90	2.35	4.70	54.80	104201	畦原
142	404	石核	黒曜石A	L32	IX b	ブロック32	1.90	2.70	1.25	4.90	71738	
142	405	石核	ホルンフェルス	M32	IX c	ブロック32	3.60	3.70	2.80	41.90	70512	
142	406	磨石	安山岩	L32	IX a	ブロック32	7.60	6.40	5.30	378.00	68707	
142	407	磨石	安山岩	L32	IX b	ブロック32	6.70	6.25	4.55	252.00	71766	
143	408	台形石器	黒曜石B	L32	IX b	ブロック33	2.45	1.85	0.90	2.60	74278	
143	409	台形石器	黒曜石B	L33	IX b	ブロック33	2.05	1.75	0.50	1.80	72364	
143	410	台形石器	黒曜石C	L33	IX a	ブロック33	1.40	1.15	0.25	0.30	73039	
143	411	細石刃	真岩A	L33	IX a	ブロック33	0.90	0.55	0.15	0.11	73033	
143	412	細石刃	真岩A	L33	IX a	ブロック33	1.10	0.60	0.15	0.14	73032	
143	413	細石刃核	黒曜石C	L32	IX b	ブロック33	2.71	1.24	0.68	2.48	74241	
143	414	細石刃核	黒曜石C	L32	IX a	ブロック33	1.85	1.50	1.25	2.57	73052	
143	415	細石刃核	黒曜石D	L33	IX a	ブロック33	1.55	1.45	1.30	2.90	70369	
143	416	細石刃核	黒曜石C	L32	IX a	ブロック33	1.80	1.40	1.30	2.70	73057	
143	417	細石刃核	黒曜石C	L33	IX b	ブロック33	1.91	1.53	1.07	2.73	74156	
143	418	細石刃核	黒曜石C	L33	IX b	ブロック33	1.20	1.80	1.90	3.60	72557	
143	419	細石刃核	砂岩A	L33	IX a	ブロック33	4.75	1.75	4.90	46.41	70319	畦原
144	420	細石刃核	真岩B	L33	IX a	ブロック33	4.30	2.20	4.40	63.90	70338	畦原
144	421	細石刃核	砂岩A	L33	IX a	ブロック33	4.40	2.00	5.25	70.00	73028	畦原
145	422	細石刃核	砂岩B	L33	IX a	ブロック33	2.50	1.50	3.60	21.55	70325	畦原
145	423	細石刃核	真岩A	L33	IX a	ブロック33	3.50	2.35	4.70	42.50	73041	
146	424	細石刃核	真岩A	L33	IX a	ブロック33	3.70	2.40	4.10	40.16	73371	
146	425	細石刃核	黒曜石C	L33	IX a	ブロック33	2.42	1.07	1.32	3.03	70306	
146	426	細石刃核	黒曜石A	L33	IX a	ブロック33	1.40	0.95	1.60	2.60	70314	
146	427	細石刃核	黒曜石B	L33	IX b	ブロック33	1.20	0.70	1.30	1.20	72573	
146	428	細石刃核	黒曜石B	L33	IX a	ブロック33	1.60	1.20	1.60	3.60	73099	
147	429	細石刃核ブランク	黒曜石A	L32	IX a	ブロック33	3.45	1.95	3.10	11.40	73848	
147	430	二次加工剥片	黒曜石B	L33	IX a	ブロック33	0.85	1.45	0.90	1.00	69045	
147	431	使用痕剥片	黒曜石C	L32	IX a	ブロック33	2.75	1.65	0.75	2.40	73592	
147	432	使用痕剥片	砂岩C	K33	IX b	ブロック33	6.35	5.70	1.90	57.70	73473	
147	433	二次加工剥片	黒曜石C	L32	IX b	ブロック33	2.40	3.10	1.00	4.70	69555	
147	434	剥片	黒曜石C	L32	IX a	ブロック33	2.15	1.85	0.45	1.00	73850	
147	435	剥片	黒曜石B	L33	IX b	ブロック33	1.90	1.00	2.15	3.60	72568	
148	436	礫器	ホルンフェルス	L33	IX b	ブロック33	11.05	7.15	4.70	401.00	73532	
148	437	磨石	安山岩	L32	IX b	ブロック33	16.50	13.00	5.80	1553.00	74260	
148	438	磨石	安山岩	L32	IX a	ブロック33	6.20	5.20	3.00	143.00	73589	
148	439	磨石	安山岩	L33	IX a	ブロック33	6.10	5.75	3.85	159.00	70315	
148	440	磨石	安山岩	L33	IX a	ブロック33	10.15	8.00	6.50	777.00	70326	
148	441	磨石	安山岩	L33	IX b	ブロック33	5.90	5.50	4.70	206.00	72356	
148	442	磨石	砂岩B	L33	IX a	ブロック33	13.40	8.70	3.80	724.00	73862	
149	443	細石刃	黒曜石A	M34	IX a	ブロック34	1.10	0.55	0.15	0.08	68919	
149	444	細石刃核	黒曜石C	M34	IX a	ブロック34	2.30	1.35	1.25	3.96	74753	
149	445	礫器	ホルンフェルス	M33	IX a	ブロック34	7.50	12.95	3.10	398.00	69770	
149	446	磨石	安山岩	M34	IX a	ブロック34	5.80	5.40	3.70	149.00	69829	
149	447	磨石	安山岩	M34	IX a	ブロック34	7.10	6.60	4.40	257.00	68871	
149	448	磨石	安山岩	M34	IX a	ブロック34	8.35	7.85	5.10	382.00	67959	
149	449	磨石	安山岩	M34	IX a	ブロック34	8.65	7.85	5.20	493.00	69831	
149	450	磨石	安山岩	M34	IX a	ブロック34	6.60	5.00	3.00	146.00	72038	
150	451	細石刃核	黒曜石B	J35	IX	ブロック35	1.30	1.20	1.15	2.10	65349	
150	452	細石刃核	黒曜石B	J35	IX	ブロック35	1.30	1.50	1.80	3.20	63782	
150	453	細石刃核	黒曜石C	J35	IX	ブロック35	1.80	0.70	1.50	2.20	65347	
150	454	剥片	黒曜石B	J35	IX	ブロック35	1.30	1.95	0.90	1.50	63764	
150	455	剥片	黒曜石G	J35	IX	ブロック35	1.55	2.65	0.75	2.00	65344	
151	456	細石刃核	水晶A	K35	IX	ブロック36	1.70	1.60	1.60	3.40	64109	
151	457	礫器	ホルンフェルス	K35	IX a	ブロック36	7.90	9.10	3.70	339.00	66288	
151	458	剥片	黒曜石A	K35	IX	ブロック36	1.60	1.75	0.55	1.80	63751	
152	459	尖頭器	真岩E	M35	IX c	ブロック37	5.40	2.20	1.30	12.80	70499	
152	460	細石刃	黒曜石C	L35	IX a 下	ブロック37	1.20	0.30	0.10	0.03	70424	
152	461	細石刃	黒曜石C	L35	IX a	ブロック37	1.30	0.30	0.10	0.04	70454	
152	462	細石刃核	黒曜石C	L35	IX a 下	ブロック37	2.00	1.40	0.90	2.48	68132	
152	463	細石刃核	黒曜石C	L35	IX a	ブロック37	1.26	1.37	1.03	1.50	73292	
152	464	細石刃核	黒曜石B	L35	IX b	ブロック37	1.50	1.30	1.40	2.40	70435	
152	465	細石刃核	黒曜石C	L35	IX b	ブロック37	1.85	1.60	1.20	4.78	69147	
152	466	細石刃核	黒曜石C	L35	IX b	ブロック37	1.05	1.30	1.05	1.40	68184	
152	467	細石刃核	黒曜石C	L35	IX b	ブロック37	1.80	1.40	1.60	3.62	73276	
152	468	細石刃核	黒曜石B	L35	IX a	ブロック37	2.18	1.15	1.96	4.74	68124	
152	469	細石刃核	黒曜石B	L35	IX a	ブロック37	2.10	0.90	1.50	2.30	68186	
152	470	細石刃核	黒曜石A	L35	IX b	ブロック37	1.50	1.10	1.40	2.90	68830	
152	471	石核	真岩A	L35	IX b	ブロック37	3.50	4.40	1.40	14.60	68206	
153	472	剥片	玉髄A	L35	IX c	ブロック37	2.85	2.45	0.75	3.90	69905	
153	473	剥片	水晶A	L35	IX	ブロック37	1.75	2.25	0.45	1.60	63471	
153	474	礫器	ホルンフェルス	M35	IX b	ブロック37	6.90	15.10	3.15	496.00	68196	

第22表 IX層包含層出土遺物観察表 1

挿図 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量 (g)	取上番号	備考
155	475	ナイフ形石器	頁岩G	I32	IXc	6.30	2.80	1.60	19.17	72300	
155	476	ナイフ形石器	頁岩A	I32	IXa	4.67	1.80	1.33	7.30	71853	
155	477	ナイフ形石器	頁岩D	K31	IXc	6.60	2.55	0.90	15.70	95185	
155	478	ナイフ形石器	黒曜石D	M32	IXb	2.60	1.10	0.80	1.75	69963	
155	479	ナイフ形石器	頁岩D	J29	IXc	5.90	2.50	1.30	15.80	100068	
155	480	ナイフ形石器	泥岩	L29	IXa	5.00	1.30	0.50	4.05	97766	
156	481	ナイフ形石器	頁岩D	J32	IXc	7.80	3.00	1.40	25.70	74139	
156	482	ナイフ形石器	砂岩A	L35	IXb	6.95	2.50	0.60	11.26	66264	
156	483	角錐状石器	頁岩A	M33	IXc	5.99	1.99	1.29	12.20	74325	
156	484	角錐状石器	頁岩A	J28	IXb	4.10	1.90	1.20	7.00	98649	
156	485	角錐状石器	黒曜石B	J30	IXa	3.55	1.80	1.60	8.39	99896	
156	486	角錐状石器	黒曜石C	K29	IXb	3.60	1.50	0.90	4.00	101345	
157	487	角錐状石器	黒曜石B	D32	IXa	3.20	1.50	1.30	5.49	111898	
157	488	尖頭器	頁岩D	H32	IXc	6.30	1.95	1.25	13.80	69723	
157	489	尖頭器	頁岩D	K30	IXb	5.90	2.20	1.40	13.40	89474	
157	490	台形石器	黒曜石B	I30	IXb	1.65	1.90	0.55	1.67	102955	
157	491	台形石器	黒曜石B	J31	IXc	2.10	1.50	0.55	1.60	88838	
157	492	台形石器	黒曜石B	H28	IXa	1.80	1.20	0.40	1.08	102841	
157	493	台形石器	黒曜石B	J30	IXa	1.55	2.30	0.80	2.88	98958	
157	494	台形石器	黒曜石C	L34	IX	1.05	1.00	0.20	0.10	63447	
157	495	台形石器	黒曜石C	J30	IXa	1.45	1.10	0.40	0.49	99898	
157	496	台形石器	黒曜石B	F33	IXa	1.25	1.00	0.40	0.40	38522	
158	497	細石刃	黒曜石B	H31	IXa	1.75	0.85	0.20	0.42	112049	
158	498	細石刃	黒曜石B	H31	IXb	1.25	0.85	0.20	0.29	112208	
158	499	細石刃	黒曜石C	J30	IXa	1.20	0.40	0.10	0.08	103500	
158	500	細石刃	黒曜石C	M34	IXb	1.05	0.60	0.15	0.10	69877	
158	501	細石刃	玉髓A	L32	IXb	1.95	0.75	0.30	0.36	69533	
158	502	細石刃	黒曜石C	F34	IXa	1.10	0.55	0.10	0.08	38487	
158	503	細石刃	黒曜石C	J34	IXa	0.80	0.80	0.10	0.09	36363	
158	504	細石刃	黒曜石C	M32	IXb	1.00	0.70	0.15	0.07	69356	
158	505	細石刃	頁岩E	F34	IXa	0.80	0.55	0.10	0.06	38491	
158	506	細石刃核	黒曜石C	K27	IXa	1.40	1.47	1.10	2.52	103392	
158	507	細石刃核	水晶A	M34	IXc	1.55	1.65	0.85	1.80	69878	
158	508	細石刃核	黒曜石A	M32	IXa	1.35	1.45	1.00	1.70	69344	
158	509	細石刃核	頁岩E	F34	IXa	2.38	1.93	1.20	4.51	38581	
158	510	細石刃核	黒曜石C	L34	IX	2.10	1.52	1.34	3.80	63444	
158	511	細石刃核	黒曜石D	G34	IXb	1.00	1.00	1.00	0.90	37919	
158	512	細石刃核	黒曜石B	F35	IXa	1.90	1.90	1.60	4.90	37665	
159	513	細石刃核	頁岩E	E34	IXa	2.30	1.65	1.91	7.40	36177	
159	514	細石刃核	黒曜石C	L33	IXa	1.65	1.35	1.45	2.85	69751	
159	515	細石刃核	黒曜石B	E34	IX	1.80	1.40	1.40	3.20	30670	
159	516	細石刃核	黒曜石D	J34	IXa	1.55	1.50	1.05	2.10	36191	
159	517	細石刃核	黒曜石B	F32	IXa	1.30	1.80	1.60	3.30	38594	
159	518	細石刃核	黒曜石B	F33	IXa	1.30	1.60	1.70	2.60	41244	
159	519	細石刃核	黒曜石A	L34	IXb	1.05	1.45	0.90	1.30	68038	
159	520	細石刃核	黒曜石D	C32	IX	1.00	1.20	1.10	1.20	31026	
159	521	細石刃核	黒曜石B	E31	IXa	1.40	1.20	1.60	2.40	112075	
160	522	細石刃核	砂岩A	D33	IXa	4.80	2.50	6.25	118.00	33333	畦原
160	523	細石刃核	砂岩A	I24	IXa	3.50	1.50	1.50	9.80	56534	畦原
160	524	細石刃核	頁岩A	L34	IXa	2.60	1.80	1.95	13.62	68428	畦原
161	525	細石刃核	頁岩A	H31	IXa	2.80	3.20	3.40	28.00	112042	畦原
161	526	細石刃核	頁岩A	C32	IXa	3.15	2.65	4.20	40.13	35152	
162	527	細石刃核	頁岩A	F34	IXa	4.40	3.00	4.70	63.60	38793	
162	528	細石刃核	黒曜石B	L34	IXa	2.45	1.50	3.10	9.20	68018	
162	529	細石刃核	黒曜石B	J28	IXa	2.60	2.25	1.30	5.70	88109	
162	530	細石刃核	黒曜石A	J28	IXb	3.05	2.00	2.45	11.70	98677	
162	531	細石刃核	黒曜石D	K33	IXa	2.13	1.20	1.87	5.54	72459	
163	532	細石刃核	黒曜石C	F32	IXa	1.40	0.80	1.20	1.00	37702	
163	533	細石刃核	黒曜石B	D33	IX	1.20	1.80	1.10	2.20	31341	
163	534	細石刃核	黒曜石A	F33	IXa	1.30	0.90	1.20	1.90	41241	
163	535	細石刃核ブランク	黒曜石B	L29	IXb	1.55	3.00	1.70	6.12	101497	
163	536	細石刃核ブランク	黒曜石B	D31	IXb	1.30	2.60	1.65	4.70	111858	
163	537	細石刃核ブランク	黒曜石B	L32	IXb	1.95	1.20	2.85	6.20	73626	
163	538	打面再生剥片	頁岩A	J30	IXa	0.90	1.40	2.45	1.40	98969	
164	539	打製石鏃	安山岩	J35	IXa	2.60	1.40	0.30	0.70	66230	
164	540	打製石鏃	頁岩A	J30	IXa	2.40	1.60	0.40	1.13	98970	
164	541	打製石鏃	玉髓A	H33	IXa	2.20	1.10	0.40	0.80	71846	
164	542	打製石鏃	チャート	L34	IXa	1.80	1.60	0.50	1.40	68037	
164	543	打製石鏃	頁岩E	D34	IXa	1.80	1.60	0.40	0.60	36746	
164	544	打製石鏃	頁岩E	D34	IXa	1.80	1.20	0.50	0.50	36747	
164	545	打製石鏃	安山岩	K30	IXa	0.90	1.50	0.20	0.37	98929	
164	546	削器	頁岩B	J33	IXc	7.05	8.35	1.80	76.00	74130	
164	547	削器	頁岩D	J33	IXc	3.60	2.00	0.80	5.10	74119	
164	548	削器	黒曜石E	M31	IXb	3.80	1.55	0.80	4.20	104173	
165	549	削器	安山岩	K35	IXa	14.50	3.20	0.70	47.30	66258	63494と接合状態で掲載
165	550	搔器	黒曜石A	K32	IXb	2.40	2.35	0.40	2.80	73934	
165	551	石錐	頁岩E	E34	IX	3.10	2.50	0.80	4.90	30667	
165	552	石錐	黒曜石B	M32	IXb	2.50	0.98	0.60	1.10	69482	

第23表 IX層包含層出土遺物観察表2

挿図 番号	掲載 番号	器種	石材	出土区	層位	最大長 (cm)	最大幅 (cm)	最大厚 (cm)	重量(g)	取上番号	備考
165	553	二次加工剥片	黒曜石A	L32	IX a	2.10	1.00	0.65	1.10	73438	
165	554	二次加工剥片	黒曜石C	L34	IX c	2.35	1.15	0.80	1.50	72243	
165	555	二次加工剥片	水晶A	J29	IX a	2.05	1.85	0.90	3.70	102980	
165	556	二次加工剥片	頁岩D	K35	IX a	5.85	3.00	0.70	11.30	66246	
166	557	二次加工剥片	頁岩A	K29	IX a	5.30	2.80	1.75	24.20	98838	
166	558	使用痕剥片	頁岩B	J33	IX a	7.12	6.70	2.00	34.80	72623	
166	559	使用痕剥片	頁岩B	J32	IX a	4.30	3.40	1.20	14.30	73931	
166	560	使用痕剥片	安山岩	M33	IX a	1.70	1.20	0.30	0.50	69016	
166	561	使用痕剥片	黒曜石C	M32	IX b	2.45	1.50	0.70	2.10	73363	
167	562	使用痕剥片	黒曜石B	J33	IX a	4.40	2.40	1.35	10.50	36180	
167	563	使用痕剥片	頁岩C	E33	IX a	5.00	3.35	1.00	11.00	33515	
167	564	剥片	黒曜石B	C34	IX a	1.60	2.00	0.50	1.20	37645	
167	565	剥片	黒曜石B	I33	IX c	2.05	4.10	0.65	4.20	72292	
167	566	剥片	黒曜石B	J33	IX b	3.15	1.80	1.00	5.10	72481	
167	567	剥片	黒曜石B	J30	IX b	1.55	2.85	1.00	3.50	99894	
167	568	剥片	黒曜石B	I28	IX a	1.95	2.90	0.95	4.90	102220	
167	569	剥片	黒曜石B	H30	IX c	2.75	2.55	1.15	5.00	112343	
168	570	剥片	黒曜石B	L34	IX c 下	1.80	1.40	0.75	2.20	68439	
168	571	剥片	黒曜石B	H31	IX b	2.25	2.45	0.70	3.70	112200	
168	572	剥片	黒曜石B	I28	IX b	1.60	1.80	1.35	2.00	102222	
168	573	剥片	黒曜石B	B32	IX a	1.90	2.40	0.50	1.80	34566	
168	574	剥片	黒曜石B	I27	IX b	1.20	1.95	1.15	2.10	89388	
168	575	剥片	頁岩A	L33	IX a	2.55	3.95	0.90	7.60	69043	
168	576	剥片	頁岩G	J28	IX b	2.85	3.05	0.85	9.00	101917	
168	577	剥片	頁岩E	D33	IX a	4.40	3.70	2.00	21.70	34222	
169	578	剥片	玉髄A	I31	IX a	3.85	1.95	1.00	6.90	112330	
169	579	剥片	チャート	K35	IX b	2.95	2.65	0.80	5.10	66282	
169	580	剥片	玉髄B	K29	IX b	4.20	5.20	1.75	30.60	101260	
169	581	石核	玉髄B	G34	IX a	2.90	2.20	2.30	19.50	37490	
169	582	石核	黒曜石B	I29	IX a	1.90	2.35	1.80	6.50	104477	
170	583	石核	頁岩C	F33	IX a	1.80	3.05	2.15	12.10	37690	
170	584	石核	砂岩B	G34	IX b	4.05	4.80	6.55	170.40	37922	
171	585	石核	頁岩D	L34	IX c	1.50	2.95	3.40	16.90	68424	
171	586	石核	頁岩A	L32	IX c	2.85	4.90	3.30	50.90	71780	
171	587	石核	頁岩A	K35	IX a	6.20	6.50	3.70	125.80	66247	
172	588	局部磨製石斧	頁岩D	J32	IX a	9.70	4.30	2.40	146.00	73927	
172	589	礫器	ホルンフェルス	J29	IX a	12.60	8.90	6.40	894.00	98987	
172	590	礫器	ホルンフェルス	K33	IX b	8.50	11.80	4.55	538.00	70385	
172	591	礫器	ホルンフェルス	K30	IX b	10.15	11.00	4.30	656.00	104302	
173	592	礫器	ホルンフェルス	K34	IX a	8.80	11.50	5.55	551.00	67226	
173	593	礫器	ホルンフェルス	B31	IX b	7.80	9.85	2.60	292.00	111944	
173	594	礫器	ホルンフェルス	J29	IX b	8.00	10.30	4.60	402.00	100066	
173	595	礫器	ホルンフェルス	M34	IX b	6.40	12.20	3.90	391.00	73987	
174	596	敲石	頁岩A	B33	IX a	5.15	4.75	3.20	103.00	35838	
174	597	磨石	安山岩	M32	IX a	3.80	3.75	2.90	62.00	68491	
174	598	磨石	安山岩	L34	IX a	6.50	5.10	4.40	208.00	68421	
174	599	磨石・敲石	安山岩	K28	IX a	8.30	7.25	5.40	400.00	98738	
174	600	磨石	安山岩	L33	IX a	11.50	8.15	5.80	845.00	70383	
175	601	磨石	安山岩	B31	IX a	10.70	9.60	5.20	700.00	112085	
175	602	磨石	安山岩	M34	IX a	6.20	5.60	4.80	244.00	67965	
175	603	磨石	安山岩	L32	IX a	6.00	5.60	4.80	212.00	68641	
175	604	磨石	安山岩	L32	IX b	7.00	6.00	4.80	246.00	69541	
175	605	磨石	安山岩	K28	IX a	7.50	6.75	4.15	305.00	98743	
175	606	磨石	ホルンフェルス	J28	IX b	8.00	7.20	5.20	415.00	101926	
175	607	磨石	安山岩	J30	IX a	10.95	8.40	4.75	449.00	99897	
175	608	磨石	安山岩	L30	IX a	9.25	8.50	6.40	696.00	103493	
176	609	磨石	安山岩	J30	IX a	11.15	10.65	5.85	1003.00	98934	
176	610	磨石	安山岩	L30	IX b	5.00	4.30	3.30	110.00	104243	
176	611	磨石	安山岩	E31	IX b	7.40	5.50	3.20	195.00	111842	
176	612	磨石	安山岩	C31	IX a	6.20	4.25	2.95	111.00	111914	
176	613	磨石	安山岩	L34	IX a	7.40	5.40	4.40	251.00	68980	
176	614	磨石	ホルンフェルス	J28	IX a	7.80	5.50	4.20	264.00	100951	
176	615	磨石	安山岩	J30	IX a	9.55	7.30	3.60	314.00	101033	
176	616	磨石	安山岩	K30	IX a	9.70	7.80	4.60	512.00	103372	
177	617	磨石	安山岩	K28	IX b	9.15	6.25	5.40	450.00	100918	
177	618	磨石	安山岩	J28	IX a	11.30	6.10	5.50	558.00	107097	
177	619	磨石	安山岩	L34	IX a	12.75	8.85	6.45	1127.00	67994	
177	620	磨石	安山岩	J33	IX a	12.75	9.80	6.50	1134.00	72482	

第IV章 総括

本遺跡からは、旧石器時代から縄文時代草創期にかけての遺構及び遺物が、Ⅷ層の薩摩火山灰層下位から確認された。入戸火砕流二次堆積層上位のXⅡ・XⅢ層からナイフ形石器や角錐状石器を含む石器群が、入戸火砕流二次堆積層の再堆積層であるXⅠ層の無遺物層上位のX層から台形石器や角錐状石器を含む石器群が、薩摩火山灰層直下のⅨ層からナイフ形石器群や細石刃石器群と縄文時代草創期遺物群が出土した。また、X層及びⅨ層では遺構を検出した。

報告に当たっては石器群の出土層位や内容を踏まえ、3つの文化層を設定して報告を行った。XⅡ・XⅢ層とX層は、無遺物層であるXⅠ層を挟むことから異なる石器群の可能性を考慮し、それぞれ第1文化層及び第2文化層として取り扱った。Ⅸ層出土の石器群は、細石刃石器群及び縄文時代草創期遺物が含まれることから第3文化層として報告を行った。

出土した石器群の平面分布を見ると、遺物が集中する箇所が複数見られることから、これらのまとまりをブロックとして認定し、各ブロックごとに出土遺物を掲載した。各ブロックは出土した遺物の器種及び石材等のまとまりを考慮して認定したが、各ブロック間の時間的・技術的關係については必ずしも明らかにすることが出来なかった。

第24表 石器組成表

石 材	第1文化層				第2文化層				第3文化層														合 計												
	ナイフ形石器	台形石器	叩石	削器	角錐状石器	ナイフ形石器	台形石器	叩石	削器	尖頭器	角錐状石器	楔形石器	石鏃	石錐	搔器	細石刃核1a	細石刃核1b	細石刃核1c	細石刃核1d	細石刃核2	細石刃核3a	細石刃核3b		細石刃核4	細石刃核5a	細石刃核5b	細石刃核(その他)	細石刃							
頁 岩	A				1						4	1	1	3	3	2					1	8	3					41	68						
	B													1		1					2							4	10						
	C																												0						
	D	2								2	4		1	11															20						
	E													1		2	15	2			1		12	4	2	2	38	82							
	F																												0						
	G				1						2																	2	5						
	H																		3			1							4						
玉 髓	A			1						2				1														1	5						
	B												1															6	7						
水 晶	A										1			3			1	3					2		1		11	22							
	B																	1										2	3						
砂 岩	A								1	3			1								8						6	19							
	B																				2	1							6						
	C								2																				5						
黒曜石	A														1	2	1	3				3	1	3				26	40						
	B	6				1		1	1	10	9	4	1	5	1	7	5	28	4	2		7	3	4			215	314							
	C					1		1		1	4					5	1	12	5	1		2	3	1			205	244							
	D									1						4		10	1			1	2	2			139	161							
	E																						1				2	5							
	F																												0						
	G																											1	1						
チャート				1										2													1	4							
安山岩														2															4						
ホルンフェルス			2																										2						
泥 岩										1																			1						
合 計	2	6	2	3	1	0	2	2	2	2	2	2	18	15	7	17	12	10	5	17	4	9	19	2	72	15	4	21	5	28	13	13	2	700	1032

※ 細石刃核は、実測対象遺物のみ掲載(細石刃核の出土総数は357点)

※ 一部の器種は記載無し

黒曜石が67%と大きな割合を占めており、続いて頁岩、ホルンフェルスの割合が多かった。黒曜石は、黒曜石A・Bに限られており、南九州でも南部地域の原産である。その他の石材も南九州産が用いられていると考えられることから、本遺跡の近辺から産出する石材を用いているものと考えられる。第1文化層の時期は、石器組成としてナイフ形石器、台形様石器、削器、角錐状石器で構成されていることや、ナイフ形石器や台形様石器に小型化が見られず次の文化層でも尖頭器や角錐状石器が見られることから、後期旧石器時代のIV期に相当するものと思われる。

第2節 第2文化層

1 遺構

第2文化層の遺構としては、礫群を2基確認した。いずれも調査区の南側にあり、掘り込みや被熱の痕跡が見られなかった。また、炭化物の検出もなく火を焚いた可能性は低いものと考えられる。集中もせず、散礫がやや集まるような形で出土している。従来の集積遺構のような用途としては考えにくく、利用目的が判然としないのも特徴である。

2 遺物

第2文化層出土の遺物は、自然礫や欠番を除くと216点出土している。第2文化層の遺物の分布は、第1文化層よりやや範囲に広がりを見せるが、遺跡の西側に偏りが見られる。集中域は、C35区の中央とL・M33区に見られ、L・M34・35区もやや広範囲に集中している。C35区の集中域では、頁岩Dに偏った出土が見られた。剥片石器や石核の出土はないが、剥片とチップが多数出土しており、石器製作跡と考えられる。L・M33区の集中域からは、黒曜石Bに偏った出土となっている。この集中域からは、二次加工剥片が1点出土している以外は剥片とチップのみの出土であった。石核等は、出土していないが、黒曜石Bを主体とする石器の製作跡の可能性はある。L・M34・35区からは、黒曜石B及びCに偏りが見られる。他の集中域との違いは、台形石器や角錐状石器等の剥片石器も一定量出土することである。以上のように第2文化期の遺物分布の特徴としては、分布域が遺跡の西側に偏ること、形成された集中域それぞれで使用石材に大きな差があることが挙げられる。次に第2文化層の使用石材としては、頁岩が65%、黒曜石が25%を占めており、砂岩やホルンフェルスが続いている。黒曜石は第1文化層では黒曜石A・Bのみであったが、第2文化層では黒曜石C・Dも見られ、現在の鹿児島県北部の産地の石材も利用していた。また、ごく少量であるがEの腰岳系のものも見られた。第2文化層も主に南九州で産出する石材を中心に利用しているが産地にやや広がりが見られた。

第2文化層の時期は、石器組成として台形石器、角錐状石器、尖頭器、削器という構成である。第31図の34の両面加工の尖頭器は、頁岩Dを素材としているもので、西丸尾遺跡のものに近く、形状は小牧遺跡3aに近い形状を示す。出土した台形石器はやや小型化しているものも含まれており、後期旧石器時代のV～VI期に相当するものと思われる。

第3節 第3文化層

1 遺構

第3文化層の遺構としては、礫群を30基確認した。その内4基は、縄文時代草創期に位置付けられている。大半の礫群は、調査区の南側K～M区の傾斜面に集中するが、4基だけ北側のB～D区で検出されている。規模は、20cm四方の小規模なものから200cmを超す大規模なものまでであるが、120cm四方のものが最も多い。礫の個数も4～100個を超えるものまであり、不統一である。礫群を構成する石材は、安山岩とホルンフェルスが大半を占めており、砂岩や花崗岩がわずかに混在する。いずれの礫群も掘り込みは認められず、炭化物の検出や礫に被熱の痕跡が見られないことから、火を焚いた可能性は低いものと考えられる。また、礫が集中する礫群は少なくまばらなものが多い状況である。これらのことから、礫群及び集石遺構の用途として従来考えられている石蒸し調理の可能性は低く利用目的の判明しない礫群といえよう。ただ、6号礫群では、黒曜石や頁岩Eの剥片及び黒曜石の細石刃核・細石刃を伴っており、他の礫群とは異なり、石器製作跡の可能性も考えられる。

2 遺物

本文化層は細石刃石器群を主体とする石器群であり、遺物は調査区北東部と調査区南半の大別2か所から出土した。主要な石器組成は、ナイフ形石器、台形石器、尖頭器、角錐状石器、細石刃、細石刃核、石鏃、搔・削器、磨・敲石等で構成されており、南九州の旧石器時代に一般的に見られる狩猟具、道具加工具、堅果類加工具などの石器群が出土している。

石器群の器種別分布を見ると、ナイフ形石器、台形石器、尖頭器、角錐状石器、石鏃、磨・敲石はほとんどが調査区南半から点在した状況で出土しており、調査区北東部ではほとんど出土が見られない。細石刃核は、調査区南半ではやや点在した状況であるが、調査区北東部では集中した箇所が見られた。調査区北東部では調査区南半の2倍以上の細石刃核が出土している。

石材別では、黒曜石Bの出土が最も多く、次いで黒曜石C、黒曜石D、頁岩Eの順に出土している。頁岩E、砂岩、ホルンフェルスはほとんどが調査区北東部から出土しており、水晶は調査区北東部及び調査区南西部から、頁岩Dはブロック1・2・7・32から集中して出土した。

また、北部九州産の原産地資料に類似する黒曜石E・F・Gも、調査区南半を中心に少数出土している。それぞれの分布状況を検討した結果、大小合わせて37のブロックを抽出した。以下に主要石器の技術的・分布的特徴について述べておく。

ナイフ形石器は、厚みのある幅広剥片を素材に全体形状が斜刃の切出し型を呈するナイフ形石器や、2～3cm前後の縦長剥片を素材とした小型のナイフ形石器など、時期的に古く位置づけられるものからナイフ形石器終末期に見られる新しいものまで出土している。ブロック1とその南側では切出し状を呈するもの(62,476)が出土しており、ブロック24・25周辺では小型のナイフ形石器や縦長剥片を素材に簡素化されたブランディングが施されるナイフ形石器(332,337,338)が出土している。出土分布を見るとほとんどが調査区南側からの出土であり、調査区北東部では1～2点出土するのみである。石材には頁岩や砂岩、玉髓が使用されており、黒曜石製のナイフ形石器は2点のみである。切出し型のナイフ形石器や5cmを超えるような中型のナイフ形石器については、素材剥片が獲得できる規模の石核が出土していないことから、遺跡外からの搬入品の可能性がある。

台形石器は、調査区南側の広範囲にまばらに散在する状況で出土しており、調査区北西側では1点のみ出土した。水晶製が1点出土しているが他は全て黒曜石製である。大半は2～3cm前後の中型品であるが、1cm前後の小型品も5点程出土している。縦長あるいは横長の剥片を素材に両側縁に折断やブランディングを施して製作されている。石器の出土地点周辺では同石材の剥片類がまとまって出土している地点が3～4か所ほど見られたが、接合するには至らなかった。ナイフ形石器と同様に異なる場所で製作された可能性が高い。

尖頭器は、ブロック1及びその周囲から3点、ブロック2から3点、ブロック7から2点、ブロック32から2点出土しており、他にブロック29周辺及びブロック37から1点ずつ出土している。石材はブロック37の1点を除いて全て頁岩Dが使用されており、特にブロック1・2・7・32からは、石器製作に関わる同石材の調整剥片等がまとまって出土している。時間的制約から接合作業は行えなかったものの、同石材はナイフ形石器及び尖頭器のみに使用されており、これらのブロックで尖頭器が製作・加工された可能性は高い。尖頭器とした出土遺物は、尖頭部が欠失しているものや両面加工が部分的にしか認められないもの、また、両面加工は認められずスクレイパーエッジ状の二次加工が施されたものである。完成品は遺跡外に持ち出されて狩猟場所で使用されることを考慮すると、出土した遺物は石器製作時の失敗品あるいはその転用品、尖頭器製作時に剥出された素材を用いて製作された削器等と考えられる。

石鏃は打製・磨製合わせて17点が出土しており、10点を図化した。打製石鏃は1.5cm前後の小型のものと、2cm前後の中型のものが見られ、平基や緩やかな凹基状を呈するものの他に、深い抉りを持つものも見られる。出土分布を見ると、遺物が出土した地点に点在して分布しているが、調査区北東部より南側からの出土が多い。同石材を使用した石核も出土しており、遺跡内で生産された可能性が高い。

細石刃核は遺物が出土したほぼ全域から出土しており、黒曜石を主体に、頁岩、砂岩、水晶等が使用されている。本報告では細石刃核を大別5類、細別10類に分類しており、多様な細石刃製作技術が認められた。

1類は広義の野岳・休場型細石刃核で、本遺跡からは最も多く出土しており、打面形態や細石刃核の形状等により4つに細分される。1a類は、「野岳・休場型のC類」(鈴木1971)、「野岳・休場型の1・2型」(宮田2004)、「茶園型」「位牌塔型」(川道編1998)が含まれる。本遺跡ではブロック9・10・34・37及びその周辺から出土しており、主に黒曜石が用いられている。1c類は主に「野岳・休場型のA・B類」(鈴木1971)、「野岳・休場型の2型」(宮田2004)に比定されるもので、遺物が出土している全ての範囲から出土しており、使用される石材も多様である。1d類は「野岳・休場型の4型」(宮田2004)に類似するものであり、ブロック3・6・7・10などそのほとんどが調査区北東部からの出土である。

2類は船野型(橘1979)と呼ばれてきたものに類似するが、打面調整が行われるものが含まれる点や細石刃核の形状が船底状を呈さないものも含まれる点で異なる。調査区北東部及び南側から点在して出土しており、4点のみ図示した。ブロック33から出土している細石刃核(418)の打面上には両側面からの剥離痕が確認できる。帖地遺跡出土の船野型細石刃核にも同様な痕跡が確認されており、細石刃核の固定のための痕跡(「CHOCHI NO KOTEIKON」)(永野編2000)として設定されているが、本資料も類似した資料であると考えられる。

3類は砂岩や頁岩の円礫を素材とし、その分割面を打面にして細石刃剥離が行われたもので、石核調整の有無から2つに細分している。3a類は哇原型細石刃核と呼ばれてきたもので県内では大隅半島を中心に出土が見られたが、本遺跡からは県内最多となる点数が出土した。詳細については後述する。3b類は細石刃剥離に際して下縁調整が施される一群であり、ブロック12やブロック34など、3a類に近接した地点から出土している。本類のように砂岩や頁岩と強い相関を持ち、細石刃剥離に際して石核調整が施されるものに加治屋園型細石刃核(弥栄1981)が知られており、本資料との関連が注目される。

4類は西海(福井)技法(織笠1990)と呼ばれてきたものに類似するが、本文化層から出土しているものは、細

石刃核ブランクを形成せず、素材剥片の主要剥離面を側面に据えて細石刃剥離が行われる一群である。石材は黒曜石と共に頁岩Eが多用される傾向が見られる。ブロック6・10を中心とした調査区北東部、ブロック18・33・36・37付近の調査区南西部などから出土している。ブロック10では腰岳産と見られる黒曜石Eの石材を使用した細石刃核が出土している。黒曜石Eはブロック9から剥片類の遺物集中が確認でき、調査区南側にも数点が点在して出土している。

5類は「野岳・休場型の3型」(宮田2004)に類似する資料である。黒曜石や頁岩Eが石材として選択されている。ブロック6・7・10・13の周囲や、ブロック33・37等からの出土が見られる。

以上、ブロック1及び2周辺では切出し型のナイフ形石器と尖頭器が共伴し、細石刃石器群の出土が見られないことから本文化層で最も先行する可能性があるが、その他のブロックではナイフ形石器文化から細石刃文化期の遺物が混在した状況で出土している。石器群の時期差を判断するには、遺構との関係も含めてより詳細な分析が必要であろう。

遺跡に搬入される黒曜石石材については、遺跡近隣で産出される黒曜石B類が主体的であり、黒曜石C類やD類等など遺跡から遠距離に産地がある石材は客体的な傾向が見られた。また、佐賀県伊万里市腰岳産や長崎県佐世保市針尾産、大分県姫島村姫島産の黒曜石と思われる黒曜石E・F・G類もごく少量ながら搬入されている。非黒曜石石材については、遺跡北側に位置する高隈山地において水晶や粘板岩等の産出が知られており、遺跡周辺で調達したものと想定される。

本文化層からは、隆起線文土器や爪形文土器と思われる資料が出土しているが、長崎県佐世保市の福井洞窟でも類似した状況が見られる。福井洞窟では、3層から隆起線文土器と福井型細石刃核が、2層から爪形文土器と福井型細石刃核に伴い大型石鏃が共伴して出土しており、旧石器時代から縄文時代草創期への過程が層位的に確認されている。本遺跡においても、4類細石刃核や黒曜石E・F・G類が出土しており、九州西北部との関連を示す資料と考えられる。

第4節 畦原型細石刃核について

畦原型細石刃核は、素材となる円礫を側面からの打撃で2つに分割し、側面調整や打面調整等の剥離を加えることなく、打撃によりできた裁断面を打面として細石刃の剥離を行うものである。また、打面と細石刃の剥離以外は、自然面を残す特徴的な石器である。本県においても、加治屋園遺跡や榎崎A遺跡などから砂岩製や頁岩製の畦原型細石刃核の出土が知られている。

最初の発見は橘昌信氏による1975年の佐土原町船野

遺跡の調査で、この調査では第1地点から流紋岩製の畦原型細石刃核が1点出土している。その後1977年に西都市在住の大野寅夫氏により新富町東畦原遺跡・西畦原遺跡等で同様の細石刃核が採集され、その地名から茂山護氏により畦原型細石刃核と紹介されたものである。これらは、児湯郡を中心とした地域において採集されたものであるが、当時児湯郡一帯は、ゴルフ場建設や農業構造改善事業等により大規模な土地改変が行われていたため、旧石器時代の包含層が露呈したことが大きな要因であった。また、大野氏が精力的に表面採集を実施された業績によるものでもある。その後、鹿児島県でも加治屋園遺跡・加栗山遺跡・中原遺跡等で相次いで発見されてきた。また、近年の東九州自動車道関連の調査でも宮崎県・鹿児島県共に資料が増加している。現在では、児湯郡を中心とした南半部と鹿児島県の東部に分布するといわれるような地域性が認められるもので、宮崎県26遺跡82点、鹿児島県10遺跡50点が知られている。中でも川久保遺跡で出土した23点は特筆される。本遺跡から出土した畦原型も砂岩や頁岩の小円礫を使用している。時期としては、加治屋園遺跡による土器の共伴例をもとに土器出現期として位置づけられることが多かった。本遺跡でも出土層位は薩摩火山灰層下のIX層で、縄文草創期と見られる土器と共伴が見られる。本遺跡の出土状況は、第187図のようであり調査区の北と南に多く見られる。分布状況は、IX層の畦原型以外の細石刃核の分布と似通っている。このことからIX層は、時期差が見られず調査区全体での生活が営まれていたのではないかと思われる。本遺跡は、鹿児島県東部に位置している。畦原型の分布域に該当している。串間～志布志方面で発見事例が見られないがこれは、今後の調査の進展を期待したい。

第5節 土器について

川久保遺跡A地点から出土した縄文時代草創期土器はIX層(第3文化層)から80点、それも小片もしくは細片が多い状況で出土している。器面は摩滅しているものが多く、その中で文様が確認できる全ての土器と、残りの良い無文土器の併せて14点を図化した。土器文様の内容で分けると、刺突文土器1点、隆線文土器7点、微隆線文土器1点、爪形文土器1点、沈線文土器1点、無文土器1点、無文土器の胴部片2点である。川久保遺跡では、いわゆる隆帯文土器と呼ばれるための隆帯を施す土器は出土しておらず、細い線文の貼り付け突帯を施す土器が出土している。本報告では、南山大学の塚達郎教授の遺物指導を受けて、これらの土器を隆線文土器としている。また、見た目の形状より、隆線文よりも明らかに細い形状のものを細流線文、光の当て方を工夫するなど緻密な観察により確認できるものを微隆線文としている。隆線文土器のうち2点には、隆線文上に爪形の痕跡

が残る。また、P7のように横位の隆線文と、縦位の微隆線文の組み合わせられた文様を持つ土器もあり、縦位の微隆線文を施す土器は、南九州では非常に珍しい出土例である。また、隆帯文土器が出土していない点が、着目すべき点の一つである。

土器の分布は遺跡の南側のみで出土しており、J区よりも北側では、小片1点の出土さえ確認できなかった。南側での出土状況も、東西に散在して出土している状況であるが、その中でも4か所の土器の集中が見られ、P1の刺突文土器とP10の爪形文土器、P2とP4の隆線文土器、P8の隆線文土器とP12の無文土器、P5とP6の隆線文土器が同じまとまりの中で出土している。

石器との関係を見てみると、IX層ではナイフ形石器は南側から多く出土し、細石刃核は北側から多く出土する傾向が見られる。また、土器の集中とブロックの関係を見てみると(第188図)、P2・P4がブロック37、P5・P6がブロック26から、P8・P12がブロック28・29の中間から出土している。

各ブロックから出土している石器の詳細を見ていくと、ブロック37では、細石刃核1a類・1b類・1c類・3a類・4類・5類が出土しており、細石刃文化期初頭から終末までの幅広い時期に見られる細石刃核が出土している状況である。

ブロック28・29では1c類や2類が出土しており、3・4・5類の出土は見られない。

ブロック26では、細石刃核は1点のみの出土であり、黒曜石D類を用い、板状の剥片等の小口に作業面を設定して細石刃剥離を行うものが出土している。土器の出現時期として辛うじて言えるのは、このブロック26出土の細石刃のみである。

土器と関係の深いと考えられる4類細石刃核や石鏃の分布のみを抽出し、土器の分布と比較しても(第189図)、まず4類細石刃核の分布自体がまとまらず、散在している状況であり、土器の集中域とは重ならない。また、石鏃に関しても同様である。

土器の分布と合致してくるのは、礫群の分布と磨石の分布である(第190図)。IX層で検出された29基の礫群のうち、25基は南側から検出されており、19基は土器の分布域と重なる。特に17号・23号・28号・31号礫群は土器の集中域と重なり、関連性が強いと言えるであろう。磨石の分布が重なることから考えても、第3文化層では南側を主体として、土器・礫群・磨石の3点の共通事項である調理関係に伴う行為が行われていたと言えるであろう。

以上、土器と石器・遺構を複合的に考えると、以下の6つの点が言えるのではないだろうか。

(1) 土器は遺跡の南側のみで出土しており、北側からは破片1点さえ出土していない。土器を使用する範

囲が限定されていたと考えられる。

(2) 出土土器には、刺突文土器・隆線文土器・細隆線文土器・微隆線文土器・爪形文土器・沈線文土器が見られるが、隆帯文土器は出土していない。また、類例は少ないながらも、刺突文土器・爪形文土器の組み合わせには隆線文土器が伴わない。

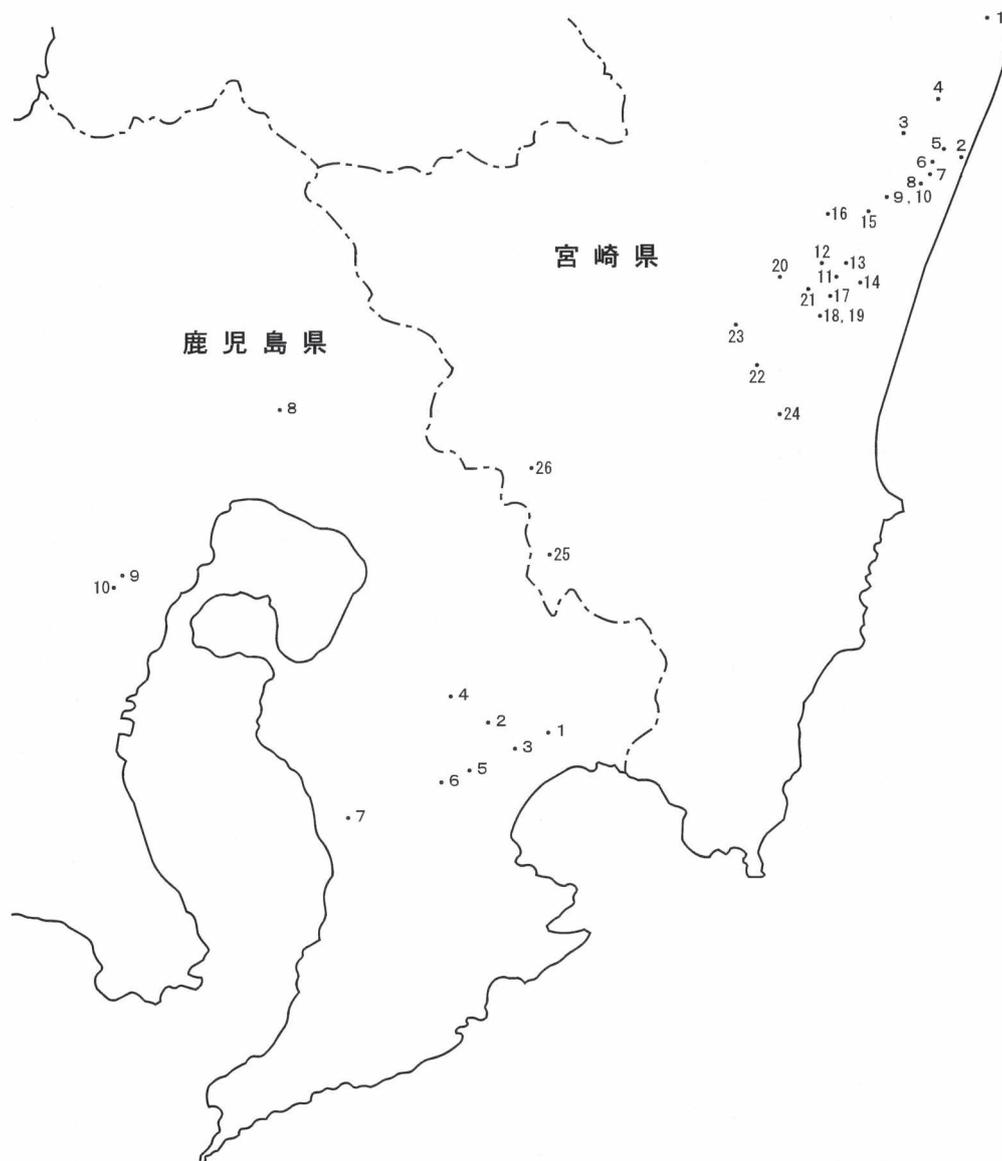
(3) 同一ブロック内から様々な石器が出土しているため、土器と石器の詳細な関連性は不明である。しかしながら、いくつかのブロックで細石刃核と共に出土していることから、細石刃文化に土器が伴うことは間違いない。

(4) 川久保遺跡で出土した縄文時代草創期の土器群は、細石刃文化に伴う土器であるため、隆帯文土器よりも古い時期の土器群であると考えられる。

(5) 礫群・磨石と土器の分布が重なることや、北側から土器が1点も出土していないことを考えると、川久保遺跡では遺跡の南側で集中的に調理関係の行為を行っていたと言える。

第6節 まとめ

川久保遺跡では、シラス層から薩摩火山灰層までの間に、3つの文化層が認定された。第1文化層と第2文化層では、ナイフ形石器や台形石器等を検出し、後期旧石器時代のナイフ形石器文化期に相当する層であることが判明した。また、第3文化層からは、1・2文化層で出土しなかった細石刃・細石刃核が多く検出されていることから細石刃文化層であることが判明した。第3文化層の使用石材は、現地の黒曜石を使用しているものがほとんどであり、頁岩や砂岩、水晶や玉髓等といった石材構成である。細石刃と共に検出された細石刃核では、特に特徴的なものが前述した地域性の強い畦原型細石刃核の多さと、小型の細石刃核の多さである。また、野岳・休場型をはじめ、東九州を中心として船野型に見られる技法と西九州に見られる福井技法(西海技法)の両方を用いたものが出土し多種多様の細石刃が検出されている。これらを含め大隅地方のナイフ形石器文化期及び細石刃文化期の石器製作技術を復元する非常に重要な資料が得られた。分析が詳細まで及ばなかった点もあるが、今後の南九州の旧石器時代から縄文時代草創期研究における貴重な基礎資料となることを期待したい。



第186図 畦原型細石刃核出土遺跡位置図

〈参考・引用文献〉

織笠昭 1990 「西海技法の研究」『東海大学紀要』54
 川道寛 1997 「長崎県の細石器編年」『九州の細石刃文化－細石刃文化の開始と編年研究』
 川道寛 1998 「茶園遺跡」長崎県岐宿町文化財報告書 第3集
 桑波田武志 1997 「鹿児島県細石刃石器群核編年」『九州の細石刃文化－細石刃文化の開始と編年研究－』
 茂山護・大野寅男 1977 「児湯郡下の旧石器」『宮崎考古』第3号
 芝康次郎 2011 『九州における細石器群の研究』六一書房
 鈴木忠司 1971 「野岳遺跡の細石刃核と西南日本における細石刃文化」『古代文化』第23巻8号
 橘昌信 1975 「宮崎県船野遺跡における細石器文化」『考古学論叢』第3号

橘昌信 1979 「九州地方の細石刃文化」『駿台史学』第47号
 永野達郎編 2000 『帖地遺跡』喜入町埋蔵文化財発掘調査報告書(6) 喜入町教育委員会
 弥栄久志・長野真一ほか 1981 『加治屋園遺跡 木の迫遺跡』鹿児島県文化財発掘調査報告書(14)
 宮田栄二 1993 「南九州における細石刃文化終末期の様相」『坂詰秀一先生還暦記念論文集』
 宮田栄二 2004 「九州地方 九州細石刃石器群の東西対極構造と集団」『中・四国地方旧石器文化の地域性と集団関係』中・四国旧石器文化談話会

第25表 畦原型細石刃核出土遺跡一覧表

(鹿児島県)

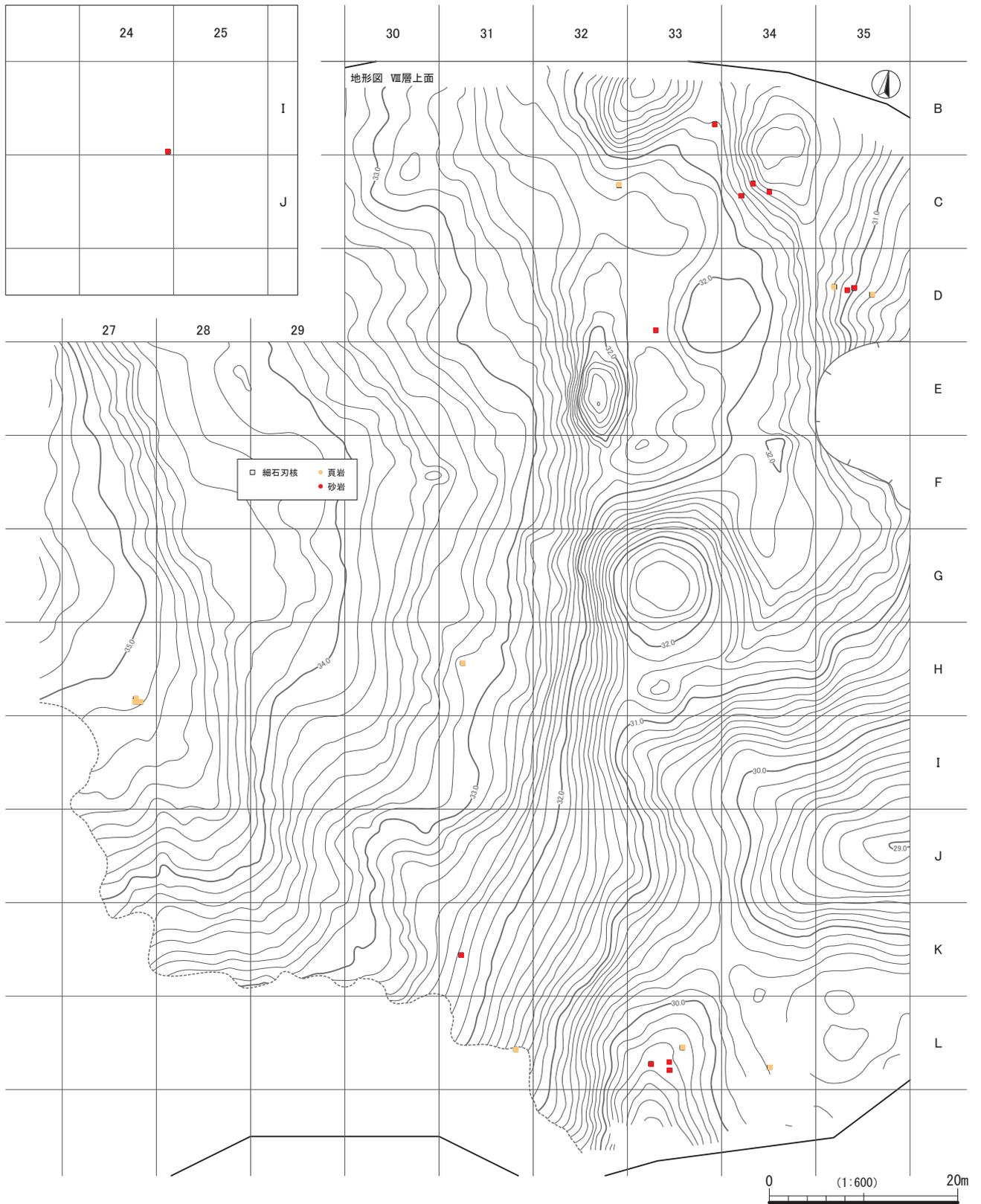
番号	遺跡名	所在地	点数	備考	参考文献
1	中原	志布志市志布志町安楽	2	砂岩	志布志町報9 1985
2	和田上	志布志市有明町野井倉	3	珪質頁岩2・砂岩1	志布志市報9 2013
3	次五	志布志市有明町野井倉	4	珪質頁岩	志布志市報13 2018
4	天神段	曾於郡大崎町野方	4	砂岩2・頁岩2	石鏃・土器 鹿県埋調セ報9 2018
5	荒園	曾於郡大崎町仮宿	1	砂岩・水晶剥片	未刊行
6	川久保	鹿屋市串良町細山田	23	砂岩・頁岩	土器・石鏃 本報告
7	榎崎A	鹿屋市郷之原町	2	砂岩1・頁岩1	楔形石器・石斧 鹿県報63 1992
8	星塚	霧島市横川町	1	砂岩	鹿県埋セ報7 1992
9	加治屋園	鹿児島市川上町	9	砂岩4・頁岩5	隆線文土器 鹿県報14 1981
10	加栗山	鹿児島市川上町	1	砂岩	石鏃・局部磨製石斧 鹿県報16 1981

(宮崎県)

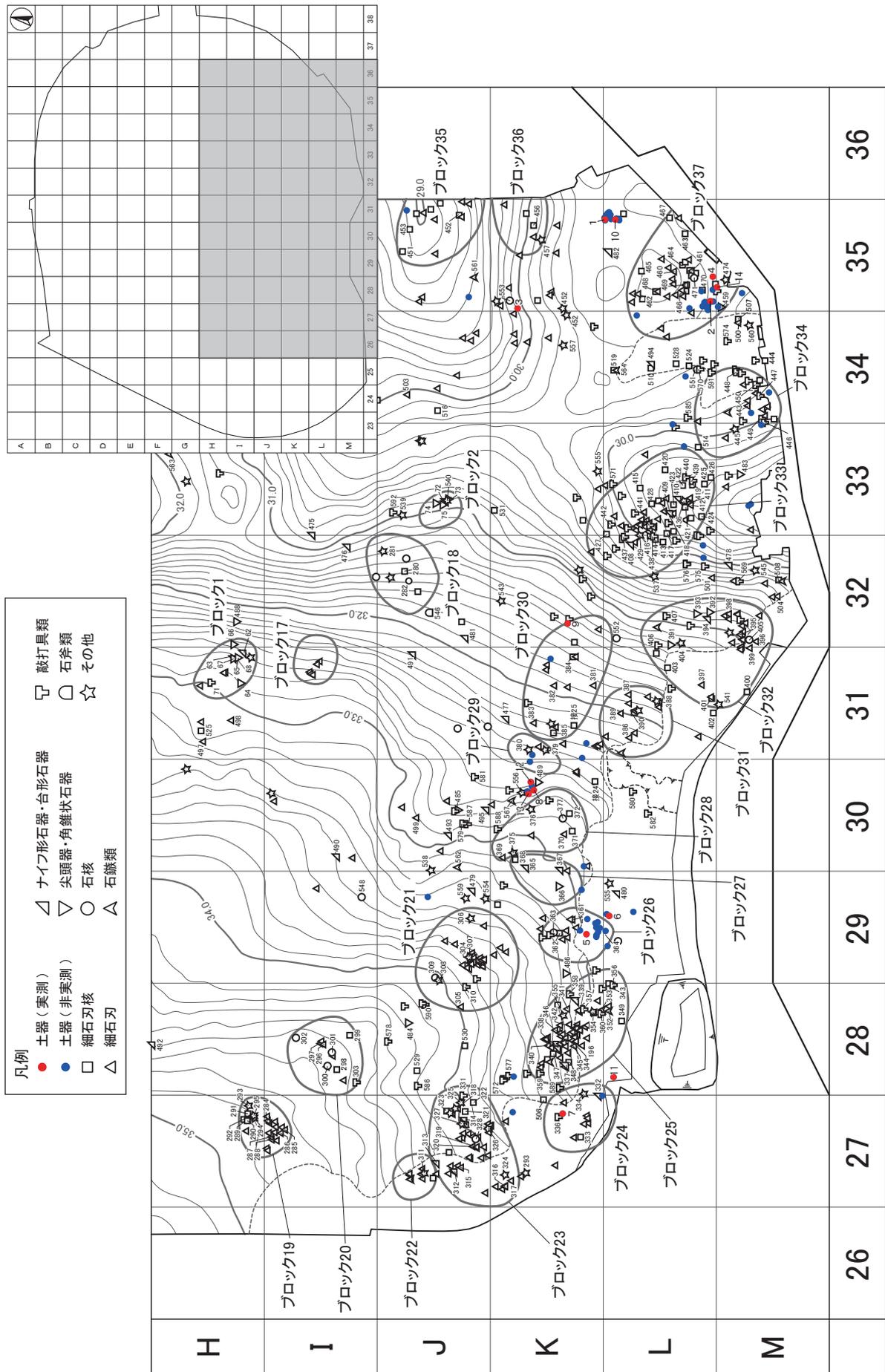
番号	遺跡	所在地	点数	備考	参考文献
1	寺迫	日向市東郷町山陰甲	1	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
2	大久保(通山)	児湯郡川南町平田	6		表面採集 宮崎考古6号 1980
3	白髭	児湯郡川南町川南	1	砂岩	表面採集 宮崎考古6号 1980
4	霧島	児湯郡川南町川南	1	頁岩	宮県埋セ報4 1997
5	前ノ田村上	児湯郡川南町川南	4	頁岩	宮県埋セ報161 2007
6	野首第2	児湯郡高鍋町	1	(縄文早期の層より出土)・図面なし	宮県埋セ報158 2007
7	唐木戸第3	児湯郡高鍋町	7	頁岩3・ホルンフェルス2・凝灰岩2	宮県埋セ報105 2005
8	小並第1	児湯郡高鍋町	1	砂岩	宮県埋セ報159 2007
9	東畦原	児湯郡新富町	3	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
10	西畦原	児湯郡新富町	3	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
11	長齒原	宮崎市佐土原町西上那珂	10	砂岩7・流紋岩1・頁岩1・シルト岩1	宮県埋セ報57 2002
12	船野	宮崎市佐土原町西上那珂	1	流紋岩	考古学論叢3 1975
13	西ヶ迫	宮崎市佐土原町上田島	1	砂岩	宮県埋セ報61 2002
14	下那珂	宮崎市佐土原町	5	砂岩4・頁岩1	宮県埋セ報90 2004
15	大口川	西都市大口川	1	砂岩	表面採集 西都市史2015
16	松本	西都市清水	2	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
17	亀の甲	東諸県郡国富町三名	1	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
18	塚原	東諸県郡国富町木脇	4	砂岩2・頁岩1・シルト岩1	宮県埋セ報44 2001
19	塚原(二次)	東諸県郡国富町木脇	8	砂岩3・頁岩2・ホルンフェルス3	宮県埋セ報245 2019
20	井野	東諸県郡国富町八代	6	砂岩5・凝灰質頁岩1	石鏃 宮県報34 1991
21	六野原	東諸県郡国富町	2	砂岩	表面採集 宮崎考古6号 1980
22	二反野	宮崎市高岡町五町	1	砂岩	表面採集 宮崎考古3号 1977
23	小田元第2	宮崎市高岡町	3	流紋岩	局部磨製石斧 高岡町報29 2003
24	滑川第2	宮崎市清武町	2	頁岩	清武町報22 2007
25	中床丸	都城市梅北町	1	頁岩	
26	池増	都城市山田町中霧島	3	頁岩	宮崎考古15号 1997

※表面採集資料は故大野寅夫氏によるものである

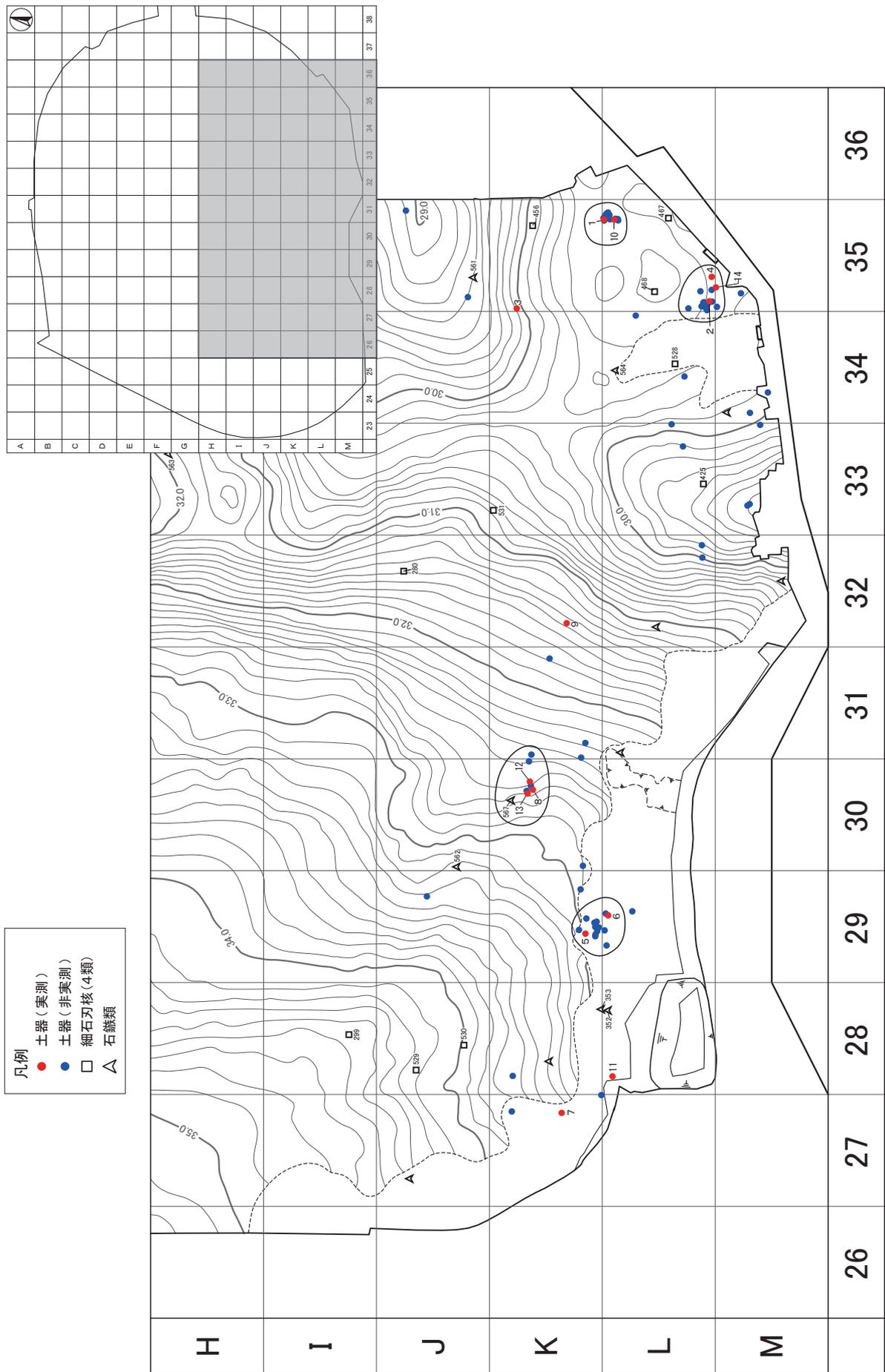
※宮崎県の資料については面高哲郎氏・長友良典氏・乗畑光博氏の御教示による



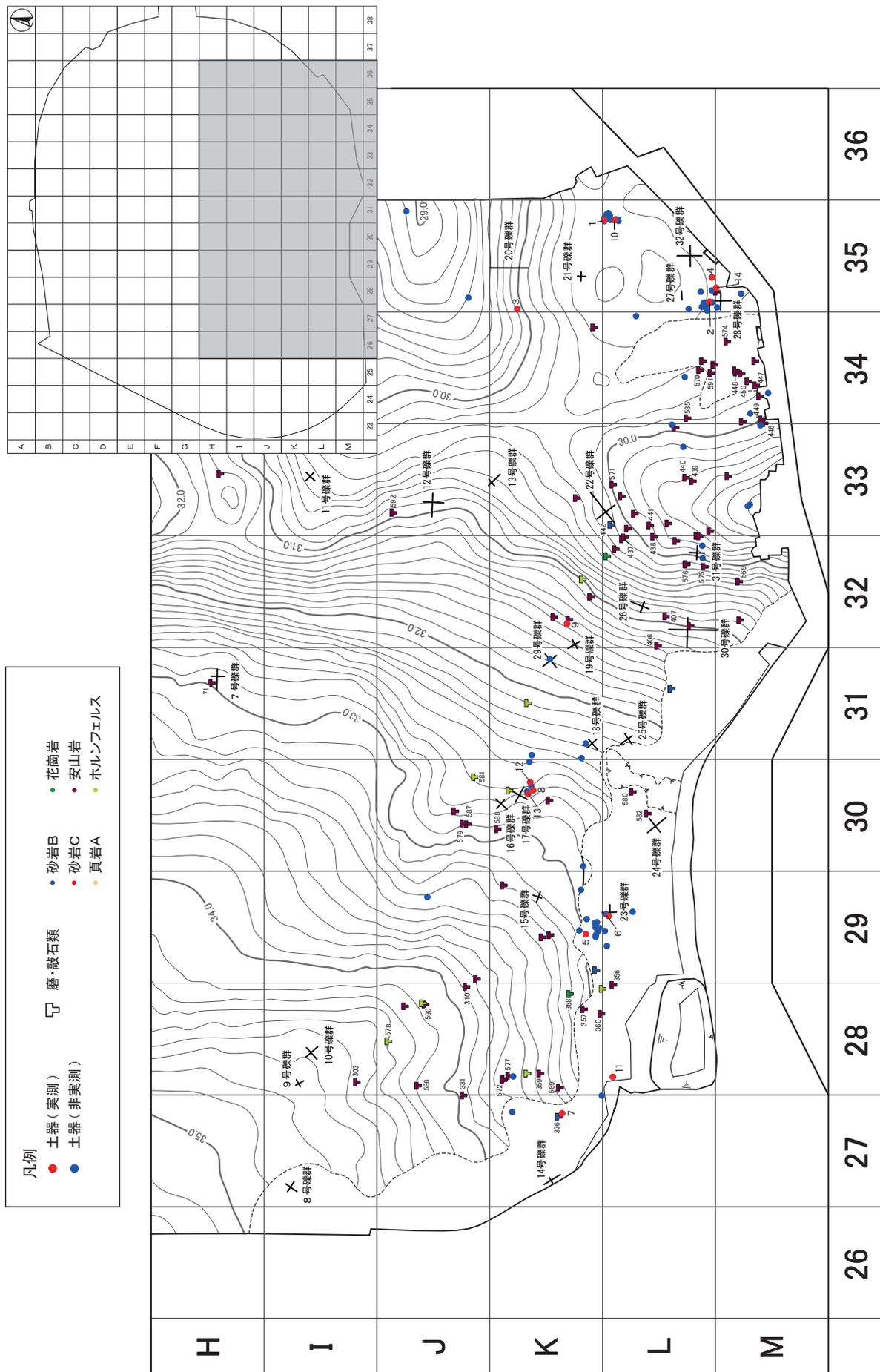
第187図 畦原型細石刃核出土分布図



第188図 土器及び石器遺物出土分布図



第189図 土器・細石刃核・石鏃出土分布図



第190図 土器及び磨・敲石類出土分布図

圖 版



A地区全景・土層断面
①A地点全景 ②Ⅶ～ⅩⅢ層土層断面 ③Ⅵ～Ⅸ層土層断面



遺構検出状況

①26号礫群出土状況
⑤13号礫群出土状況

②19号礫群出土状況
⑥8号礫群出土状況

③22号礫群出土状況
⑦18号礫群出土状況

④11号礫群出土状況
⑧25号礫群出土状況

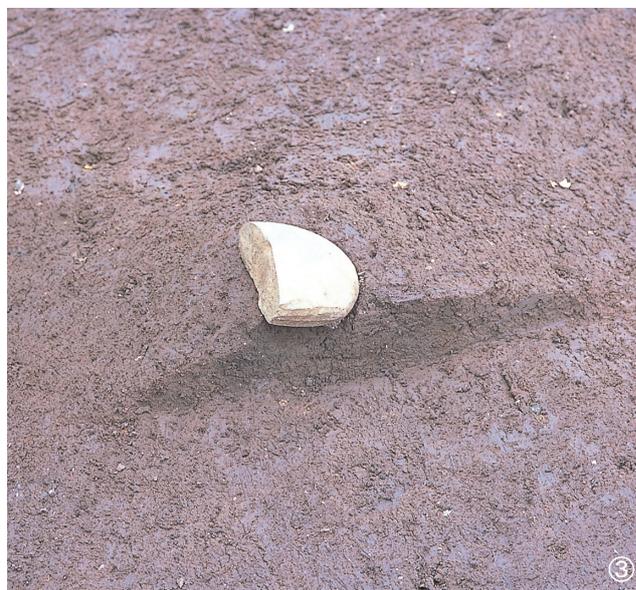


遺構検出状況

① 2号礫群出土状況 ② 32号礫群出土状況



遺物出土状況
①D32区遺物出土状況 ②B・C34区遺物出土状況



遺物出土状況

- ①ナイフ形石器・叩石出土状況 ②草創期土器出土状況 ③畦原型細石刃核出土状況
④磨石出土状況 ⑤敲石出土状況



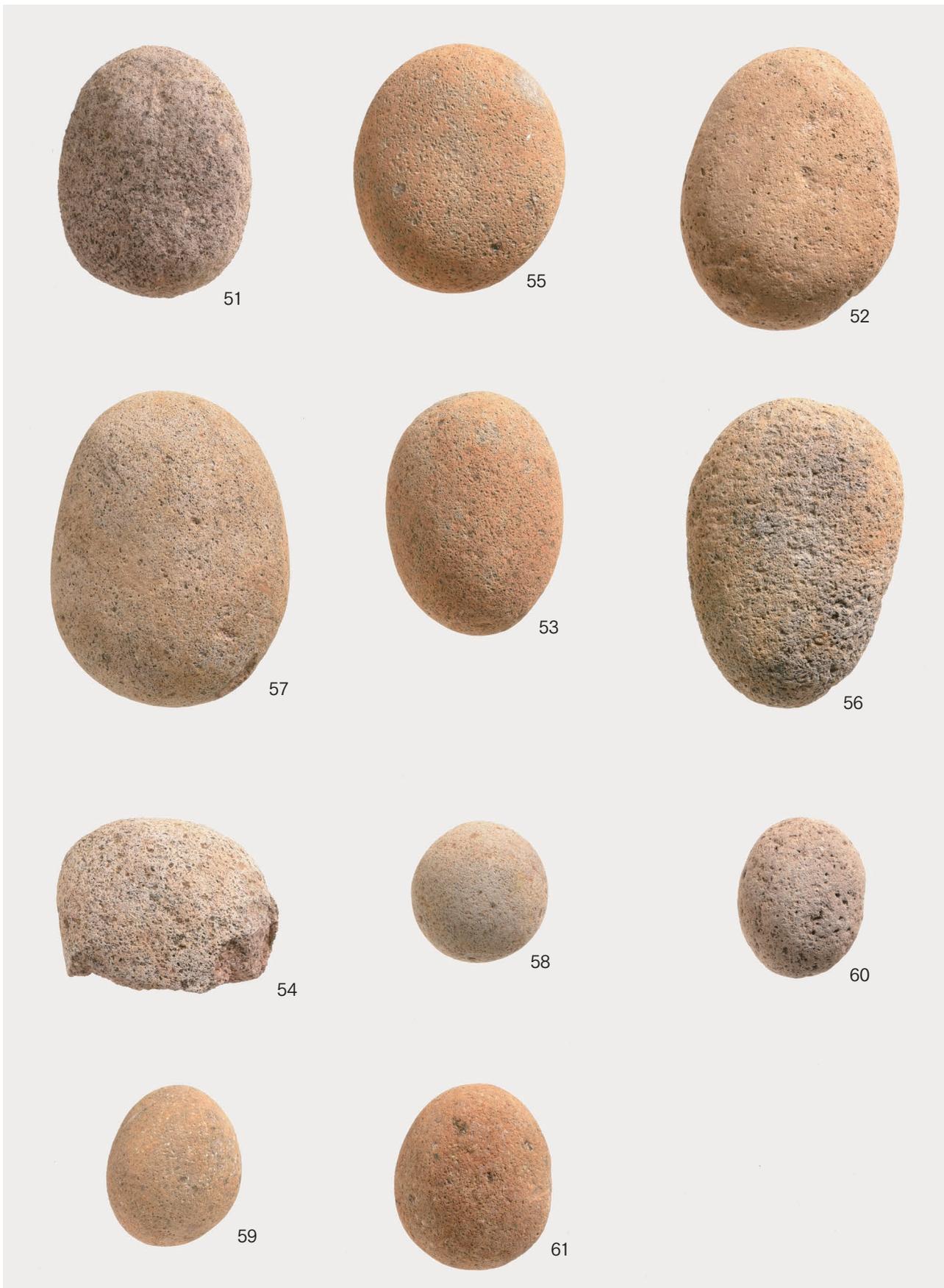
XII・XIII層ブロック出土石器



XII・XIII層包含層出土石器 X層ブロック出土石器 X層包含層出土石器



礫群内出土石器①



礫群内出土石器②



Ⅸ層ブロック・包含層出土接合資料



Ⅸ層ブロック1・2出土石器



IX層ブロック3・4・5出土石器



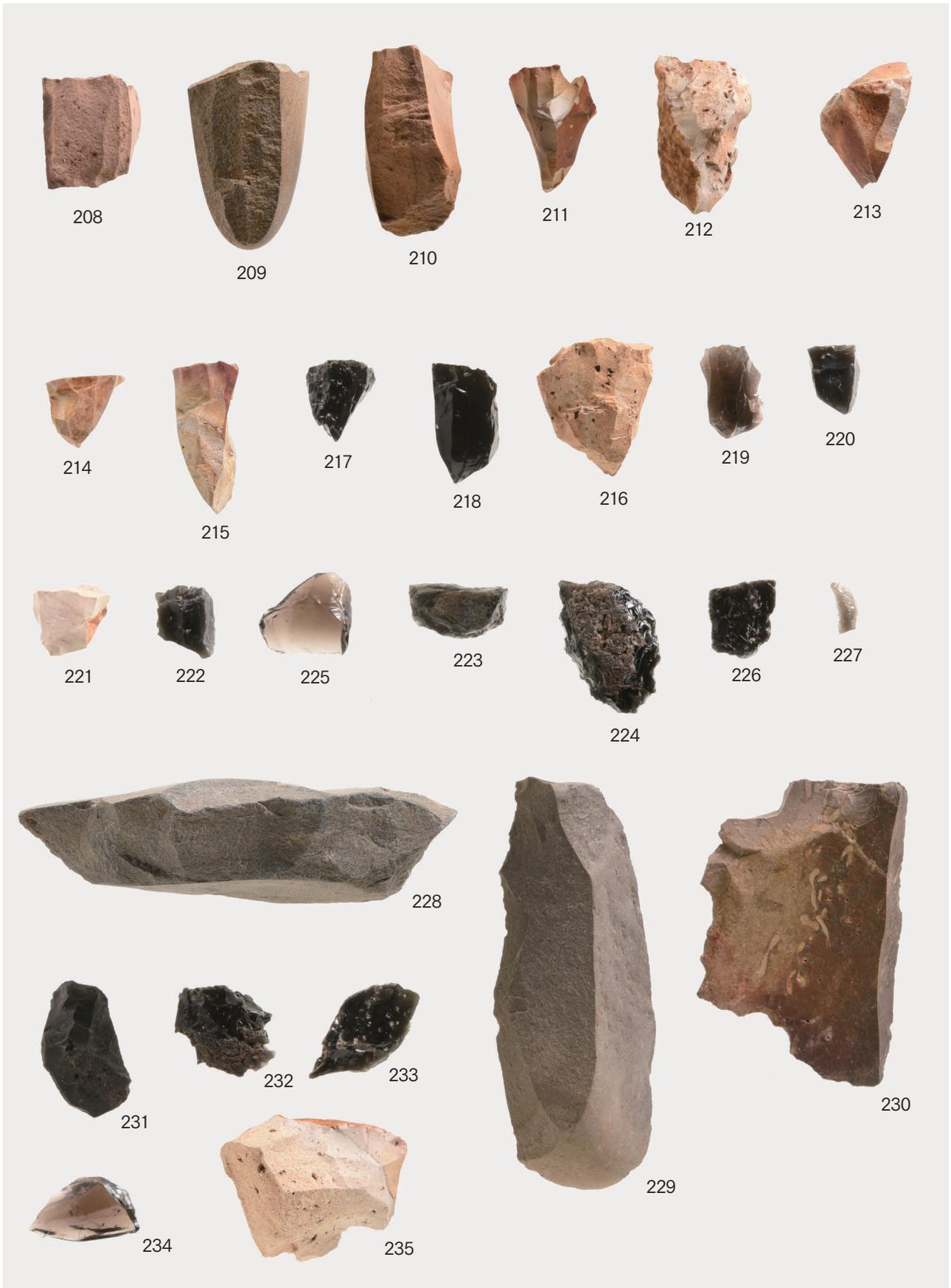
IX層ブロック6出土石器



IX層ブロック7・8・9・13出土石器



IX層ブロック10出土石器①



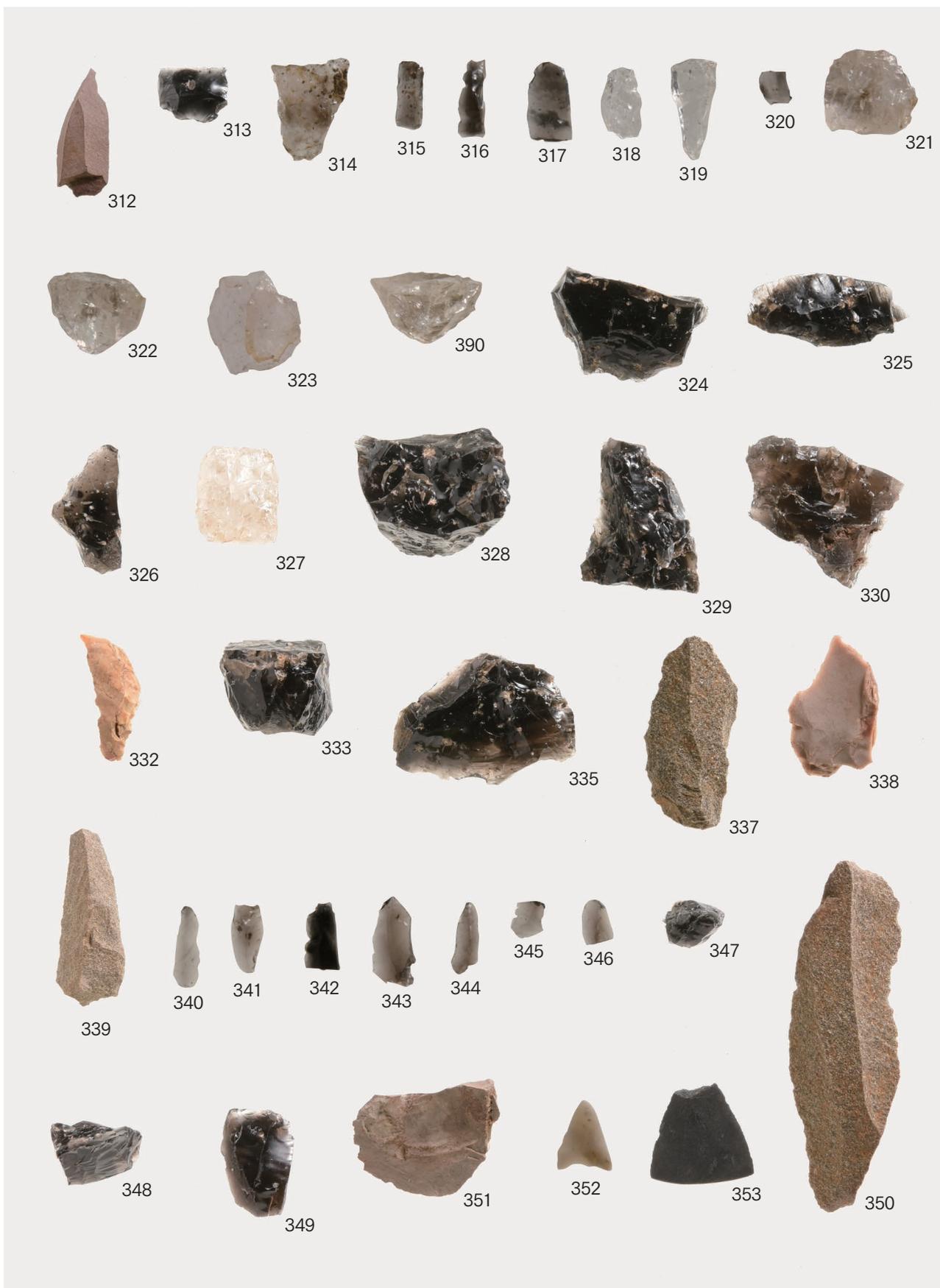
Ⅸ層ブロック10出土石器②



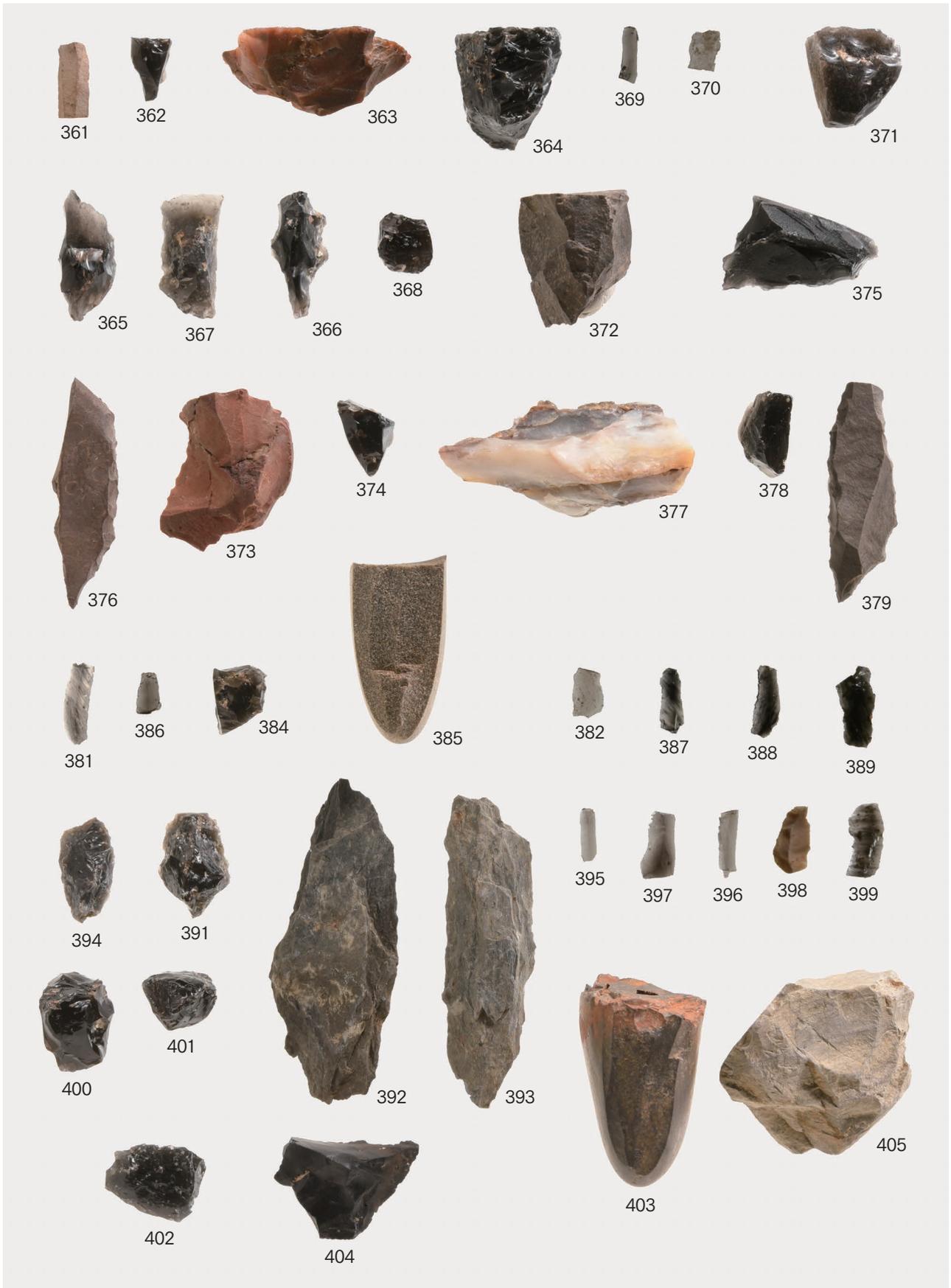
IX層ブロック12出土石器



IX層ブロック14・15・16・18・19・20・21・22出土石器



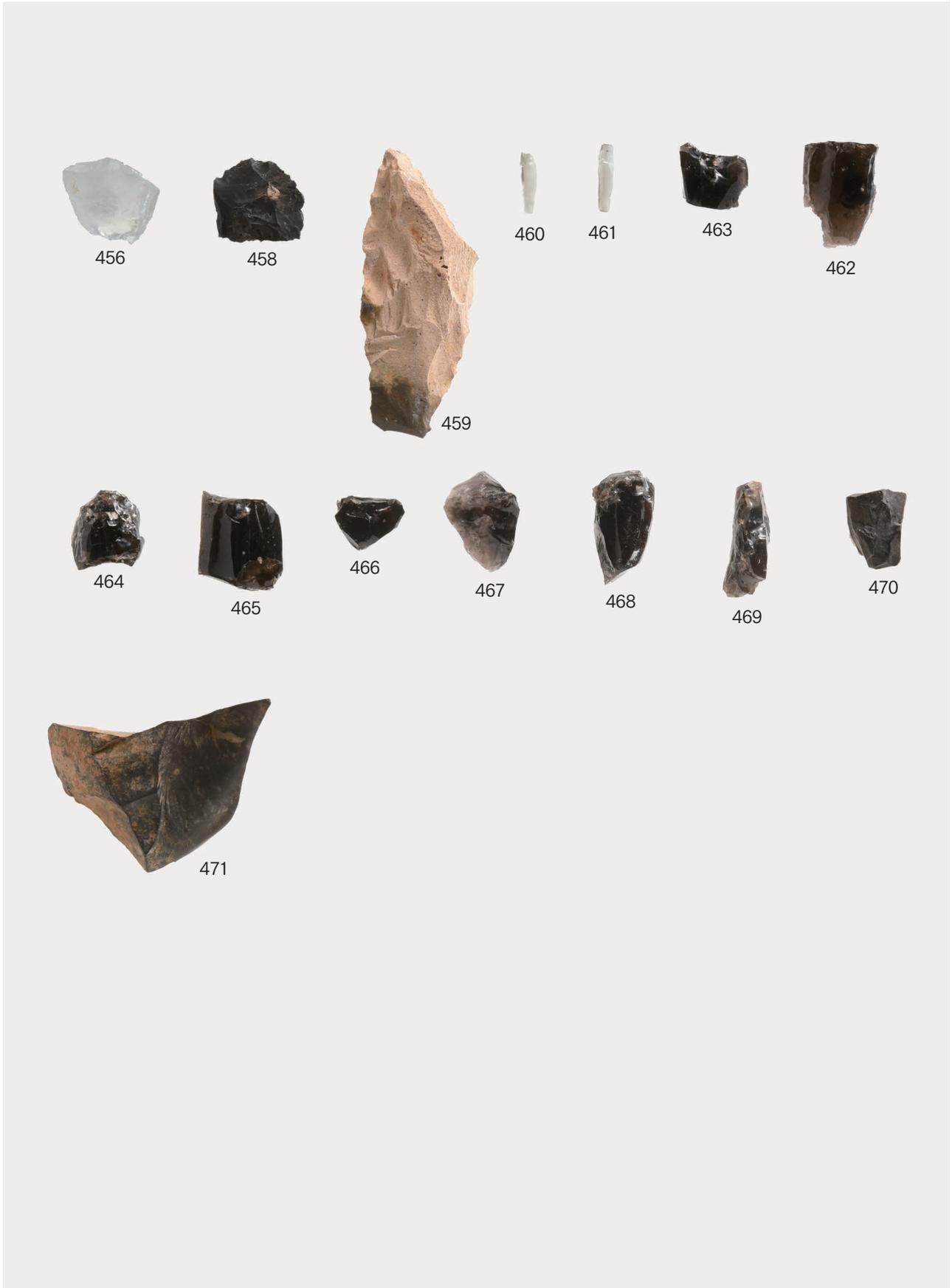
IX層ブロック23・24・25出土石器



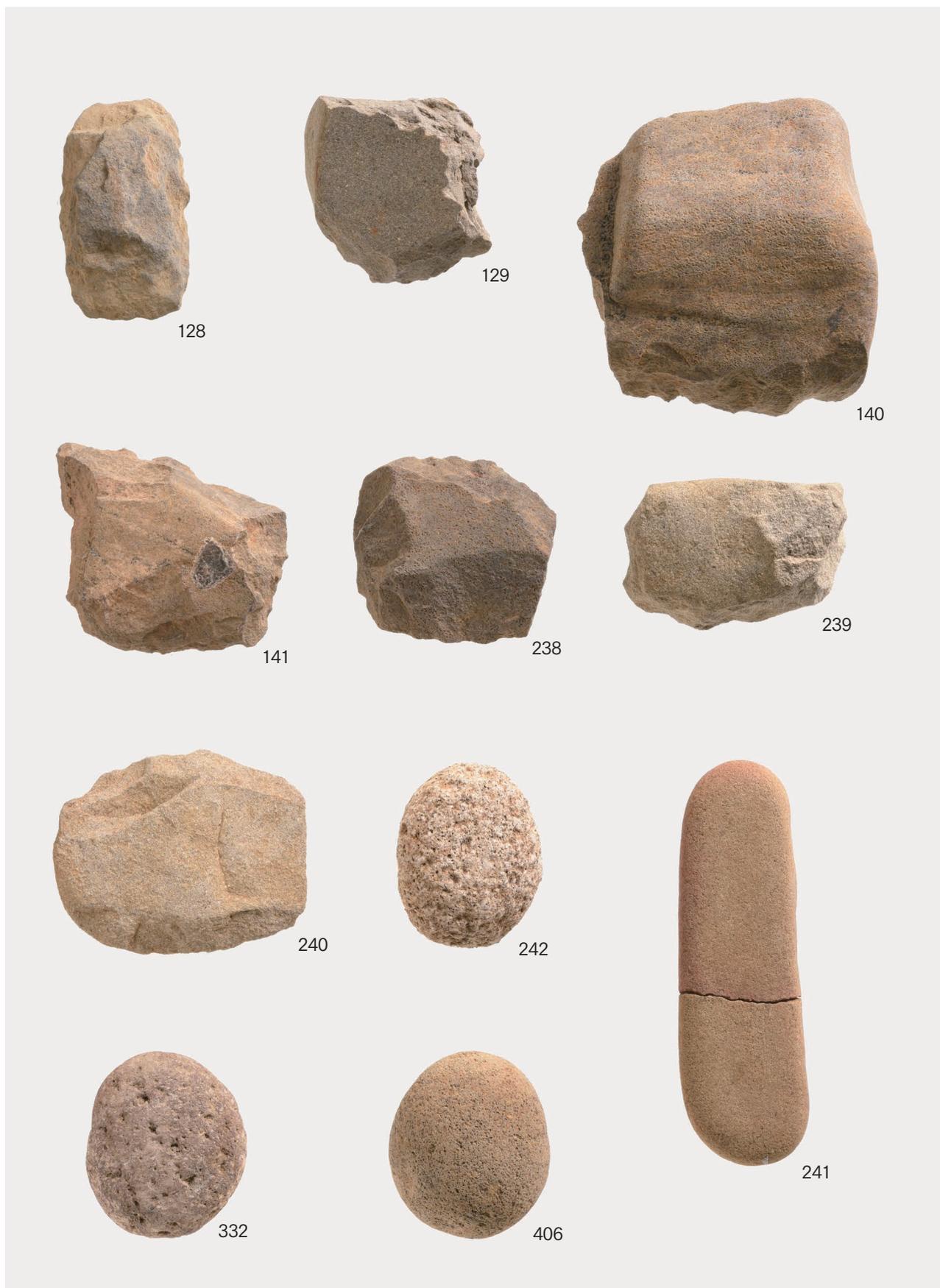
IX層ブロック26・27・28・29・30・31・32出土石器



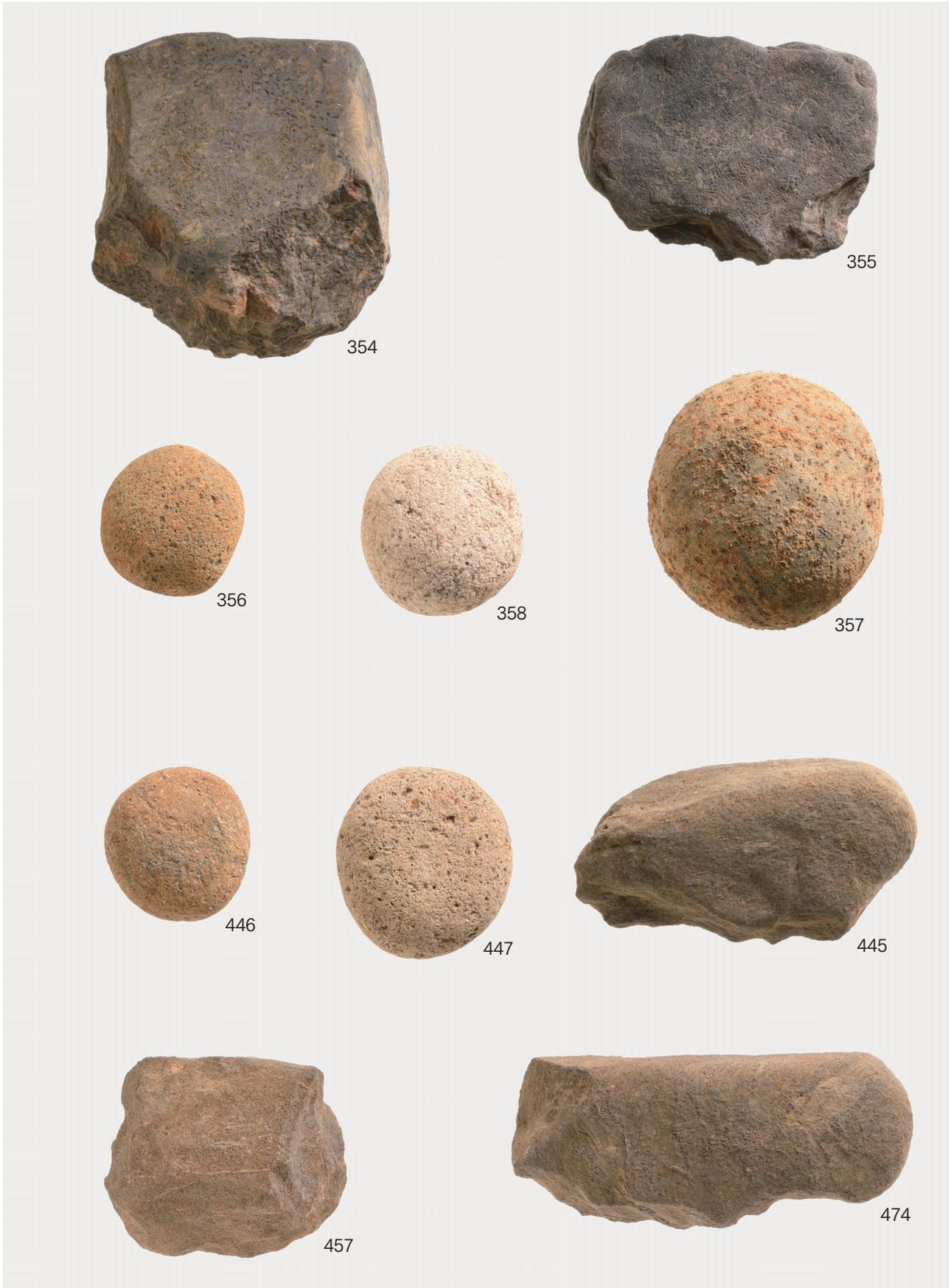
IX層ブロック33・34・35出土石器



IX層ブロック36・37出土石器



IX層ブロック出土 礫器・磨石①



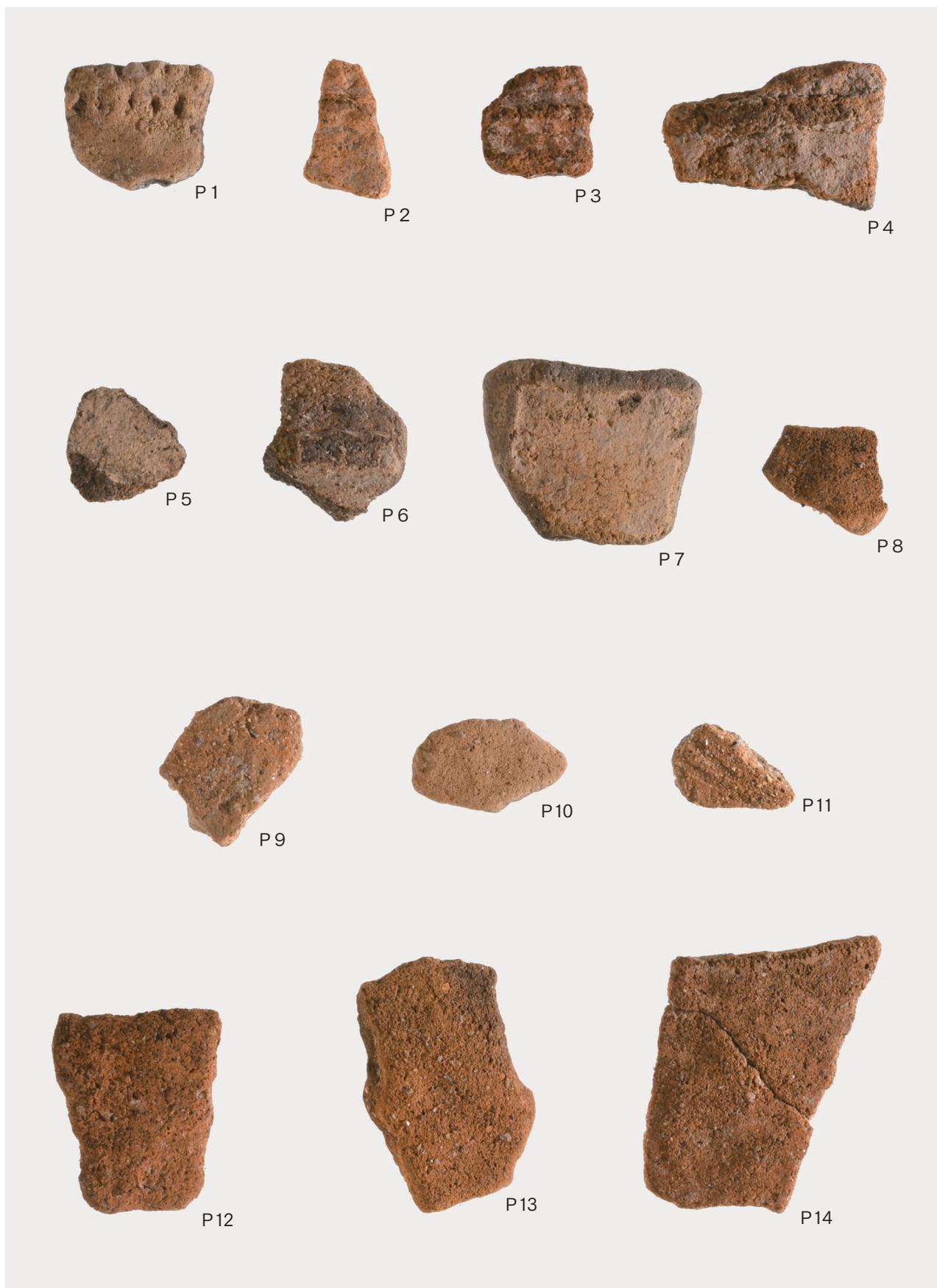
IX層ブロック出土 礫器・磨石②



IX層包含層出土石器
(ナイフ形石器・三稜尖頭器・尖頭器・台形石器)



IX層包含層出土石器
(細石刃・細石刃核)



IX層出土 縄文時代草創期土器

公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター発掘調査報告書(37)
東九州自動車道建設(志布志IC～鹿屋串良JCT間)に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書

川久保遺跡3 A地点

旧石器時代～縄文時代草創期編

発行年月 2021年2月

編集・発行 鹿児島県教育委員会
公益財団法人鹿児島県文化振興財団埋蔵文化財調査センター
〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森2番1号
TEL 0995-70-0574 FAX 0995-70-0576

印刷 濱島印刷株式会社
〒890-0052 鹿児島県鹿児島市上之園町17番地2
TEL 099-255-6121 FAX 099-259-1629



鹿児島県